

青森県埋蔵文化財調査報告書 第405集

三内丸山遺跡27

—野球場建設予定地発掘調査報告書6—

平成16年度

青森県教育委員会

序

青森市に所在する三内丸山遺跡は、青森県総合運動公園拡張整備事業にかかる新県営野球場建設に先立ち、平成4年度から県教育委員会が発掘調査を行ってまいりました。

調査の結果、本遺跡は縄文時代・平安時代・中世の複合遺跡であることが明らかになりました。特に大規模な遺構、多種多量の出土遺物から、縄文時代前期中葉から中期にかけて約1500年以上継続して営まれた円筒土器文化を代表する大規模な集落跡であることが判明しました。

本書はその成果の一部をまとめたものですが、今後三内丸山遺跡の解明及び埋蔵文化財の保護と研究に役立てば幸いです。

最後に調査及び本書作成にご尽力いただいた関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成17年3月31日

青森県教育委員会

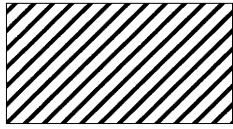
教育長 花 田 隆 則

例 言

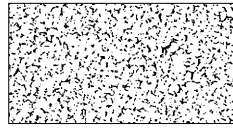
- 1 本報告書は、平成4～6年度に実施した青森県総合運動公園拡張整備事業に係る三内丸山遺跡の発掘調査のうち、野球場建設予定地で『三内丸山(2)遺跡Ⅱ』（1994 青森県教育委員会）で報告済みの3塁側スタンド部分を除く区域の縄文時代の埋設土器・土坑に関する報告書である。埋設土器については、すでに『三内丸山遺跡25』（2004 青森県教育委員会）で報告済ではあるが、図面等の瑕疵のために報告を控えたものがあつた。しかし図面調査を継続したこと及び土坑編及び今後刊行予定である掘立柱建物跡・柱穴編作成のための整理作業の中で得られた情報等により掲載可能となったものを報告する。また、非掲載の埋設土器の中には竪穴住居跡の埋設炉と結論したものもあり、今後、機会を改めて報告したい。
- 2 調査の概要等については、『三内丸山遺跡X』（青森県埋蔵文化財調査報告書第250集、平成9年度 青森県教育委員会）の「第Ⅰ章 調査に至る経過と調査要項」、「第Ⅱ章 調査の方法と経過」、「第Ⅲ章 遺跡の概要」を参照されたい。
- 3 三内丸山遺跡は、平成14年3月29日付けで周知の遺跡範囲に変更がなされている。旧遺跡名での小三内遺跡（旧遺跡番号01017）、近野遺跡（同01065）の一部、三内丸山遺跡(1)遺跡（同01020）、三内丸山(2)遺跡（同01021）が統合され、三内丸山遺跡となった。新遺跡番号は01021番である。
- 4 報告書の執筆者名は文末に付した。
- 5 本遺跡の遺構番号は種類毎に通し番号を付してある。
- 6 挿図の縮尺は、各図に示している。
- 7 遺構図面の記載にあたっては、土器－P、石器・石－Sの略号を用いた。
- 8 資料の鑑定及び同定・分析については、次の方に依頼した（敬称略）。
石器・石製品の石材の種類鑑定 青森県立浪岡高等学校教諭 山口 義伸
- 9 遺構・遺物の文・図中での表現は原則として次の様式・基準に従った。
 - (1) 遺構番号は一部を除いて発掘調査時のものを用いている。
 - (2) 図面等瑕疵により、一部については掲載していない。
 - (3) 遺構内外の堆積土の注記は、「新版標準土色帖」（小山・竹原1990）を用いた。
 - (4) 原則として、遺物には観察表・計測表を付し、出土地点、法量及び諸特徴を一覧できるようにした。
 - (5) 遺構名については、配置図・観察表中で以下の略称で表記している。
第○号埋設土器遺構－○埋 第○号土坑－○土 第○号住居跡－○住
 - (6) 縄文原体は山内清男「日本先史土器の縄紋」（先史考古学会 1979）を参考に分類し、記述はそれに従った。ただし、観察表では以下のように省略した。
結節回転文－結回、単軸絡条体○類－単絡○、多軸絡条体－多軸絡
また表中では、縄文原体の回転文の場合は種類のみ、押圧文の場合は種類の後に「押」を付している。隆帯・貼付上の施文文様は「隆帯」・「貼付」の後ろに括弧書きした。
 - (7) 石質は以下のように略称する。

玉髓-玉、頁岩-頁、玉髓質珪質頁岩-玉珪、珪質頁岩-珪頁、黒曜石-黒、鉄石英-鉄、凝灰岩-凝、安山岩-安、流紋岩-流、閃緑岩-閃、緑色細粒凝灰岩-緑細凝、軽石-軽

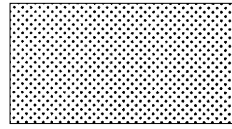
(8) 図中に使用したスクリーントーンは以下のものを表す。



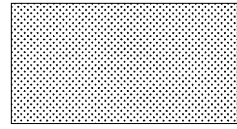
地山



石器磨面



石器敲打痕



石器光沢

10 遺物の分類

遺物は次のように分類した。

(1) 土器

第Ⅰ群 縄文時代早期

第Ⅱ群 縄文時代前期

1類 前期初頭に比定される土器群

2類 円筒下層 a 式に比定されるもの

3類 円筒下層 b 式に比定されるもの

4類 円筒下層 c 式に比定されるもの

5類 円筒下層 d 式に比定されるもの

さらに2つに細分する 1 d₁式

2 d₂式

6類 1～5類で時期を特定できないもの

第Ⅲ群 縄文時代中期

1類 円筒上層 a 式に比定されるもの

2類 円筒上層 b 式に比定されるもの

3類 円筒上層 c 式に比定されるもの

4類 円筒上層 d 式に比定されるもの

5類 円筒上層 e 式に比定されるもの

6類 1～5類で時期を特定できないもの

7類 榎林式以前に位置づけられる大木式土器系のもの

8類 榎林式に位置づけられるもの

9類 最花式・中ノ平皿式に位置づけられるもの

10類 大木10式併行に比定されるもの

11類 8～10類で時期を特定できないもの

第Ⅳ群 縄文時代後期

第Ⅴ群 縄文時代晩期

第Ⅵ群 弥生時代

第Ⅶ群 古墳時代

第Ⅷ群 古代

第Ⅸ群 中世以降

(2) 石器

A類 石鏃

a 有茎 T 基のもの

b 有茎 Y 基 〃

c 尖基 〃

d 平基 〃

e 円基 〃

f 凹基 〃

B類 石槍

a 無茎のもの

b 有茎 〃

C類 石匙

a 縦型のもの (以下の d～e に該当するものを除く)

b 横型のもの (〃)

c 斜型のもの (〃)

d 両面加工で石槍状の先端をもつもの

e 〃 石錐状の 〃

f 四角形の短辺部分に抉りをもち、長辺部分を刃部とするもの

g 細部加工がほとんど加えられないもの

D類 石錐

a 棒状のもの

- b つまみがあるもの（以下のcに該当するものを除く）
- c 先端のみつくりだしたもの
- d 石鏃を転用したもの
- E類 石篋
 - a 短冊型のもの
 - b 撥型 ヶ
- F類 ピエス・エスキーユ
- G類 不定形石器
 - a いわゆるスクレイパー類
 - b ヶ R. フレイク
 - c ヶ U. フレイク
- H類 石斧
 - a 磨製石斧
 - b 打製石斧
- I類 敲磨器類
 - a 主に凹のあるもの
 - b ヶ 敲打痕 ヶ
 - c ヶ 磨痕 ヶ
- J類 半円状扁平打製石器
- K類 挟入扁平磨製石器
- L類 石皿・台石類
- M類 石棒類
 - a 石棒
 - b 石刀
- N類 石錘
 - a 両端に抉りをいれたもの
 - b 溝を削りこんだもの
- O類 石冠
 - a 北海道式石冠
 - b 三角柱状等の形状を持つ磨製石器
- P類 石核類
 - a 石核
 - b 原石
 - c 剥片・碎片
- Q類 その他
- R類 異形石器
- S類 砥石
 - a 楕円礫を素材とし、顕著な擦痕を持つもの
 - b 扁平あるいは板状の礫を素材とするもの
- T類 軽石・軽石製品
 - a 加工の認められないもの
 - b 加工の認められるもの
- U類 角柱状の礫・礫石器
 - a 使用痕・加工痕の認められないもの
 - b 使用痕・加工痕の認められるもの
- V類 擦切具
- W類 礫

- 11 発掘調査における出土遺物、実測図、写真等は現在、青森県教育庁文化財保護課三内丸山遺跡対策室が保管している。
- 12 旧野球場建設予定地内で調査された土坑・土器埋設遺構に関しては、本書がこれに先立つ全ての資料・報文等に優先する。

目 次

序	
例 言	
目 次	
第IV章 縄文時代の検出遺構と出土遺物	
第2節 埋設土器遺構	1
第3節 土坑	9
(埋設土器遺構 遺構図版部分)	54
(埋設土器遺構 遺物図版部分)	57
(土坑 遺構図版部分)	70
(土坑 土器図版部分)	96
(土坑 石器図版部分)	123
(土坑 土製品図版部分)	132
報告書一覧	135
報告書抄録	137

第2節 埋設土器遺構

(青森県教育委員会2004『三内丸山遺跡25』で非報告とした埋設土器遺構を再整理し掲載)

第128号埋設土器遺構 (1・4 図)

〔位置と確認〕 VI H-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 倒立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 土器内から礫が出土した。

〔時期〕 縄文時代中期(円筒上層d式期)である。

第129号埋設土器遺構 (1・4 図)

〔位置と確認〕 VI G-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 堆積土からスクレイパー類が1点、剥片が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代前～中期である。

第130号埋設土器遺構 (1・4 図)

〔位置と確認〕 VI G-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期(円筒上層式期)である。

第148号埋設土器遺構 (1・4 図)

〔位置と確認〕 VI F-88に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層 d 式期）である。

第403号埋設土器遺構（1・5 図）

〔位置と確認〕 VI G-93に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は3層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層 d 式期）である。

第404号埋設土器遺構（1・5 図）

〔位置と確認〕 VI G・H-93に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は3層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層 d 式期）である。

第405号埋設土器遺構（1 図）

〔位置と確認〕 VI G-93に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 掘り方の直径は約38cmである。

〔堆積土〕 不明である。

〔時期〕 縄文時代前～中期である。

第406号埋設土器遺構（1・6 図）

〔位置と確認〕 VI F・G-93に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は3層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層 c 式期）である。

第408号埋設土器遺構（1・6 図）

〔位置と確認〕 VI G-93に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は2層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層式期）である。

第476号埋設土器遺構（1・6 図）

〔位置と確認〕 VI J-87に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代前期（円筒下層式期）である。

第479号埋設土器遺構（1・7 図）

〔位置と確認〕 VI I-85に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は2層である。

〔出土遺物〕 土器内から礫が出土した。

〔時期〕 縄文時代前期（円筒下層 d₂ 式期）である。

第499号埋設土器遺構（2・8 図）

〔位置と確認〕 VI I・J-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代前期（円筒下層 d₁ 式期）である。

第500号埋設土器遺構（2・8 図）

〔位置と確認〕 VI H-83・84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 第501号埋設土器遺構と重複するが新旧関係は不明である。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 断面のみで確認した。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。掘り方は1層であるが、第501号埋設土器遺構の掘り方と同質で区別できなかった。

〔出土遺物〕 土器内から敲磨器類（敲主体）が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層c式期）である。

第501号埋設土器遺構（2・9 図）

〔位置と確認〕 VI H-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 第500号埋設土器遺構と重複するが新旧関係は不明である。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 断面のみで確認した。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。掘り方は1層であるが、第500号埋設土器遺構の掘り方と同質で区別できなかった。

〔出土遺物〕 土器内から礫が1点、堆積土から礫が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層a～b式期）である。

第502号埋設土器遺構（2 図）

〔位置と確認〕 VI H-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 断面のみで確認した。

〔堆積土〕 掘り方は1層で土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層式期）である。

第503号埋設土器遺構（2・9 図）

〔位置と確認〕 VI H-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕

〔堆積土〕 土器内堆積土は2層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層c式期）である。

第504号埋設土器遺構（2・10図）

〔位置と確認〕 VI G・H-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 土器内から敲磨器類（敲主体）が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代前期（円筒下層 d₂ 式期）である。

第505号埋設土器遺構（2・11図）

〔位置と確認〕 VI H-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 土器内から石刀未製品の可能性のある磨製石器が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層 a～b 式期）である。

第506号埋設土器遺構（2・12図）

〔位置と確認〕 VI G・H-85に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は2層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代前期（円筒下層 d₂ 式期）である。

第507号埋設土器遺構（2・12図）

〔位置と確認〕 VI G-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 断面のみで確認した。

〔堆積土〕 掘り方が1層で、土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 土器内から礫が1点、堆積土から剥片が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層 a～b 式期）である。

第508号埋設土器遺構（2・13図）

〔位置と確認〕 VI G-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 断面のみで確認した。

〔堆積土〕 掘り方が1層で、土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 堆積土から剥片が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層式期）である。

第509号埋設土器遺構（2・13図）

〔位置と確認〕 VI G-84に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 断面のみで確認した。

〔堆積土〕 掘り方は1層で、土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 土器内から砥石が1点、礫が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層c式期）である。

第511号埋設土器遺構（3図）

〔位置と確認〕 VI G-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代前～中期である。

第512号埋設土器遺構（3・14図）

〔位置と確認〕 VI G-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代前期（円筒下層式期）である。

第513号埋設土器遺構（3・14図）

〔位置と確認〕 VI G-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は2層である。

〔出土遺物〕 堆積土から礫が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層b式期）である。

第514号埋設土器遺構（3・15図）

〔位置と確認〕 VI G-86に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 土器内から敲磨器類（敲主体）が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層a式期）である。

第515号埋設土器遺構（3図）

〔位置と確認〕 VI G-87に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層式期）である。

第516号埋設土器遺構（3図）

〔位置と確認〕 VI G-87に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は2層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期である。

第517号埋設土器遺構（3・15図）

〔位置と確認〕 VI G-87に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層c式期）である。

第518号埋設土器遺構（3図）

〔位置と確認〕 VI G-87に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層式期）である。

第519号埋設土器遺構（3・16図）

〔位置と確認〕 VI H-87に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で入れ子状に3点の土器が埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は3層である。

〔出土遺物〕 堆積土から挟入扁平磨製石器が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代中期（円筒上層c式期）である。

第520号埋設土器遺構（3・16図）

〔位置と確認〕 VI I-88に位置する。第Ⅲ層精査中に確認した。

〔重複・新旧〕 なし。

〔土器埋設方法〕 正立状態で埋設されている。

〔掘り方形態・規模〕 確認できなかった。

〔堆積土〕 土器内堆積土は1層である。

〔出土遺物〕 土器内から礫が1点出土した。

〔時期〕 縄文時代前期（円筒下層式期）である。

第3節 土 坑

(第1号土坑等旧野球場地区3塁側スタンド部分の縄文時代土坑190基は青森県教育委員会1993『三内丸山(2)遺跡Ⅱ』で報告済のため、それらを除いて記載)

第127号土坑(17図)

〔位置と確認〕 VE・F-96・97に位置し、第Ⅲ層中で黄褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m10cm、短軸64cm、深さ16cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から敲磨器類(磨主体)が1点出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第128号土坑(17・70図)

〔位置と確認〕 VF-96に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m23cm、短軸61cm、深さ86cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面はおおむね平坦であるが、長軸37cm、短軸36cm、深さ32cmのピットを伴う。

〔堆積土〕 4層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から敲磨器類(磨主体)が1点出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第129号土坑(17図)

〔位置と確認〕 VF-96に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m12cm、短軸84cm、深さ27cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第130号土坑(17図)

〔位置と確認〕 VF-96に位置し、第Ⅲ層中で確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸79cm、短軸64cmであるが、深さが約20cmのところ

に段差をもつ。

〔壁・底面〕 壁は南側に段差をもちながら立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 下半部を5層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第185号土坑（17・43図）

〔位置と確認〕 VI O-89に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸1m2cm、短軸90cm、深さ43cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面は中央に向かって緩やかに窪む

〔堆積土〕 4層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-6・Ⅲ-6類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第186号土坑（17・43図）

〔位置と確認〕 VI K-91・92に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m、短軸86cm、深さ43cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-6、Ⅲ-6類土器が出土した。石器は堆積土から石鏃1点、剥片1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第190号土坑（18図）

〔位置と確認〕 VI R-91に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m23cm、短軸1m、深さ26cmである。

〔壁・底面〕 底面は、中央に向かって緩やかに窪む。

〔堆積土〕 4層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第191号土坑（18図）

〔位置と確認〕 VI R・S-91・92に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 7 cm、短軸 97cm、深さ 15cm である。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第192号土坑 (18図)

〔位置と確認〕 VI Q-91に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m 15cm、短軸 73cm、深さ 19cm である。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第193号土坑 (18図)

〔位置と確認〕 VI P・Q-91に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m 27cm、短軸 88cm、深さ 16cm である。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面は凹凸がある。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土からU.フレイクが1点出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第194号土坑 (18・43図)

〔位置と確認〕 VI R-92に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸 1 m 28cm、短軸 1 m 24cm、深さ 70cm である。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-2類土器が出土した。石器は堆積土から石皿・台石類 1点、砥石 1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代前期末葉以前と考えられる。

第195号土坑 (18・43図)

〔位置と確認〕 VI R-91に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸84cm、短軸82cm、深さ23cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面は凹凸がある。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-1、Ⅲ-1・2、Ⅲ-3類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第198号土坑（18・43図）

〔位置と確認〕 VI Q-95に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸1m9cm、短軸1m7cm、深さ39cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-3・4、Ⅱ-4・5-1、Ⅱ-5-2、Ⅱ-6、Ⅲ-6、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からスクレイパー類1点、R.フレイク1点、U.フレイク2点、剥片2点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第199号土坑（18・43図）

〔位置と確認〕 VI Q-95に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m7cm、短軸95cm、深さ45cmである。

〔壁・底面〕 壁は段差を持ちながら立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 Ⅲ-5・11類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク1点、剥片1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第200号土坑（19・44図）

〔位置と確認〕 VI O-91に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m56cm、短軸1m50cm、深さ61cmである。

〔壁・底面〕 断面はフラスコ状である。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 底面からⅡ-5-1、Ⅲ-10類土器が出土した。石器は堆積土から敲磨器類（敲主体）2点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代前期末葉（円筒下層d1式期）と考えられる。

第205号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E-109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第232号土坑、第500・3373・13734号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸58cm、短軸は50cm、深さ45cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第206号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E-108・109に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第500・501・3369・3373号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整形で、規模は、短軸が72cm、深さ8cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第207号土坑（20・45図）

〔位置と確認〕 VII F-108に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第503・3660・3661・13736号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸72cm、深さ27cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面から緩やかに立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉以前と考えられる。

第209号土坑（20・45図）

〔位置と確認〕 VII F-109・110に位置し、第Ⅲ層中で灰黄褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第210号土坑・13737号ピットと重複し、第210号土坑より古く、第13737号ピットより新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は、短軸が1 m13cm、深さ21cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。灰黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 坑底から礫が、堆積土からⅡ-5-2、Ⅲ-6、Ⅲ-9、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から石棒破片が1点出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後葉以前と考えられる。

第210号土坑（20・45図）

〔位置と確認〕 VII F-109・110に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第209号土坑と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1 m25cm、短軸97cm、深さ35cmである。

〔壁・底面〕 壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-2、Ⅲ-9、Ⅲ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から剥片が1点出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第212号土坑（20・45図）

〔位置と確認〕 VII E-110に位置し、第57号住居跡の精査中に、にぶい黄褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第57号住居・第13735号ピットと重複し、第57号住居跡より古く、第13735号ピットより新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸59cm、短軸54cm、深さ20cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。にぶい黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-2・Ⅲ-1、Ⅱ-6、Ⅲ-6類土器が出土した。

〔時期〕 第57号住居跡（縄文時代中期後半）より古いことと、出土土器から縄文時代前期末葉～中期初頭と考えられる。

第214号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E-109に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第215・223号土坑、第504・3373・3421号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1 m16cm、短軸は残存部分53cm、深さ22cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第215号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E-109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第214・216号土坑、第3421号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は重複のため不明である。

〔壁・底面〕 重複のため壁の立ち上がりは不明である。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第216号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E-109に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第215・217号土坑と重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸は残存部分が1 m 2 cm、短軸95cm、深さ29cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第217号土坑（19・45図）

〔位置と確認〕 VII E-109に位置し、第Ⅲ層中で灰黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第216号土坑、第3429号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、深さは20cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より緩やかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 1層である。灰黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-3類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第218号土坑（20図）

〔位置と確認〕 VII D-108・109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第31号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1 m 81cm、短軸96cm、深さ34cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から剥片2点が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第221号土坑（20図）

〔位置と確認〕 VII F-105に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸85cm、短軸82cm、深さ15cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面から緩やかに立ち上がる。底面は平坦で皿状を呈する。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第222号土坑（20図）

〔位置と確認〕 VII F-105に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸53cm、短軸45cm、深さ14cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面から緩やかに立ち上がる。底面は平坦で皿状を呈する。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第223号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E-109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第214号土坑、第512・3421・3432号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は短軸64cm、深さ33cmである。

〔壁・底面〕 重複のため不明である。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。明褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第225号土坑（20・46図）

〔位置と確認〕 VII H-104に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1 m50cm、短軸1 m34cm、深さ25cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面から直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-10類土器が出土した。石器は堆積土から剥片2点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉以前と考えられる。

第227号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII H-106・107に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第13742号ピットと重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸99cm、短軸80cm、深さ42cmである。

〔壁・底面〕 壁はゆるやかに立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第231号土坑（19・46図）

〔位置と確認〕 VII E-108・109に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第512・3433号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸残存部分 1 m 21 cm、深さ20 cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は凹凸がある。

〔堆積土〕 1層である。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から R.フレイク 1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉と考えられる。

第232号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E-109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第205号土坑、第500・3373・13734号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸80 cm、深さ35 cmである。

〔壁・底面〕 壁はゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第235号土坑（21・46図）

〔位置と確認〕 VII H-106に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第541号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸74 cm、短軸50 cm、深さ19 cmである。

〔壁・底面〕 不明である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-9・10類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第237号土坑（21・46図）

〔位置と確認〕 VII F・G-104に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第5808号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 8 cm、短軸88 cm、深さ44 cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面からやや緩やかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-7類土器が出土した。石器は堆積土から剥片 4点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期以前と考えられる。

第239号土坑（19・46図）

〔位置と確認〕 VII E - 109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m54cm、短軸50cm、深さ11cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 II - 5 - 2、III - 9、III - 11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉以前と考えられる。

第240号土坑（19・46図）

〔位置と確認〕 VII D・E - 109に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m1cm、短軸64cm、深さ40cmである。

〔壁・底面〕 壁はゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からIII - 8、III - 11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉以前と考えられる。

第242号土坑（19図）

〔位置と確認〕 VII E・F - 109に位置し、第Ⅲ層中でにぶい黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第1593・3458・3485・3487・3488・3491号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m26cm、短軸1m1cm、深さ22cmである。

〔壁・底面〕 壁はゆるやかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 1層に分層した。にぶい黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第243号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII G - 107・108に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸92cm、短軸70cm、深さ18cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第244号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII G-107に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第13740号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸残存部分 1 m28cm、短軸56cm、深さ19cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第245号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII G-107・108に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸98cm、短軸70cm、深さ26cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第246号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII F・G-107に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第13738・13739号ピットと重複し、第13738号ピットより古く、第13739号ピットより新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m24cm、短軸76cm、深さ18cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第247号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII F-107に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m16cm、短軸70cm、深さ43cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は北東側に長さ約40cmの浅い凹みが見られる。

〔堆積土〕 1層である。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第248号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII G-107に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸88cm、短軸86cm、深さ27cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第250号土坑（21図）

〔位置と確認〕 VII G-108に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第13741号ピットと重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1 m34cm、短軸84cm、深さ24cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第259号土坑（22・47図）

〔位置と確認〕 VII C・D-95に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸1 m50cm、短軸1 m41cm、深さ53cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層した。黒～暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-4、Ⅲ-5・11類土器が出土した。石器は堆積土からU.フレイク1点、剥片3点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期中葉と考えられる。

第262号土坑（22・47・48・70図）

〔位置と確認〕 VI O・P-95に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸1 m95cm、短軸1 m63cm、深さ1 m82cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 10層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 底面からⅢ-5、Ⅲ-6類土器、堆積土からⅢ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-8、Ⅲ-9、Ⅲ-

11類土器が出土した。石器は堆積土から石槍1点、スクレイパー類1点、R.フレイク2点、石核2点、原石1点、剥片14点、敲磨器類（凹主体）3点、敲磨器類（敲主体）4点、敲磨器類（磨主体）1点、石皿・台石類3点、その他器種を特定できない礫石器の小破片1点が出土した。

〔時期〕 底面出土土器から縄文時代中期中葉と考えられる。

第263号土坑（22図）

〔位置と確認〕 VII A・B-92に位置し、第Ⅲ層中で円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸1 m20cm、短軸1 m19cm、深さ84cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から剥片2点が出土した。

〔時期〕 確認層位から縄文時代と考えられる。

第264号土坑（22図）

〔位置と確認〕 VIN・O-91に位置し、第Ⅲ層中で不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸1 m62cm、短軸1 m43cm、深さ26cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第266号土坑（23・49図）

〔位置と確認〕 VI O・P-91に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第41号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸1 m2 cm、短軸91cm、深さ65cmである。

〔壁・底面〕 断面はフラスコ状である。底面は平坦で、中央部分に深さ11cmの楕円形の小ピットがある。

〔堆積土〕 4層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 底面からⅡ-4・5-1、Ⅱ-6類土器、堆積土からⅡ-4、Ⅱ-4・5-1、Ⅱ-5-1、Ⅱ-6類土器が出土した。石器は堆積土からその他器種を特定できない礫石器の小破片1点が出土した。

〔時期〕 底面出土土器から縄文時代前期後～末葉と考えられる。

第267号土坑 (23・49・70図)

〔位置と確認〕 VI O-89に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第72号住居跡(円筒下層b式期)と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸1m4cm、短軸1m2cm、深さ51cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面に深さ6cmの浅い窪みをもつ。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-2、Ⅱ-6、Ⅲ-1、Ⅲ-6類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク2点、石核1点、剥片2点、敲磨器類(敲主体)3点、敲磨器類(磨主体)1点、その他器種を特定できない礫石器の小破片が1点出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期初頭と考えられる。

第268号土坑 (23図)

〔位置と確認〕 VI O・P-90に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m44cm、短軸1m29cm、深さ77cmである。

〔壁・底面〕 壁は段差を持ちながら垂直的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第271号土坑 (23図)

〔位置と確認〕 VM-97に位置し、第Ⅲ層中で黒～暗褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m14cm、短軸1m2cm、深さ33cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第322号土坑 (23・50図)

〔位置と確認〕 VII G・H-107に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m34cm、短軸82cm、深さ26cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は中央部がゆるやかな高まりを持っている。

〔堆積土〕 3層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-4、Ⅲ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク2点が出土した。また、底面から礫が2点出土している。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第323号土坑（23図）

〔位置と確認〕 VII D-107に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第3289～3291号ピットと重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m13cm、短軸 1 m4cm、深さ28cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 底面から礫が1点出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第324号土坑（24図）

〔位置と確認〕 VII F-107に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m28cm、短軸84cm、深さ34cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第349号土坑（24・50・70図）

〔位置と確認〕 VI L-95・96に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m97cm、短軸 1 m38cm、深さ31cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-2、Ⅲ-6、Ⅲ-8・9、Ⅲ-9、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からスクレイパー1点、R.フレイク3点、剥片2点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後葉と考えられる。

第350号土坑（24図）

〔位置と確認〕 V G-83に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第57号溝跡、第351号土坑と重複し、第57号溝跡より古く、第351号土坑より新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸92cm、深さ59cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面から垂直よりやや開きぎみに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 縄文土器片が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第351号土坑（24図）

〔位置と確認〕 V G-83に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第350号土坑、第57号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整形で、規模は長軸68cm、深さ69cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より緩やかに立ち上がるが東側はほぼ垂直に立ち上がる。底面は、ほぼ平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第361号土坑（24・51・71・79図）

〔位置と確認〕 VI O-106に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸1 m 7 cm、短軸99cm、深さ1 m 68cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より段差をもって立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 褐色土を主体とする。6層の下の層については注記データを欠失している。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-2、Ⅲ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-4・5、Ⅲ-6類土器が出土した。石器は底面から石皿・台石類が1点、堆積土からR.フレイク3点、石核1点、剥片2点、礫1点が出土した。土製品はミニチュア土器が1点出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期中葉と考えられる。

第364号土坑（24・72・79図）

〔位置と確認〕 VI Q-115に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸1 m 58cm、短軸1 m 45cm、深さ42cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から石鏃1点が出土した。土・石製品は、石製垂飾未製品が1点出土している（79図6）。台形状の自然礫に両面から穿孔しているが、未貫通である。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第379号土坑（25・51・72・79図）

〔位置と確認〕 VI J-88に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1 m 98cm、短軸1 m 67cm、深さ47cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は段差と凹凸がある。

〔堆積土〕 5層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-4・5-1、Ⅱ-5-2、Ⅱ-6、Ⅲ-3類土器が出土した。石器は堆積土から石匙1点、U.フレイク2点、剥片4点、磨製石斧破片1点が出土した。土製品はミニチュア土器が1点出土している(79図2)。底部から口縁にかけて大きく開く器形で、底部は厚く、台状である。LRが回転施文される。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第398号土坑(25図)

〔位置と確認〕 VI J-84に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の方形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は方形で、規模は長軸92cm、短軸72cm、深さ11cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第399号土坑(25・51図)

〔位置と確認〕 VI I・J-84・85に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸91cm、短軸77cm、深さ25cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-2、Ⅱ-6類土器が出土した。石器は堆積土から剥片1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代前期末葉の可能性はあるが、細片のため、詳細な時期は不明である。

第400号土坑(25・52図)

〔位置と確認〕 VI I-84に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸93cm、短軸84cm、深さ22cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より東側は直線的に、西側はゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-6類土器が出土した。石器は堆積土から剥片1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第401号土坑 (25・52図)

〔位置と確認〕 VI I - 84に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 2 cm、短軸99cm、深さ24cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ - 6類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第402号土坑 (25図)

〔位置と確認〕 VII G・H - 103に位置し、第Ⅲ層中で明黄褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第2209・2212号ピットと重複し、本土坑の方が古い。

〔平面形・規模〕 平面形はほぼ円形で、規模は長軸 2 m 7 cm、短軸 1 m 97cm、深さ90cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第403号土坑 (26・52図)

〔位置と確認〕 VI E・F - 88に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 35cm、短軸68cm、深さ30cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は皿状を呈する。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とし、堆積の可能性が高いと考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ - 1、Ⅲ - 3、Ⅲ - 4、Ⅲ - 5、Ⅲ - 6類土器が出土した。石器は堆積土からスクレイパー類1点、R.フレイク1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期中葉と考えられる。

第406号土坑 (26図)

〔位置と確認〕 VI J - 103に位置し、第Ⅲ層中で灰黄褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第91号住居跡、第422号土坑、第1306号ピットと重複するが、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸 1 m 3 cm、短軸93cm、深さ12cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第412号土坑 (26・52図)

〔位置と確認〕 VI I - 87・88に位置し、第Ⅲ層中でいぶい黄褐色土の不整形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整形で、規模は長軸 1 m 30cm、短軸 1 m 3 cm、深さ40cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は凹凸をもっている。

〔堆積土〕 5層に分層した。いぶい黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ - 6、Ⅲ - 3類土器が出土した。石器は堆積土から R.フレイク 1点、U.フレイク 1点、剥片 3点、磨製石斧破片 1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第414号土坑 (26・52図)

〔位置と確認〕 VI I - 92に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 8 cm、短軸92cm、深さ43cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ - 3、Ⅱ - 5 - 1、Ⅲ - 4、Ⅲ - 6、Ⅲ - 11類土器が出土した。石器は堆積土から R.フレイク 1点、石皿・台石類 2点が出土した。また、堆積土下部から礫が 2点出土している。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第415号土坑 (26・53図)

〔位置と確認〕 VI J - 93・94に位置し、第Ⅲ層中でいぶい黄褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第3053・3174・3187・3192号ピット、第22号溝跡より古く、第121号住居跡（縄文時代前期中葉）より新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、深さ20cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦であり6個の小ピットを伴う。

〔堆積土〕 6層に分層した。いぶい黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ - 4・5、Ⅲ - 8、Ⅲ - 9類土器が出土した。石器は堆積土から R.フレイク 1点、U.フレイク 3点、剥片 5点、軽石製品 1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後葉以前と考えられる。

第422号土坑 (27・72・80図)

〔位置と確認〕 VI J - 103に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第91号住居跡（縄文時代中期後半）、第406号土坑と重複する。出土遺物からみて、第91号住居跡より古いと考えられる。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸74cm、短軸74cm、深さ24cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から R.フレイク 2点、石核 1点、剥片 3点が出土した。土製品は、円盤状土製品10点（80図7～16）とミニチュア土器 1点（80図17）が出土している。円盤状土製品はいずれも土器片を利用したもので、成形方法には打ち欠きのみのもとの擦りによるものがあり、穿孔があるもの、ないもの、未貫通のものがある。完形のもので、大きさは径約 2～7 cm、重さは 3～75 gである。8は欠損しており、さらに大きいと考えられる。土器の利用部位は胴部がほとんどで、文様は絡条体の回転施文のものが多い。口縁部を用いるものでは原体の押圧施文や刺突が見られる。胎土に繊維が混入するものもある。文様や胎土などから前期のものと考えられる。ミニチュア土器は台付土器の台部破片で無文である。

〔時期〕 出土遺物から縄文時代前期と考えられる。

第432号土坑（27・53図）

〔位置と確認〕 VII B-98・99に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第2438号ピットと重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸94cm、短軸79cm、深さ96cmである。

〔壁・底面〕 壁はフラスコ状に立ち上がる。底面にはやや凹凸が見られる。

〔堆積土〕 15層に分層した。明褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-4類土器が出土した。石器は堆積土から剥片 1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第433号土坑（27・53図）

〔位置と確認〕 東側墓域（V J-110）に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 8 cm、短軸は推定62cm、深さ31cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦で北側に傾く。

〔堆積土〕 4層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-1、Ⅲ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から剥片 2点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉と考えられる。

第434号土坑（27図）

〔位置と確認〕 東側墓域（V K-110）に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 2 cm、短軸60cm、深さ21cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦で北西側に傾く。

〔堆積土〕 4層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第435号土坑（27・53図）

〔位置と確認〕 東側墓域の西端（VM・N-111）に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m95cm、短軸96cm、深さ48cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦で北側に傾き、深さ10cm程度の壁溝を伴う。

〔堆積土〕 4層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-5、Ⅲ-8、Ⅲ-9、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から石鏃が1点出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第436号土坑（28・53図）

〔位置と確認〕 VII C-99に位置し、第Ⅲ層中で円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形はほぼ円形で、規模は長軸77cm、短軸70cm、深さ58cmである。

〔壁・底面〕 壁はゆるやかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-9類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク2点、剥片6点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後葉以前と考えられる。

第437号土坑（28図）

〔位置と確認〕 VN-112に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m18cm、短軸75cm、深さ41cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は皿状で中央部に楕円形のピットがみられる。

〔堆積土〕 6層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第438号土坑 (28・53図)

〔位置と確認〕 VL-108・109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第11894号ピットと重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m47cm、短軸1m31cm、深さ55cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 6層に分層した。黒～黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉以前と考えられる。

第440号土坑 (28図)

〔位置と確認〕 東側墓域 (VH・I-111・112) に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m18cm、短軸90cm、深さ28cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦で南側に傾く。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第453号土坑 (28図)

〔位置と確認〕 東側墓域 (VK-110・111) に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m26cm、短軸70cm、深さ31cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦で、深さ20cm前後の壁溝を伴う。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第454号土坑 (28・53図)

〔位置と確認〕 東側墓域 (VK・L-110) に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m78cm、短軸1m32cm、深さ92cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦で北西側に傾く。

〔堆積土〕 5層に分層した。黒～暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉以前と考えられる。

第465号土坑 (29図)

〔位置と確認〕 VII E-98に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸75cm、短軸61cm、深さ31cmである。

〔壁・底面〕 壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 縄文土器片が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第466号土坑 (29・53・72図)

〔位置と確認〕 VII E-99に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸89cm、短軸66cm、深さ25cmである。

〔壁・底面〕 壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-1、Ⅲ-5、Ⅲ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から石錐1点、U.フレイク1点、角柱状の礫1点、礫1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第467号土坑 (29・54・55図)

〔位置と確認〕 VII E-100に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第3428・3678号ピットと重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形はやや楕円形で、規模は長軸75cm、短軸62cm、深さ70cmである。

〔壁・底面〕 壁はほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 第5層からⅢ-10、Ⅲ-11類土器、堆積土からⅢ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク1点、剥片7点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉（大木10式併行期）と考えられる。

第468号土坑 (29・55・72図)

〔位置と確認〕 VII E-101に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第3707・3709号ピット、第47号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸88cm、短軸74cm、深さ56cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-11類土器が出土した。石器は堆積土から石鏃1点、磨製石斧破片1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第469号土坑（29図）

〔位置と確認〕 VII E-102に位置し、第Ⅲ層中で不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第39号溝跡、第3733号ピットと重複し、第39号溝跡より古く、第3733号ピットより新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸97cm、短軸91cm、深さ45cmである。

〔壁・底面〕 東壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がるが、西壁は緩やかに立ち上がる。床面はほぼ平坦である。

〔出土遺物〕 縄文土器片が出土した。石器は堆積土からR.フレイク 1点、U.フレイク 1点、剥片 1点が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第470号土坑（29・55図）

〔位置と確認〕 VII E-102に位置し、第Ⅲ層中で円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第3857～3859・3862号ピット、第507号土坑と重複し、第3857・3858・3862号ピットより古く、第507号土坑、第3859号ピットより新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸87cm、短軸80cm、深さ50cmである。

〔壁・底面〕 不明である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-4、Ⅲ-8、Ⅲ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉と考えられる。

第471号土坑（30図）

〔位置と確認〕 東側墓域（VM-110）に位置し、第Ⅲ層中でにぶい黄褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第66号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m27cm、短軸残存部分90cm、深さ67cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦で、深さ16cm前後の壁溝を伴う。

〔堆積土〕 3層に分層した。灰黄色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第472号土坑（30図）

〔位置と確認〕 東側墓域（VL-110・111）に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m38cm、短軸58cm、深さ41cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦で東側に傾く。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第473号土坑（30図）

〔位置と確認〕 東側墓域（V L - 111）に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m46cm、短軸90cm、深さ42cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第474号土坑（30図）

〔位置と確認〕 東側墓域（V K ・ L - 110 ・ 111）に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m42cm、短軸93cm、深さ51cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は凹凸がある。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒～暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第475号土坑（30図）

〔位置と確認〕 東側墓域（V J - 110 ・ 111）に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第63・64号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 規模は長軸 1 m94cm、短軸不明、深さ15cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第476号土坑（31図）

〔位置と確認〕 V J - 113 ・ 114に位置し、第Ⅲ層中で明黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第62号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1 m85cm、短軸1 m8 cm、深さ25cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。明黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第477号土坑 (31図)

〔位置と確認〕 V J-114に位置し、第Ⅲ層中でいぶい黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第62号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1 m30cm、短軸80cm、深さ21cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は凹凸がある。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第478号土坑 (31図)

〔位置と確認〕 V O-112に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸99cm、短軸59cm、深さ33cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は南側に傾く。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第479号土坑 (31図)

〔位置と確認〕 V N-112・113に位置し、第Ⅲ層中で明黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1 m47cm、短軸1 m13cm、深さ68cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第481号土坑 (31図)

〔位置と確認〕 東側墓域 (VM-110) に位置し、第Ⅲ層中でいぶい黄褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第66号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m58cm、短軸74cm、深さ43cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面はおおむね平坦で北側に傾く。

〔堆積土〕 2層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第482号土坑 (32図)

〔位置と確認〕 VM・N-109に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m78cm、短軸 1 m47cm、深さ36cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第483号土坑 (32図)

〔位置と確認〕 東側墓域 (VL・M-110) に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第66号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m53cm、短軸51cm、深さ19cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦であるが、北側に傾く。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第486号土坑 (32図)

〔位置と確認〕 VI J-103に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第91号住居跡と重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸が重複のため不明で、短軸37cm、深さ18cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第498号土坑 (32・56図)

〔位置と確認〕 VI G-92に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸 1 m6cm、短軸92cm、深さ23cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 7層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-6、Ⅲ-3・4、Ⅲ-4、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からU.フレイク1点、礫1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第499号土坑 (32・56・72・79図)

〔位置と確認〕 VII C・D-105・106に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第236号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m40cm、短軸 1 m22cm、深さ21cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面にはやや凹凸が見られる。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-6、Ⅲ-1・2、Ⅲ-6類土器が出土した。石器は堆積土から石匙1点、スクレイパー1点、剥片2点、石皿・台石類1点が出土した。出土した土偶(79図3)は頭部片で、頭部は王冠状を呈する。頭頂部に2つの貫通孔がある。細沈線および短刻線による文様が施文される。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期前半と考えられる。

第500号土坑 (32・56・72図)

〔位置と確認〕 VII C-106に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第50号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸 1 m22cm、短軸 1 m2cm、深さ31cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 7層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-8、Ⅲ-9・10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク1点、剥片1点、磨製石斧破片1点、礫1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第506号土坑 (33・56・72・73図)

〔位置と確認〕 VII I・J-110・111に位置し、第Ⅲ層中でオリーブ黒色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸 2 m23cm、短軸 2 m8 cm、深さ63cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がり、凹凸のある部分もある。底面は平坦であるが、ほぼ中央に、

直径27cm、深さ6cmの小ピットが一個検出された。

〔堆積土〕 14層に分層した。ほとんどが黒色土で湿性が強く、全体的にしまりがない。炭化物・焼土の混入があり人為堆積と見られる。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-8、Ⅲ-9、Ⅲ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から石鏃2点、石筥1点、スクレイパー類4点、R.フレイク19点、U.フレイク7点、剥片30点、磨製石斧破片1点、半円状扁平製打製石器1点その他器種を特定できない礫石器の小破片2点、礫1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第507号土坑（33・57・73・81図）

〔位置と確認〕 VII E・F-102に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第470号土坑、第3739・3741・3749・3857～3859・3868・13307号ピット、第39号溝跡と重複し、第470号土坑、第3271・3272・3739・3741・3749・3857～3859・13307号ピット、第39号溝跡より古く、第3868号ピットより新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸1m72cm、短軸1m70cm、深さ79cmである。

〔壁・底面〕 壁はやや緩やかに立ち上がり、西側は中程に軽く段がつく。底面はほぼ平坦である。

〔堆積土〕 16層に分層した。褐色土を主体とし、上部は砂分を含む。全体的に炭化物・焼土の混入が見られ人為堆積の可能性が高いと考えられる。

〔出土遺物〕 第4層から、Ⅲ-3、Ⅲ-5、Ⅲ-10類土器、第11層からⅢ-8・9類土器が出土した。石器は堆積土から敲磨器類（凹主体）1点、敲磨器類（敲主体）1点、石棒1点が出土した。土製品は土偶が1点（81図18）出土している。胴部破片で、現存長約20cmを測り、これまで出土している土偶の中でも大きい部類に入る。脚部は裾状に広がり、自立が可能なつくりになっている。表裏面とも縄文が施文され、表面は地文縄文上に横位の沈線を配し、その上部には1条あるいは2条の垂下する沈線が描出される。接合面で上下に分かれて出土したもので、上部破片の接合面が突出し、下部が凹み、ソケット状の作りが見られる。また、破断面からは芯材となる粘土の外側にさらに粘土を貼り付けて成形した痕跡が観察される。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第509号土坑（33図）

〔位置と確認〕 VP-106に位置し、第Ⅲ層中でいぶい黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第31号かまどと重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸95cm、短軸67cm、深さ30cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第516号土坑 (33・74図)

〔位置と確認〕 V R - 104に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸が推定 1 m 5 cm、短軸68cm、深さ26cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から玉髓の原石 1 点、剥片 1 点、その他器種を特定できない礫石器の小破片 1 点が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第520号土坑 (34・457・74図)

〔位置と確認〕 VII I - 108に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 7 cm、短軸65cm、深さ24cmである。

〔壁・底面〕 壁はほぼまっすぐに立ち上がる。底面はやや凹凸がみられる。

〔堆積土〕 3層に分層した。全体に焼土、炭化物と第Ⅵ層（地山）土が混入しており、人為堆積の可能性が高いと考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ - 10、Ⅲ - 11類土器が出土した。石器は堆積土から剥片 1 点、敲磨器類（凹主体）1 点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉と考えられる。

第521号土坑 (34・57図)

〔位置と確認〕 VII I - 108に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第5959・5960号ピットと重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸96cm、短軸58cm、深さ24cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がり、やや凹凸が見られる。底面にもやや凹凸が見られる。

〔堆積土〕 4層に分層した。全体に第Ⅵ層（地山）土が混入しており、人為堆積の可能性が高いと考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ - 11類土器が出土した。石器は堆積土から剥片 1 点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第522号土坑 (34・57・74図)

〔位置と確認〕 VII I - 109に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第5735・5751号ピットと重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m 49cm、短軸 1 m 2 cm、深さ45cmである。

〔壁・底面〕 壁は緩やかに立ち上がり、やや凹凸が見られる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 6層に分層した。全体に炭化物と第Ⅵ層（地山）土が混入してお、人為堆積の可能性が

高いと考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-10・11類土器が出土した。石器は堆積土からスクレイパー類2点、R.フレイク5点、U.フレイク1点、剥片5点、その他器種を特定できない礫石器の小破片1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉と考えられる。

第523号土坑（34・57・74図）

〔位置と確認〕 VII H-108に位置し、第Ⅲ層中で不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第238号土坑と重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m37cm、短軸77cm、深さ45cmである。

〔壁・底面〕 壁はほぼ垂直に立ち上がる。南西側は削平されており、壁の残存状態はよくない。底面には緩やかな起伏が認められる。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-10、Ⅲ-10・Ⅳ-1類土器が出土した。石器は堆積土から石鏃1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

第541号土坑（34・58・59・74図）

〔位置と確認〕 V Q-101に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m8cm、短軸94cm、深さ39cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-4、Ⅱ-5-1、Ⅱ-6、Ⅲ-2類土器が出土した。石器は堆積土から敲磨器類（磨主体）1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期前葉（円筒上層b式期）と考えられる。

第547号土坑（34・59・79図）

〔位置と確認〕 VII J-109・110に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第6598号ピットと重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸75cm、短軸63cm、深さ50cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 6層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。出土したミニチュア土器（79図4）は球形で、口縁に1対の貫通孔を有する。2列の刺突列が口縁から垂下し、胴部から底部にかけては地文上に沈線による弧状の文様が施文される。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第555号土坑 (34・60図)

〔位置と確認〕 VII F-114に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第236号竪穴住居跡（縄文時代中期中葉）と重複し、本土坑の方が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、東側にトレンチが設定されているため長軸は不明である。短軸43cm、深さ5cmである。

〔壁・底面〕 壁面はゆるやかに立ち上がる。底面はやや凹凸がみられる。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 第1層上面からⅢ-9・10、Ⅲ-11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉と考えられる。

第557号土坑 (35・60図)

〔位置と確認〕 VII G-115に位置し、第238号住居跡の精査中に黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第238号住居跡（縄文時代中期後葉）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m、短軸87cm、深さ39cmである。

〔壁・底面〕 壁面は西側はゆるやかに立ち上がり、東側はやや垂直に立ち上がる。底面は東側に傾く。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-2、Ⅲ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からU.フレイク2点、剥片2点が出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係と出土土器から縄文時代中期末葉と考えられる。

第564号土坑 (35・61図)

〔位置と確認〕 V C-129・130に位置し、第169号住居跡の精査中に黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第169号住居跡（縄文時代中期中葉）と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m32cm、短軸88cm、深さ36cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-2、Ⅱ-5-2・Ⅲ-1、Ⅱ-6、Ⅲ-6、Ⅲ-11類土器が出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期中葉以前と考えられる。

第596号土坑 (35・61図)

〔位置と確認〕 VI D-84に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸77cm、短軸62cm、深さ21cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より段差を持って立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-1、Ⅲ-1、Ⅲ-3、Ⅲ-4類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク1点、剥片1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期前半と考えられる。

第647号土坑（35・62・74図）

〔位置と確認〕 ⅥR-84・85に位置し、第Ⅲ層中で円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第9082・9857号ピットと重複し、第9082号ピットより古く、第9857号ピットより新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸1m66cm、短軸1m59cm、深さ72cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面はすり鉢状である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-6、Ⅲ-9、Ⅲ-9・10、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土から敲磨器類（敲主体）が1点出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後～末葉以前と考えられる。

第648号土坑（35図）

〔位置と確認〕 ⅦB-86に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m32cm、短軸1m3cm、深さ74cmである。

〔壁・底面〕 壁は直線的に立ち上がり開口部付近で広がる形になっている。底面は中央部に向かってゆるやかに傾斜している。

〔堆積土〕 7層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第671号土坑（35図）

〔位置と確認〕 ⅤM-121に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第301号住居跡と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整円形で、規模は長軸97cm、短軸92cm、深さ40cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より段差をもって立ち上がる。底面は凹凸がある。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第672号土坑（36・62図）

〔位置と確認〕 ⅤH-122に位置し、第Ⅵ層上面で黒色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1m50cm、短軸1m29cm、深さ23cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 4層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 底面からⅢ－5・1類土器、堆積土からⅢ－4、Ⅲ－6、Ⅲ－8・9、Ⅲ－9類土器が出土した。また確認面で長さ38cmの礫が出土している。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第673号土坑（36・62図）

〔位置と確認〕 VI G－112に位置し、第Ⅲ層中でいぶい黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第435号住居跡（縄文時代中期末葉）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m40cm、短軸1m、深さ22cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は皿状である。

〔堆積土〕 4層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ－6、Ⅲ－9類土器が出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期末葉と考えられる。

第674号土坑（36・62図）

〔位置と確認〕 VI K－111に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第675号土坑、第368号住居跡（縄文時代中期中葉）、と重複し、第675号土坑より古く、第368号住居より新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸2m4cm、短軸1m24cm、深さ17cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面はやや凹凸がみられる。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ－5－1・Ⅱ－5－2、Ⅱ－6類土器が出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期中葉以降と考えられる。

第675号土坑（36・63図）

〔位置と確認〕 VI K－111に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第368号住居跡（縄文時代中期中葉）、第674号土坑と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸92cm、短軸66cm、深さ19cmである。

〔壁・底面〕 壁は南壁はゆるやかに、北壁は直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ－5－2・Ⅲ－1、Ⅲ－5類土器が出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期中葉以降と考えられる。

第677号土坑（36・63・64・75図）

〔位置と確認〕 VI L－115に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第371号住居跡（縄文時代中期初頭）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m35cm、短軸80cm、深さ54cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 6層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-5-1・2、Ⅱ-5-2・Ⅲ-1、Ⅲ-1、Ⅲ-1・2、Ⅲ-2、Ⅲ-4、Ⅲ-5類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期中葉（円筒上層e式期）と考えられる。

第678号土坑（36・64図）

〔位置と確認〕 VII I・J-118・119に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 規模は長軸 1 m22cm、深さ18cmである。東側が削平されているため短軸は不明である。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-5、Ⅲ-11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第679号土坑（37図）

〔位置と確認〕 VT-117に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第378号住居跡と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m94cm、短軸 1 m34cm、深さ13cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第680号土坑（37図）

〔位置と確認〕 VIB-117・118に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。

〔重複〕 第433号住居跡（縄文時代中期中葉）と重複し、新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕 深さ36cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は東側に傾斜している。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第682号土坑 (37図)

- 〔位置と確認〕 VI A-116に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。
- 〔重複〕 第378号住居跡（縄文時代前期）と重複し、本土坑が新しい。
- 〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1 m56cm、短軸1 m2 cm、深さ8 cmである。
- 〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。
- 〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。
- 〔出土遺物〕 なし。
- 〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第683号土坑 (37・75図)

- 〔位置と確認〕 VI L・M-112に位置し、第369号住居跡の精査中に円形の落ち込みを確認した。
- 〔重複〕 第369号住居跡（縄文時代中期前～中葉）の柱穴と重複し、本土坑が新しい。
- 〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸67cm、短軸58cm、深さ64cmである。
- 〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。
- 〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。
- 〔出土遺物〕 土坑内に完形土器が1点あり、土器内から敲磨器類（敲主体）1点が出土した。
- 〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。
- 〔その他〕 本遺構については、埋設土器とするには掘り込みが深すぎることから土坑として扱った。また、長軸8 m以上の第369号住居跡の柱穴中に位置していることから本来的には、第369号住居跡の柱穴内に実形土器を埋め置きしたものである可能性もある。

第685号土坑 (37・64・75図)

- 〔位置と確認〕 VII A-122・123に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。
- 〔重複〕 なし。
- 〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸1 m90cm、短軸1 m58cm、深さ98cmである。
- 〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。
- 〔堆積土〕 3層に分層した。暗褐色土を主体とする。
- 〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-6、Ⅲ-6類土器が出土した。石器は堆積土から敲磨器類（磨主体）1点が出土した。
- 〔時期〕 出土土器から縄文時代前～中期と考えられる。

第686号土坑 (38・64図)

- 〔位置と確認〕 VI D・E-123に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の不整形の落ち込みを確認した。
- 〔重複〕 なし。
- 〔平面形・規模〕 平面形は不整形で、規模は長軸1 m96cm、短軸1 m96cm、深さ62cmである。
- 〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がるが、段差を持つ部分やオーバーハングする部分もある。底面は平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-4、Ⅲ-6、Ⅲ-11類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第687号土坑（38・65・75図）

〔位置と確認〕 VI B・C-122に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は短軸1m72cm、深さ28cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦であり、深さ6cm前後の壁溝を伴う。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-2、Ⅱ-2・3、Ⅱ-3、Ⅱ-6類土器が出土した。石器は堆積土から半円状扁平打製石器1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代前期中葉と考えられる。

第688号土坑（38・65・75図）

〔位置と確認〕 VI T-122に位置し、第Ⅲ層中でいよいよ黄褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸2m5cm、短軸1m70cm、深さ1m15cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-2、Ⅱ-2・3、Ⅱ-5-2、Ⅱ-6類土器が出土した。石器は底面から敲磨器類（磨主体）1点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代前期と考えられる。

第689号土坑（38・65・76図）

〔位置と確認〕 VI D・E-124に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸76cm、短軸68cm、深さ21cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は西側に傾斜している。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。石器は底面から敲磨器類（敲主体）1点が出土した。

〔出土遺物〕 底面からⅡ-5-2、Ⅱ-6類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

第690号土坑（38・66・67・68・76・79図）

〔位置と確認〕 VI I-122・123に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第131号溝跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m95cm、短軸 1 m45cm、深さ43cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦であり、3個の小ピットを伴う。

〔堆積土〕 5層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 底面からⅢ-4類土器、堆積土からⅢ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-6、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からR.フレイク5点、U.フレイク3点、剥片5点、敲磨器類（磨主体）1点、石皿・台石類1点が出土した。出土した土偶（79図5）は頭部を欠損し、長さは7.8cmを測る。沈線による文様が描かれている。口と胸・脚の部分から3つの孔が穿孔されているが、いずれも未貫通である。

〔時期〕 底面出土土器から縄文時代中期中葉（円筒上層d式期）と考えられる。

第691号土坑（39・68図）

〔位置と確認〕 VA-120に位置し、第Ⅲ層中で黒色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m9cm、短軸 1 m5cm、深さ30cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-6、Ⅲ-9類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期後葉以前と考えられる。

第692号土坑（39図）

〔位置と確認〕 VM-120に位置し、第292号住居跡を精査中に黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第292号住居跡（縄文時代中期前葉）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m99cm、短軸95cm、深さ34cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期前葉以降と考えられる。

第693号土坑（39図）

〔位置と確認〕 IV S-122に位置し、第326号住居跡を精査中に、褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第326号住居跡（縄文時代）と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸62cm、短軸37cm、深さ11cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代と考えられる。

第702号土坑 (39図)

〔位置と確認〕 VB-122に位置し、第317号住居跡を精査中に、暗褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第317号住居跡（縄文時代）と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m14cm、短軸1m3cm、深さ28cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代と考えられる。

第703号土坑 (39・68図)

〔位置と確認〕 VIL-132に位置し、第Ⅲ層中で楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第362号住居跡（縄文時代前期末葉～中期初頭）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸81cm、短軸55cm、深さ46cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-6類土器が出土した。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期と考えられる。

第705号土坑 (39・77・78図)

〔位置と確認〕 VIG-88に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第287・387号住居跡（縄文時代前期末葉）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸71cm、短軸69cm、深さ50cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土からスクレイパー類1点、剥片1点、石皿・台石類2点が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第706号土坑 (40図)

〔位置と確認〕 VIF-93に位置し、第461号住居跡の精査中に褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第461号住居跡（縄文時代中期）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸83cm、短軸74cm、深さ50cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 2層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係と堆積土から縄文時代中期と考えられる。

第711号土坑（40図）

〔位置と確認〕 VM-120に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第301号住居跡（縄文時代中期中葉）と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 遺構の重複のため平面形は不明であり、深さは48cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 5層に分層した。褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代中期中葉以前と考えられる。

第714号土坑（40・68図）

〔位置と確認〕 VT-78に位置し、第Ⅲ層中で円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は円形で、規模は長軸92cm、短軸87cm、深さ67cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりほぼ垂直に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 不明である。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-3、Ⅱ-6、Ⅲ-3、Ⅲ-4、Ⅲ-8類土器が出土した。石器は堆積土からその他器種を特定できない礫石器の小破片1点が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第715号土坑（40図）

〔位置と確認〕 VK-119・120に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第339号住居跡（縄文時代前期末葉）と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m38cm、短軸残存部分1m13cm、深さ34cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面はやや起伏がみられる。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構の重複関係から縄文時代前期末葉以降と考えられる。

第716号土坑（40・68図）

〔位置と確認〕 VL-110・111に位置し、第Ⅲ層中で黄褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸1m15cm、短軸59cm、深さ35cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面はやや凹凸がみられる。

〔堆積土〕 4層に分層した。黄褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅡ-6、Ⅲ-2・3類土器が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第718号土坑（40図）

〔位置と確認〕 V I・J-114に位置し、第Ⅵ層上面で黒色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸 1 m44cm、短軸 1 m13cm、深さ58cmである。

〔壁・底面〕 壁の断面形はフラスコ状である。底面は凹凸がみられる。

〔堆積土〕 1層である。黒色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土からスクレイパー類1点、剥片1点が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第723号土坑（42図）

〔位置と確認〕 V I D-116・117に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第519号住居跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は重複のため不明である。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第724号土坑（42図）

〔位置と確認〕 V I E-111に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第557・560号住居跡と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第725号土坑（42図）

〔位置と確認〕 V I E-111に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第560号住居跡と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある不整形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第733号土坑（41図）

〔位置と確認〕 V I J-82に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、規模は長軸82cm、短軸63cm、深さ38cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面は平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 石器は堆積土から剥片1点が出土した。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第735号土坑（42図）

〔位置と確認〕 VI F・G-112に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第559号住居跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は東西に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第736号土坑（41図）

〔位置と確認〕 VI A・B-89・90に位置し、第Ⅲ層中で暗褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第297号埋設土器と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形で、短軸154cm、深さ8cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面はやや凹凸があり、深さ8cmの壁溝を伴う。

〔堆積土〕 2層に分層した。暗褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第737号土坑（42図）

〔位置と確認〕 VI B-115に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第499号住居跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は北西～南東方向に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第738号土坑（42図）

〔位置と確認〕 VI A・B-116に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第499・501号住居跡より古く、第503号住居跡より新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は北西～南東方向に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第739号土坑 (42図)

〔位置と確認〕 VI C-116に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第500・505号住居跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は南北方向に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第740号土坑 (42図)

〔位置と確認〕 VI D・E-116・117に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第505号住居跡・第746号土坑と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は南北方向に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第741号土坑 (42図)

〔位置と確認〕 VI E-116に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は東西方向に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第742号土坑 (42図)

〔位置と確認〕 VI D-118に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第568号住居跡より新しく、第512号住居跡と新旧不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は北西～南東方向に長軸を持つ楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第745号土坑 (41・69・78図)

〔位置と確認〕 VI K・L-81・82に位置し、第Ⅲ層中で褐色土の楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形はやや不整な楕円形で、規模は長軸97cm、短軸75cm、深さ34cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は搦鉢状である。

〔堆積土〕 3層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 堆積土からⅢ-2、Ⅲ-6、Ⅲ-11類土器が出土した。石器は堆積土からスクレイパー類2点が出土した。

〔時期〕 出土土器から縄文時代中期と考えられる。

第746号土坑（42図）

〔位置と確認〕 VI D-117に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第508・509号住居跡・第740号土坑と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は北西～南東方向に長軸のある不整形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第747号土坑（42図）

〔位置と確認〕 VI H-120に位置し、南盛土トレンチ内で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 トレンチ内での確認のため、平面形は不明である。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第748号土坑（42図）

〔位置と確認〕 VI G-120に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため、確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第540号住居跡と重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は南北に長軸のある不整形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第749号土坑（41図）

〔位置と確認〕 VIM・N-118に位置し、南盛土のトレンチの土層断面で落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 断面での確認のため、平面形は不明であるが、深さ30cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は凹凸である。

〔堆積土〕 5層に分層した。にぶい黄褐色土を主体とする。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第750号土坑（42図）

〔位置と確認〕 VI F-117・118に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため、確認のみで精査は行っていない。

〔重複〕 第517号住居跡と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は南北に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

第751号土坑 (41図)

〔位置と確認〕 VIH・I-86に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の不整楕円形の落ち込みを確認した。

〔重複〕 なし。

〔平面形・規模〕 平面形は不整楕円形で、規模は長軸2m67cm、短軸74cm、深さ41cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面よりゆるやかに立ち上がる。底面は平坦であり、4個のピットを伴う。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第753号土坑 (41図)

〔位置と確認〕 VI O-120に位置し、第Ⅲ層中で黒褐色土の落ち込みを確認した。

〔重複〕 第13689号ピットと重複し、本土坑が古い。

〔平面形・規模〕 平面形は楕円形と考えられ、規模は短軸90cm、深さ17cmである。

〔壁・底面〕 壁は底面より直線的に立ち上がる。底面はおおむね平坦である。

〔堆積土〕 1層である。黒褐色土を主体とする。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 確認層位と堆積土から縄文時代と考えられる。

第1250号土坑 (42図)

〔位置と確認〕 VII-113に位置し、第Ⅲ層中で落ち込みを確認した。保存のため確認のみで精査は行ってない。

〔重複〕 第496・537号住居跡と重複し、本土坑が新しい。

〔平面形・規模〕 平面形は北西～南東方向に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため精査は不明である。

第1251号土坑 (42図)

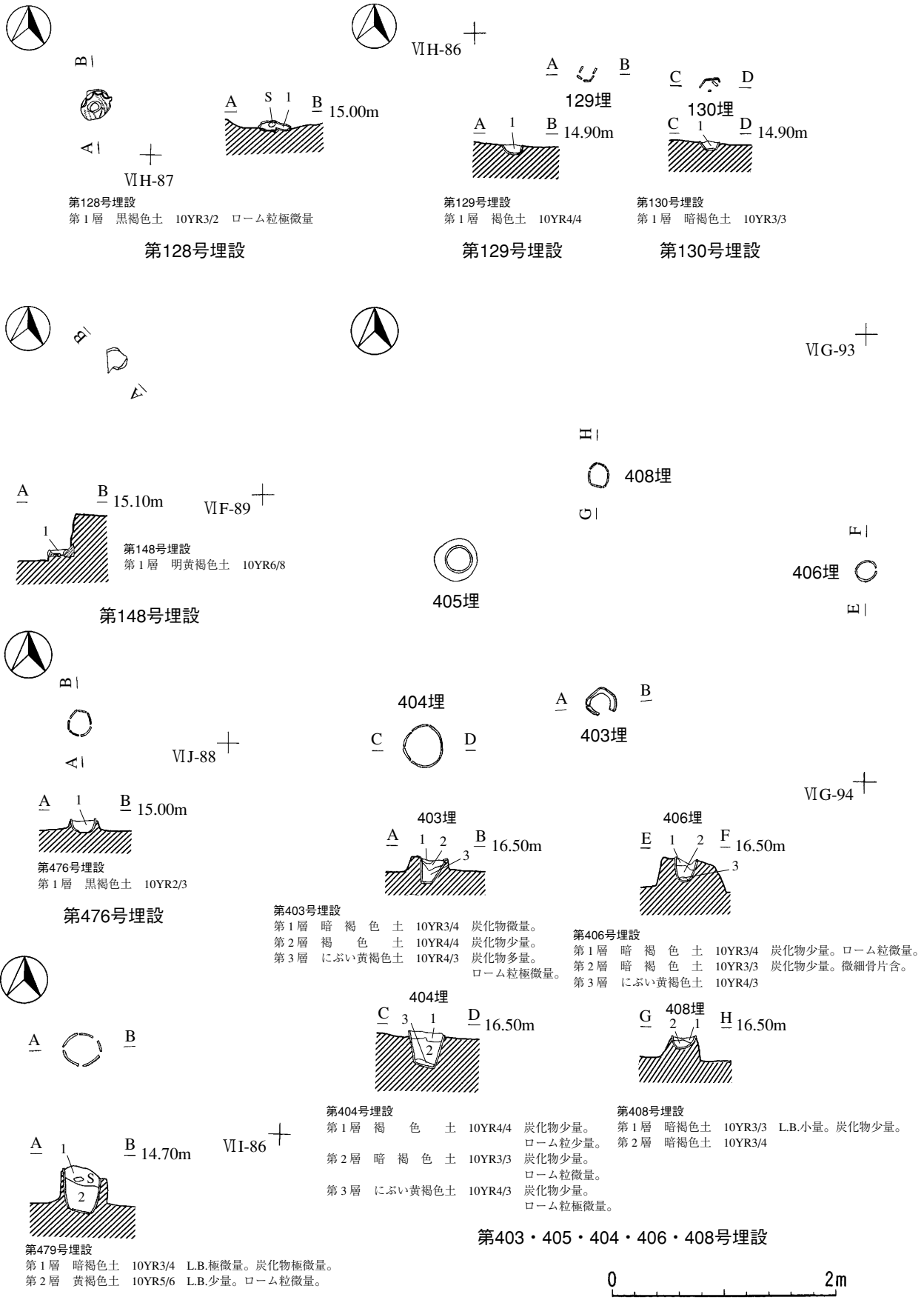
〔位置と確認〕 VI E-118に位置し、第Ⅲ層上面で落ち込みを確認した。保存のため精査は行ってない。

〔重複〕 第439号住居跡より古く、第568号住居跡より新しく、第512号住居跡と新旧不明である。

〔平面形・規模〕 平面形は南北方向に長軸のある楕円形と考えられる。

〔時期〕 確認層位などから縄文時代であるが、精査を行っていないため詳細は不明である。

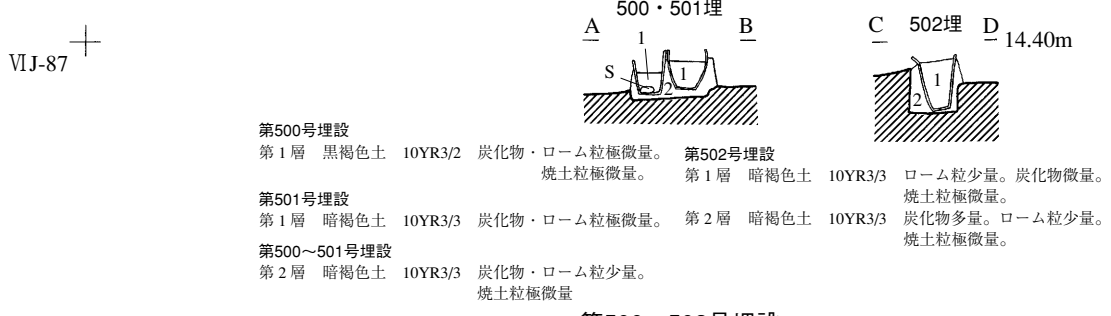
(岡田康博・成田悟・木村真明・長瀬昇・中村美杉・齋藤岳・工藤直樹・小笠原雅行・中村哲也・秦光次郎。土器は秦光次郎、石器は齋藤岳、土・石製品は田中珠美)



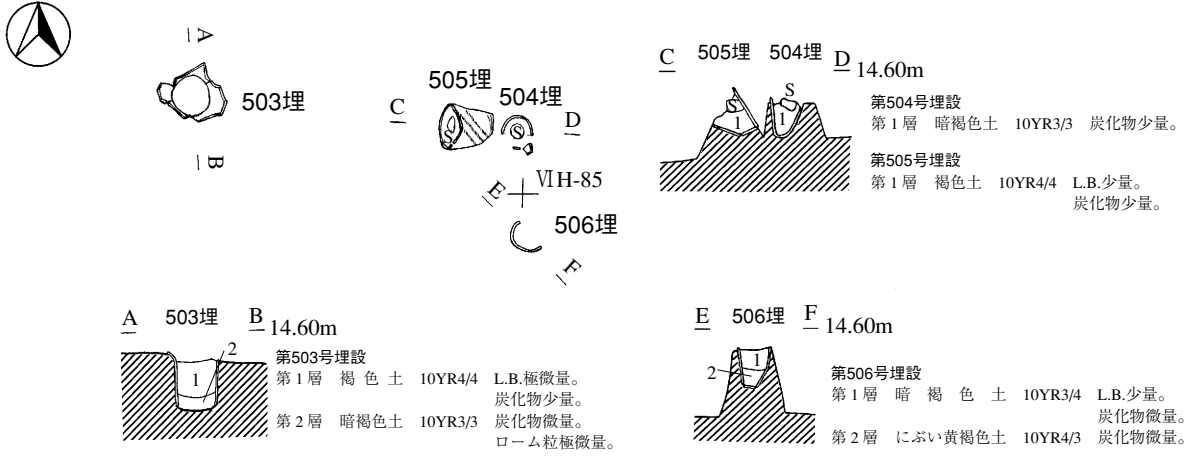
1 図 第128~130・148・403・404・405・406・408・476・479号埋設土器遺構



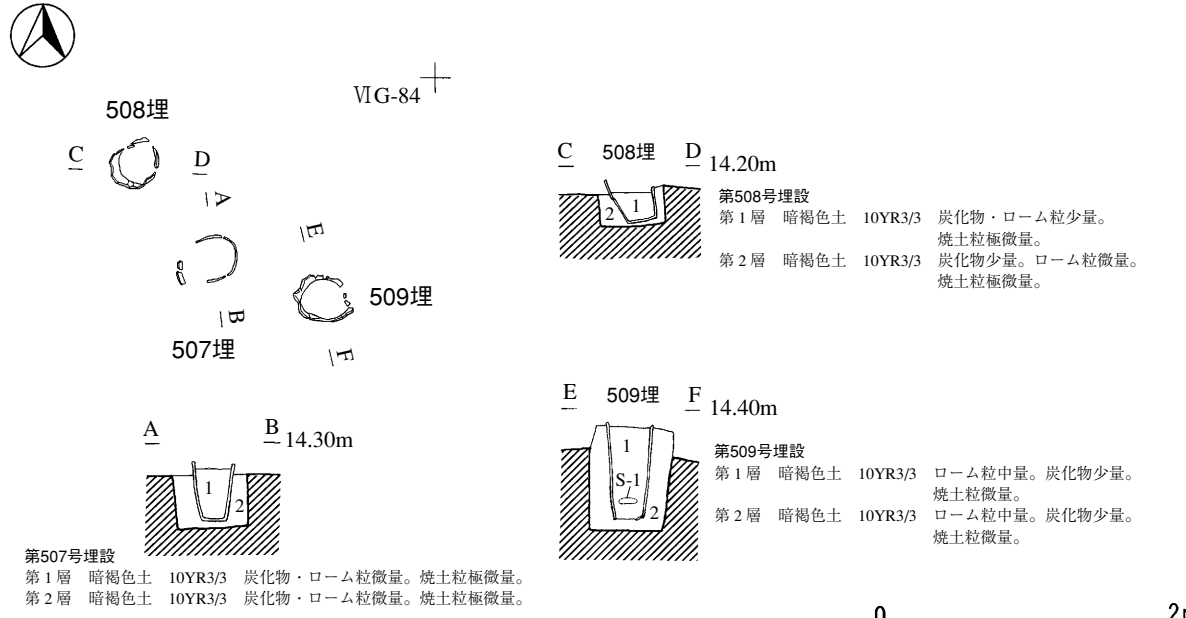
第499号埋設



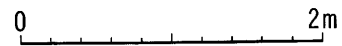
第500~502号埋設



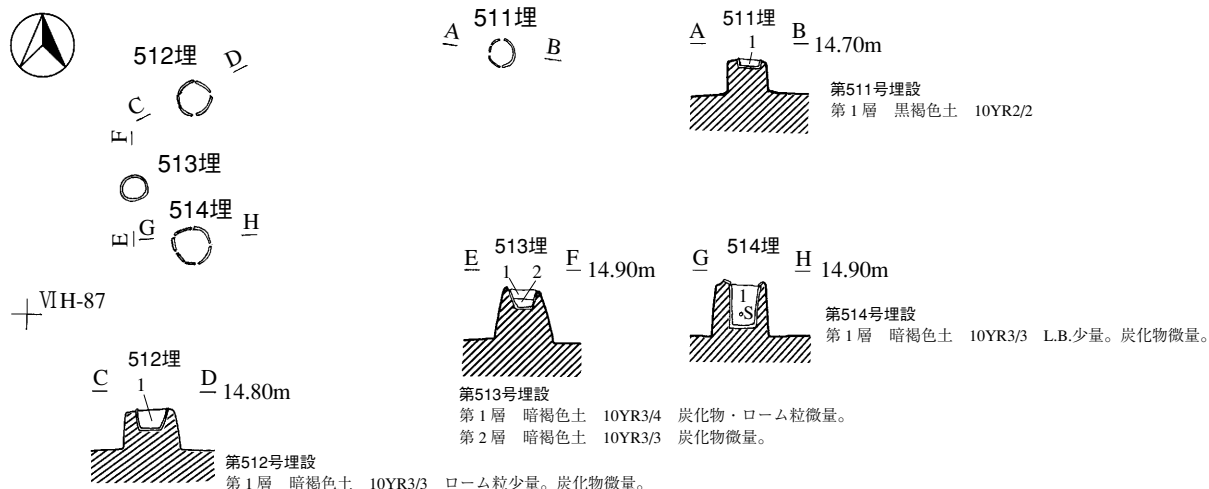
第503~506号埋設



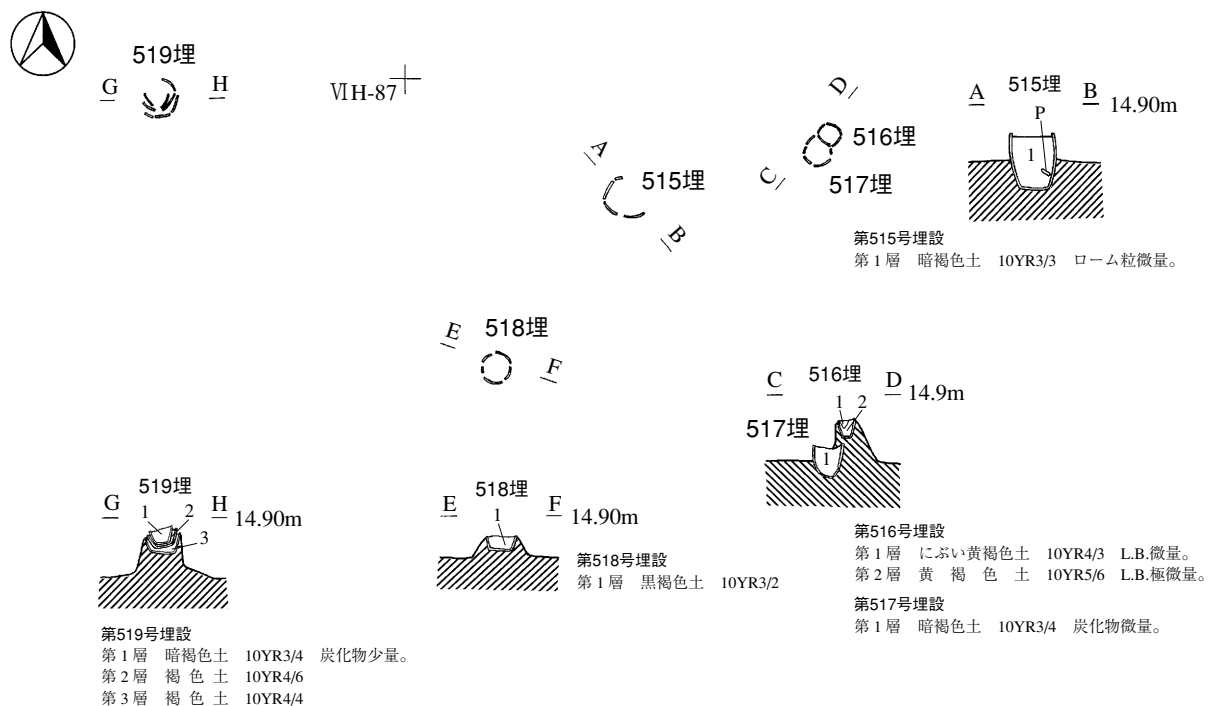
第507~509号埋設



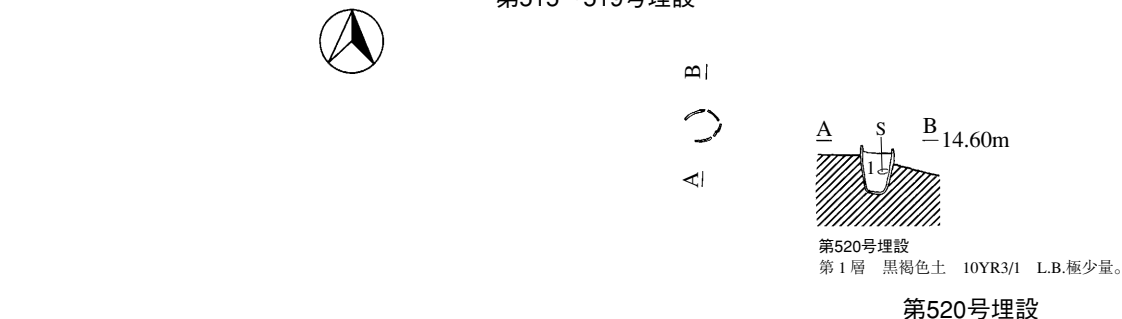
2 図 第499~509号埋設土器遺構



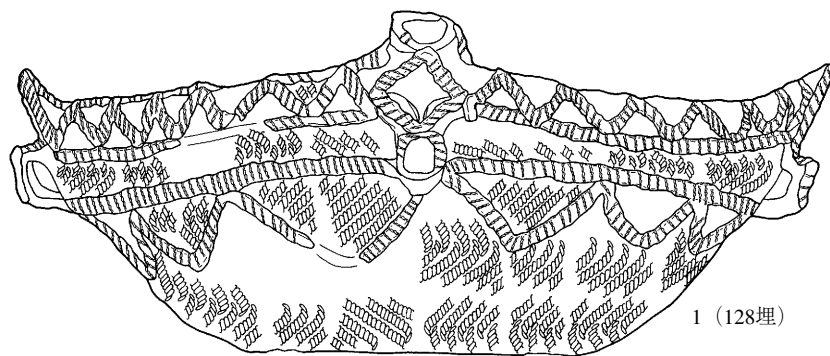
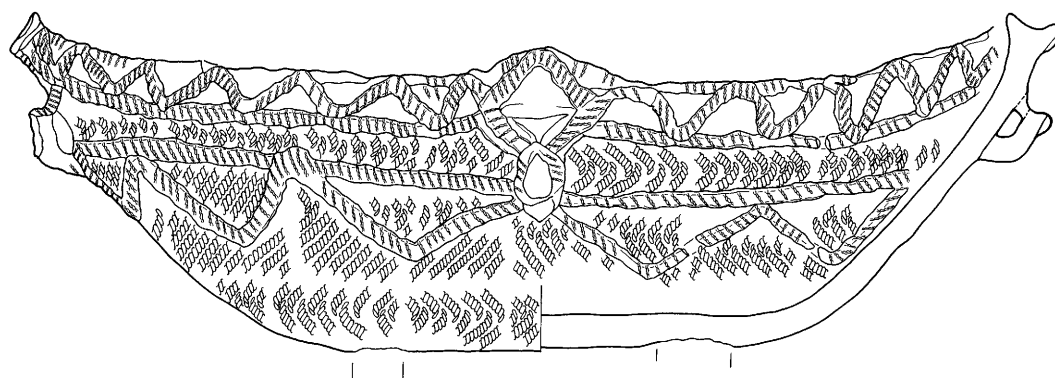
第511～514号埋設



第515～519号埋設

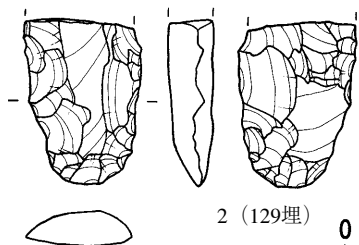


3 図 第511～520号埋設土器遺構



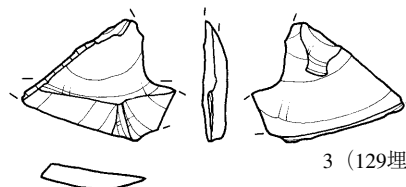
1 (128埋)

0 10cm

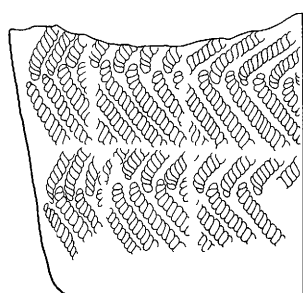


2 (129埋)

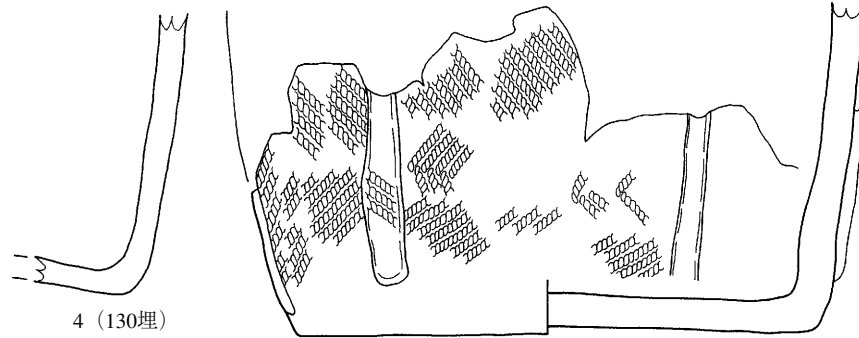
0 5cm



3 (129埋)



4 (130埋)



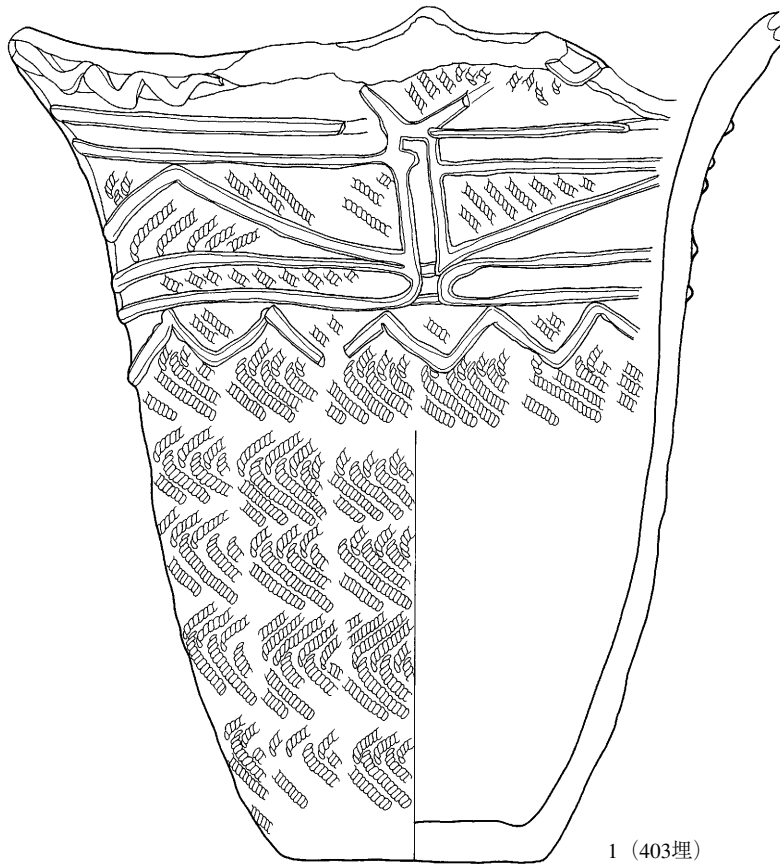
5 (148埋)

0 10cm

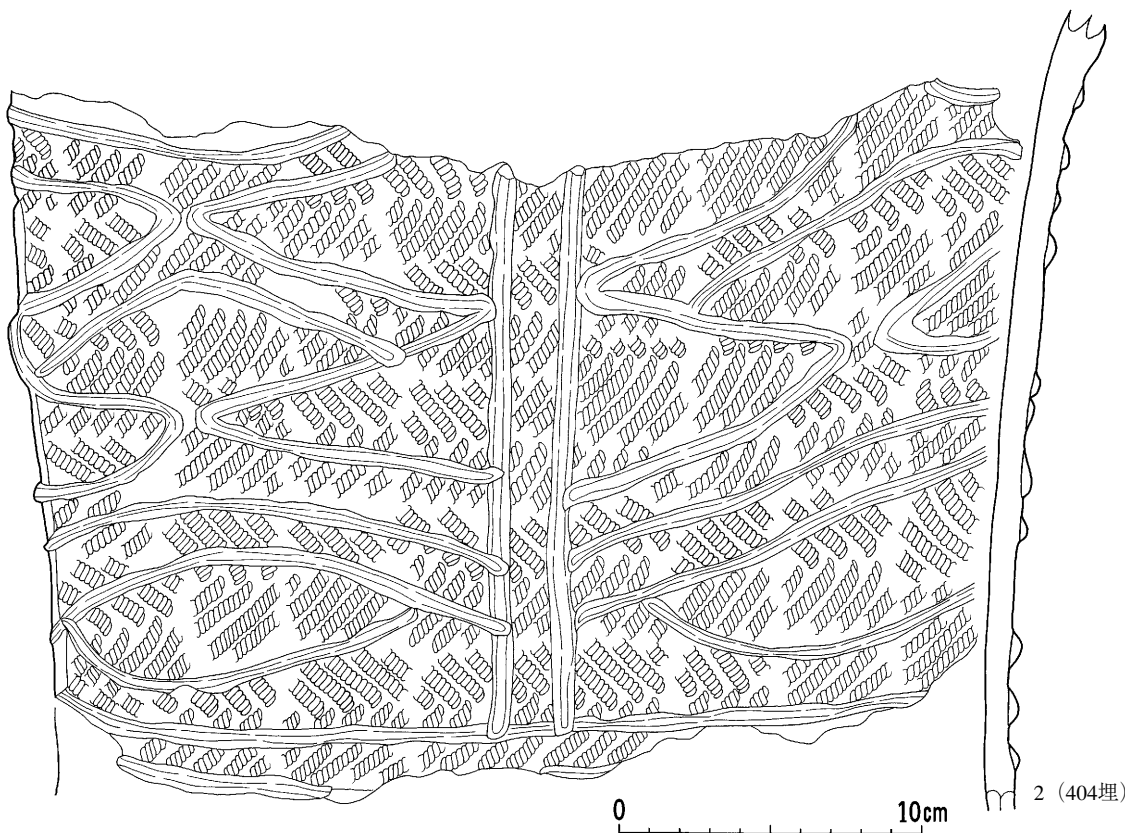
番号	出土地点	外面文様			内面調整	底面	分類	備考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	128埋	貼付(L押)、結束第1種(LR・RL)	貼付(L押)、結束第1種(LR・RL)	貼付(L押)、結束第1種(LR・RL)	ミガキ	台付	Ⅲ-4		650
4	130埋			結束第1種(LR・RL)		ミガキ	Ⅲ-6	繊維混入	651
5	148埋			貼付、結束第1種(LR・RL)	ミガキ	ミガキ	Ⅲ-4	炭化物付着(内面)	6434

番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石質	分類	備考	整理番号
2	129埋	堆積土	(33)	(23)	(9)	(7.4)	珪頁	Ga		49511
3	〃	〃	(24)	(30)	15	(2.2)	〃	Pc		49512

4 図 第128~130号埋設土器・出土遺物



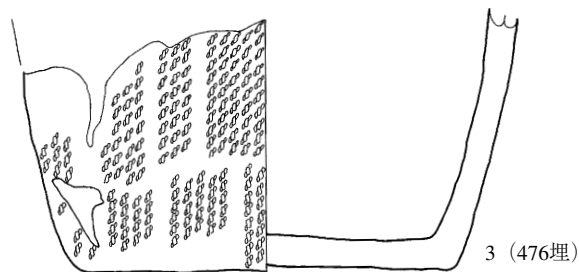
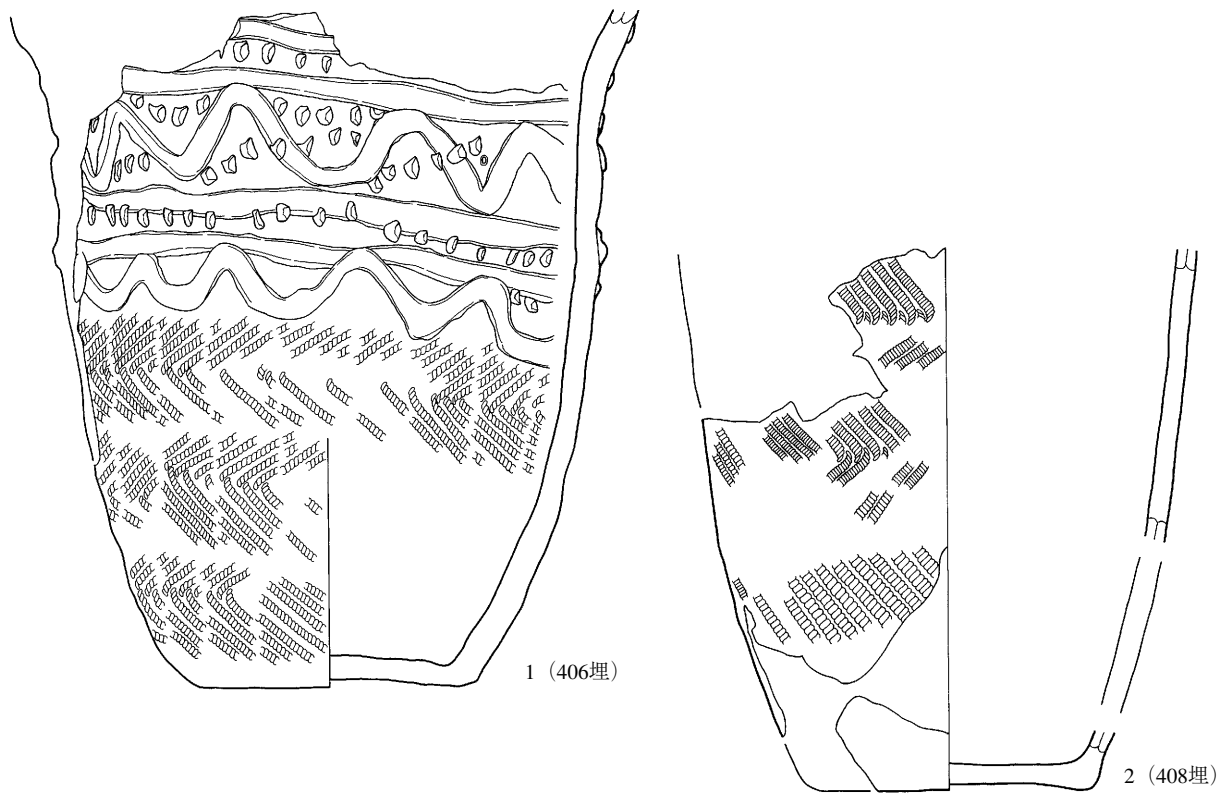
1 (403埋)



2 (404埋)

番号	出土地点	外面文様			内面調整	底面	分類	備考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	403埋	貼付、結束第1種 (LR・RL)	貼付、結束第1種 (LR・RL)	結束第1種 (LR・RL)	ミガキ		Ⅲ-4		829
2	404埋		〃		〃		〃		830

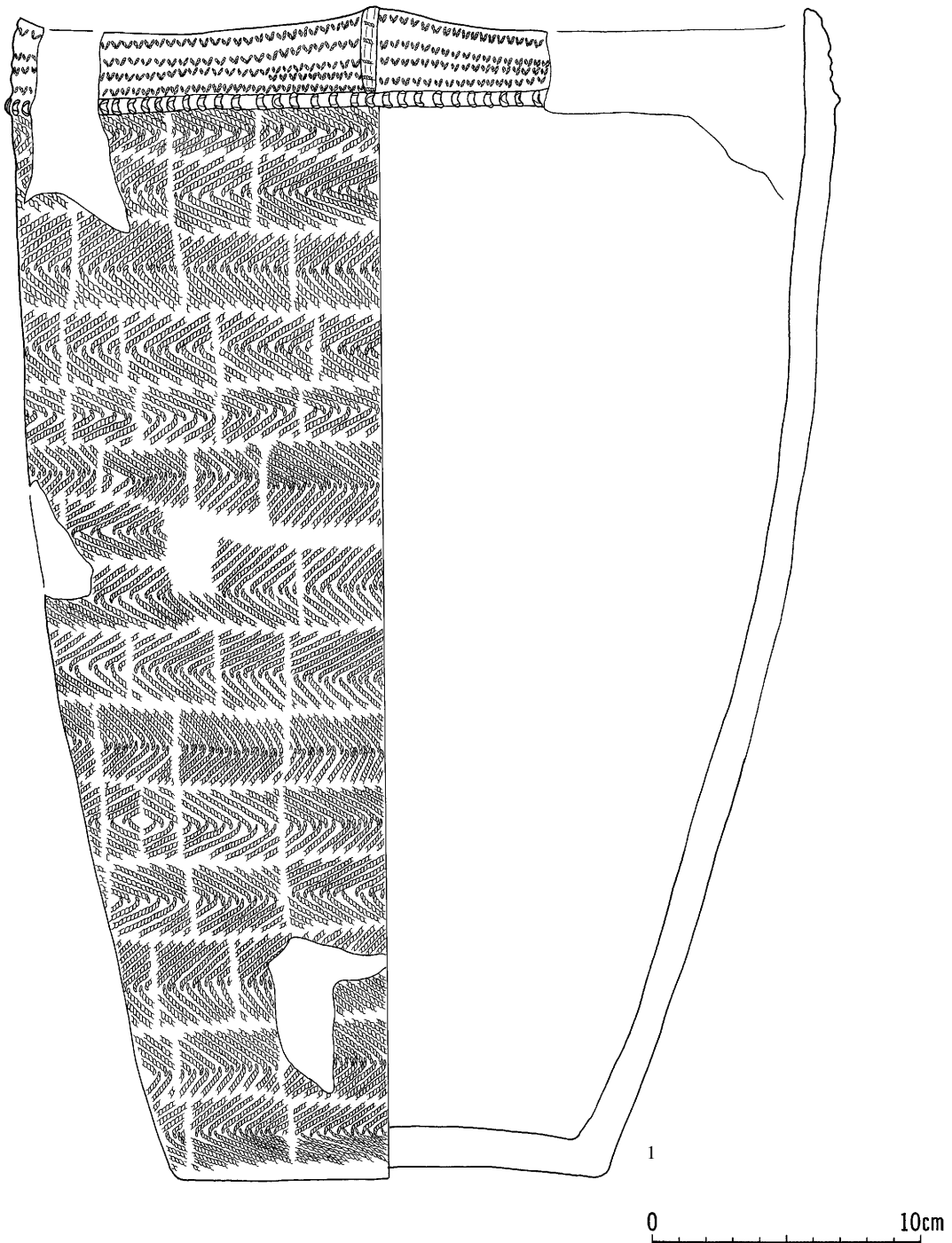
5 図 第403~404号埋設土器



0 10cm

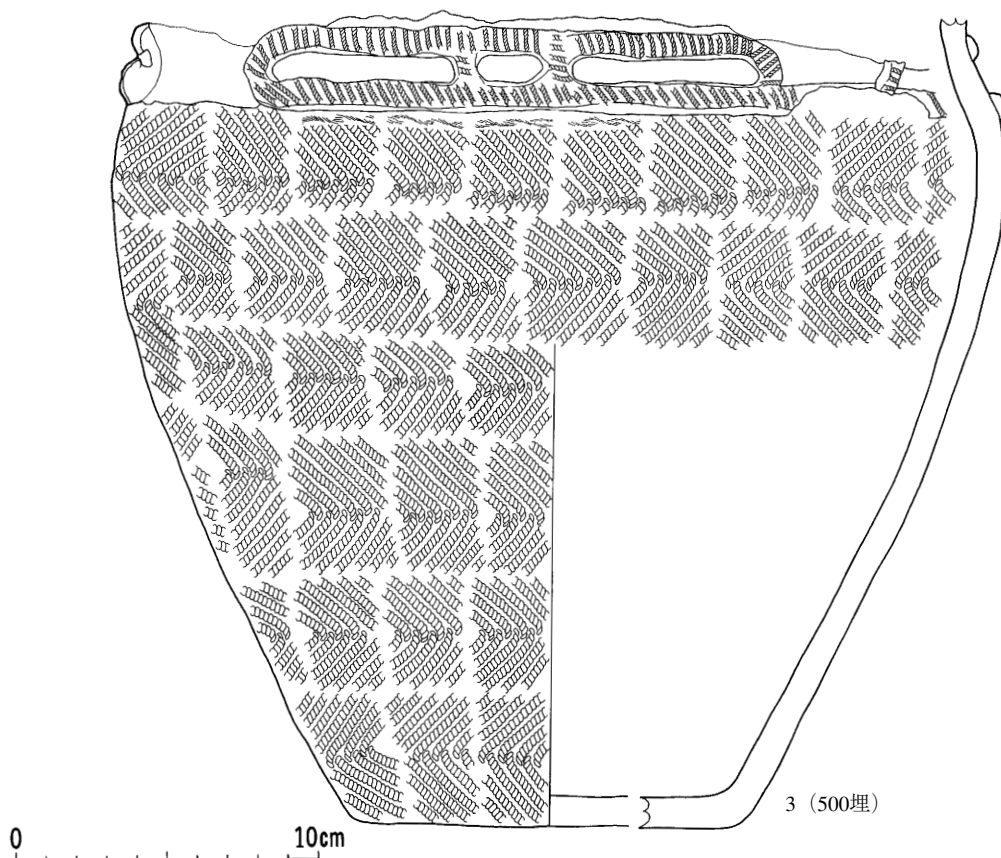
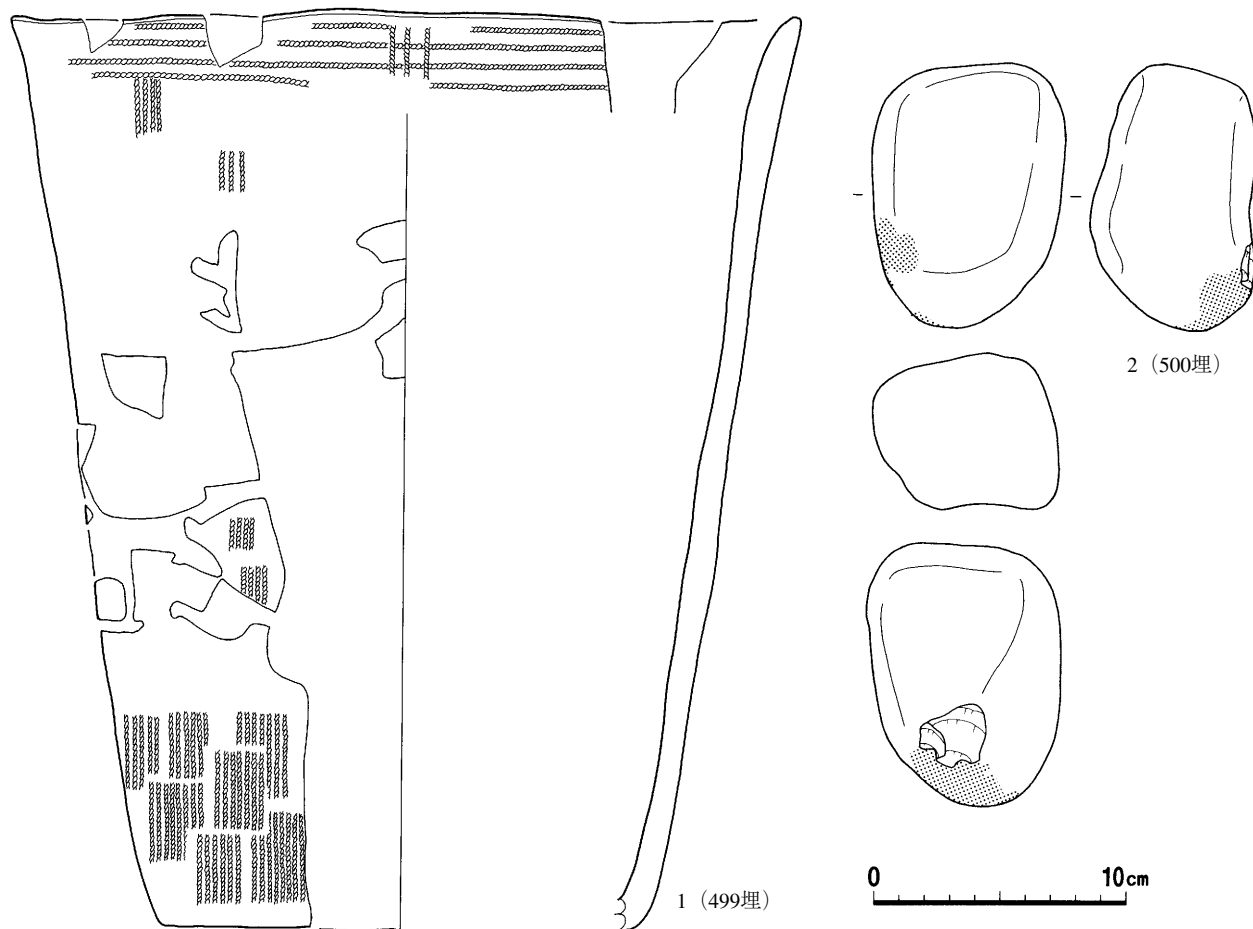
番号	出土地点	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	406埋	貼付、刺突	貼付、結束第1種 (LR・RL)	結束第1種 (LR・RL)	ミガキ		Ⅲ-3	炭化物付着 (内面)	832
2	408埋		結束第1種 (LR・RL)	〃	〃	ミガキ	Ⅲ-6		6065
3	476埋			LR単絡1		〃	Ⅱ-6	繊維混入	880

6 図 第406・408・476号埋設土器



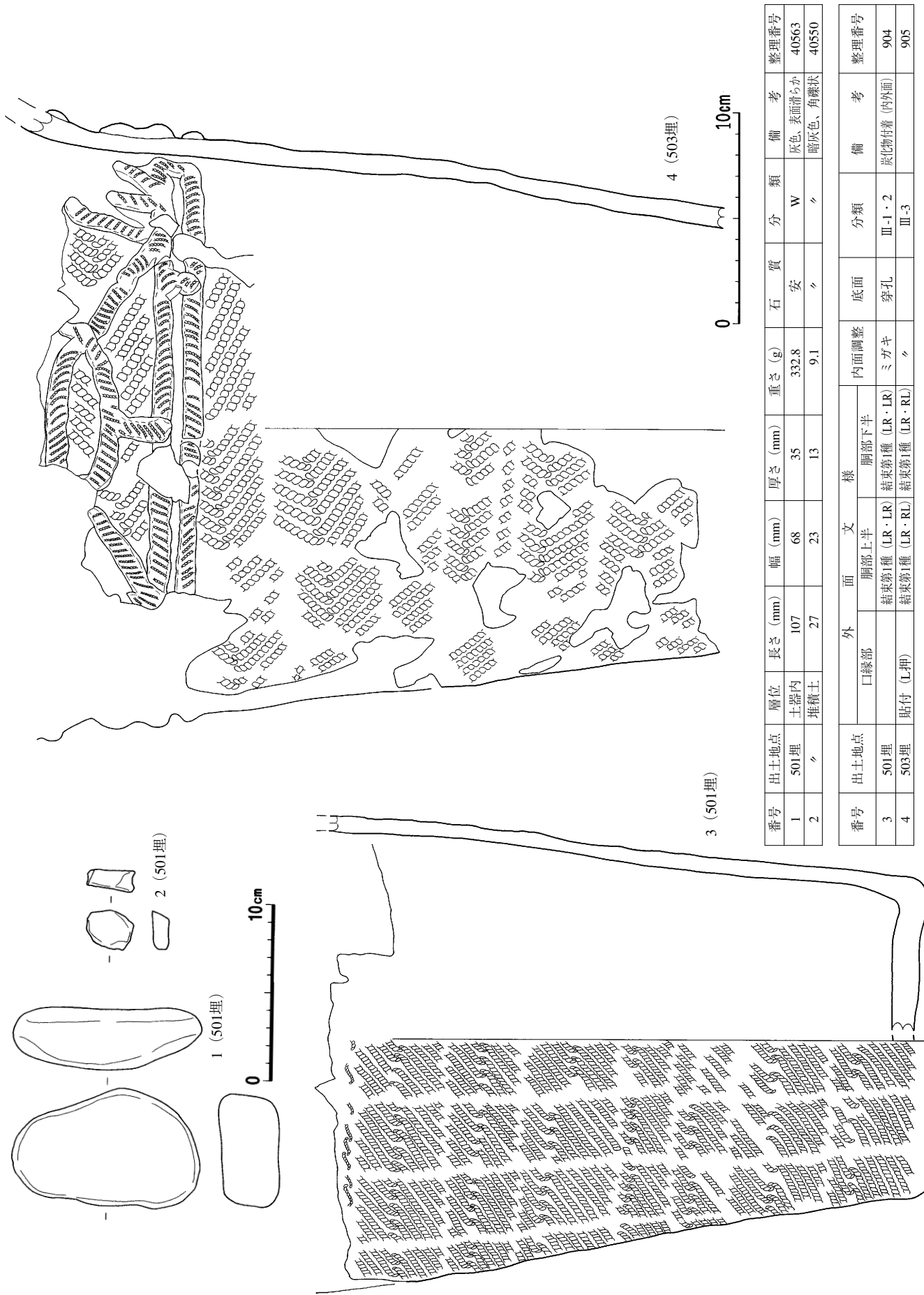
番号	出土地点	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	479埋	貼付 (L単結1押、刺突、L単結1押)	結束第1種 (LR・RL)	結束第1種 (LR・RL)	ミガキ	ミガキ	II-5-1	繊維混入	881

7 図 第479号埋設土器



番号	出土地点	外面文様			内面調整	底面	分類	備考	整理番号	
		口縁部	胴部上半	胴部下半						
1	499埋	R押	L単絡1	L単絡1			II-5-1	繊維混入	901	
3	500埋	貼付 (L押)	結束第1種 (LR・RL)	結束第1種 (LR・RL)	ミガキ		III-3	炭化物付着 (内面)	903	
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
2	500埋	土器内	106	76	65	730.6	頁	Ib	灰色色、表面極めてなめらか、多孔質	49892

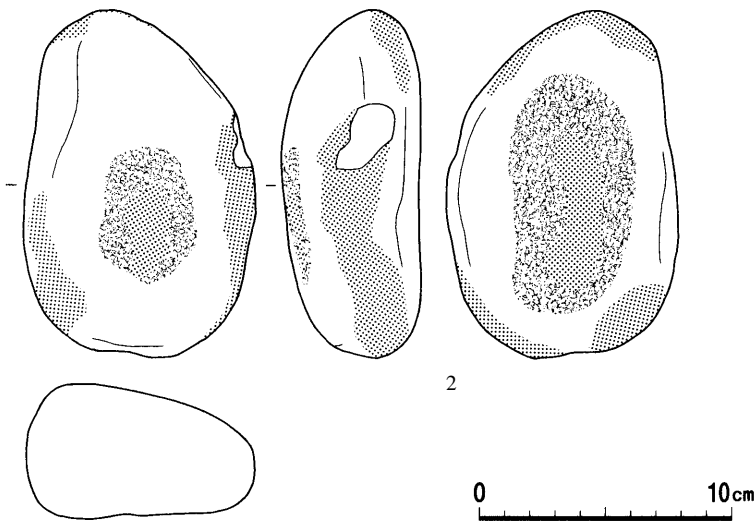
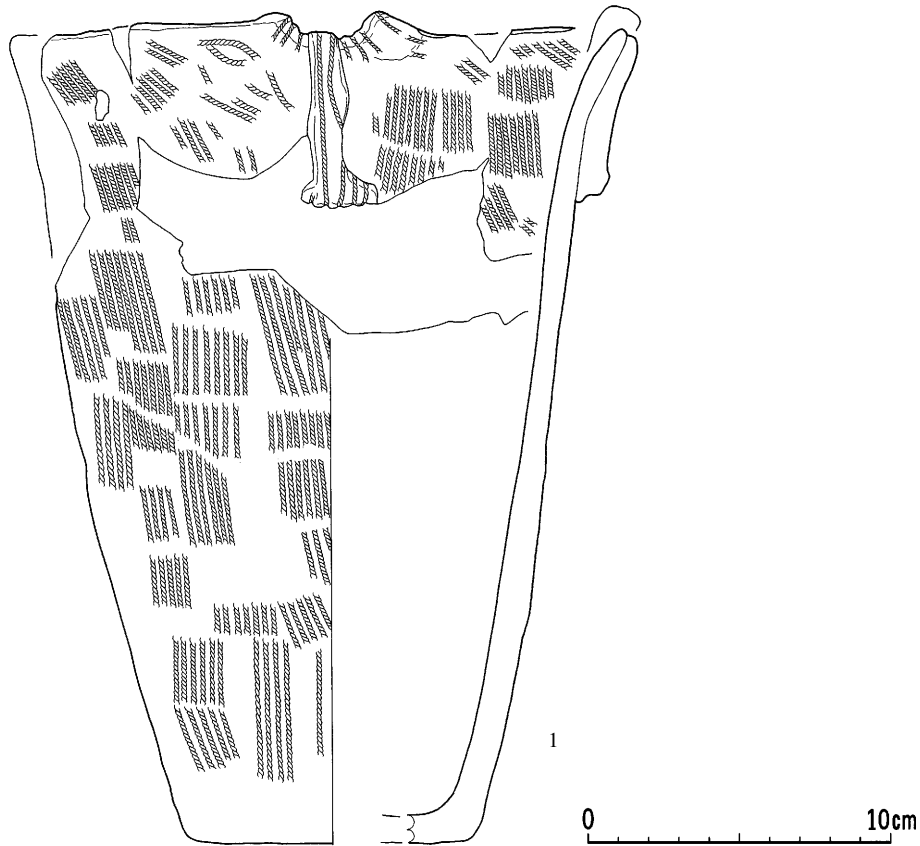
8 図 第499・500号埋設土器・出土遺物



番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	501埋	土器内	107	68	35	332.8	安	W	灰色、表面滑らか	40563
2	〃	堆積土	27	23	13	9.1	〃	〃	暗灰色、角礫状	40550

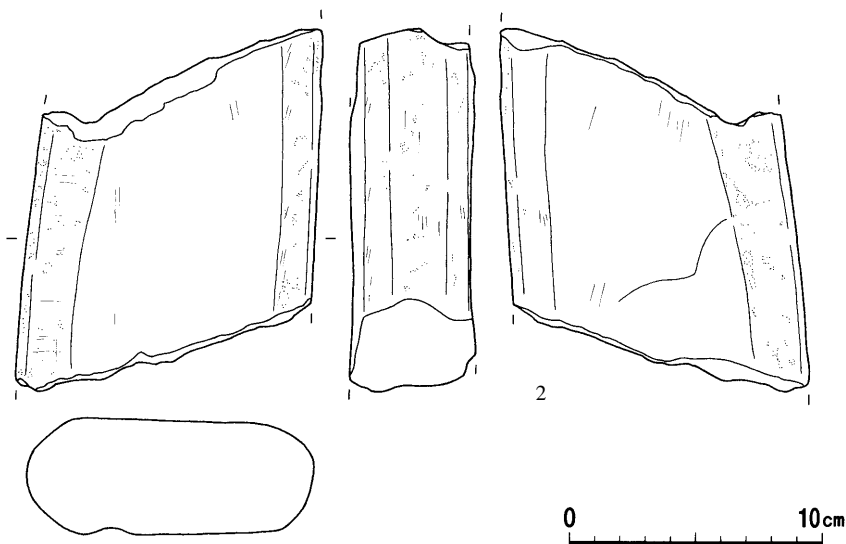
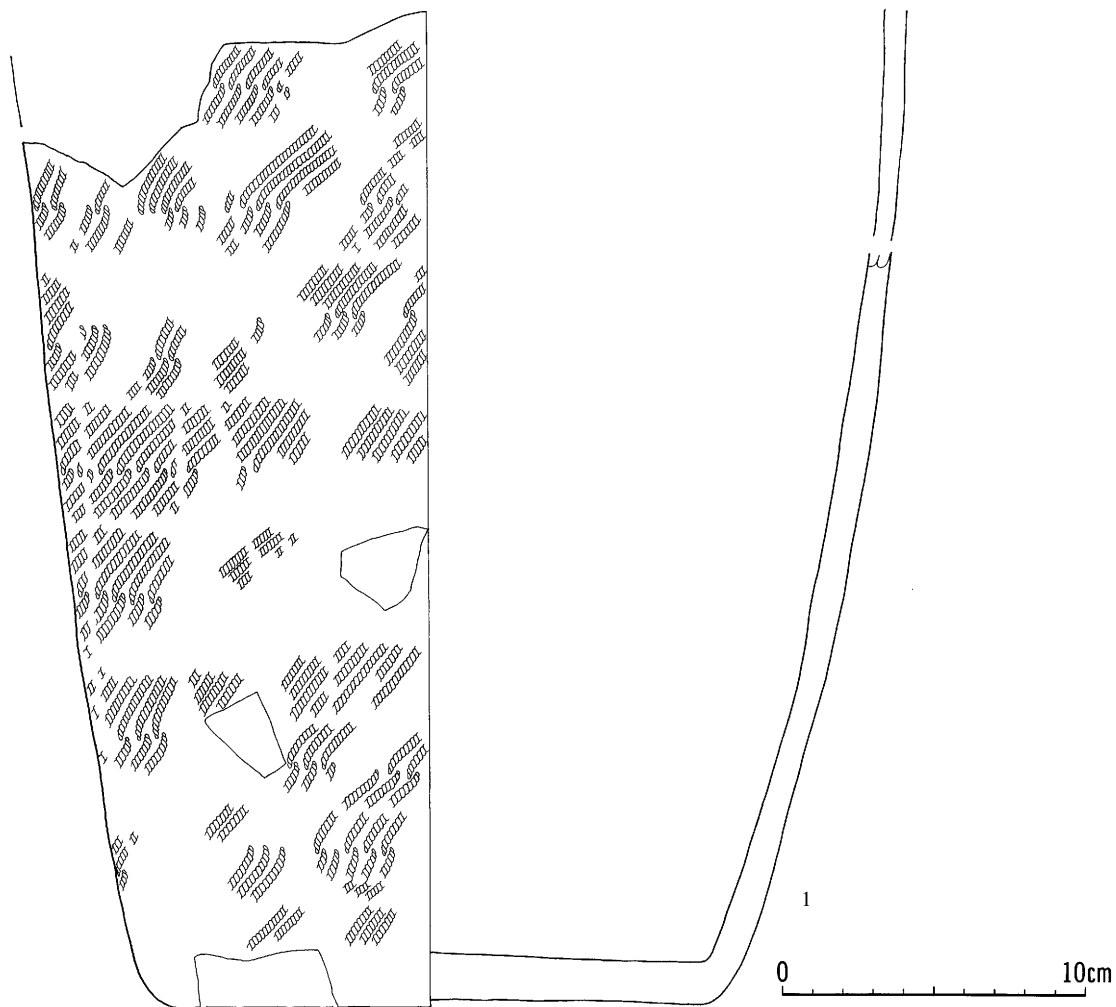
番号	出土地点	外面			内面調整			底面	分類	備考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半	内面調整	底面	分類				
3	501埋		結束第1種 (LR・LR)	結束第1種 (LR・LR)	結束第1種 (LR・LR)	ミガキ	穿孔	Ⅲ-1・2	炭化物附着 (内外面)	904	
4	503埋	貼付 (L押)	結束第1種 (LR・RL)	結束第1種 (LR・RL)	〃	〃	〃	Ⅲ-3		905	

9 図 第501・503号埋設土器・出土遺物



番号	出土地点	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考	整理番号	
		口縁部	胴部上半	胴部下半						
1	504埋	貼付 (R押)、R単絡1	R単絡1	R単絡1	ミガキ	ミガキ	II-5-2	繊維混入	906	
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	分 類	備 考	整理番号
2	504埋	土器内	138	91	55	975.8	安	Ib	灰色	53418

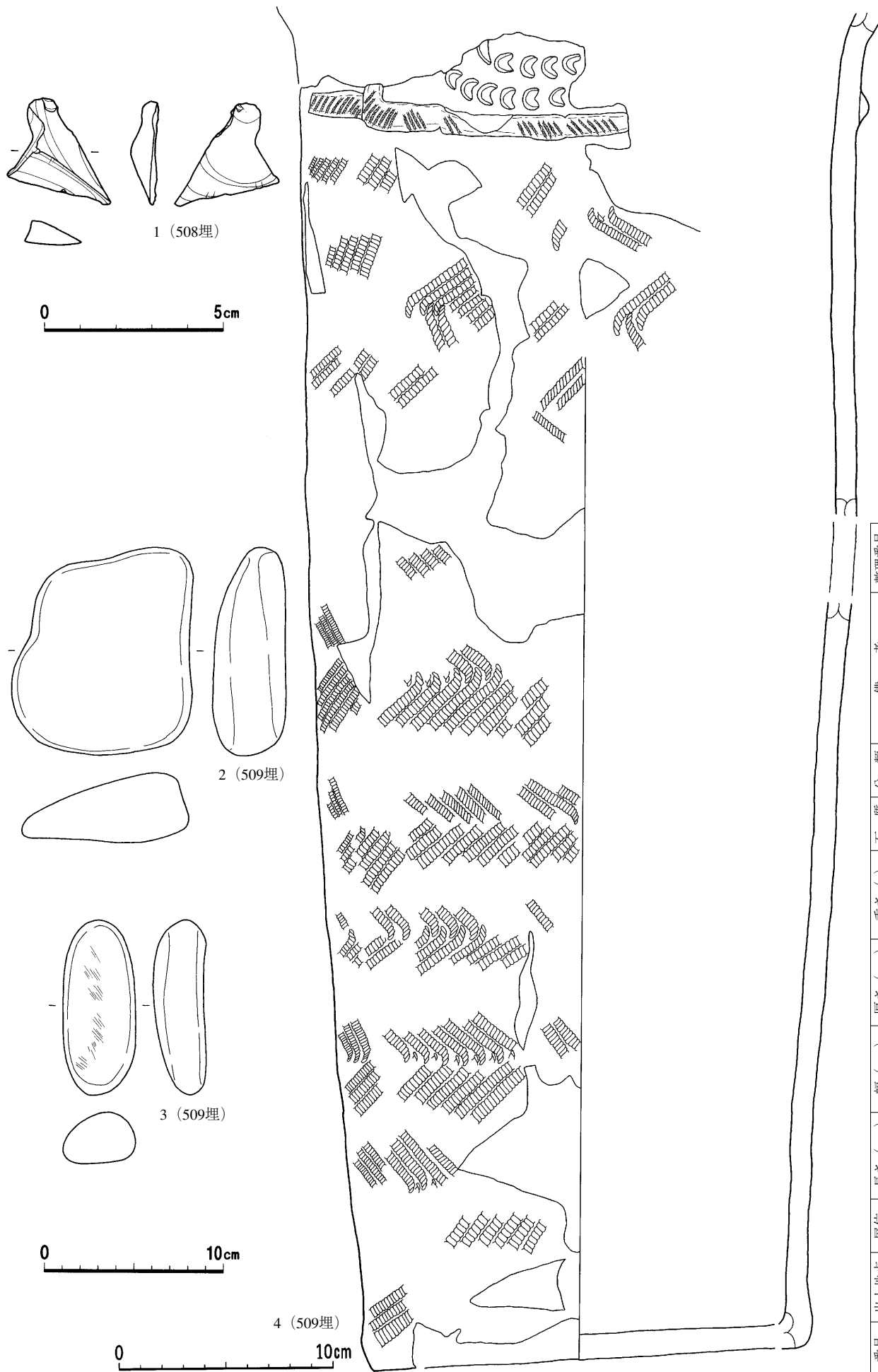
10図 第504号埋設土器・出土遺構



番号	出土地点	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	505埋		結束第1種 (LR・LR)	結束第1種 (LR・LR)	化粧粘土	ミガキ	Ⅲ-1・2		907

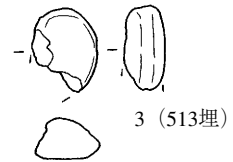
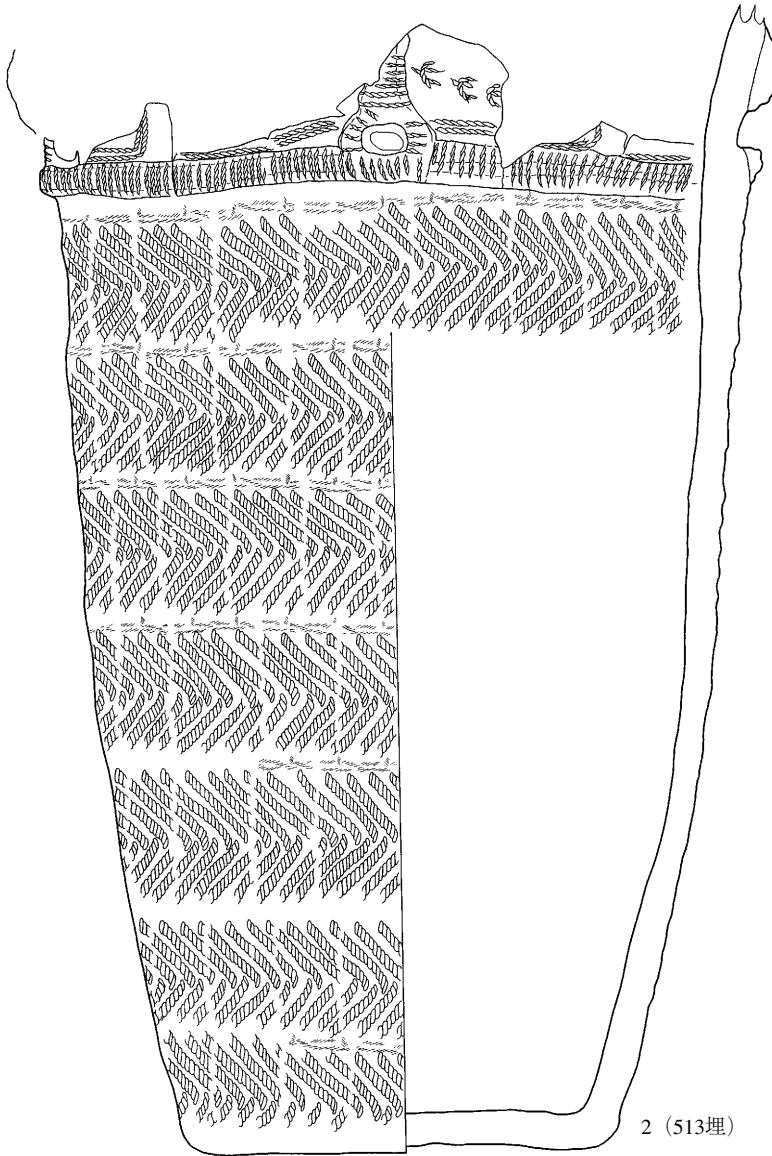
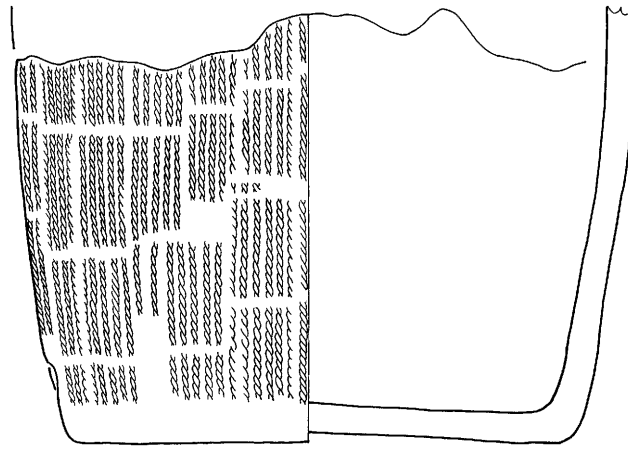
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	分 類	備 考	整理番号
2	505埋	土器内	(144)	(121)	(50)	(1300.0)	安	Q	石切未製品? 灰白色、焼け?	49893

11図 第505号埋設土器・出土遺物



番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号	外 面 文 様		底面	分類	備 考	整理番号	
											口縁部	胴部					
1	508埋	堆積土	29	29	7	2.4	珪頁	Pc		49552	胴部上半	胴部下半					
2	509埋	土器内	117	101	40	663.2	安	W	S-1、灰白色、表面滑らか	49896	結束第1種	結束第1種 (LR・RL)		Ⅲ-3	炭化物付着 (外面)	4813	
3	〃	〃	97	40	29	140.7	頁	Sa	S-2、灰黄色、表面滑らか	49895							
番号	出土地点										内面調整						
4	509埋										ミガキ						

13図 第508・509号埋設土器・出土遺物



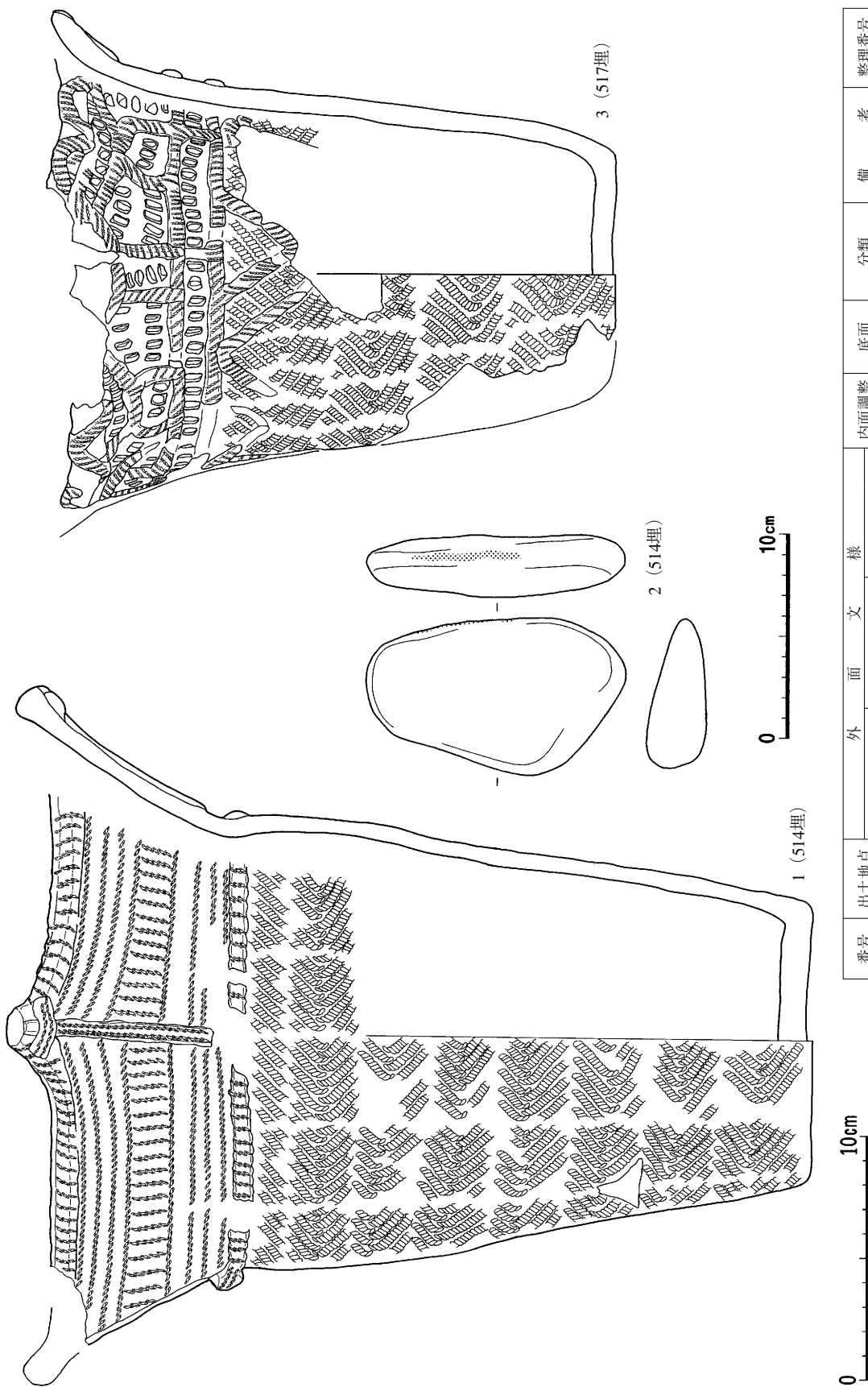
0 10cm

0 10cm

番号	出土地点	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	512埋			R単絡1	ミガキ	ミガキ	II-6	繊維混入	911
2	513埋	貼付 (L形)、L形 (馬蹄形状)、L形	結束第1種 (LR・RL)	結束第1種 (LR・RL)	ク	ク	III-2	炭化物付着 (内外面)	912

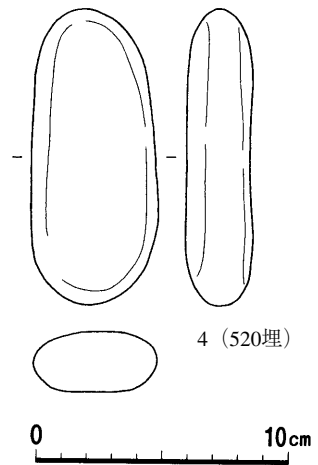
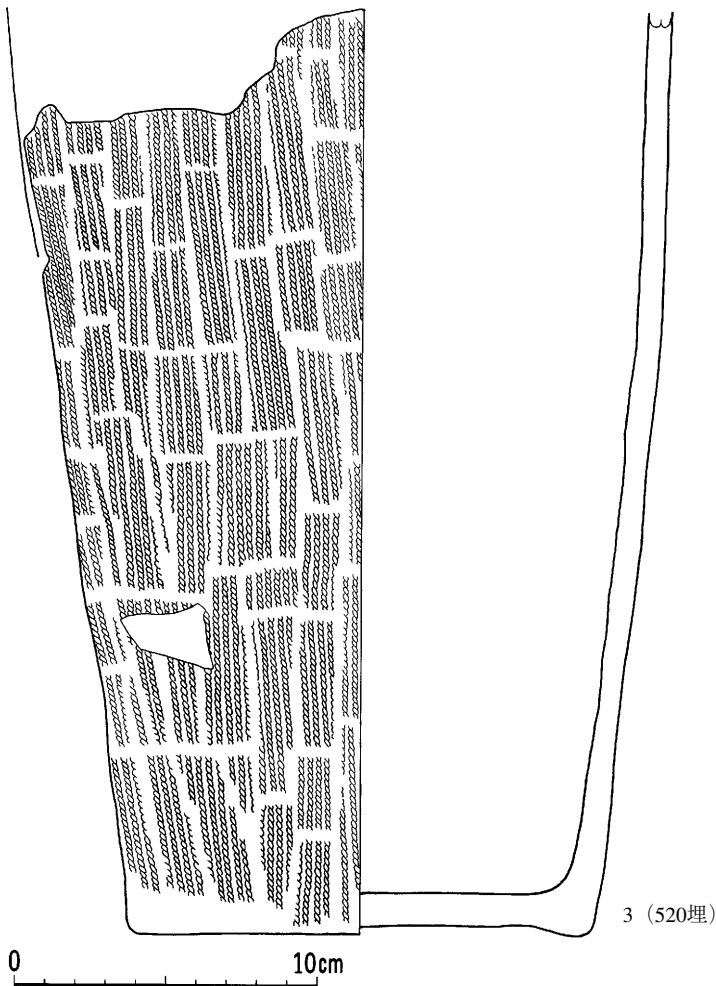
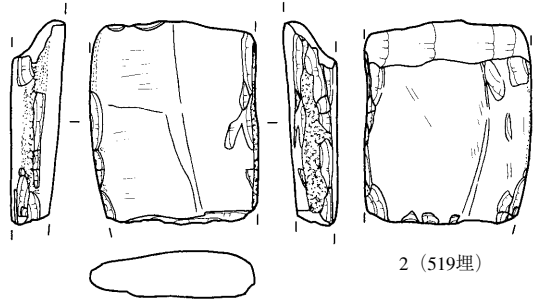
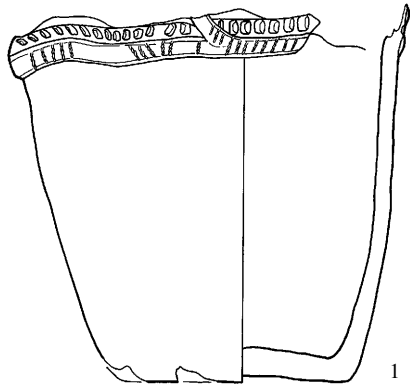
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石 質	分 類	備 考	整理番号
3	513埋	堆積土	(33)	(26)	16	(11.9)	凝	W	にぶい黄橙色、軟質、磨面?	49897

14図 第512・513号埋設土器・出土遺物



番号	出土地点	外面文様				内面調整	底面	分類	備考	整理番号
		口縁部	胸部上半	胸部下半	胸部下半					
1	514埋	貼付 (LR押)、LR押	結束第1種 (LR・RL)	結束第1種 (LR・RL)	ミガキ	ミガキ	Ⅲ-1	絨口縁、絨化附着(内面)	913	
3	517埋	貼付 (L押)、刺突	藍牡丹(罫)、蕃籬(罫) (LR・RL)	ミガキ	ミガキ	ミガキ	Ⅲ-3		914	
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質分類	備考	整理番号	
2	514埋	土器内	127	77	30	391.4	安	黄灰色、表面滑らか	49898	

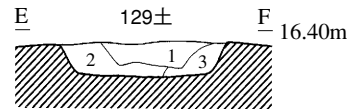
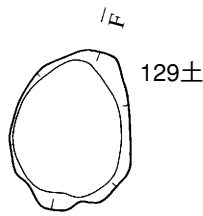
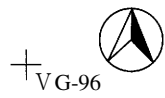
15図 第514・517号埋設土器・出土遺物



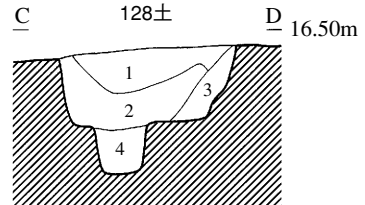
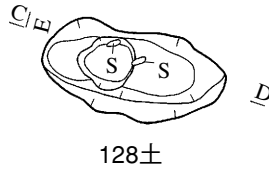
番号	出土地点	外面文様			内面調整	底面	分類	備考	整理番号
		口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	519埋	貼付 (L押)、刺突	無文	無文			Ⅲ-3		915
3	520埋		R単絡1	R単絡1	ミガキ		Ⅱ-6	鐵雜混入、炭化物付着 (内面)	916

番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
2	519埋	堆積土	(81)	(66)	(21)	(173.8)	凝	K	灰色	49899
4	520埋	土器内	118	51	27	198.5	安	W	灰色、表面滑らか	49900

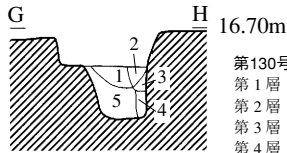
16図 第519号埋設土器・出土遺物



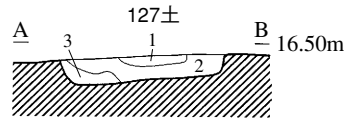
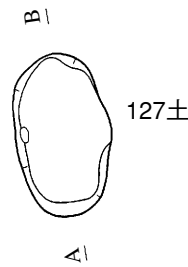
第129号土坑
 第1層 褐色土 10YR4/4 L.B.微量。
 第2層 褐色土 10YR4/4 ローム極微量。
 第3層 黄褐色土 10YR5/6 褐色土微量。



第128号土坑
 第1層 暗褐色土 10YR3/4 L.B.極微量。
 第2層 褐色土 10YR4/4
 第3層 褐色土 10YR4/6
 第4層 暗褐色土 10YR3/4 L.B.微量。



第130号土坑
 第1層 褐色土 10YR4/4 ローム粒微量。
 第2層 褐色土 10YR4/6
 第3層 黄褐色土 10YR5/6
 第4層 黄褐色土 10YR5/8
 第5層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒微量。

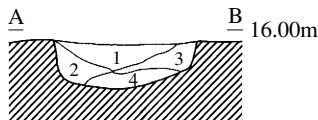
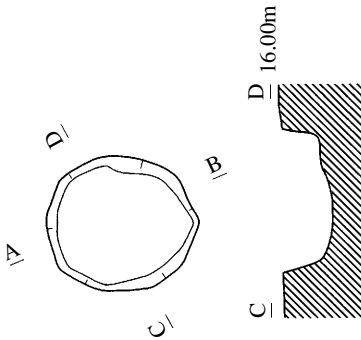


第127号土坑
 第1層 褐色土 10YR4/4 L.B.少量。
 第2層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒微量。
 第3層 明黄褐色土 10YR6/8 褐色土微量。

第127~130号土坑



VIP-89

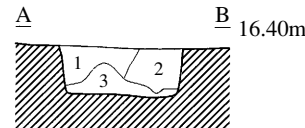
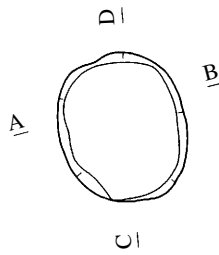


第185号土坑
 第1層 黑褐色土 10YR2/2 炭化物・ローム粒少量。L.B.微量。
 第2層 黑褐色土 10YR2/3 炭化物・ローム粒少量。
 第3層 暗褐色土 10YR3/3 L.B.微量。炭化物極微量。
 第4層 黑褐色土 10YR3/2 炭化物中量。L.B.微量。ローム粒極微量。

第185号土坑



VIK-92

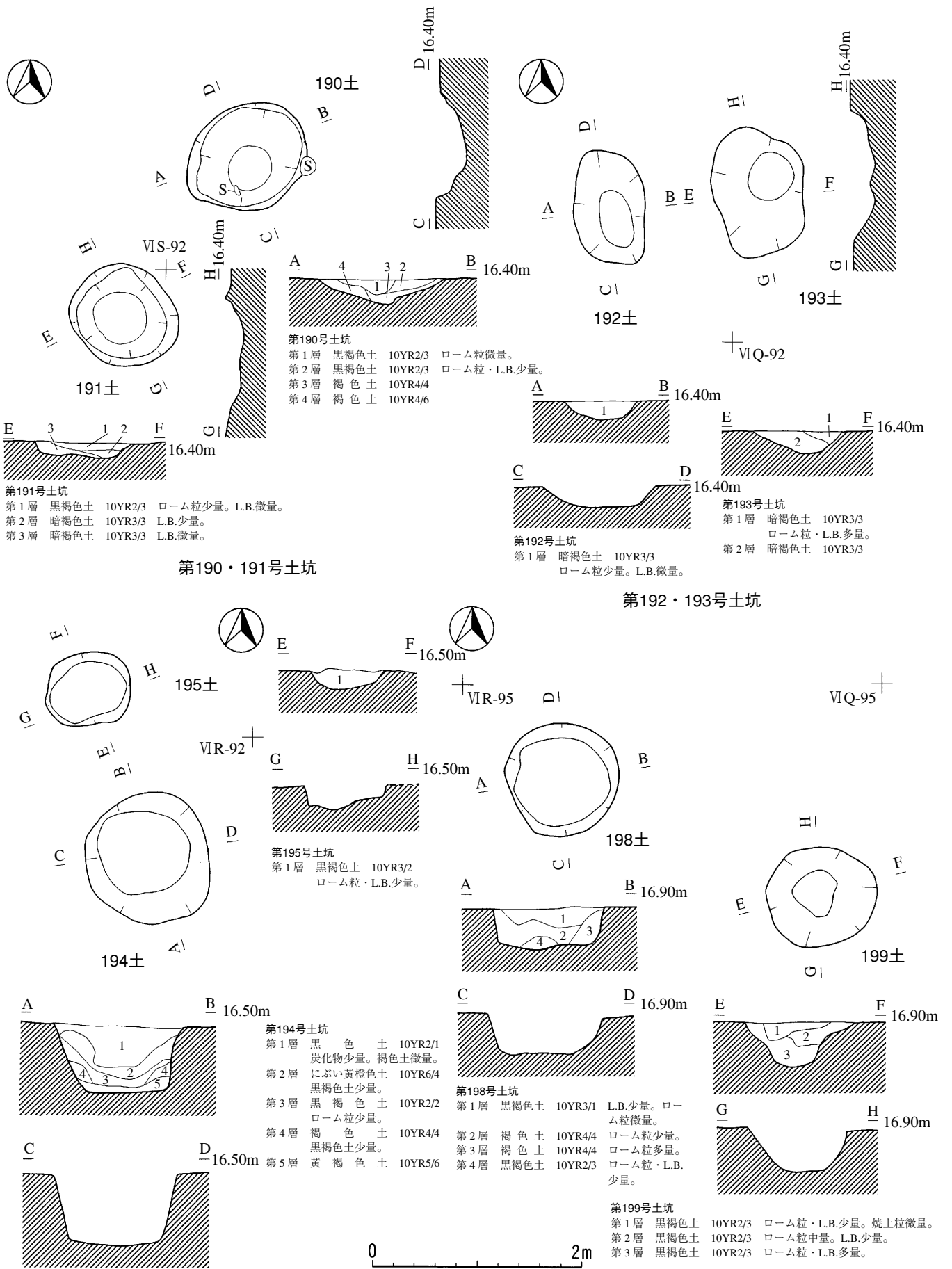


第186号土坑
 第1層 黑色土 10YR2/1 炭化物・ローム粒少量。
 第2層 黑褐色土 10YR2/3 炭化物・ローム粒少量。L.B.微量。
 第3層 黑褐色土 10YR2/2 ローム粒中量。炭化物・L.B.微量。

第186号土坑



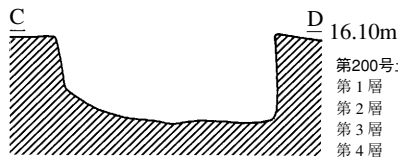
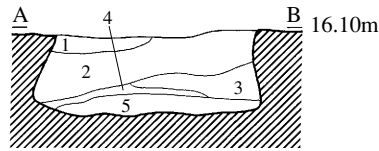
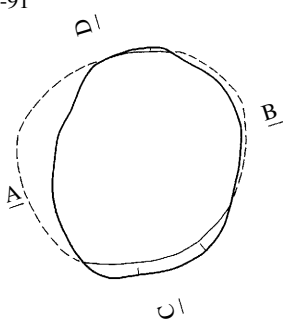
17图 第127~130・185・186号土坑



18図 第190~195・198・199号土坑



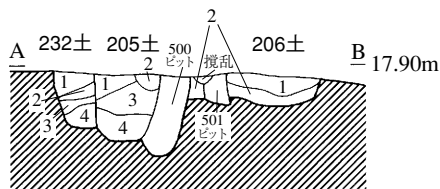
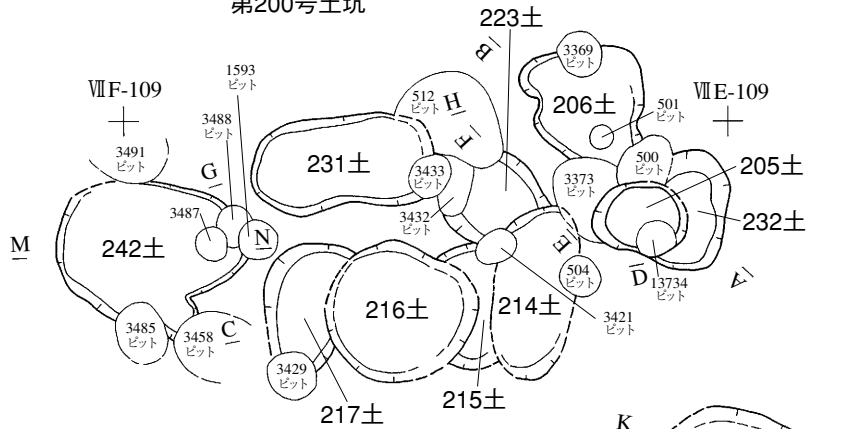
VIP-91



第200号土坑

- 第1層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量。炭化物微量。
- 第2層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物・L.B.少量。ローム粒微量。
- 第3層 褐色土 10YR4/6 ローム粒中量。炭化物微量。
- 第4層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物・焼土粒微量。
- 第5層 黄褐色土 10YR5/6 焼土粒少量。炭化物微量。

第200号土坑



第205号土坑

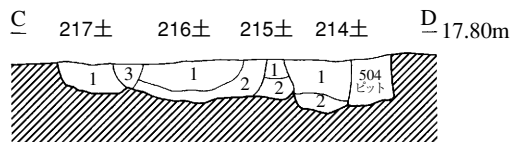
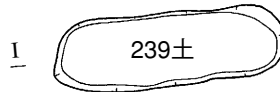
- 第1層 黒褐色土 10YR3/2 ローム粒・炭化物微量。
- 第2層 黒褐色土 10YR3/1 ローム粒・炭化物微量。
- 第3層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒微量。炭化物少量。
- 第4層 暗褐色土 10YR2/3 ローム粒少量。炭化物多量。

第206号土坑

- 第1層 暗褐色土 10YR3/3 焼土粒・焼土ブロック少量。ローム粒多量。
- 第2層 褐色土 10YR4/4 ローム粒多量。L.B.少量。焼土粒微量。

第232号土坑

- 第1層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒・炭化物少量。
- 第2層 黄褐色土 10YR5/8 ローム多量。炭化物少量。
- 第3層 におい黄褐色土 10YR4/3 ローム粒・炭化物少量。
- 第4層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒・L.B.多量。



第214号土坑

- 第1層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・L.B.多量。
- 第2層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・L.B.多量。

第215号土坑

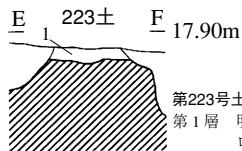
- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒・炭化物少量。
- 第2層 におい黄褐色土 10YR4/3 ローム粒・L.B.多量。

第216号土坑

- 第1層 黒色土 10YR2/1 ローム粒微量。炭化物少量。
- 第2層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒・炭化物少量。
- 第3層 褐色土 10YR4/4 ローム粒多量。炭化物少量。

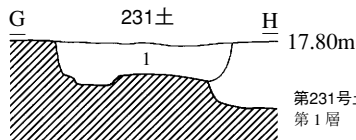
第217号土坑

- 第1層 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム粒・炭化物少量。



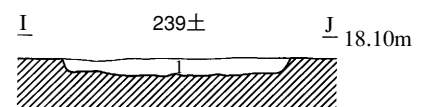
第223号土坑

- 第1層 明褐色土 7.5YR5/6 ローム粒・L.B.・焼土粒多量。



第231号土坑

- 第1層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・炭化物多量。焼土粒少量。



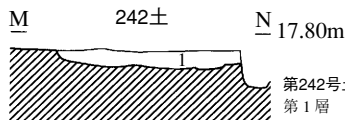
第239号土坑

- 第1層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒微量。炭化物少量。



第240号土坑

- 第1層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・L.B.多量。炭化物少量。焼土粒微量。

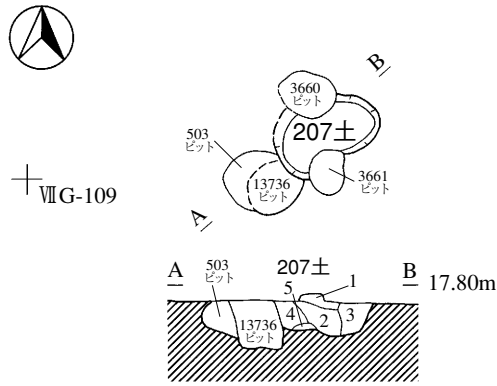


第242号土坑

- 第1層 におい黄褐色土 10YR4/3 ローム粒・炭化物少量。焼土粒微量。

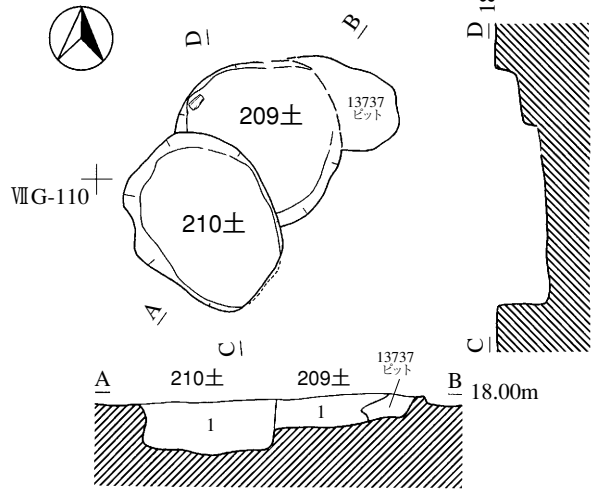


19図 第200・205・206・214~217・223・231・232・239・240・242号土坑



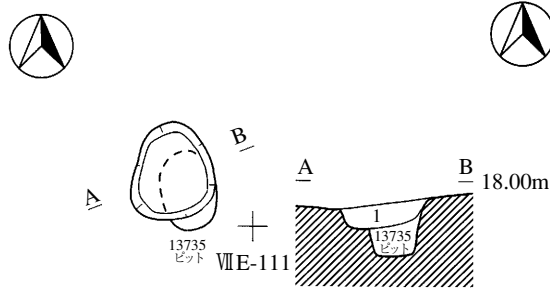
第207号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/2 ローム粒・炭化物少量。
 第2層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・炭化物少量。
 第3層 にぶい黄褐色土 10YR5/4 L.B.多量。
 第4層 黄褐色土 10YR5/6 L.B.多量。炭化物少量。
 第5層 灰黄褐色土 10YR4/2 炭化物少量。

第207号土坑



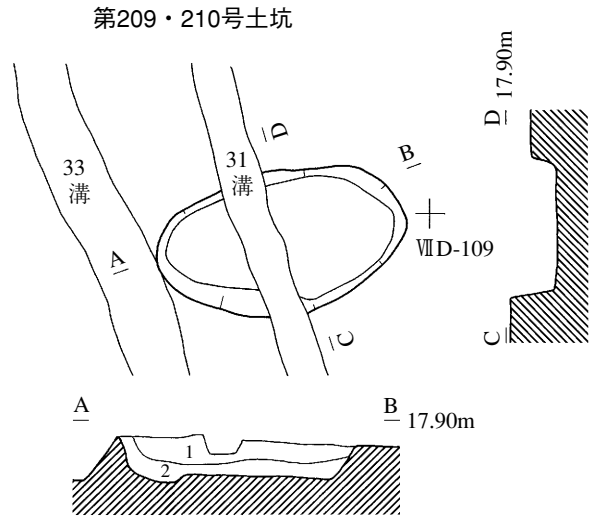
第209号土坑
 第1層 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム粒・焼土粒・炭化物少量。
 第210号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/2 ローム粒・焼土粒・炭化物少量。

第209・210号土坑



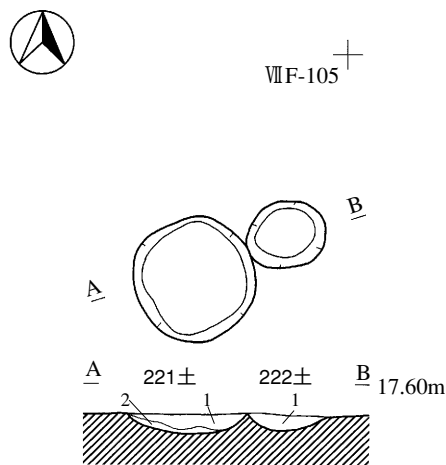
第212号土坑
 第1層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 炭化物少量。焼土微量。

第212号土坑



第218号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物・焼土粒少量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒・L.B.多量。

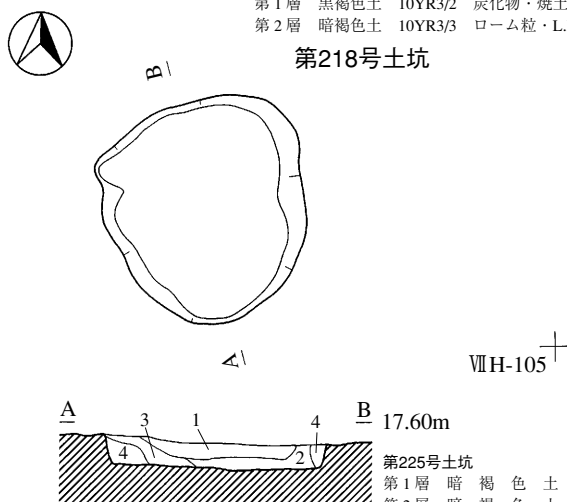
第218号土坑



第221号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒少量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/4

第222号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/2 ローム粒少量。

第221・222号土坑

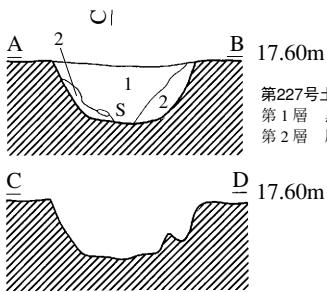
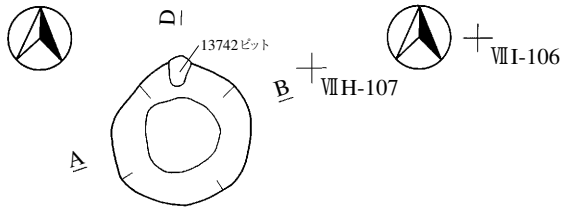


第225号土坑
 第1層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物微量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物・焼土粒多量。
 第3層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 炭化物・L.B.多量。
 第4層 黄褐色土 10YR5/6 暗褐色土少量。

第225号土坑

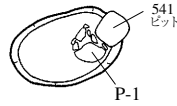


20図 第207・209・210・212・218・221・222・225号土坑

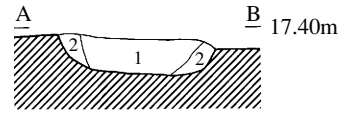
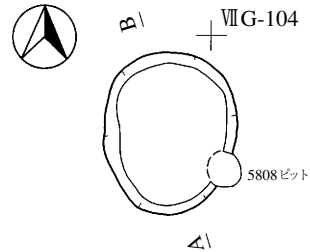


第227号土坑

第1層 黒色土 10YR2/1 ローム粒微量。
第2層 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム粒少量。



第235号土坑

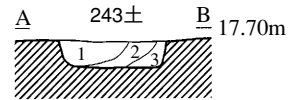
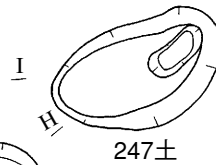


第237号土坑
第1層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・炭化物・焼土粒少量。
第2層 黄褐色土 10YR5/6 暗褐色土混入。

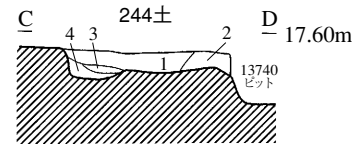
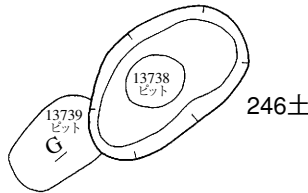
第237号土坑



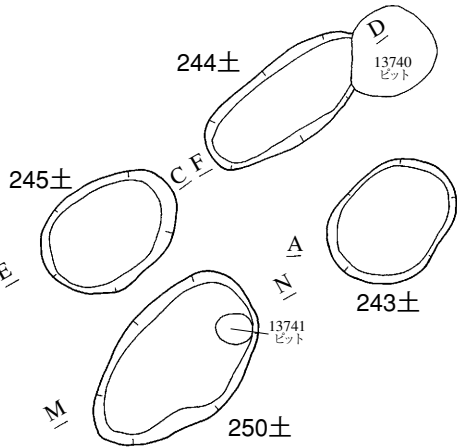
VII G-107



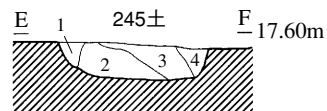
第243号土坑
第1層 暗褐色土 10YR3/3 L.B.黒色土多量。
第2層 にぶ黄褐色土 10YR4/3 ローム粒・L.B.多量。
第3層 暗褐色土 10YR3/4 L.B.・黒色土少量。



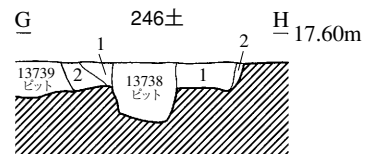
第244号土坑
第1層 褐色土 10YR4/4 ローム粒多量。
第2層 褐色土 10YR4/6 黒色土少量。
第3層 にぶ黄褐色土 10YR4/3 ローム粒少量。
第4層 にぶ黄褐色土 10YR5/4 ローム粒少量。



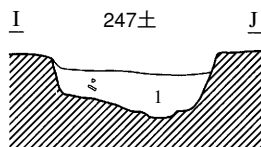
VII G-108



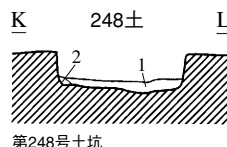
第245号土坑
第1層 褐色土 10YR4/6 ローム粒・黒色土少量。
第2層 暗褐色土 10YR3/4 L.B.・粘土多量。
第3層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒・L.B.・粘土多量。
第4層 褐色土 7.5YR4/3 ローム粒少量。



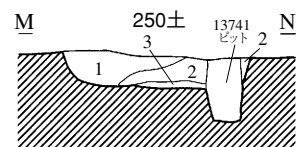
第246号土坑
第1層 褐色土 10YR4/6 L.B.・黒色土多量。
第2層 暗褐色土 10YR3/4 黒色土少量。



第247号土坑
第1層 暗褐色土 10YR3/4 L.B.・黒色土多量。



第248号土坑
第1層 褐色土 10YR4/4 L.B.多量。
第2層 褐色土 10YR4/6 黒色土少量。

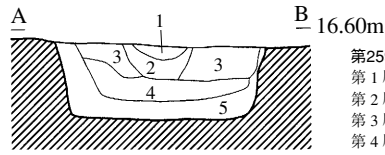
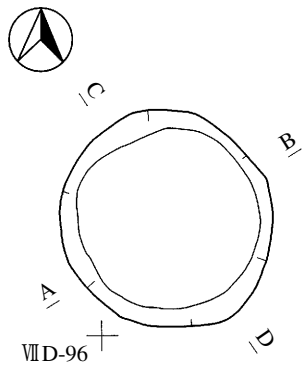


第250号土坑
第1層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒少量。
第2層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒多量。
第3層 黒褐色土 10YR3/2

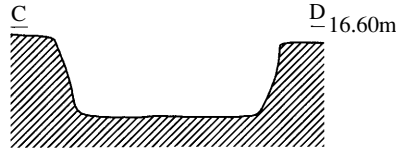
第243~248・250号土坑



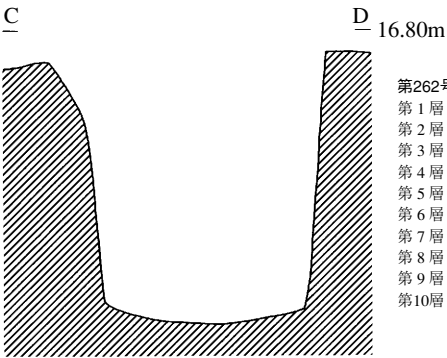
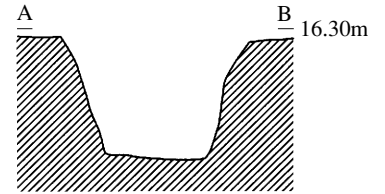
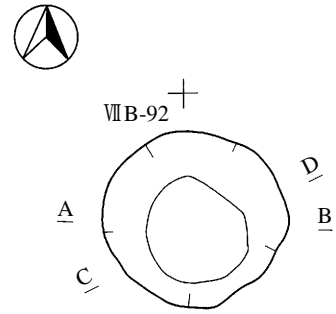
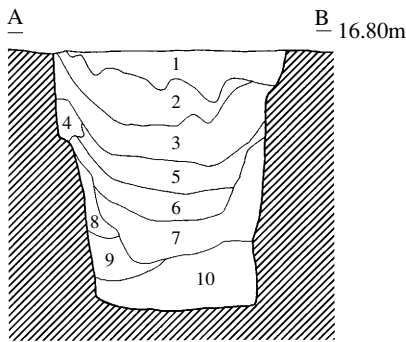
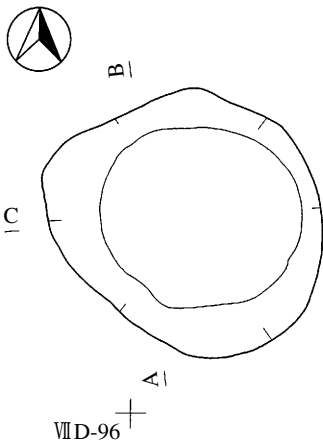
21図 第227・235・237・243~248・250号土坑



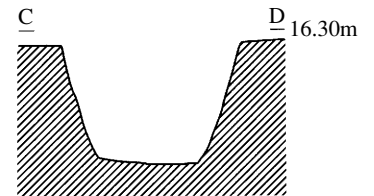
- 第259号土坑
- | | | | |
|-----|-------|---------|-------------------|
| 第1層 | 黒褐色土 | 10YR3/2 | 炭化物中量。 |
| 第2層 | 暗褐色土 | 10YR3/3 | 炭化物中量。焼土粒微量。 |
| 第3層 | 褐色土 | 10YR4/4 | 炭化物少量。焼土粒・ローム粒微量。 |
| 第4層 | 暗褐色土 | 10YR3/4 | 炭化物・焼土粒少量。 |
| 第5層 | 灰黄褐色土 | 10YR5/2 | 炭化物・白色粘土微量。 |



第259号土坑

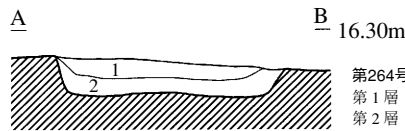
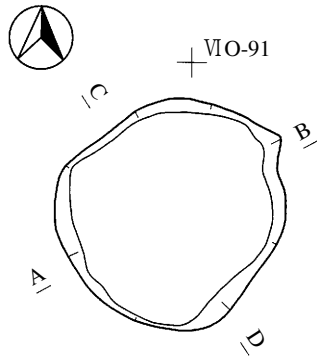


- 第262号土坑
- | | | | |
|------|---------|---------|------------|
| 第1層 | 暗褐色土 | 10YR3/3 | 炭化物中量 |
| 第2層 | 褐色土 | 10YR4/6 | 炭化物・焼土粒少量。 |
| 第3層 | 褐色土 | 10YR4/4 | 炭化物中量。 |
| 第4層 | 褐色土 | 10YR4/6 | 炭化物少量。 |
| 第5層 | 黄褐色土 | 10YR5/6 | 炭化物多量。 |
| 第6層 | 褐色土 | 10YR4/4 | 炭化物多量。 |
| 第7層 | にぶい黄褐色土 | 10YR5/4 | 炭化物中量。 |
| 第8層 | にぶい黄橙色土 | 10YR7/3 | |
| 第9層 | にぶい黄橙色土 | 10YR7/4 | 炭化物少量。 |
| 第10層 | にぶい黄橙色土 | 10YR7/2 | 炭化物極微量。 |

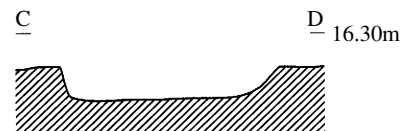


第262号土坑

第263号土坑



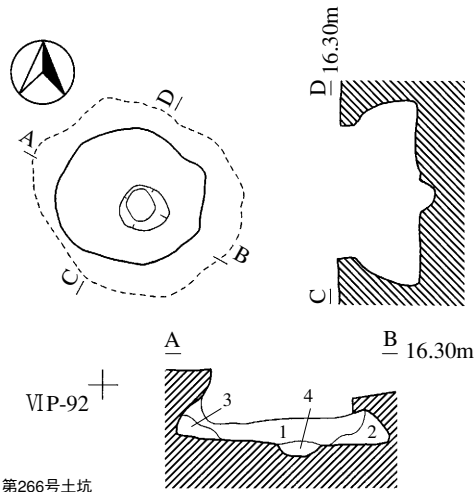
- 第264号土坑
- | | | | |
|-----|------|---------|-----------------|
| 第1層 | 褐色土 | 10YR4/4 | ローム粒少量。L.B.極微量。 |
| 第2層 | 暗褐色土 | 10YR3/4 | L.B.少量。ローム粒微量。 |



0 2m

第264号土坑

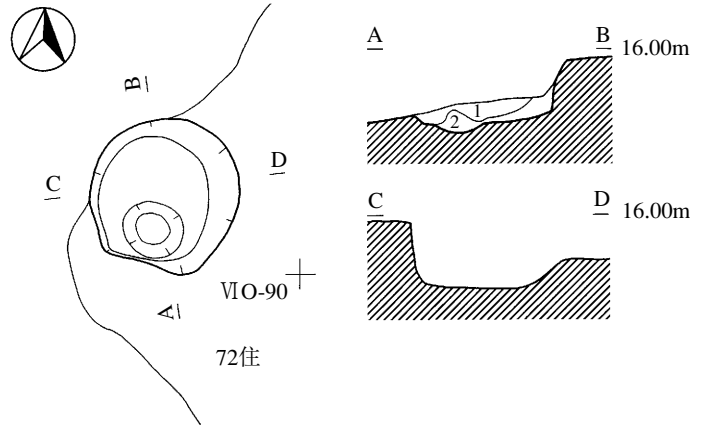
22図 第259・262・263・264号土坑



第266号土坑

第1層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物少量。ローム粒微量。
 第2層 褐色土 10YR4/4 炭化物微量。
 第3層 褐色土 10YR4/4 炭化物・ローム粒極微量。
 第4層 褐色土 10YR4/6 炭化物・ローム粒極微量。

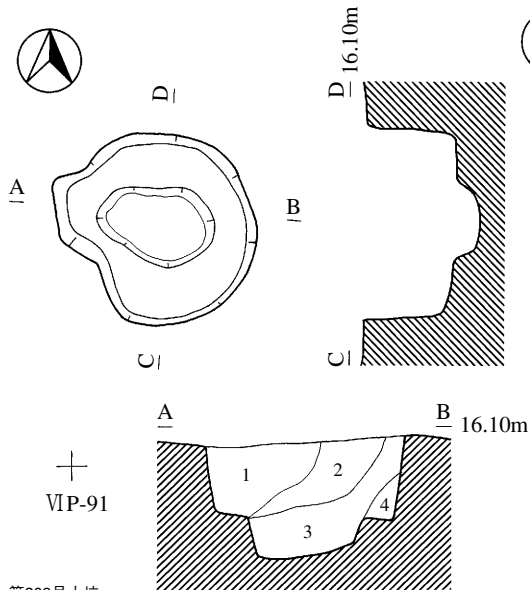
第266号土坑



第267号土坑

第1層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量。炭化物微量。L.B.極微量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒微量。L.B.極微量。

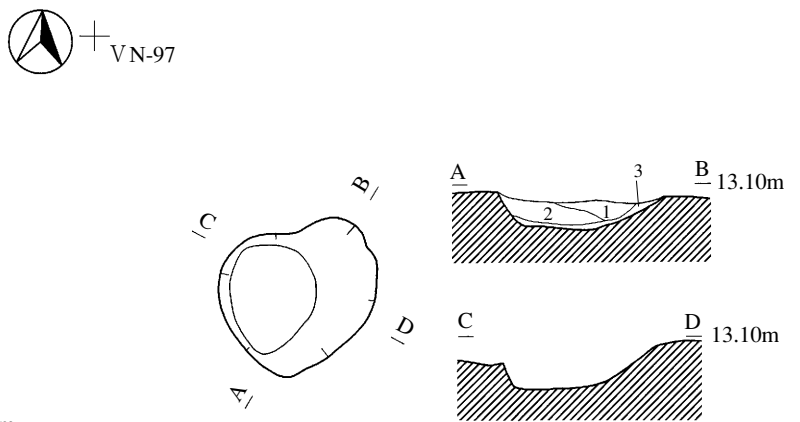
第267号土坑



第268号土坑

第1層 褐色土 10YR4/4 L.B.多量。ローム粒中量。炭化物少量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量。L.B.微量。
 第3層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・L.B.多量。
 第4層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量。L.B.少量。

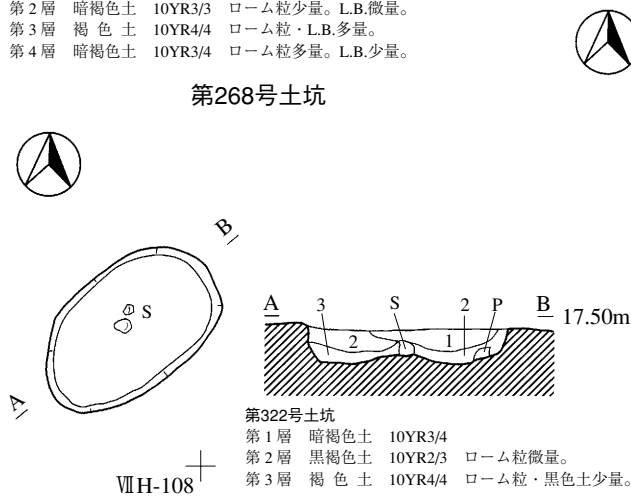
第268号土坑



第271号土坑

第1層 黒褐色土 10YR2/3 L.B.微量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/4
 第3層 黄褐色土 10YR5/8 ローム主体。

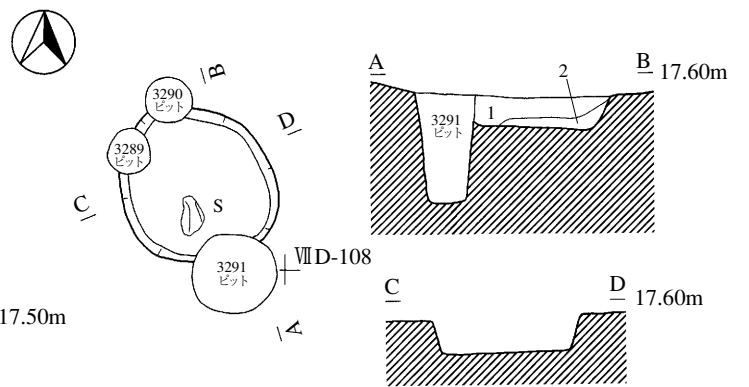
第271号土坑



第322号土坑

第1層 暗褐色土 10YR3/4
 第2層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒微量。
 第3層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・黒色土少量。

第322号土坑



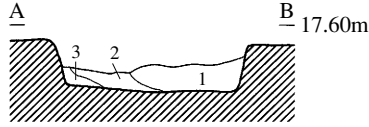
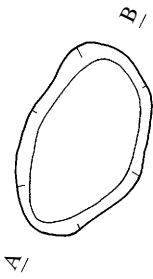
第323号土坑

第1層 暗褐色土 10YR3/4 焼土粒多量。炭化物少量。
 第2層 褐色土 10YR4/4 L.B.多量。炭化物少量。

第323号土坑

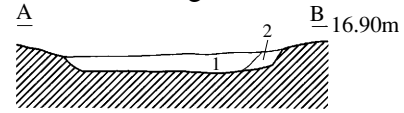
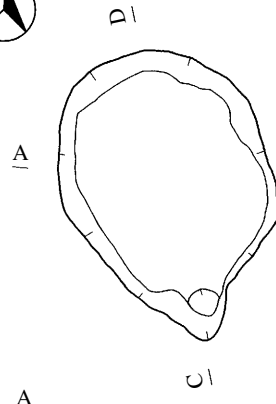


23図 第266~268・271・322・323号土坑



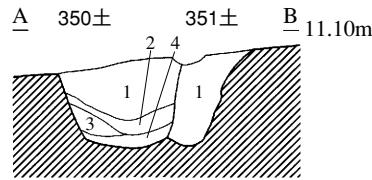
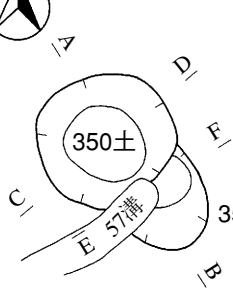
第324号土坑
 第1層 褐色土 10YR4/6 ローム粒・黒色土多量。
 第2層 黄褐色土 10YR5/6 黒色土少量。
 第3層 褐色土 10YR4/6 黒色土少量。

第324号土坑

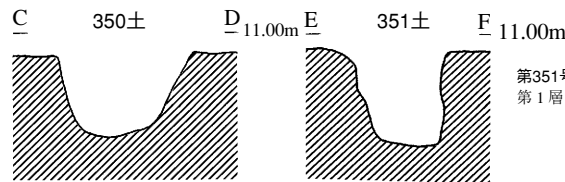


第349号土坑
 第1層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物多量。
 第2層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 炭化物少量。

第349号土坑

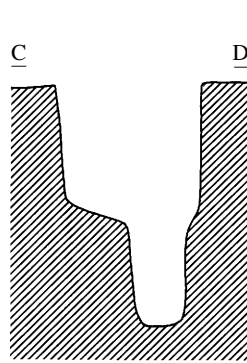
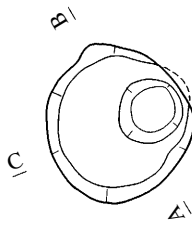


第350号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/1 ローム粒・黒色土少量。炭化物微量。
 第2層 黒褐色土 2.5Y3/2 砂微量。
 第3層 黄褐色土 10YR8/6
 第4層 黒色土 7.5Y2/1 ローム粒微量。



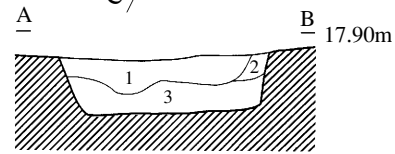
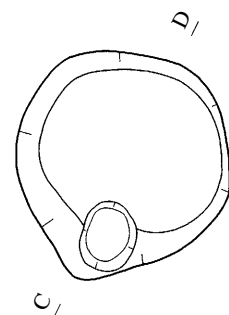
第351号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/1 ローム粒・黒色土少量。炭化物微量。

第350・351号土坑



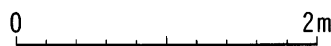
第361号土坑
 第1層 褐色土 10YR4/4 炭化物少量。ローム粒・焼土粒微量。
 第2層 明黄褐色土 10YR7/6 浮石粒・褐色土少量。炭化物微量。
 第3層 褐色土 10YR4/6 炭化物・黄褐色少量。焼土粒・浮石粒微量。
 第4層 にぶい黄褐色土 10YR5/4 ローム粒多量。粘土ブロック少量。炭化物。
 第5層 褐色土 10YR4/4 ローム粒多量。炭化物少量。
 第6層 明黄褐色土 10YR6/6 粘土ブロック多量。炭化物・焼土粒微量。

第361号土坑



第364号土坑
 第1層 暗褐色土 10YR3/4 黒褐色土少量。炭化物・ローム粒微量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量。炭化物微量。
 第3層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量。炭化物微量。

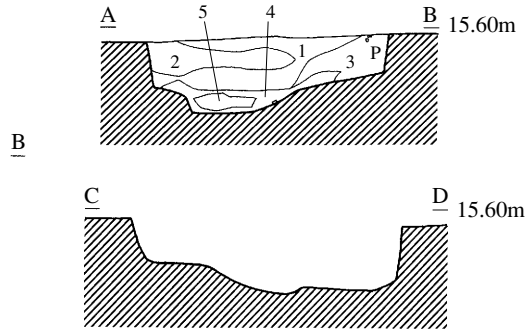
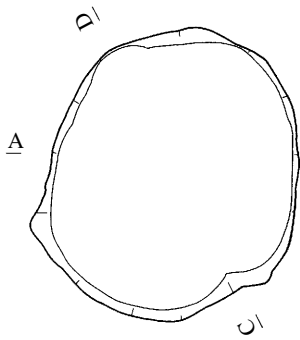
第364号土坑



24図 第324・349・350・351・361・364号土坑

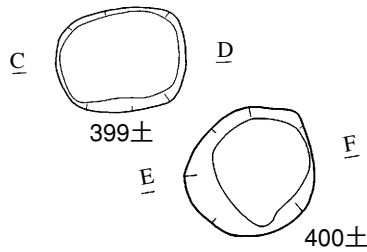
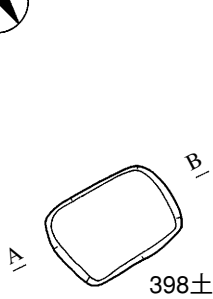


VIJ-88

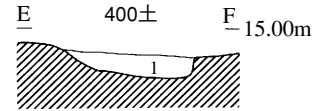


- 第379号土坑
- 第1層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物・ローム粒微量。
 - 第2層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物・ローム粒微量。
 - 第3層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物少量。ローム粒・焼土粒微量。
 - 第4層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物・ローム粒微量。焼土極微量。
 - 第5層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒少量。炭化物微量。

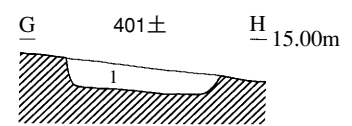
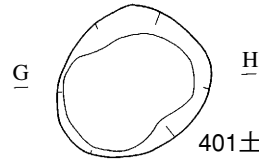
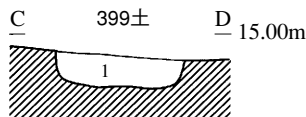
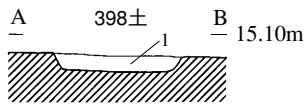
第379号土坑



VI-84



- 第400号土坑
- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・ローム粒・L.B.少量。

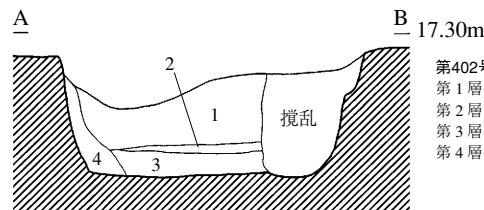
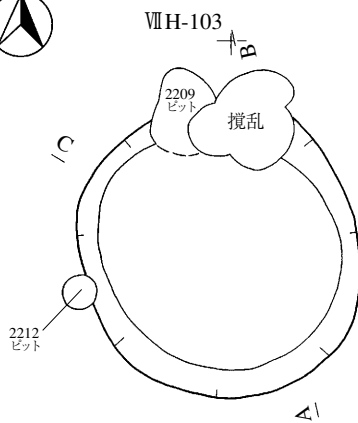


- 第401号土坑
- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・ローム粒少量。

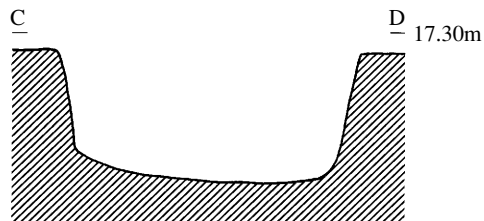
- 第398号土坑
- 第1層 黒褐色土 10YR2/3 褐色土少量。ローム粒微量。

- 第399号土坑
- 第1層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物・ローム粒微量。焼土粒極微量。

第398~401号土坑



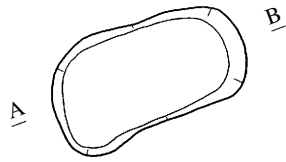
- 第402号土坑
- 第1層 明黄褐色土 10YR6/8 炭化物微量。
 - 第2層 灰オリブ色土 5Y4/2 炭化物少量。
 - 第3層 黄褐色土 2.5Y5/4 炭化物中量。
 - 第4層 灰色土色土 7.5Y6/1 炭化物微量。



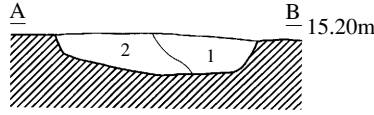
第402号土坑



25図 第379・398~402号土坑



VIF-89

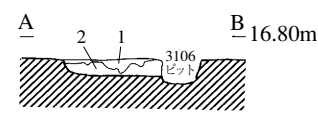
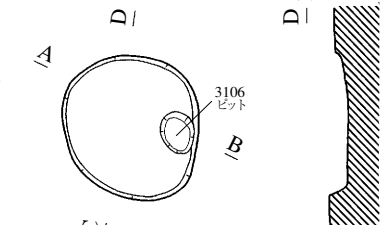


第403号土坑
第1層 黒褐色土 10YR2/2
第2層 黒褐色土 10YR2/3 暗褐色土少量。

第403号土坑

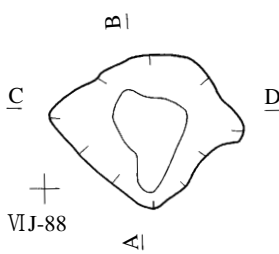


VIK-103

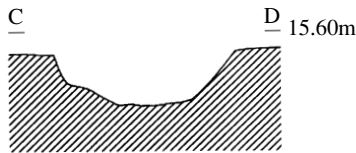
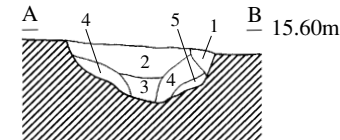


第406号土坑
第1層 灰黄褐色土 10YR4/2 L.B.少量。炭化物粒・ローム粒微量。
第2層 明黄褐色土 10YR7/6 L.B.中量。ローム粒微量。

第406号土坑



VIJ-88

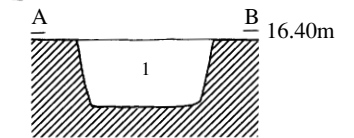
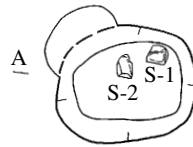


第412号土坑
第1層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 L.B.多量。炭化物少量。
第2層 黒褐色土 10YR3/1 ローム粒少量。炭化物・L.B.微量。
第3層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物中量。L.B.微量。
第4層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物微量。
第5層 灰黄褐色土 10YR4/2 炭化物・L.B.極微量。

第412号土坑

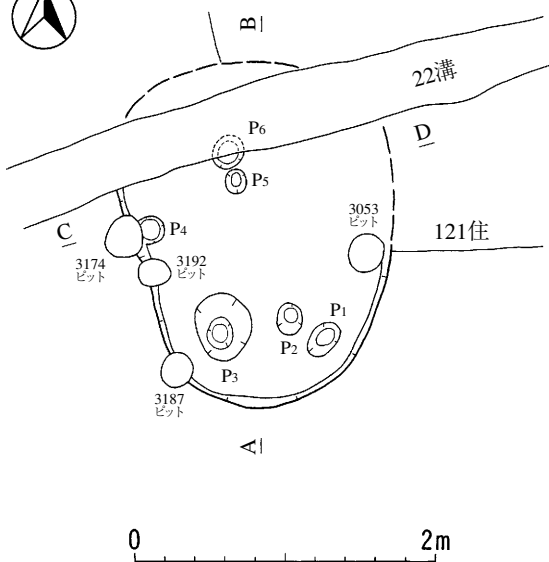


VII-92



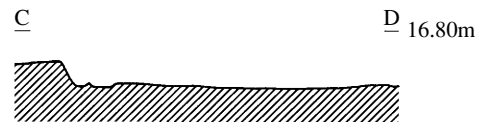
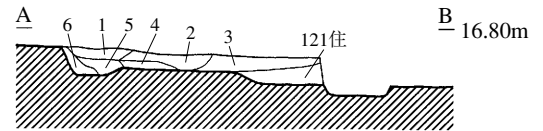
第414号土坑
第1層 黒色土 10YR2/1 ローム粒微量。焼土粒極微量。

第414号土坑



0 2m

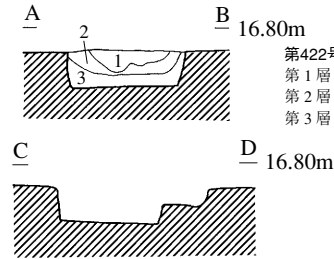
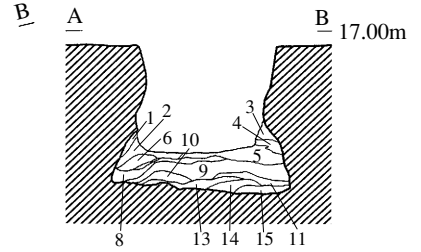
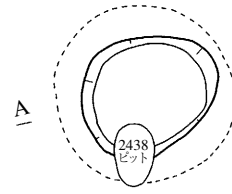
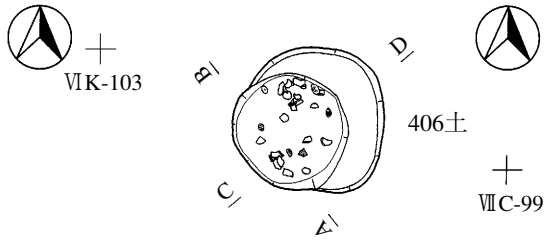
VIJ-94



第415号土坑
第1層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物・ローム粒多量。焼土粒極微量。
第2層 褐色土 10YR4/4 炭化物多量。ローム粒微量。焼土粒極微量。
第3層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 ローム粒多量。炭化物微量。
第4層 褐色土 10YR4/6 炭化物多量。ローム粒微量。
第5層 黄褐色土 10YR5/8 ローム粒多量。
第6層 黄褐色土 10YR5/6 炭化物・ローム粒微量。

第415号土坑

26図 第403・406・412・414・415号土坑

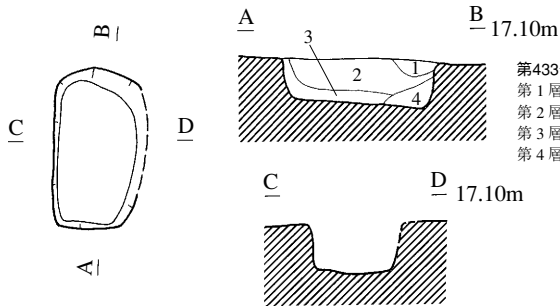
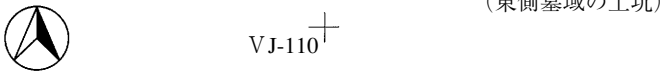


第422号土坑

第422号土坑
 第1層 褐色土 10YR4/4 炭化物少量。
 第2層 におい黄褐色土 10YR4/3 炭化物少量。
 第3層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物微量。

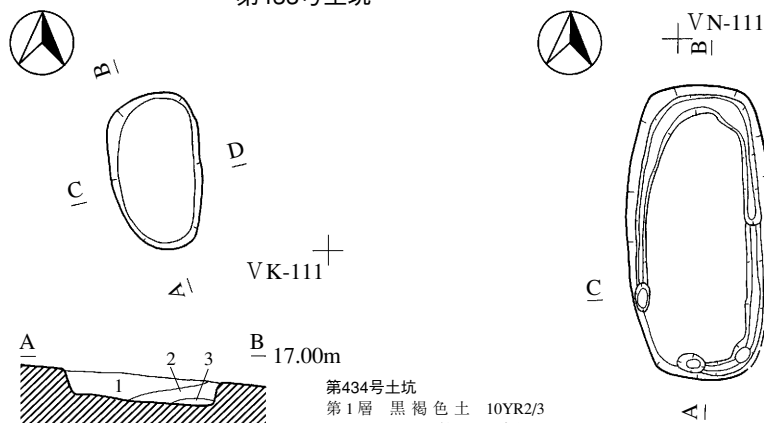
第432号土坑
 第1層 明褐色土 7.5YR5/6 炭化物少量。
 第2層 におい褐色土 7.5YR5/4 炭化物少量。鉄分沈澱多。
 第3層 浅黄色土 2.5Y7/3
 第4層 褐色土 7.5YR4/4 炭化物少量。鉄分沈澱多。
 第5層 浅黄色土 5Y7/3 炭化物微量。
 第6層 褐色土 7.5YR4/6 炭化物微量。
 第7層 灰白色土 7.5Y7/2
 第8層 におい褐色土 7.5YR5/4 炭化物微量。
 第9層 明褐色土 7.5YR5/6 炭化物微量。
 第10層 灰白色土 7.5Y7/2
 第11層 灰白色土 7.5Y7/2
 第12層 明褐色土 7.5YR5/6 炭化物微量。
 第13層 明褐色土 7.5YR5/6 炭化物・ローム粒少量。
 第14層 浅黄色土 2.5Y7/3 ローム粒多量。炭化物微量。
 第15層 灰白色土 7.5Y7/2

第432号土坑



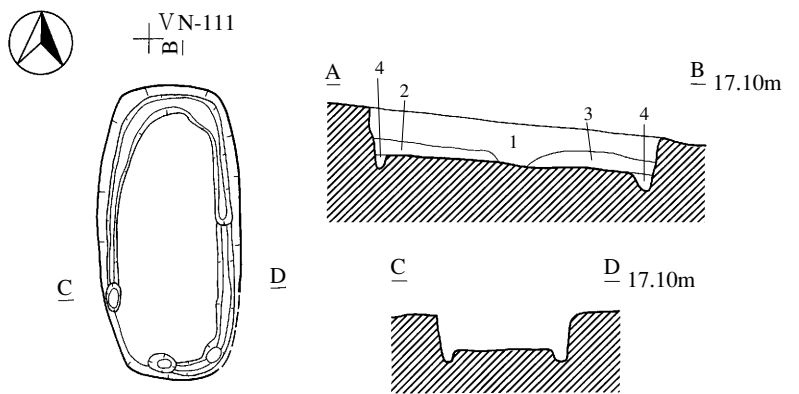
第433号土坑

第433号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒少量。炭化物微量。
 第2層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒中量。黒色土少量。
 第3層 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム粒・L.B.中量。
 第4層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・L.B.多量。



第434号土坑

第434号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/3
 ローム粒・L.B.少量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/3
 ローム粒多量。L.B.少量。
 第3層 明黄褐色土 10YR6/6

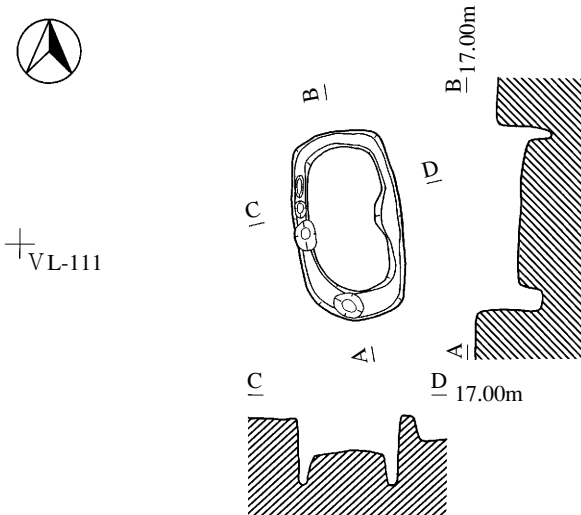
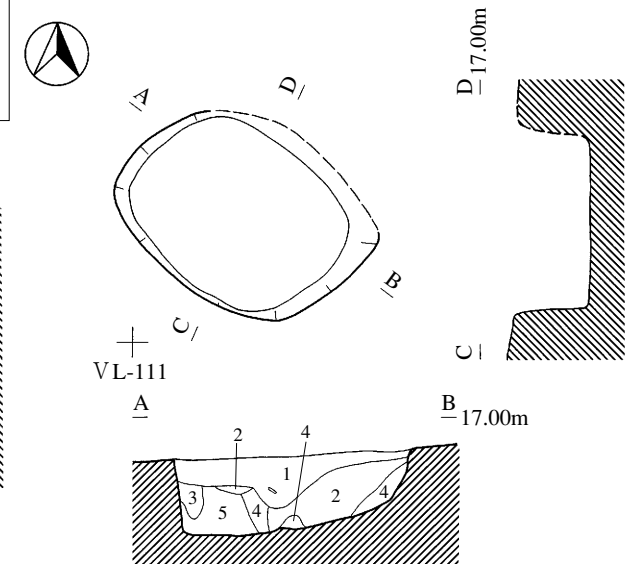
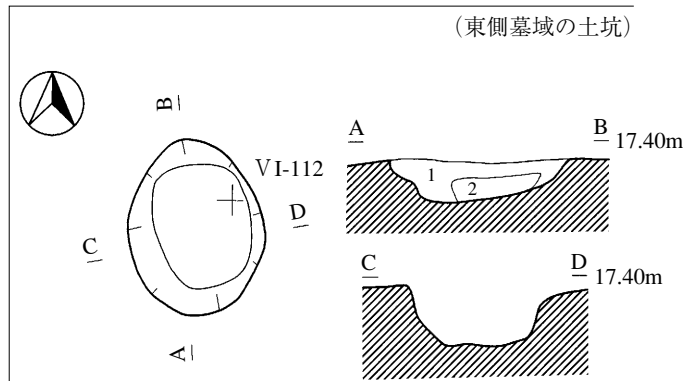
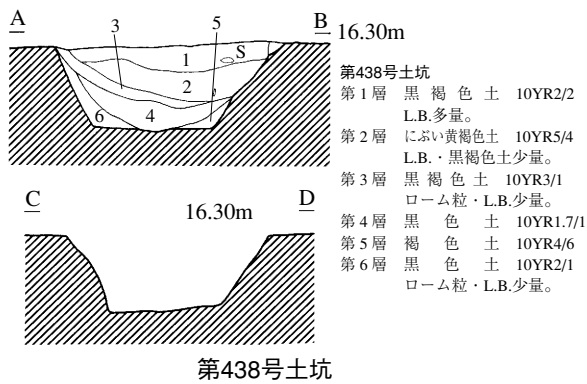
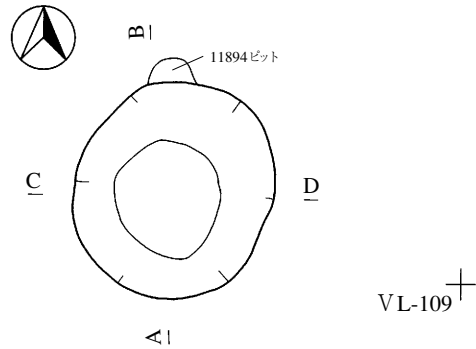
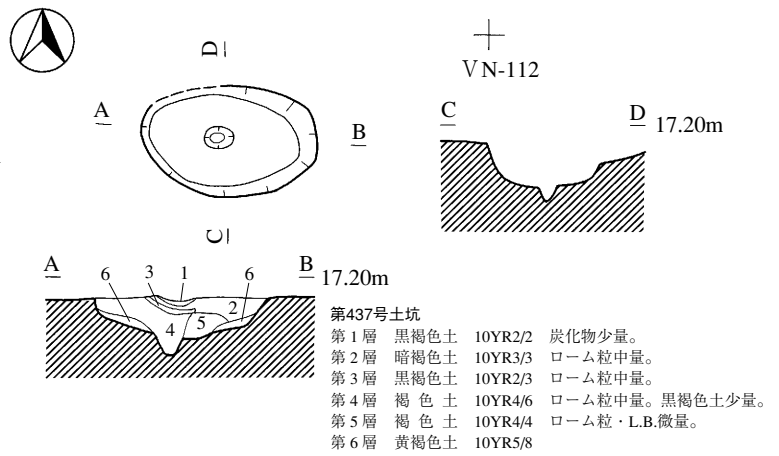
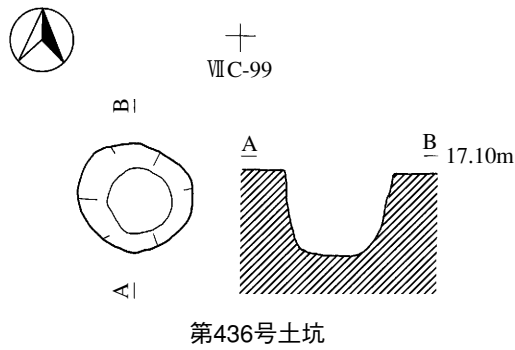


第435号土坑 (東側墓域西端の土坑墓)

第435号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/2 L.B.中量。炭化物少量。
 第2層 黒褐色土 10YR2/2 L.B.少量。
 第3層 褐色土 10YR4/4 ローム粒・L.B.多量。
 第4層 におい黄褐色土 10YR4/3 炭化物少量。



27図 第422・432~435号土坑

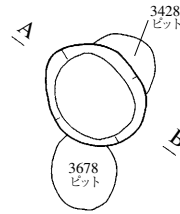
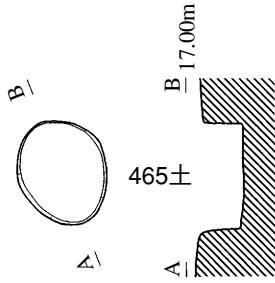


第453号土坑

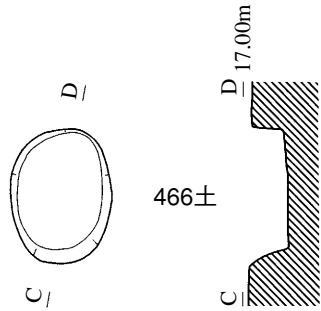
第454号土坑



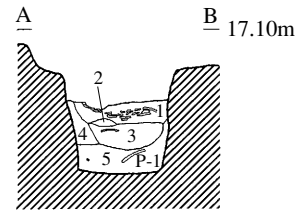
28図 第436~438・440・453・454号土坑



ⅦF-99



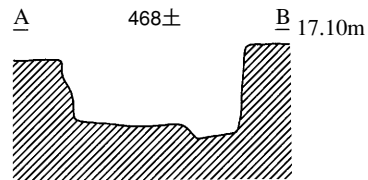
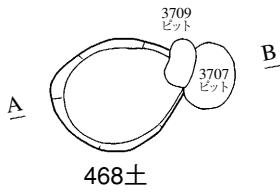
ⅦF-101



第465・466号土坑

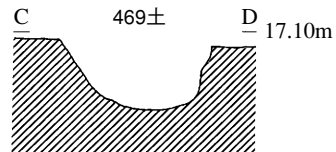
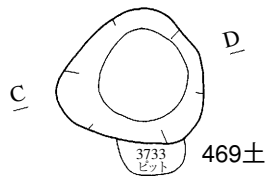
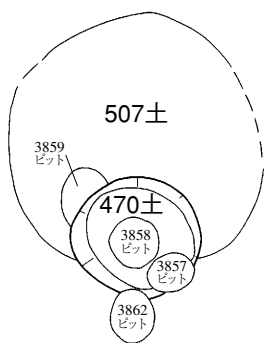
第467号土坑
 第1層 褐色土 7.5YR4/3 炭化物・L.B.・焼土粒少量。
 第2層 褐色土 7.5YR4/4 ローム粒少量。
 第3層 灰褐色土 7.5YR4/2 炭化物・焼土粒少量。
 第4層 明褐色土 7.5YR5/6 黒色土多量。ローム粒微量。
 第5層 灰褐色土 7.5YR4/2 ローム粒中量。炭化物・焼土粒少量。

第467号土坑



ⅦF-102

ⅦE-102

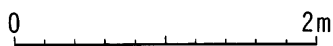
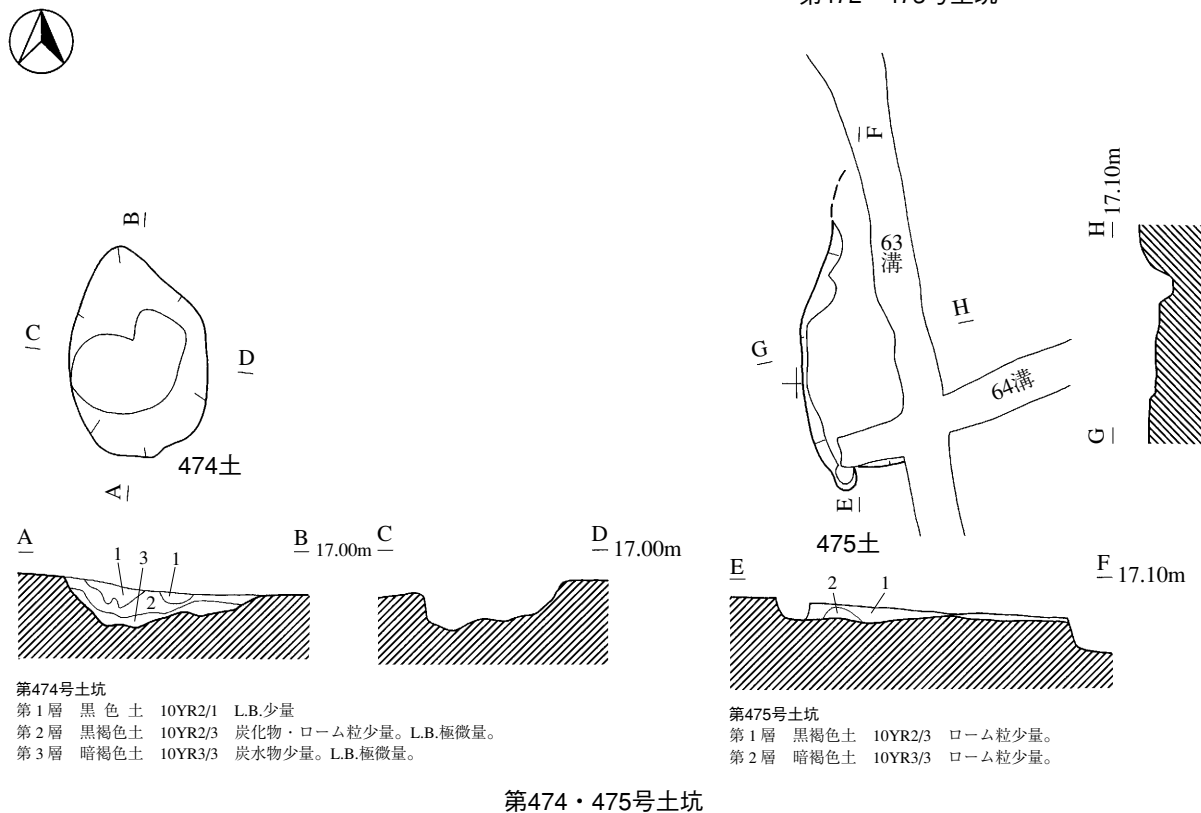
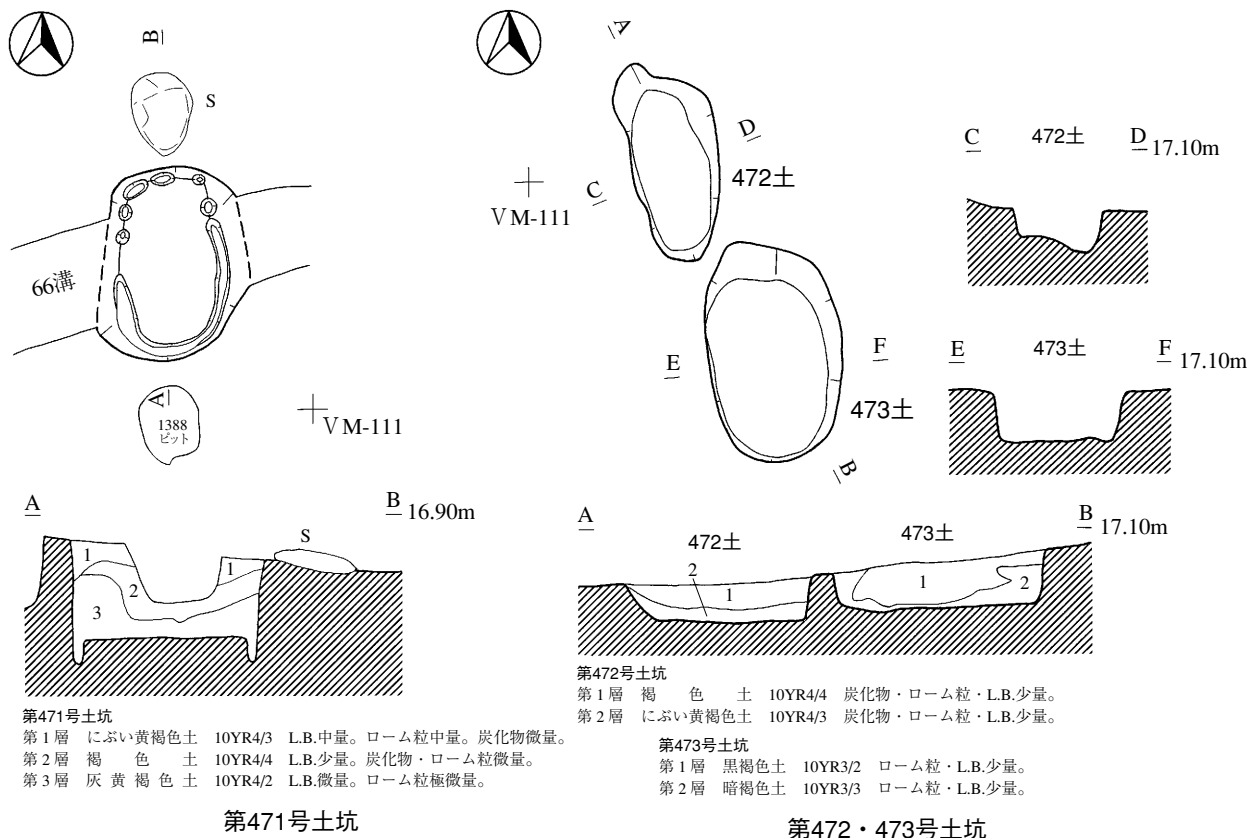


第468～470号土坑

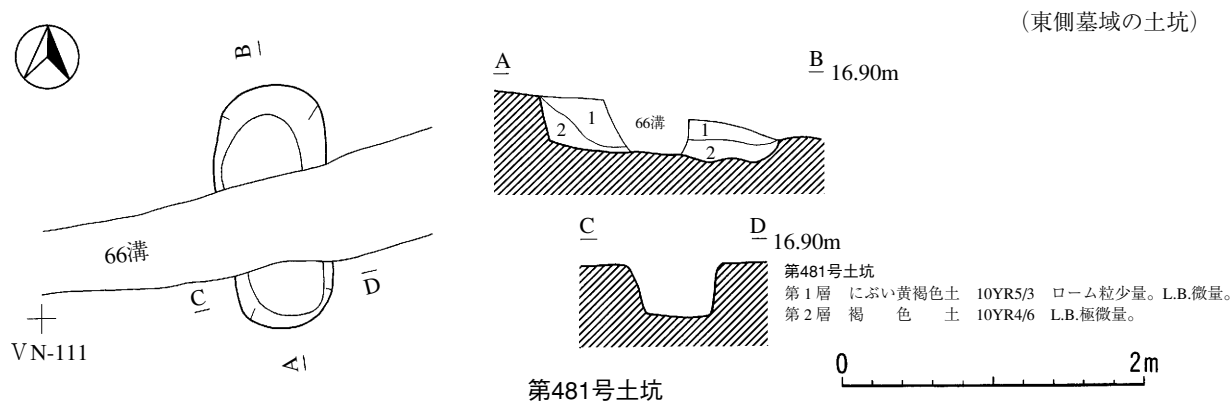
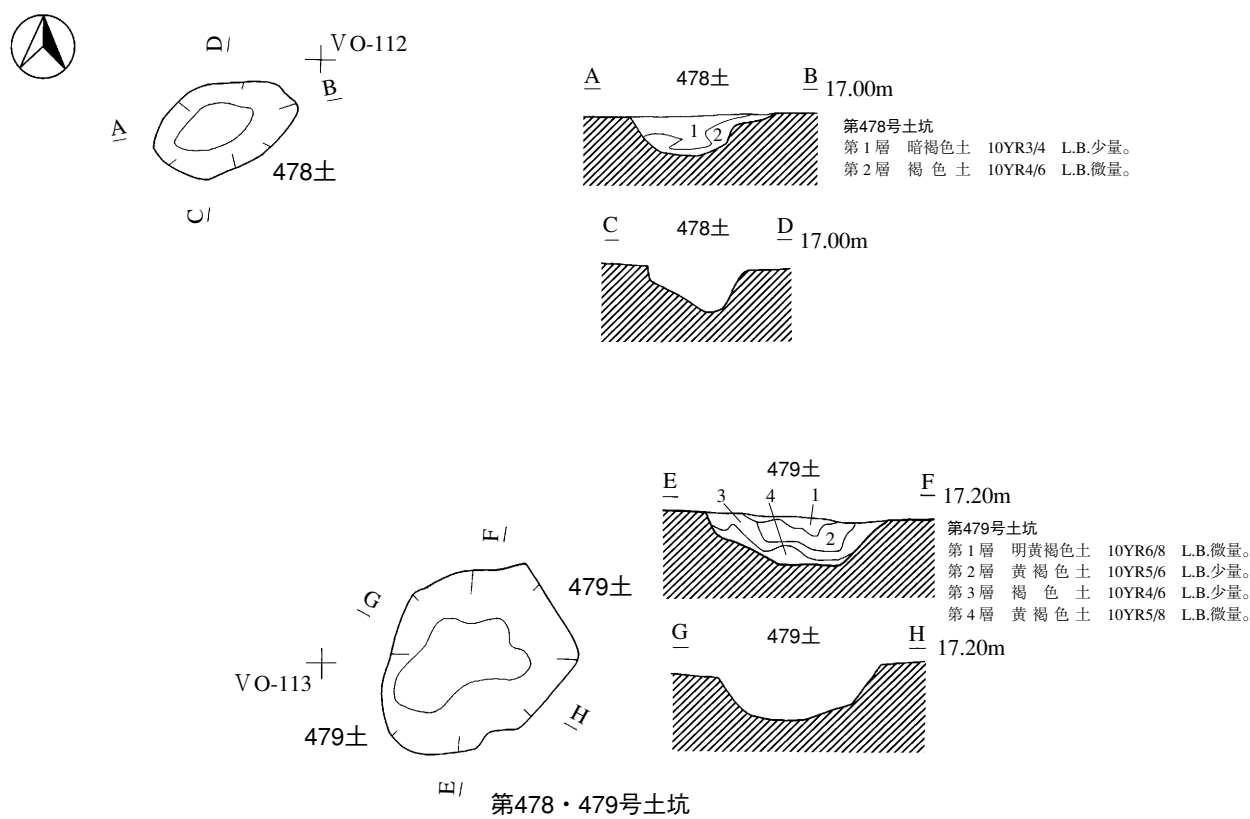
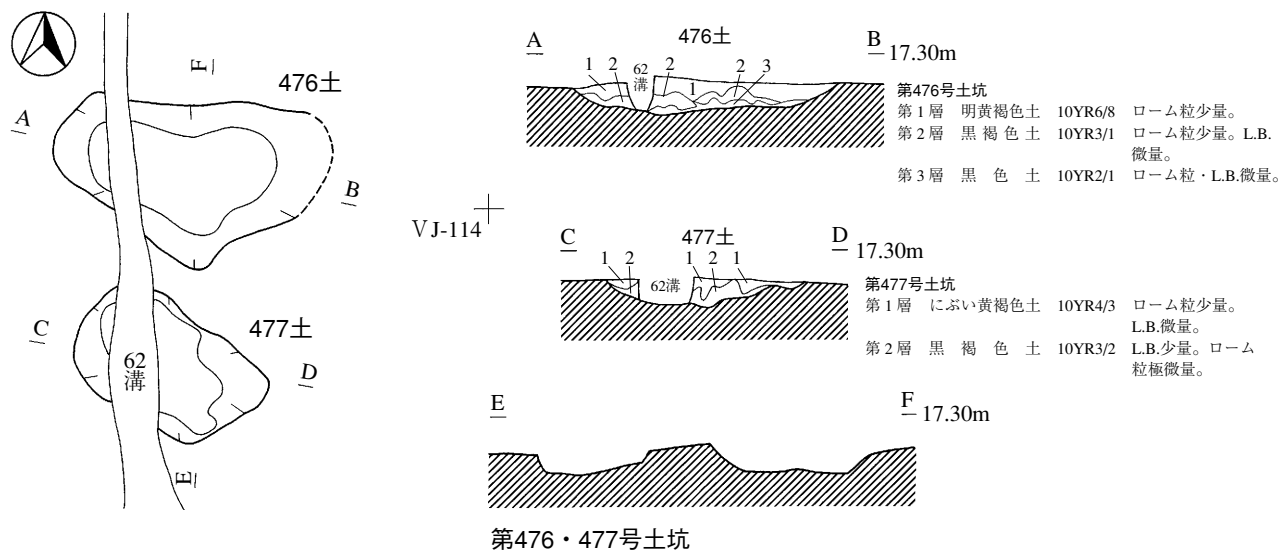
ⅦF-103



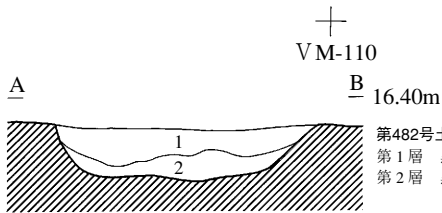
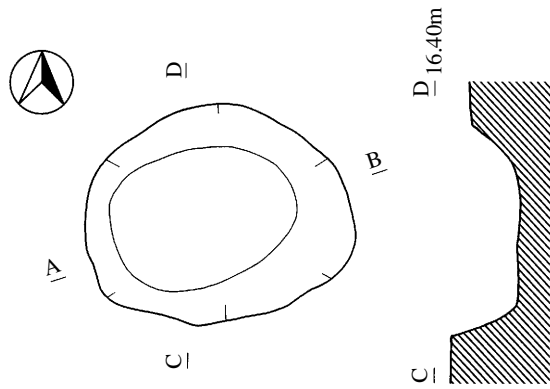
29図 第465～470号土坑



30図 第471～475号土坑（東側墓域の土坑）

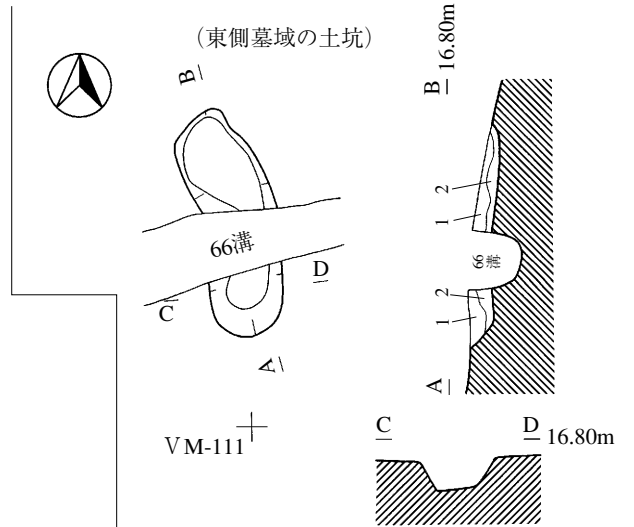


31図 第476～479・481号土坑



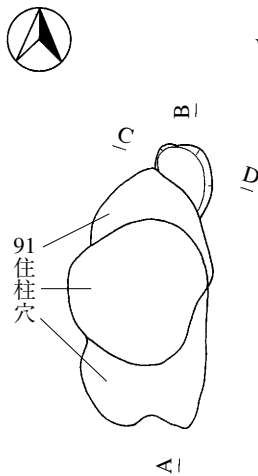
第482号土坑

第482号土坑
 第1層 黑色土 10YR2/1 L.B.中量。
 第2層 黑褐色土 10YR2/2 L.B.多量。黄褐色土微量。



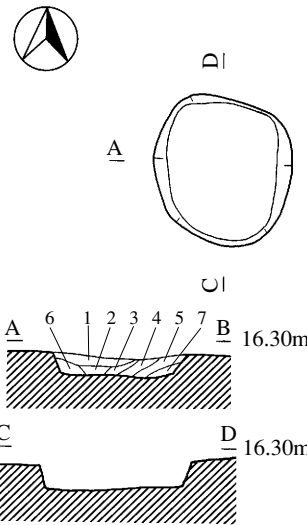
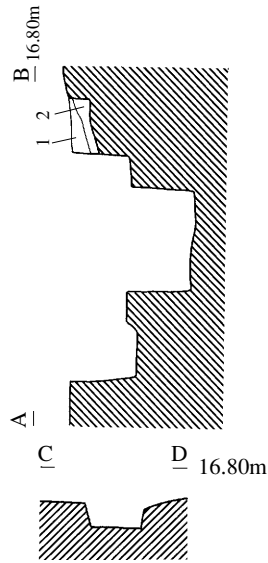
第483号土坑
 第1層 黑色土 10YR2/1 ローム粒少量。L.B.微量。
 第2層 黑褐色土 10YR3/1 ローム粒微量。

第483号土坑



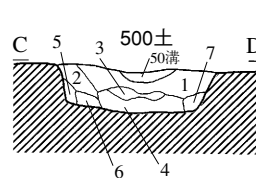
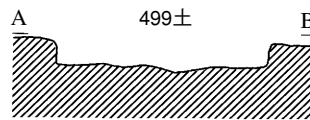
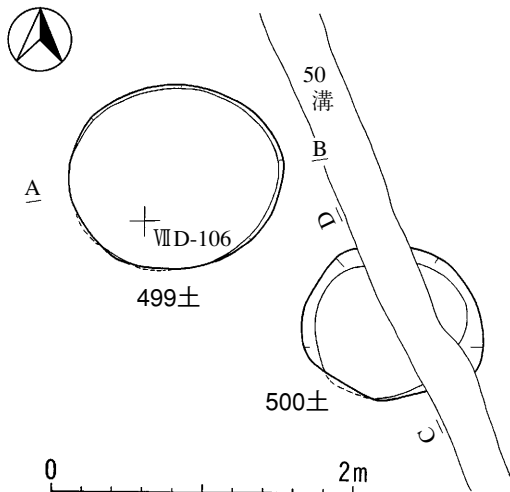
第486号土坑
 第1層 黑色土 10YR2/1 ローム粒微量。
 第2層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒多量。

第486号土坑



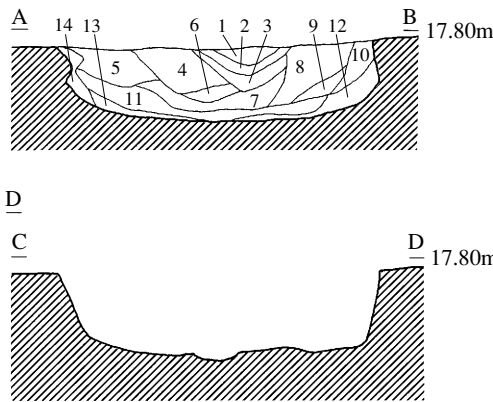
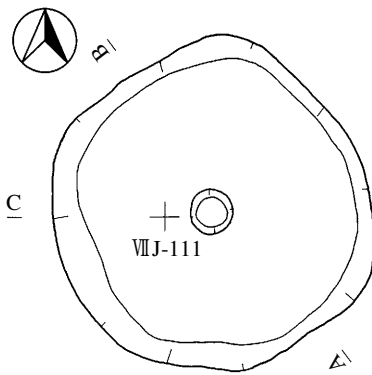
第498号土坑
 第1層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物微量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物微量。
 第3層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物・焼土粒極微量。
 第4層 黑褐色土 10YR2/3 炭化物・焼土粒極微量。
 第5層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物・ローム粒多量。
 第6層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物多量、ローム粒微量。
 第7層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物微量、焼土粒極微量。

第498号土坑



第500号土坑
 第1層 褐色土 7.5YR4/6 炭化物少量。焼土粒微量。
 第2層 暗褐色土 7.5YR3/4
 第3層 褐色土 10YR4/6 焼土粒少量。
 第4層 暗褐色土 7.5YR3/4 焼土粒極微量。鉄分沈殿。
 第5層 明黄褐色土 10YR6/8
 第6層 褐色土 7.5YR4/4
 第7層 褐色土 7.5YR4/6

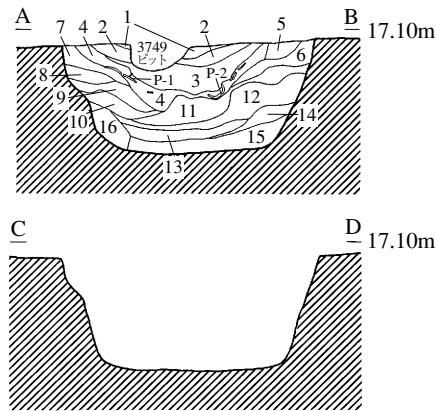
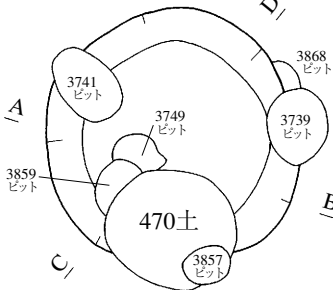
32図 第482・483・486・498~500号土坑



第506号土坑

第1層	オリーブ黒色土	5Y2/2	焼土粒微量。
第2層	黒色土	N1.5/0	ローム粒・焼土粒微量。
第3層	黒色土	2.5Y2/1	焼土粒少量。ローム粒微量。
第4層	オリーブ黒色土	5Y3/1	焼土粒微量。ローム粒少量。
第5層	オリーブ黒色土	5Y3/1	ローム粒・炭化物少量。
第6層	黒色土	5Y2/1	ローム粒・炭化物少量。焼土粒微量。
第7層	黒色土	7.5YR1.7/1	ローム粒・炭化物少量。焼土粒微量。
第8層	オリーブ黒色土	5Y3/1	ローム粒微量。焼土粒極微量。
第9層	黒褐色土	2.5Y3/1	ローム粒微量。焼土粒極微量。
第10層	オリーブ黒色土	5Y3/1	ローム粒微量。焼土粒極微量。
第11層	オリーブ黒色土	5Y3/1	
第12層	オリーブ黒色土	5Y3/1	ローム粒中量。焼土粒微量。
第13層	オリーブ黒色土	5Y3/1	ローム粒少量。
第14層	オリーブ黒色土	5Y3/1	ローム粒少量。焼土粒微量。

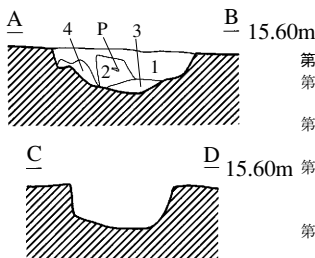
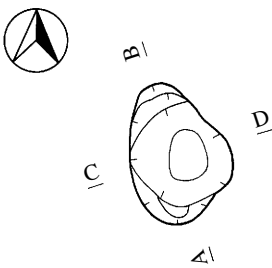
第506号土坑



第507号土坑

第1層	褐色土	7.5YR4/4	炭化物中量。焼土粒少量。鉄分沈殿多。
第2層	黄褐色土	2.5Y5/6	
第3層	明褐色土	7.5YR5/6	炭化物・焼土粒微量。鉄分沈殿多。
第4層	にぶい褐色土	7.5YR5/3	炭化物中量。鉄分沈殿多。
第5層	明褐色土	7.5YR5/6	
第6層	にぶい褐色土	7.5YR5/4	鉄分沈殿多。
第7層	灰褐色土	7.5YR5/2	炭化物少量。
第8層	橙色土	7.5YR6/6	炭化物微量。
第9層	にぶい褐色土	7.5YR5/3	炭化物微量。
第10層	にぶい褐色土	7.5YR5/4	炭化物・焼土粒微量。
第11層	灰褐色土	7.5YR5/2	炭化物・焼土粒微量。
第12層	にぶい褐色土	7.5YR5/4	炭化物・焼土粒少量。
第13層	にぶい褐色土	7.5YR6/3	炭化物少量。
第14層	にぶい橙色土	7.5YR6/4	炭化物微量。
第15層	にぶい褐色土	7.5YR6/3	炭化物・ローム粒少量。
第16層	明褐色土	7.5YR5/6	

第507号土坑



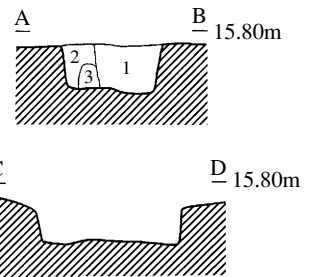
第509号土坑

第1層	にぶい黄褐色土	10YR4/3	ローム粒微量。炭化物極微量。
第2層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒中量。炭化物微量。
第3層	暗褐色土	10YR3/4	ローム粒多量。炭化物少量。
第4層	黒褐色土	10YR2/3	L.B.微量。炭化物極微量。

第509号土坑



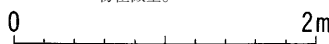
VR-104



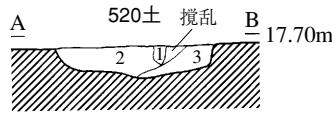
第516号土坑

第1層	黒褐色土	10YR3/2	炭化物・L.B.多量。ローム粒少量。焼土粒微量。
第2層	黒褐色土	10YR3/2	ローム粒・焼土粒極微量。
第3層	暗褐色土	10YR3/3	ローム粒極微量。

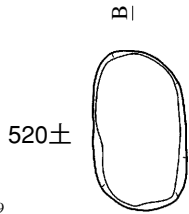
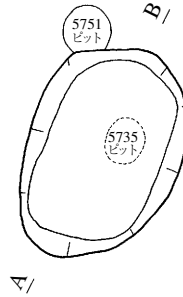
第516号土坑



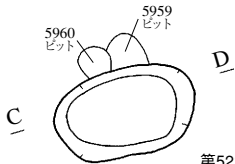
33図 第506・507・509・516号土坑



第520号土坑
 第1層 濃い黄褐色土 10YR4/3 炭化物・焼土粒微量。
 第2層 黒褐色土 25YR3/2 炭化物・焼土粒微量。
 第3層 暗褐色土 10YR3/3 焼土粒少量。炭化物微量。

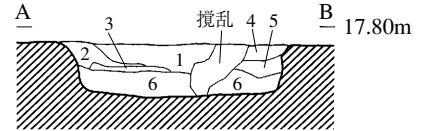
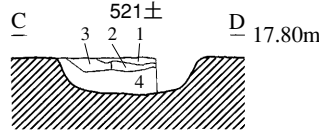


520±



521±

第521号土坑
 第1層 黒褐色土 7.5YR3/2
 第2層 暗オリーブ褐色土 2.5Y3/3 鉄分沈殿。
 第3層 明黄褐色土 10YR6/8
 第4層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物・焼土粒微量。



第522号土坑
 第1層 黒褐色土 2.5Y3/2 ローム粒中量。炭化物・焼土粒少量。
 第2層 オリーブ褐色土 2.5Y4/3 ローム粒多量。炭化物・焼土粒少量。
 第3層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物少量。
 第4層 黒褐色土 10YR3/2 ローム粒・焼土粒微量。
 第5層 褐色土 7.5YR4/4 炭化物・ローム粒少量。焼土粒微量。
 6層との層境にL.B。
 第6層 褐色土 7.5YR4/4 炭化物・ローム粒少量。焼土粒微量。

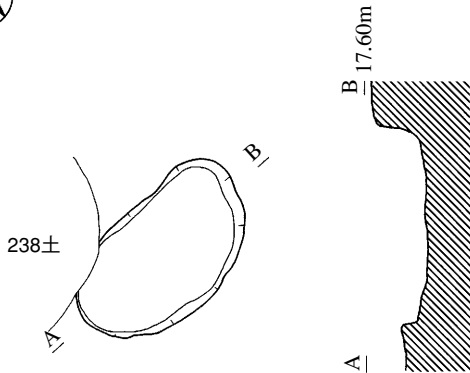


第520・521号土坑

第522号土坑



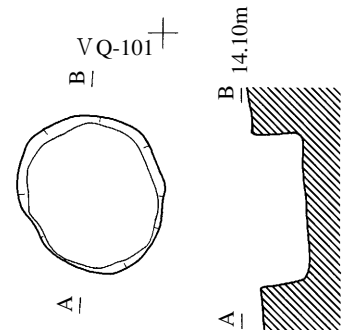
VIIH-108



第523号土坑



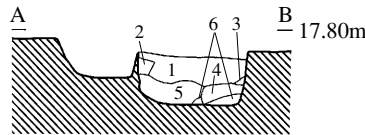
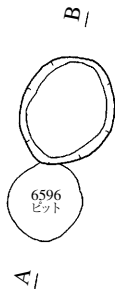
VQ-101



第541号土坑



VIIJ-110

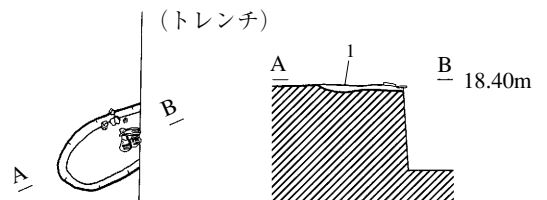


第547号土坑
 第1層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物中粒。焼土粒微粒。
 第2層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量。
 第3層 明黄褐色土 10YR7/6
 第4層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒微量。炭化物極微量。
 第5層 黄褐色土 10YR5/6 炭化物微量。
 第6層 明黄褐色土 2.5Y7/6

第547号土坑



VIIF-114

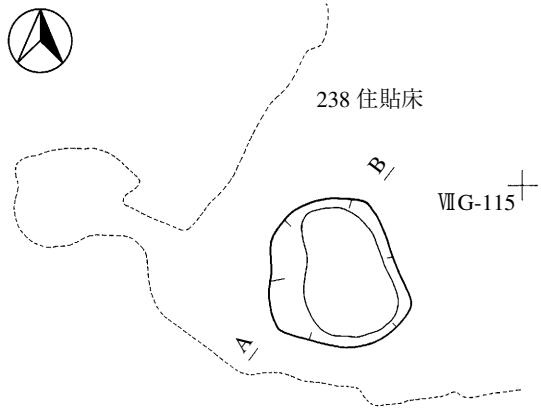


第555号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR3/1 炭化物、ローム粒中量。焼土粒微量。

第555号土坑



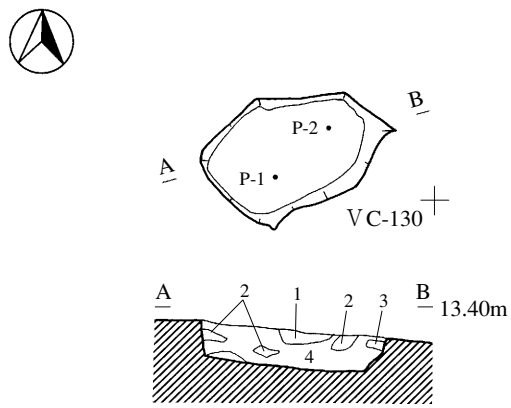
34図 第520～523・541・547・555号土坑



第557号土坑

第1層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物中量。
焼土粒少量。

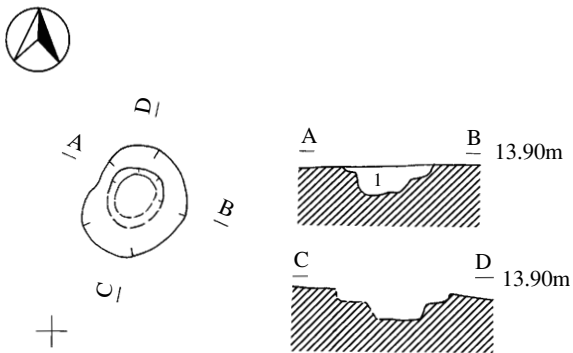
第557号土坑



第564号土坑

第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物微量。
第2層 黒色土 10YR2/1
第3層 黒褐色土 10YR3/2 L.B.多量。
第4層 黒褐色土 10YR2/2 L.B.中量。

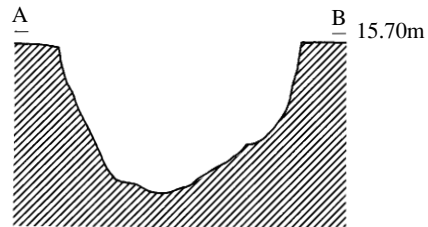
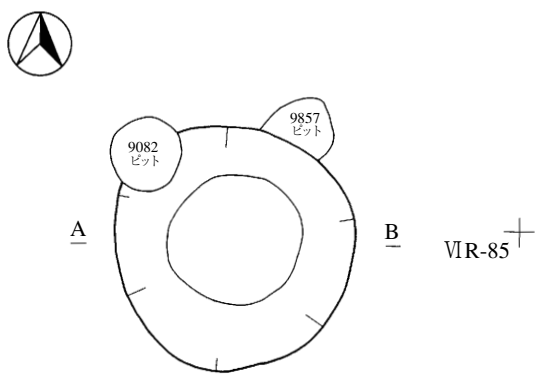
第564号土坑



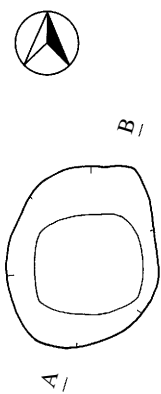
第596号土坑

第1層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物・ローム粒・L.B.少量。

第596号土坑



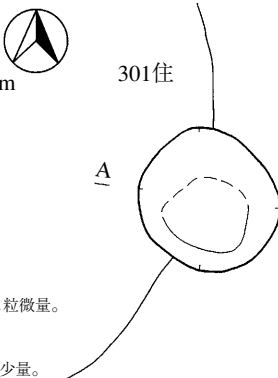
第647号土坑



第648号土坑

第1層 黒褐色土 2.5Y3/1 炭化物・ローム粒微量。
第2層 黒褐色土 2.5Y3/1
第3層 黒褐色土 2.5Y3/2 ローム粒少量。
第4層 黒色土 2.5Y2/1 ローム粒・L.B.少量。
第5層 黒色土 10YR2/1 炭化物微量。
第6層 黒色土 10YR2/1 ローム粒微量。

第648号土坑



第671号土坑

第1層 黒褐色土 10YR3/1 炭化物微量。
鉄分沈殿。
第2層 暗オリーブ色土 5Y4/3 ローム粒微量。
鉄分沈殿。
第3層 オリーブ色土 5Y5/4 鉄分沈殿。

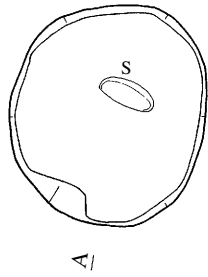
第671号土坑



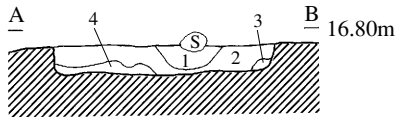
35図 第557・564・596・647・648・671号土坑



VH-122



A



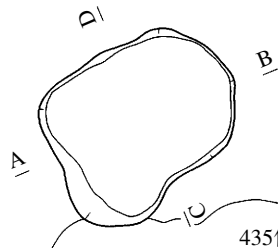
第672号土坑

- 第1層 黒色土 10Y2/1
- 第2層 黒色土 2.5Y2/1 鉄分沈殿微量。
- 第3層 暗オリーブ色土 5Y4/4 鉄分沈殿微量。
- 第4層 暗オリーブ褐色土 2.5Y3/3 ローム粒微量。

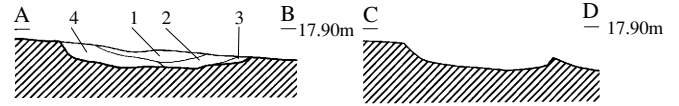
第672号土坑



VH-112



435住



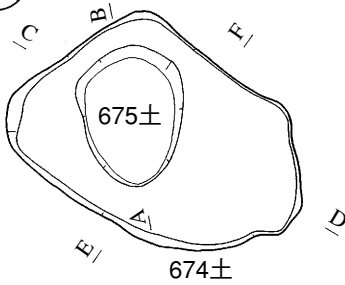
第673号土坑

- 第1層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 浮石粒微量。
- 第2層 にぶい黄褐色土 10YR5/4 浮石粒微量。
- 第3層 明黄褐色土 10YR6/6 浮石粒多量。
- 第4層 暗褐色土 10YR3/4 浮石粒微量。

第673号土坑

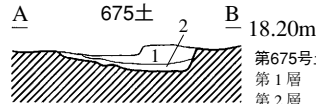


VIK-112



674土

E



第675号土坑

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・浮石粒多量。L.B.少量。
- 第2層 褐色土 10YR4/4 L.B.少量。



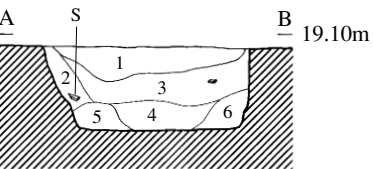
第674号土坑

- 第1層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物多量。L.B.・焼土粒・浮石粒少量。

第674・675号土坑



VIM-116



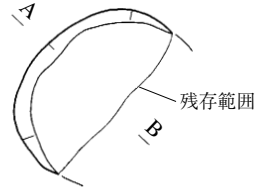
第677号土坑

- 第1層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物・焼土粒・浮石粒微量。
- 第2層 黒褐色土 10YR2/3 L.B.中量。炭化物・焼土粒微量。
- 第3層 黒褐色土 10YR2/2 L.B.少量。炭化物・焼土粒微量。
- 第4層 暗褐色土 10YR3/4 L.B.少量。炭化物・焼土粒・浮石粒微量。
- 第5層 黒褐色土 10YR2/3 L.B.中量。炭化物微量。
- 第6層 暗褐色土 10YR3/3 L.B.少量。炭化物微量。

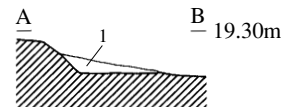
第677号土坑



VIK-119



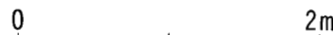
残存範囲



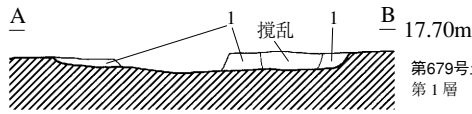
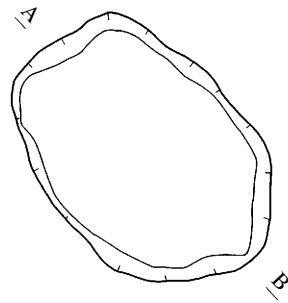
第678号土坑

- 第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・焼土粒・浮石粒極微量。

第678号土坑

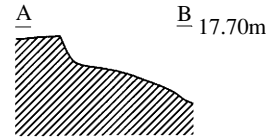
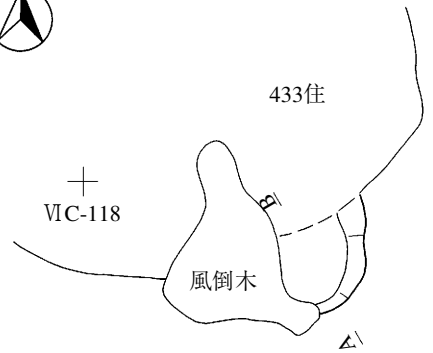


36図 第672~675・677・678号土坑

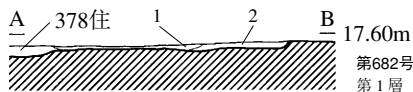
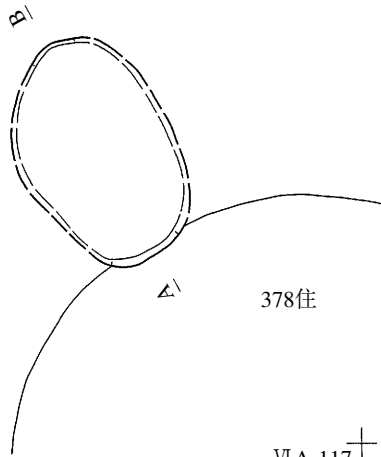


第679号土坑

第1層 黒褐色土 10YR2/2 浮石粒中量。炭化物少量。

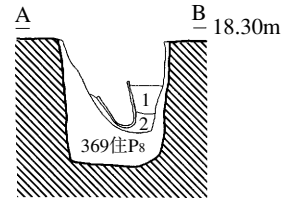
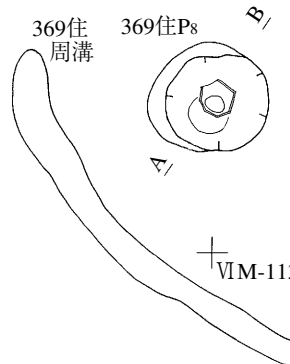


第680号土坑



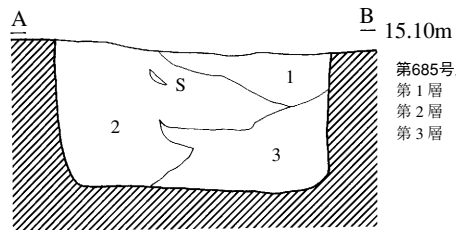
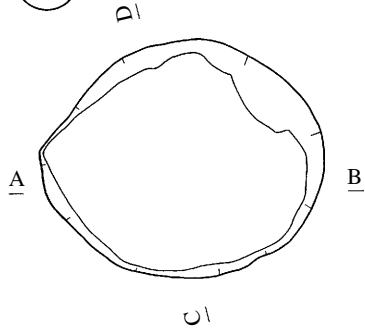
第682号土坑

第1層 黒褐色土 10YR3/2 炭化物・L.B.微量。
第2層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物・L.B.微量。

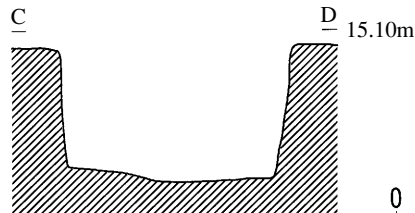


第683号土坑

第1層 暗褐色土 10YR3/4 炭化物少量。
第2層 褐色土 7.5YR4/6 炭化物少量。



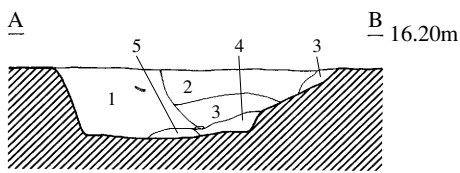
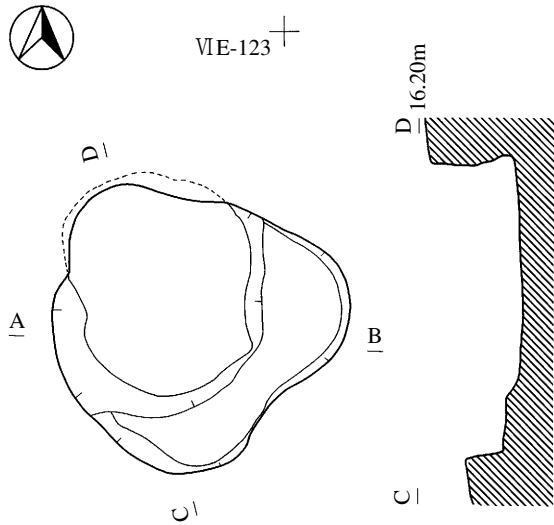
第1層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物微量。
第2層 暗褐色土 10YR3/4
第3層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 L.B.多量。



第685号土坑

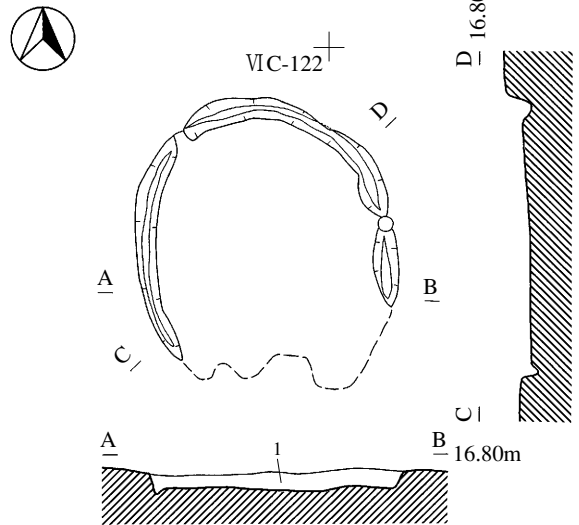


37図 第679・680・682・683・685号土坑



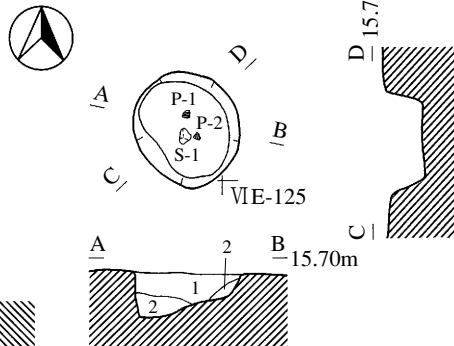
第686号土坑
 第1層 黒色土 10YR2/1 ローム粒・L.B.少量。
 第2層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒・L.B.少量。炭化物・焼土粒微量。
 第3層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒・L.B.中量。炭化物微量。
 第4層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物・焼土粒少量。
 第5層 黒褐色土 10YR2/3

第686号土坑



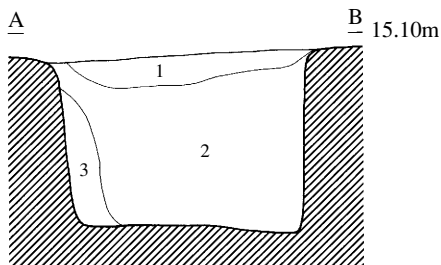
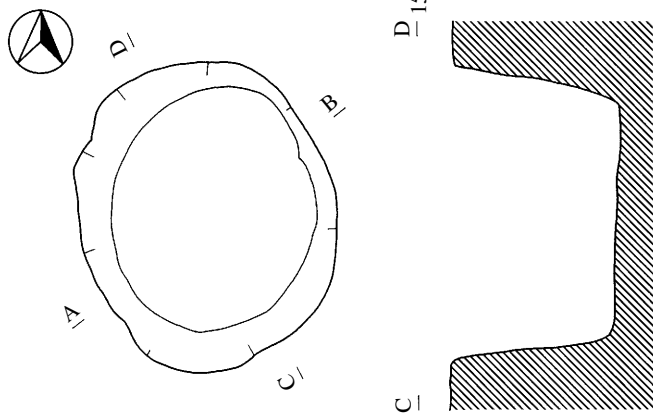
第687号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/3 草木痕による攪乱激しい。

第687号土坑



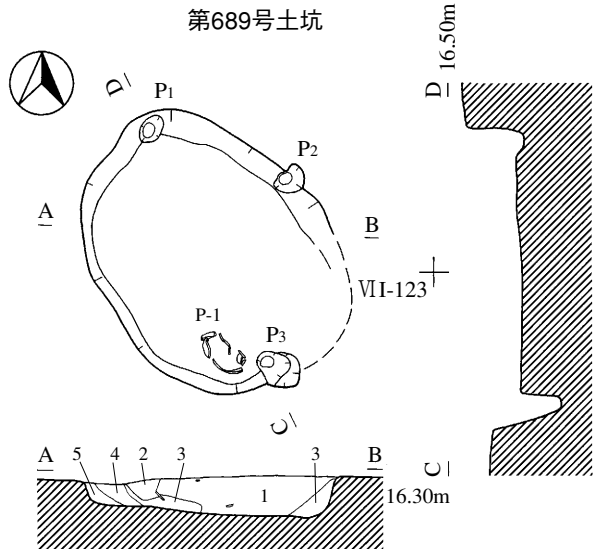
第689号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・ローム粒・焼土粒微量。
 第2層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物中量。

第689号土坑



第688号土坑
 第1層 におい黄褐色土 10YR4/3 L.B.微量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/3 炭化物・L.B.微量。
 第3層 黒褐色土 10YR2/3

第688号土坑



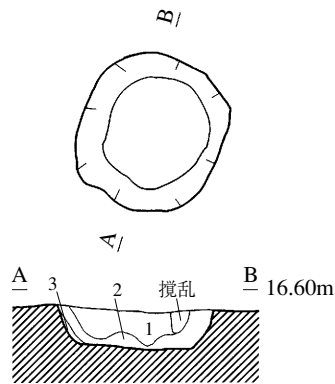
第690号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/2 炭化物・ローム粒多量。焼土粒少量。
 第2層 黒褐色土 10YR2/3 ローム粒多量。炭化物微量。
 第3層 黄褐色土 10YR5/6 ローム粒多量。暗褐色土少量。
 第4層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒多量。炭化物微量。
 第5層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒多量。炭化物少量。

第690号土坑



38図 第686~690号土坑

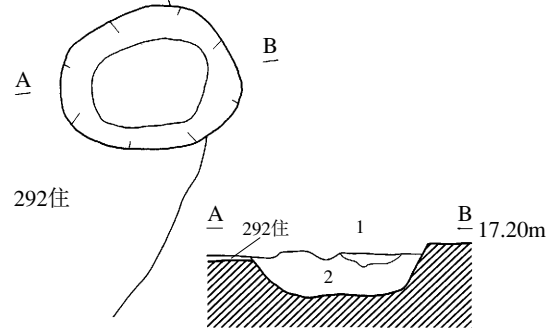
VB-120



第691号土坑
 第1層 黒色土 10YR1.7/1 ローム粒少量。L.B.微量。
 第2層 黒褐色土 10YR2/2 ローム粒中量。
 第3層 暗褐色土 10YR3/4 ローム粒中量。L.B.微量。

第691号土坑

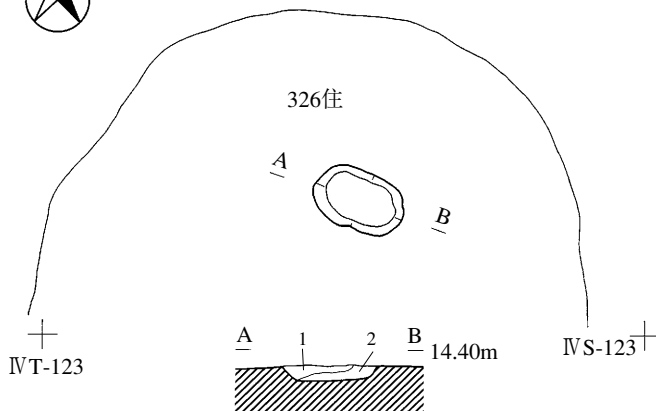
VN-120



第692号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/2
 第2層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒・L.B.中量。浮石粒少量。

第692号土坑

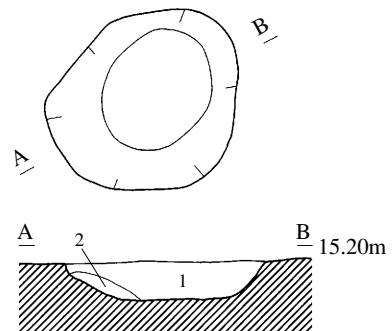
IVT-123



第693号土坑
 第1層 褐色土 10YR4/4 ローム粒中量。炭化物微量。
 第2層 にぶい黄褐色土 10YR4/3 L.B.多量。

第693号土坑

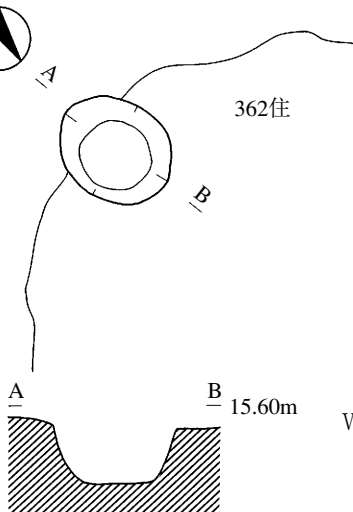
VB-122



第702号土坑
 第1層 暗褐色土 10YR3/3 L.B.多量。炭化物少量。
 第2層 明黄褐色土 10YR7/6 炭化物微量。

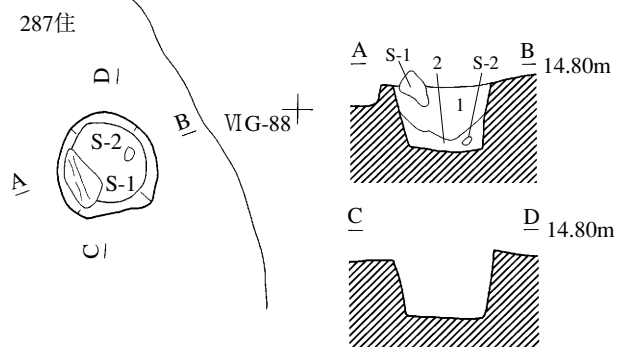
第702号土坑

VIL-133



第703号土坑

VIG-88

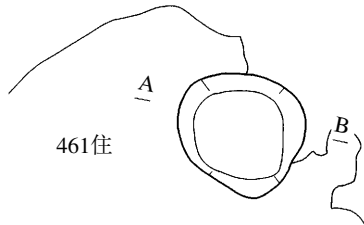
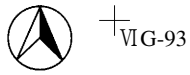


第705号土坑
 第1層 黒褐色土 10YR2/3 炭化物・ローム粒・浮石粒少量。焼土粒微量。
 第2層 暗褐色土 10YR3/3 ローム粒中量。

第705号土坑



39図 第691~693・702・703・705号土坑

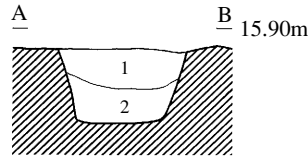


461住

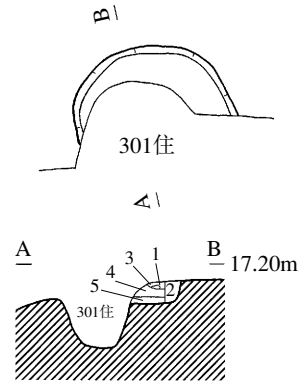
第706号土坑

第1層 褐色土 10YR4/4 L.B.多量。炭化物微量。
第2層 灰黄褐色土 10YR6/2 浮石粒多量。L.B.微量。

第706号土坑



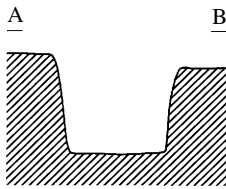
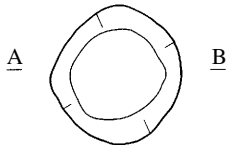
+VN-121



第711号土坑

第1層 暗褐色土 10YR3/4 浮石粒少量。
第2層 褐色土 10YR4/6 明褐色土微量。
第3層 黄橙色土 10YR7/3
第4層 黄褐色土 10YR5/6 明褐色土中量。
第5層 黑褐色土 10YR2/3 明黄褐色土少量。

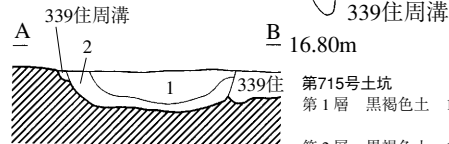
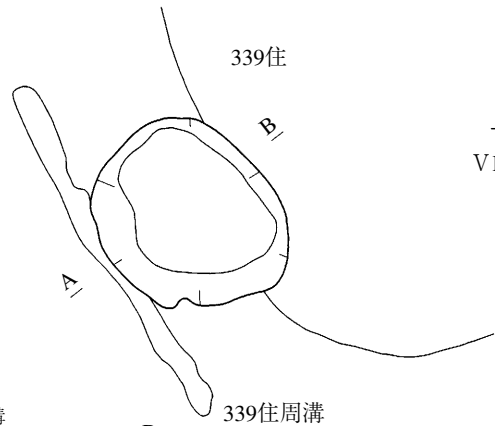
第711号土坑



第714号土坑

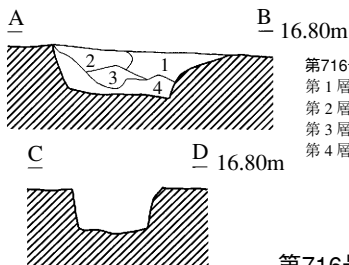
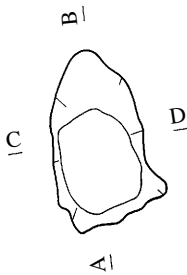


+VL-120



第715号土坑

第1層 黑褐色土 10YR3/2 炭化物・浮石粒多量。ローム粒少量。
第2層 黑褐色土 10YR3/2 浮石粒多量。炭化物・ローム粒少量。



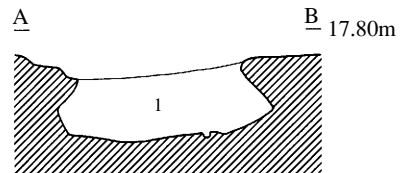
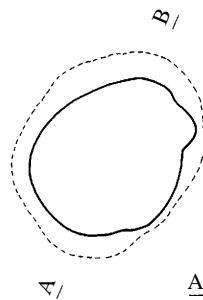
第716号土坑

第1層 黄褐色土 10YR5/6 L.B.微量。
第2層 褐色土 10YR4/6 L.B.極微量。
第3層 暗褐色土 10YR3/4 L.B.極微量。
第4層 におい黄褐色土 10YR5/4 L.B.少量。

第716号土坑



+VJ-115



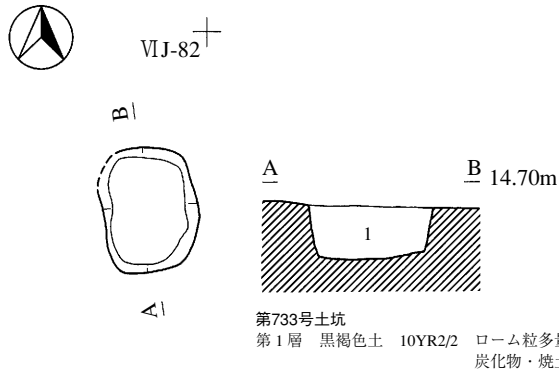
第718号土坑

第1層 黑色土 10YR1.7/1 L.B.多量。炭化物・浮石粒少量。焼土粒微量。

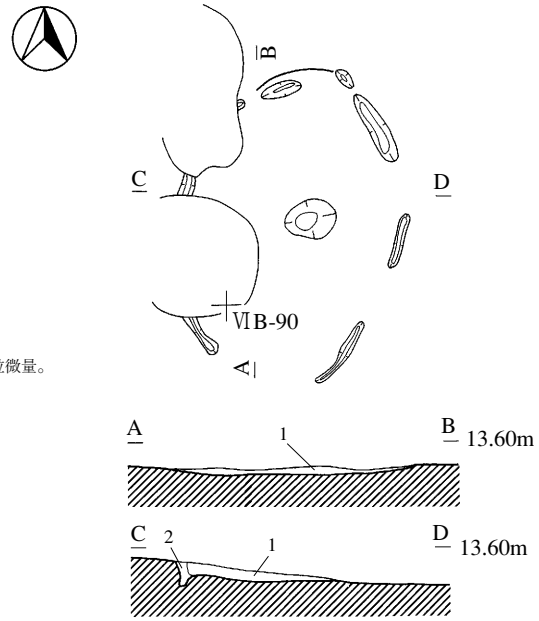
第718号土坑



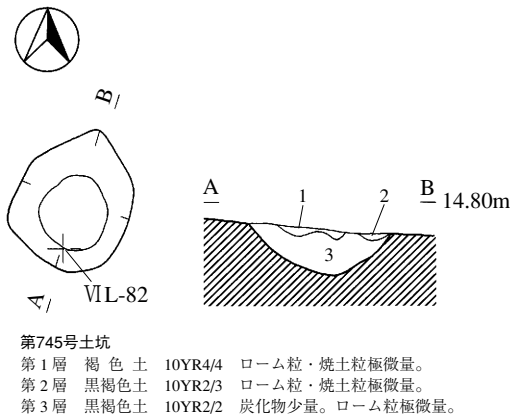
40図 第706・711・714~716・718号土坑



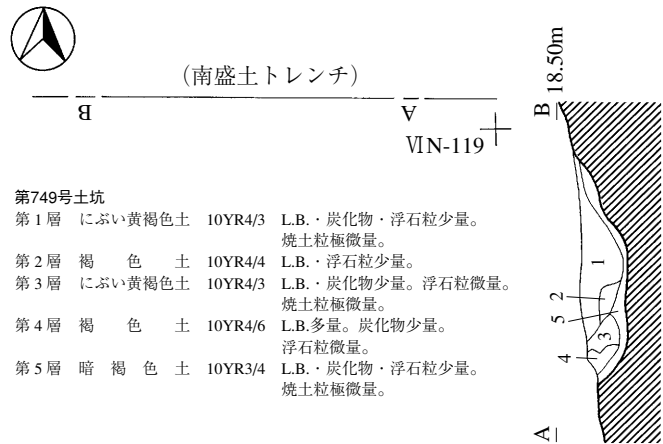
第733号土坑



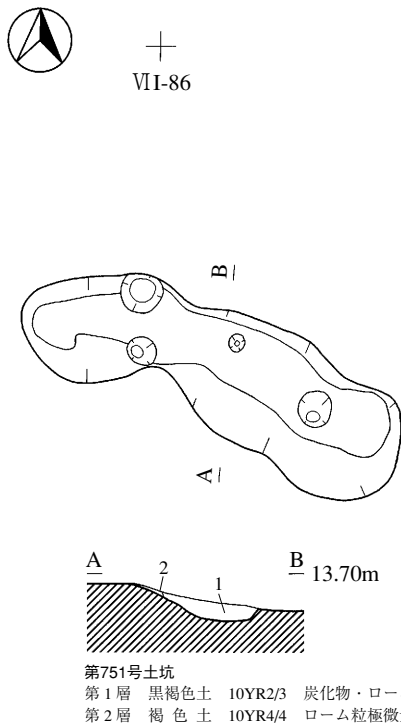
第736号土坑



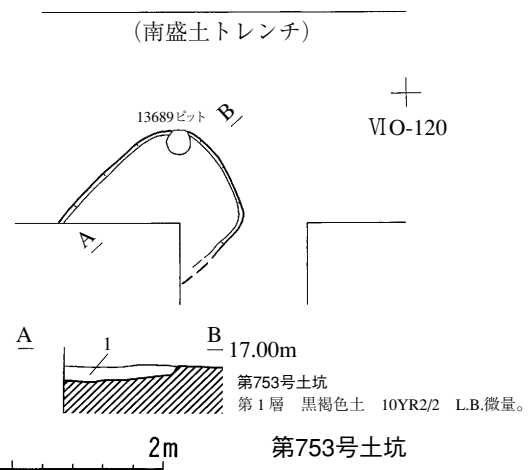
第745号土坑



第749号土坑

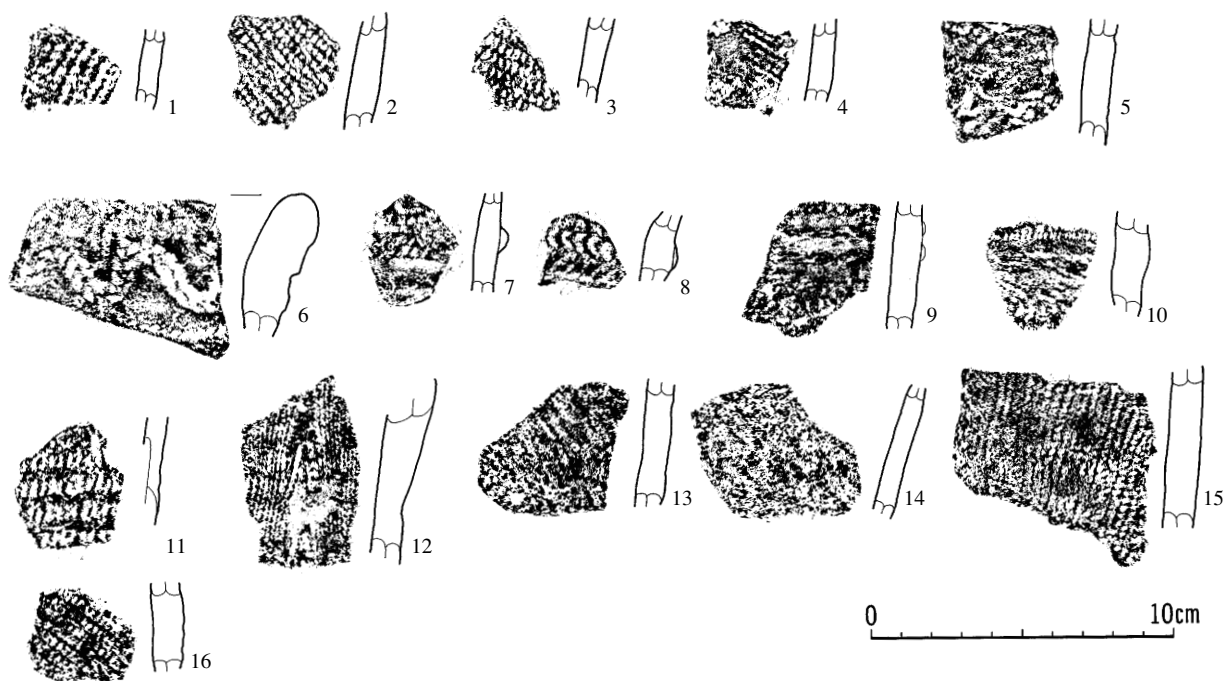


第751号土坑



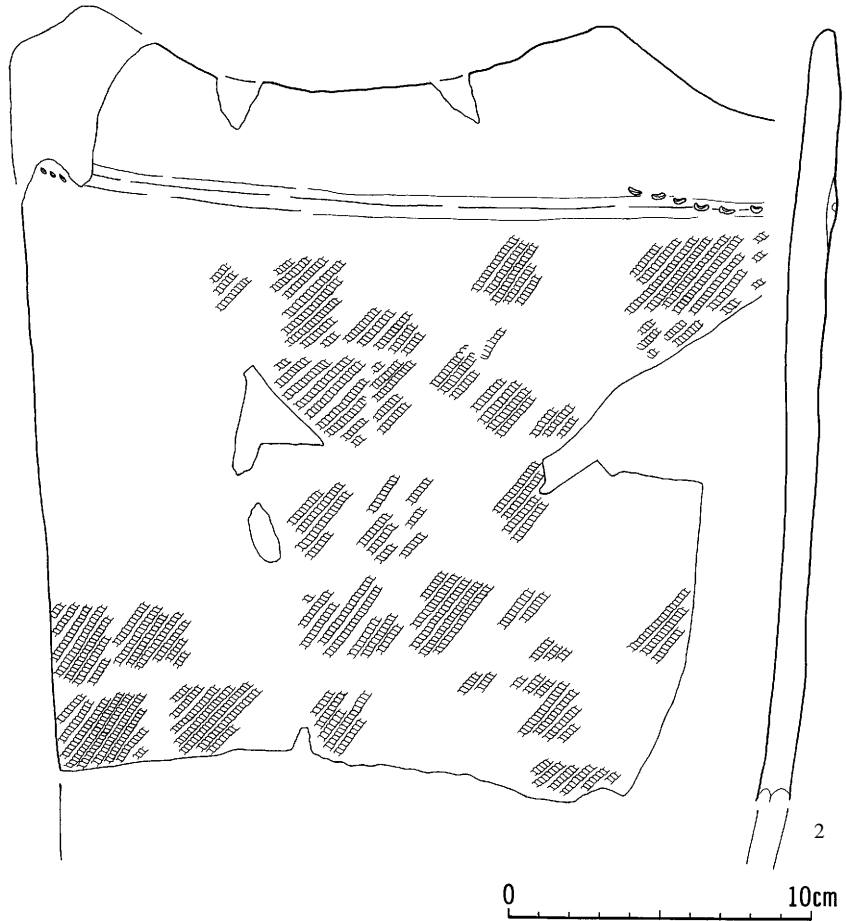
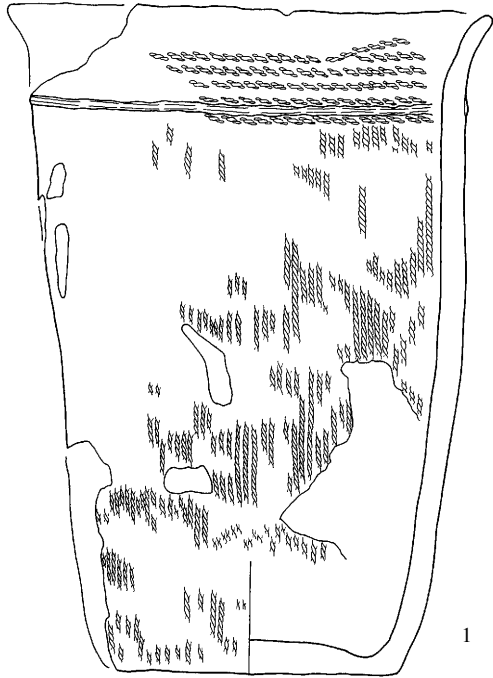
第753号土坑

41図 第733・736・745・749・751・753号土坑



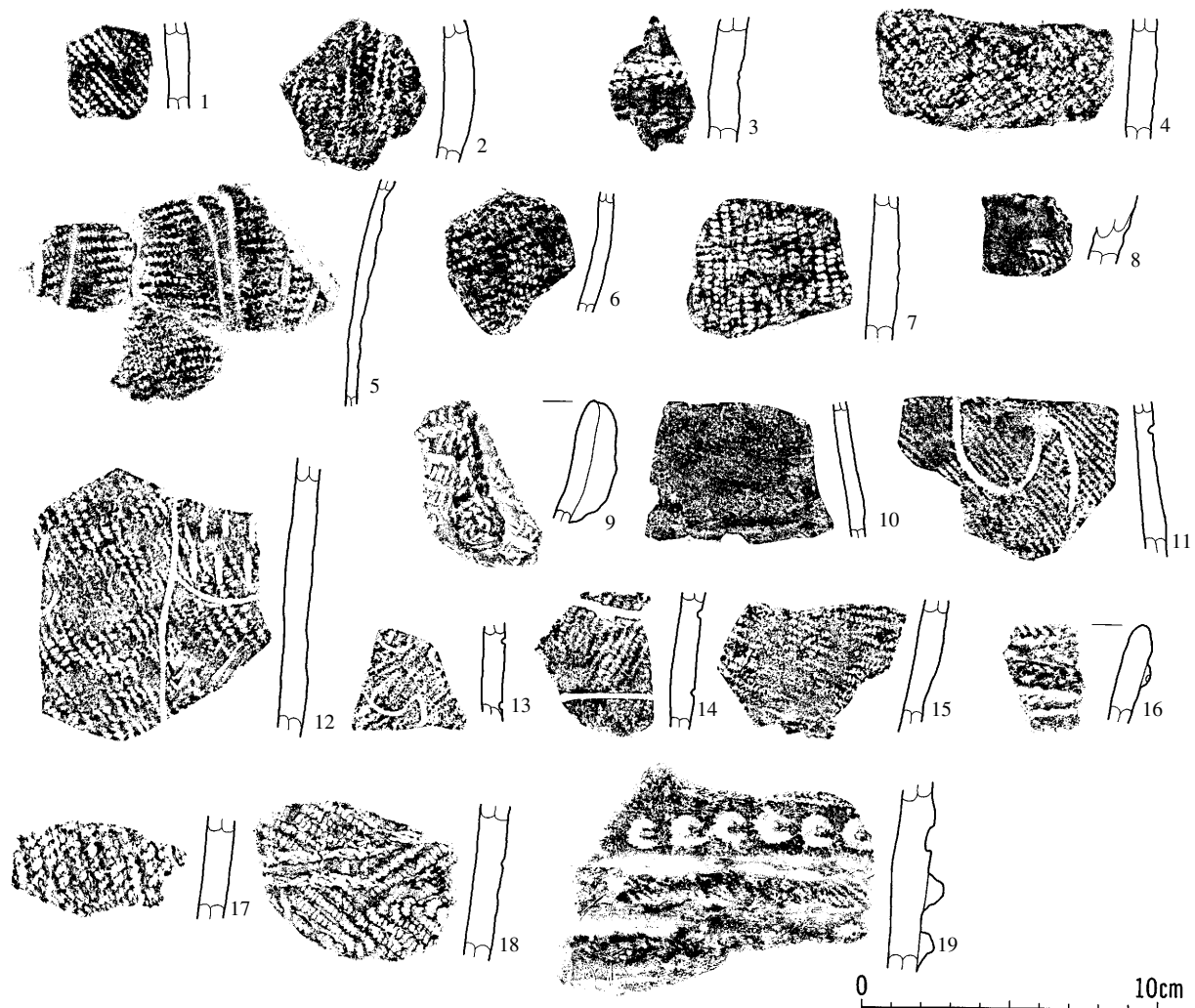
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	185土	堆積土			RLR	ミガキ		Ⅱ-6	
2	〃	〃		RL				Ⅲ-6	
3	186土	〃		多軸絡		ミガキ		Ⅱ-6	繊維混入
4	〃	〃			結束第1種 (LR・RL)			Ⅲ-6	
5	194土	〃		結束第2種 (LR)		ミガキ		Ⅱ-5-2	繊維混入
6	195土	〃	R押、LR・RL押			〃		Ⅲ-1	
7	〃	〃	貼付 (L押)、L押			〃		Ⅲ-1・2	
8	〃	〃	貼付 (L押)、刺突			〃		Ⅲ-3	
9	198土	〃	L単絡1押	結束第1種				Ⅱ-4・5-1	繊維混入
10	〃	〃			LR?			Ⅲ-11	
11	〃	〃	貼付 (RLR?押)					Ⅱ-3・4	繊維混入
12	〃	〃	R単絡1押					Ⅱ-5-2	〃
13	〃	〃			L・R単絡1a	ミガキ		Ⅱ-6	〃
14	〃	〃			RL?	〃		Ⅲ-6	
15	〃	〃			RL	〃		〃	
16	199土	〃		LR		〃		Ⅲ-5・11	

43図 第185・186・194・195・198・199号土坑出土土器



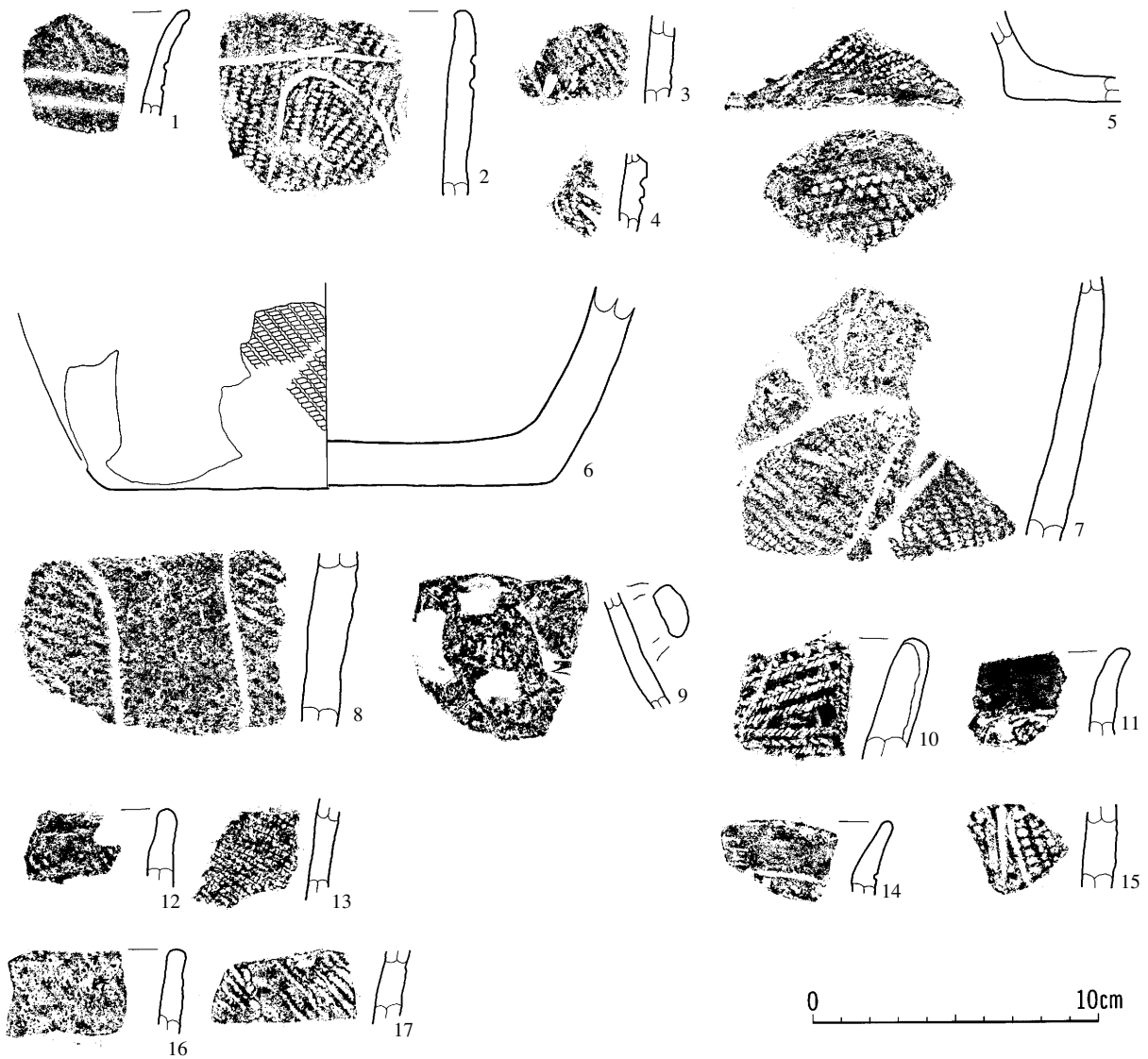
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	200土	底面	貼付、LR押	L単絡1	L単絡1	ミガキ	ミガキ	II-5-1	土器番号5259
2	〃	〃	不明 (擦糸圧痕?)	貼 (刺突)、P、L		〃		〃	土器番号4873、波状口縁

44図 第200号土坑出土土器



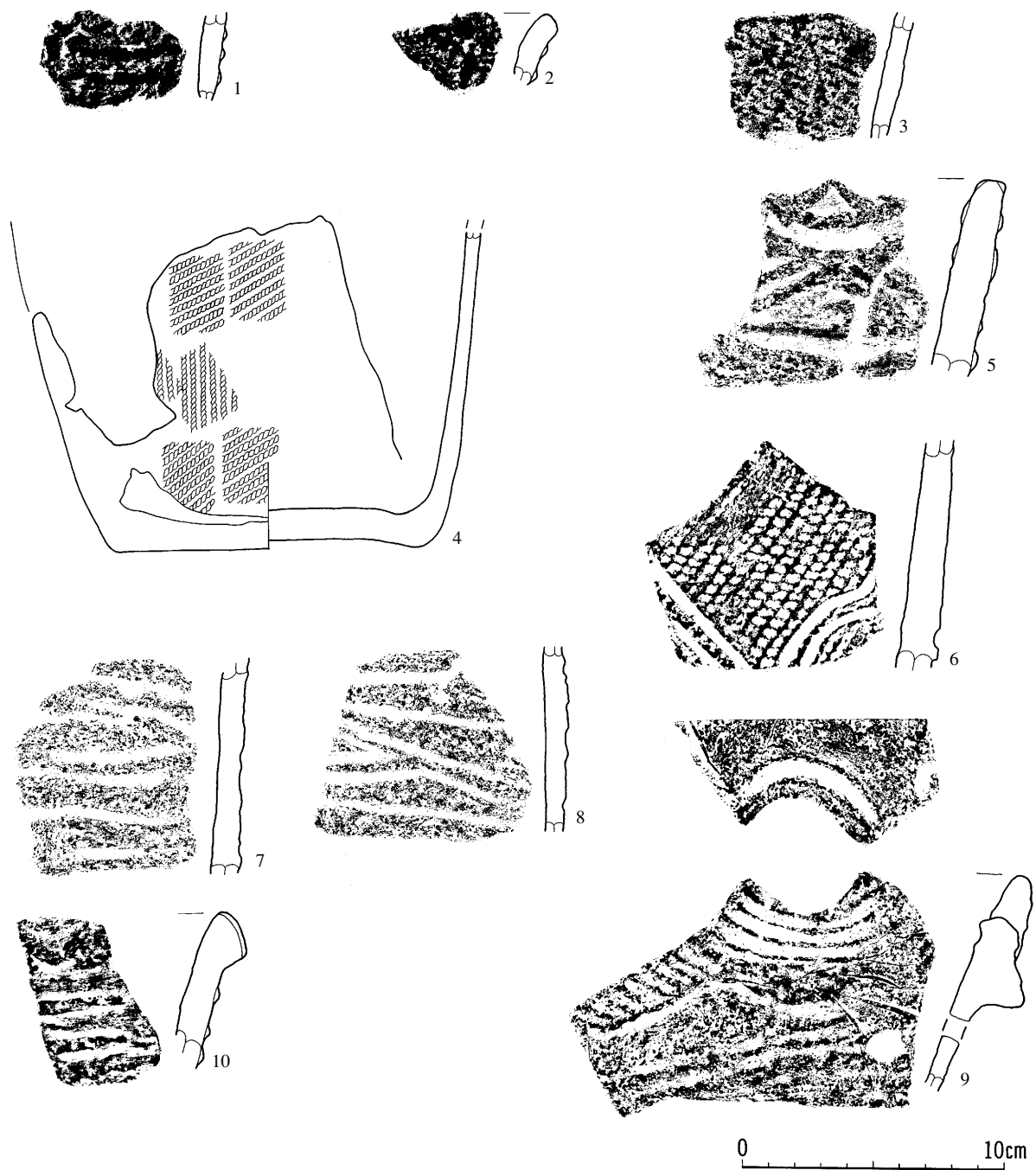
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	207土	堆積土		LR		ミガキ	Ⅲ-11		
2	〃	〃		L単絡1		〃	〃		
3	209土	〃	LR押			〃	Ⅱ-5-2	繊維混入	
4	〃	〃			RL	〃	Ⅲ-6		
5	〃	〃		LR、沈線			Ⅲ-9	炭化物付着（外面）	
6	〃	〃		LR			Ⅲ-11	〃	
7	〃	〃		RL		ミガキ	〃		
8	〃	〃			L?	〃	〃	外面漆付着	
9	210土	〃	貼付（LR押）、刺突			〃	Ⅱ-5-2		
10	〃	〃	素文（ミガキ）			〃	Ⅲ-9		
11	〃	〃		RL、沈線		〃	Ⅲ-10		
12	〃	〃		LR、沈線		〃	〃		
13	〃	〃		RL、沈線		〃	Ⅲ-11		
14	〃	〃		RL、沈線		〃	〃		
15	〃	〃			RL	〃	〃		
16	212土	〃	貼付（刺突）、PL押			〃	Ⅱ-5-2・Ⅲ-1	口唇に刻み	
17	〃	〃			RLR	〃	Ⅱ-6	繊維混入	
18	〃	〃			結束第1種（LR・RL）	〃	Ⅲ-6	炭化物付着（外面）	
19	217土	〃	貼（LR）、L馬蹄形押、L押			〃	Ⅲ-3		

45図 第207・209・210・212・217号土坑出土土器



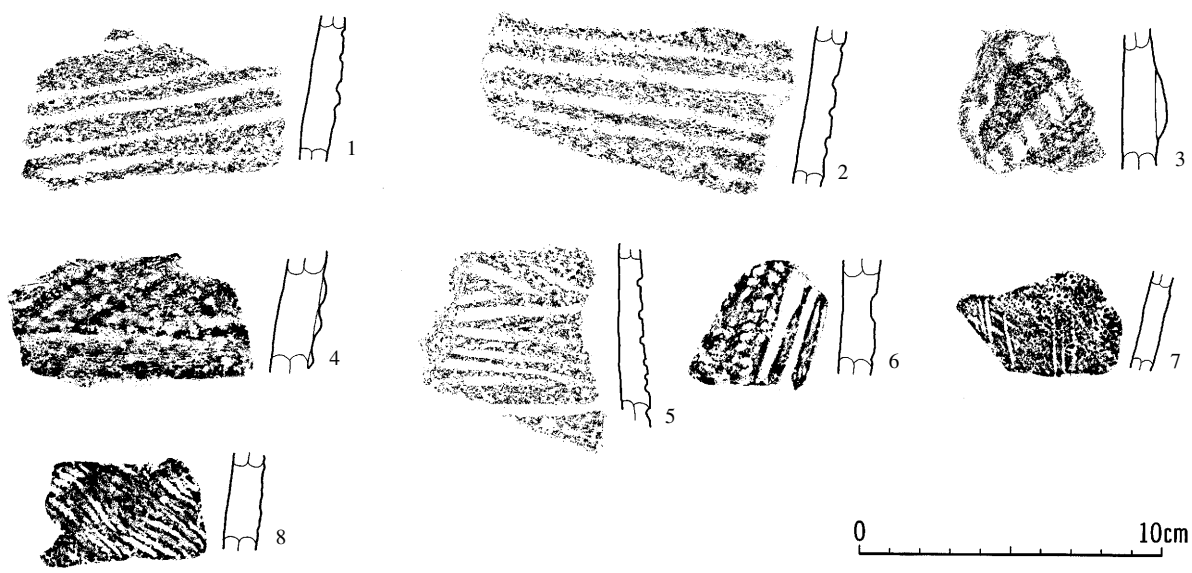
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	225土	堆積土	沈線					Ⅲ-10	
2	231土	〃	RL、沈線			ミガキ		〃	
3	〃	〃		LR、沈線、刺突		〃		〃	
4	〃	〃		LR、刺突		〃		〃	
5	〃	〃			RL	〃	網代痕	Ⅲ-11	
6	235土	〃			RL	〃	ミガキ	Ⅲ-9・10	P-1、7、8と同一個体
7	〃	〃		RL、沈線		〃		〃	P-1、6、8と同一個体
8	〃	〃		〃		〃		〃	P-1、6、7と同一個体
9	237土	〃		橋状把手		〃		Ⅲ-7	
10	239土	〃	貼付 (R押)、R押			〃		Ⅱ-5-2	繊維混入
11	〃	〃	折返口縁	沈線		〃		Ⅲ-9	
12	〃	〃	素文			〃		Ⅲ-11	
13	〃	〃			LR	〃		〃	
14	240土	〃	素文	沈線、RL				Ⅲ-8	
15	〃	〃		RL、沈線				Ⅲ-11	
16	〃	〃	素文			ミガキ		〃	
17	〃	〃			LR	〃		〃	

46図 第225・231・235・237・239・240号土坑出土土器



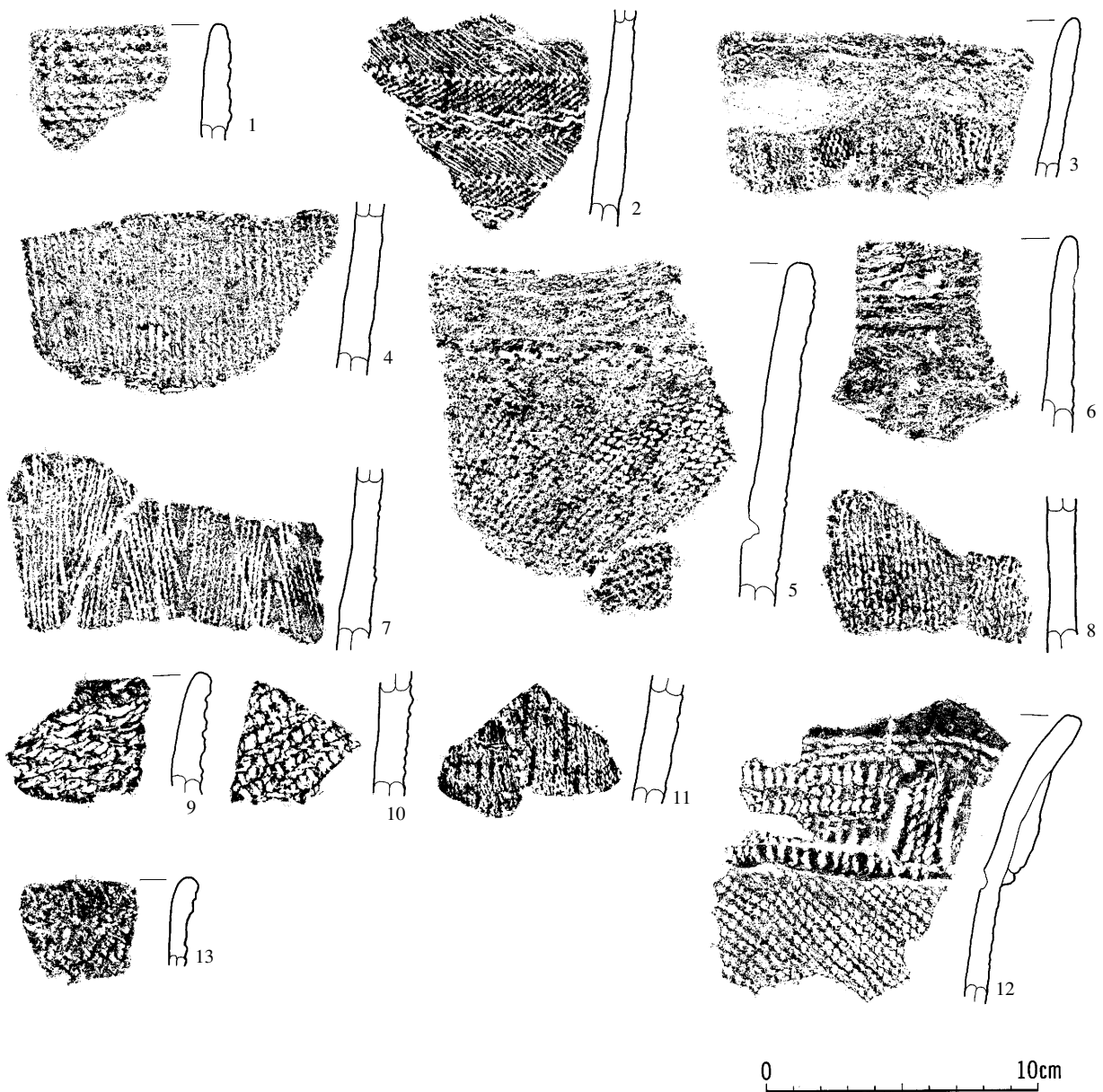
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	259土	堆積土		貼付				Ⅲ-4	
2	〃	〃	貼付					〃	
3	〃	〃		RL?				Ⅲ-5.11	
4	262土	底面			LR?	ミガキ	ミガキ?	Ⅲ-6	土器番号4944
5	〃	〃	突起 (貼付)					Ⅲ-5	
6	〃	〃		RL?沈線				〃	
7	〃	〃		沈線				〃	
8	〃	〃		沈線				〃	
9	〃	堆積土	突起 (貼付)、L?押	貼付				Ⅲ-4	補修孔、内面貼付あり
10	〃	〃	貼付	貼付				〃	波状口縁粘土紐

47図 第259・262号土坑出土土器



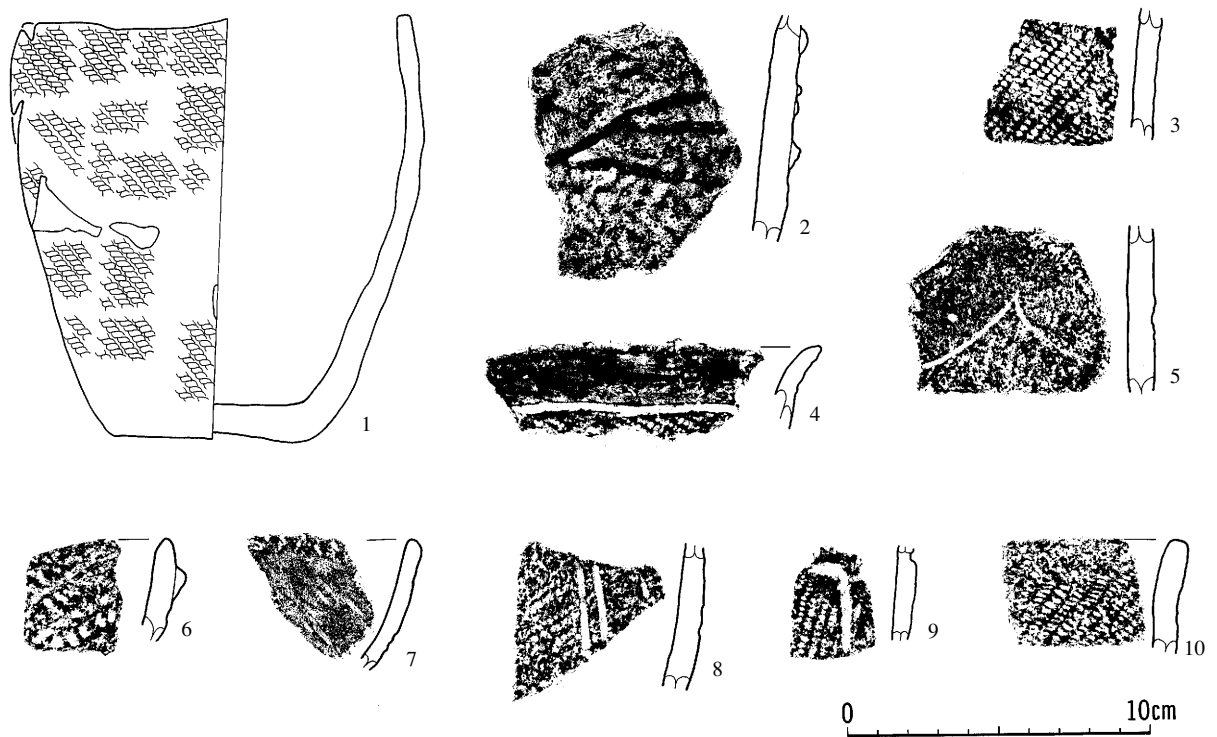
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	262土	底面		沈線				Ⅲ-5	
2	〃	〃		〃				〃	
3	〃	堆積土		貼付 (R?押、L?押 (馬蹄状))				Ⅲ-3	
4	〃	〃		貼付		ミガキ		Ⅲ-4	
5	〃	〃		RLR、沈線				Ⅲ-8	
6	〃	〃		〃		ミガキ		〃	
7	〃	〃			沈線			Ⅲ-9	
8	〃	〃			R			Ⅲ-11	

48図 第262号土坑出土土器



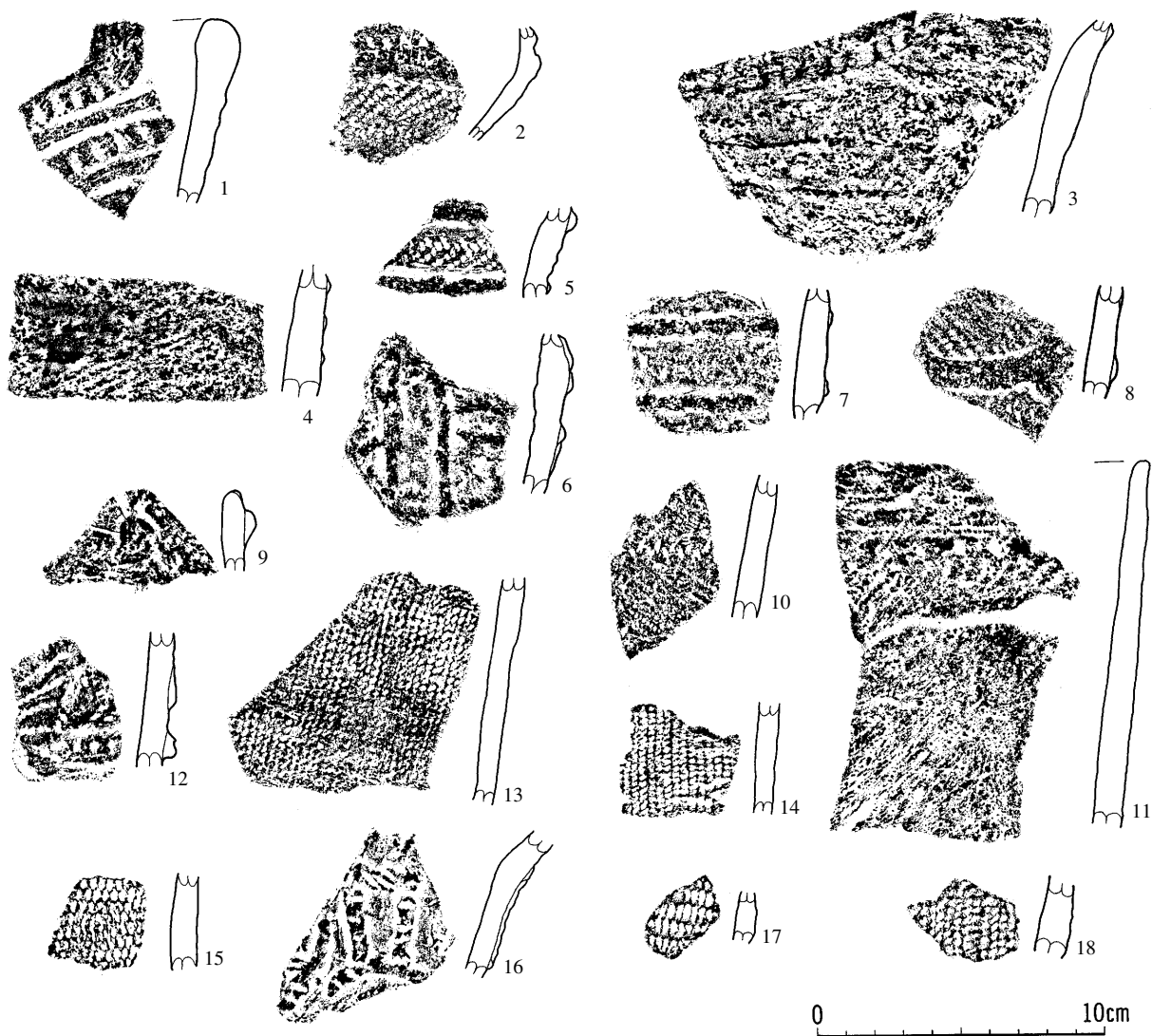
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	266土	底面	貼付 (LR押)、LR押					II-4・5-1	繊維混入
2	〃	〃			R単絡1	ミガキ		II-6	〃
3	〃	堆積土	結束第2種 (RL、LR)	R単絡1		〃		II-4	〃
4	〃	〃	低隆帯 (刺突)、L押	RLR		〃		II-5-1	
5	〃	〃	L押	結束第1種 (LR、RL)		〃			繊維混入
6	〃	〃			結束第1種 (LR、RL)、R結回	〃		II-4-5-1	〃
7	〃	〃			L・R単絡1a	〃		II-6	〃
8	〃	〃			L・R単絡1	〃		〃	
9	267土	〃	L結回					II-2	繊維混入
10	〃	〃		LR付加条 (LR0段多条)		ミガキ		II-6	
11	〃	〃			R単絡1a	〃		〃	
12	〃	〃	貼付 (L押)、LR押	RLR		〃		III-1	波状口縁、炭化物付着
13	〃	〃	結束第1種 (LR・RL)、LR押 (口唇)			〃		III-6	繊維混入 炭化物付着

49図 第266・267号土坑出土土器



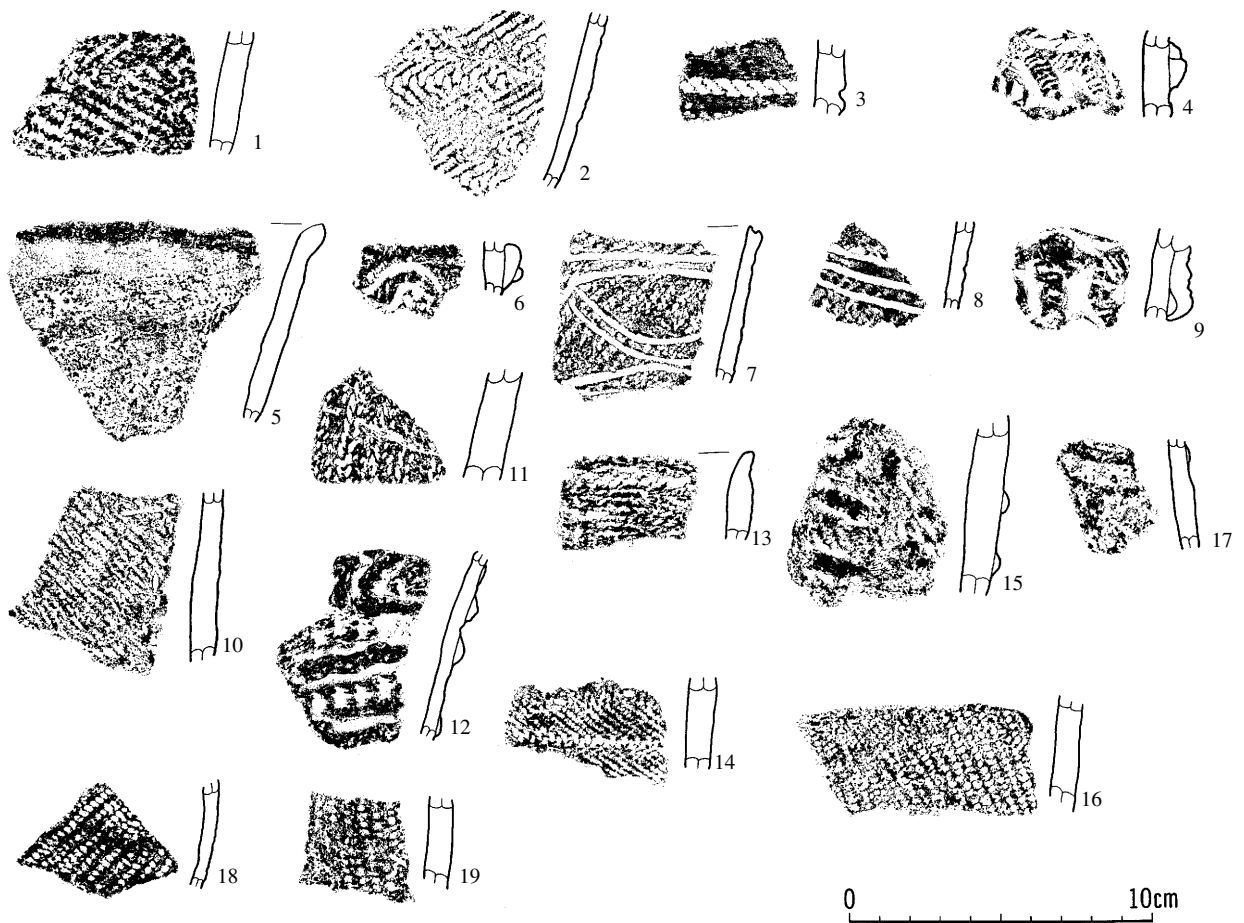
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	322土	底面直上	LR	LR	LR	ミガキ	ミガキ	Ⅲ-11	P-1、土器番号495
2	〃	〃		結束第1種 (LR, RL)、貼付		〃		Ⅲ-4	
3	〃	〃		RL		〃		Ⅲ-11	
4	〃	〃	沈線、LR			〃		Ⅲ-10	
5	〃	〃		沈線、RL		〃		Ⅲ-10	
6	349土	〃	貼付 (R押)、単絡1押					Ⅱ-5-2	波状口縁
7	〃	〃	刻み (口唇)	R				Ⅲ-6	
8	〃	〃		LR、沈線				Ⅲ-8・9	
9	〃	〃		RL、沈線、刺突 (棒状)				Ⅲ-9	
10	〃	〃	RL					Ⅲ-11	

50図 第322・349号土坑出土土器



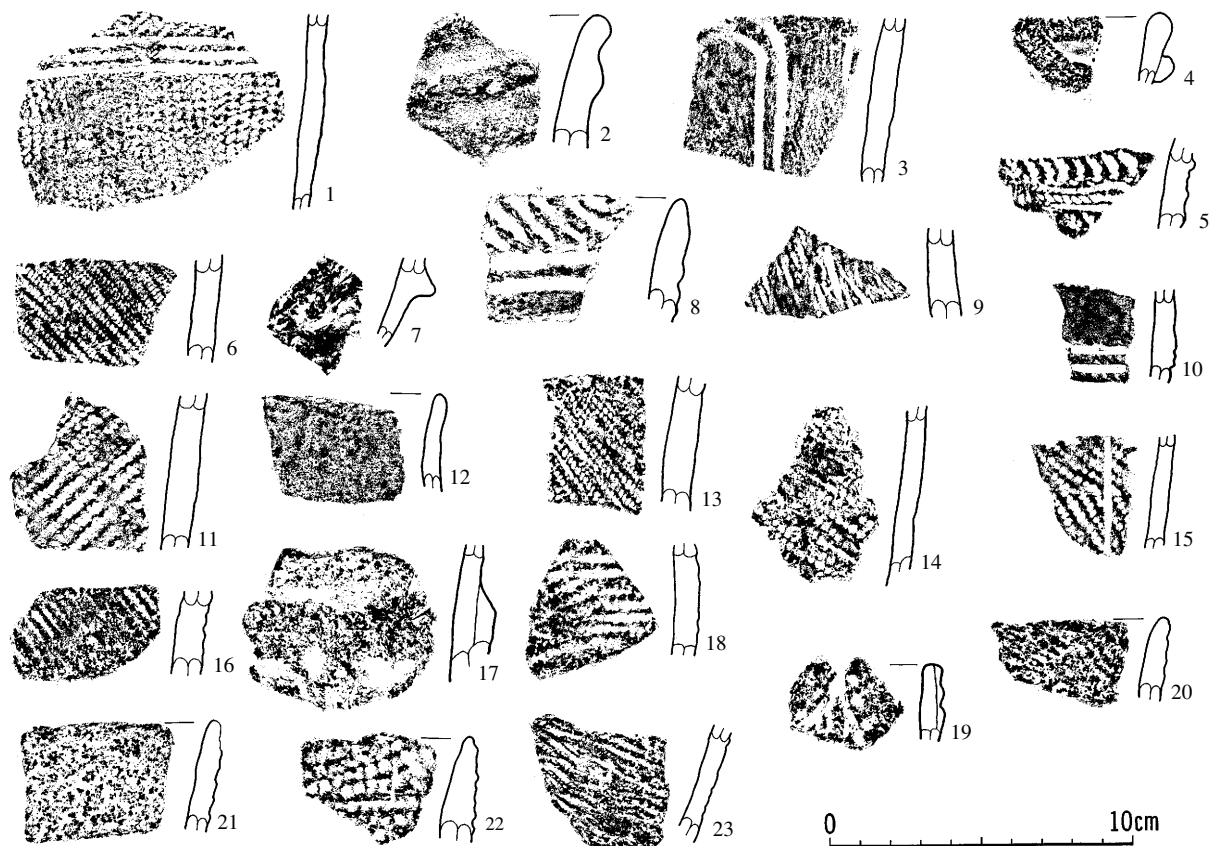
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	361土	堆積土	突起 (LR押/口唇)、LR押					II-5-2	
2	〃	〃	刻み、刺突	結束第1種 (LR・RL)				III-3	
3	〃	〃	巻系押 (口唇)、貼付 (剥落)	貼付 (剥落)				III-4	波状口縁
4	〃	〃		LR、貼付				〃	
5	〃	〃		結束第1種 (RL・LR)				〃	
6	〃	〃		貼付				〃	
7	〃	〃		結束第1種 (RL・LR) 貼付				〃	
8	〃	〃		〃				〃	
9	〃	〃	貼付 (ボタン状)					III-4・5	波状口縁
10	〃	〃		結束第1種 (RL・LR)				III-6	
11	379土	〃	R押	LR		ミガキ		II-4・5-1	繊維混入
12	〃	〃	貼付 (刺突)、LR押			〃		II-5-2	波状口縁
13	〃	〃		RL		〃		II-6	繊維混入
14	〃	〃		RL				〃	〃
15	〃	〃		R多絡		ミガキ		〃	〃
16	〃	〃	貼付 (L押)			〃		III-3	
17	399土	〃	R単絡1押			〃		II-5-2	
18	〃	〃			RLR	〃		II-6	繊維混入

51図 第361・379・399号土坑出土土器



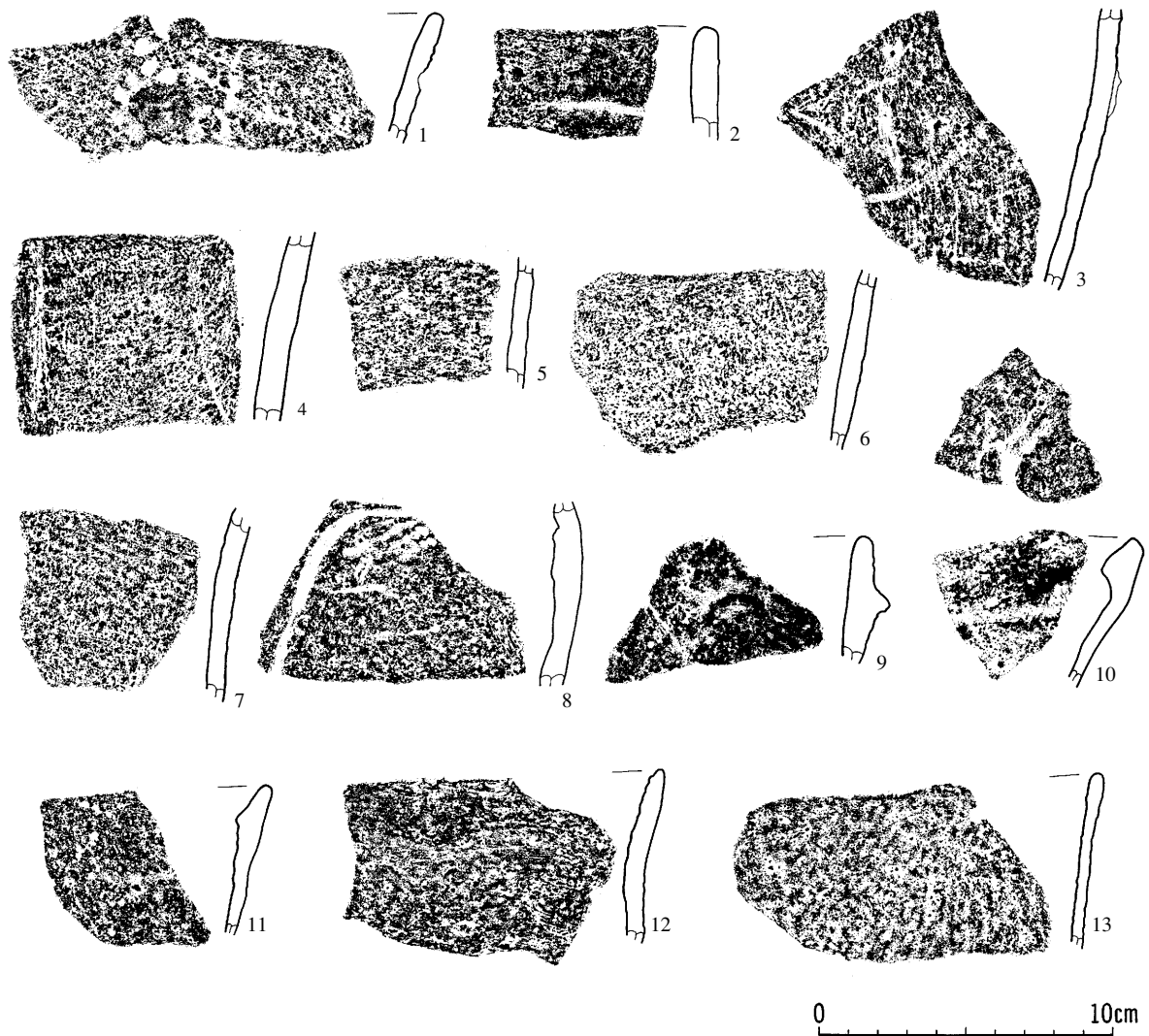
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	400土	堆積土			結束第1種 (LR・RL)	ミガキ		Ⅲ-6	
2	401土	〃			〃	〃		〃	
3	403土	〃		LR押				Ⅲ-1	
4	〃	〃		貼付 (刻み)、刺突		ミガキ		Ⅲ-3	
5	〃	〃	無文	不明				Ⅲ-4	
6	〃	〃	LR、貼付			ミガキ		〃	
7	〃	〃	LRL、沈線			〃		Ⅲ-5	口唇に沈線、14と同一個体
8	〃	〃		LRL、沈線		〃		〃	5と同一個体
9	〃	〃		貼付 (L押)				Ⅲ-6	
10	〃	〃			LR	ミガキ		〃	
11	412土	〃			R・L単絡1類	〃		Ⅱ-6	繊維混入
12	〃	〃		貼付、刺突		〃		Ⅲ-3	
13	414土	〃	R単絡1類、RRL押					Ⅱ-3	繊維混入
14	〃	〃		結束第1種 (RL)、R単絡1				Ⅱ-5-1	〃
15	〃	〃		結束第1種 (RL?)、貼付				Ⅲ-4	
16	〃	〃		RL				Ⅲ-6	
17	〃	〃		貼付				Ⅲ-11	
18	〃	〃		RL				〃	
19	〃	〃		LR				〃	

52図 第400・401・403・412・414号土坑出土土器



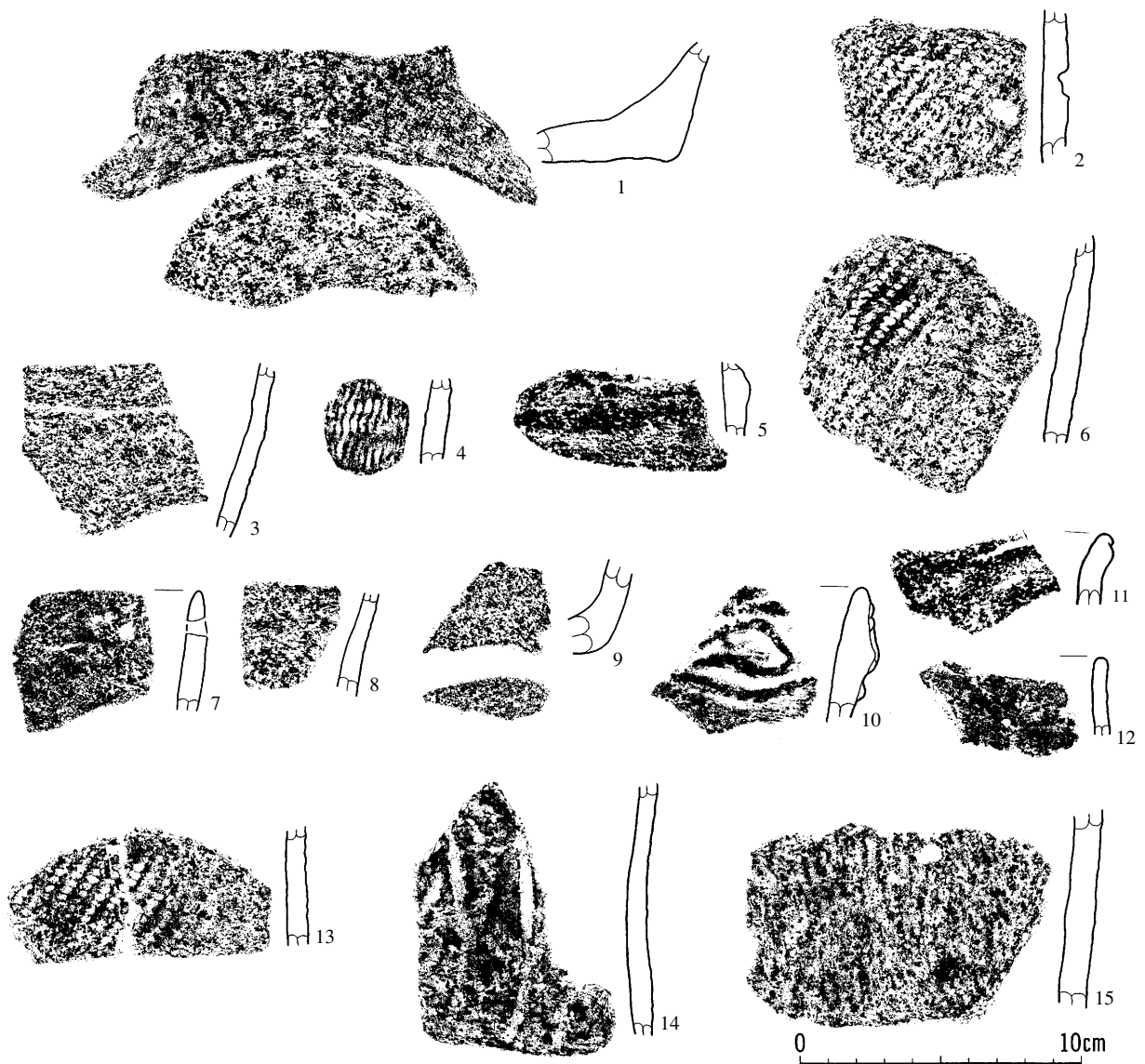
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	415土	堆積土	結束第1種、R押	RL			Ⅱ-4・5	繊維混入	
2	〃	〃	凹状沈線				Ⅲ-8		
3	〃	〃		RL、沈線		ミガキ	Ⅲ-9		
4	432土	〃		貼付			Ⅲ-4		
5	433土	〃	貼付 (L・R押)、LR押、L・R押			ミガキ	Ⅲ-1		
6	〃	〃			LR	〃	Ⅲ-11		
7	〃	〃	貼付			〃	Ⅲ-10		
8	435土	〃	LR押、沈線			〃	Ⅲ-5		
9	〃	〃		RL、沈線		〃	Ⅲ-8		
10	〃	〃	ミガキ	L、沈線、刺突 (竹管状)		〃	Ⅲ-9		
11	〃	〃		LR		〃	Ⅲ-11		
12	436土	〃	ミガキ?			〃	Ⅲ-9		
13	438土	〃			RL	ミガキ	Ⅲ-11		
14	〃	〃			〃	〃	〃		
15	454土	〃		RL、沈線		〃	〃		
16	466土	〃	LR				Ⅲ-11		
17	〃	〃		貼付			Ⅲ-1		
18	〃	〃		LR、沈線			Ⅲ-5		
19	〃	〃	貼付 (刺突)、刺突				Ⅲ-10	波頂部	
20	〃	〃	RL				Ⅲ-11		
21	〃	〃	RRL				〃		
22	〃	〃	LRL				〃		
23	〃	〃		LLR			〃		

53図 第415・432・433・435・436・438・454・466号土坑出土土器



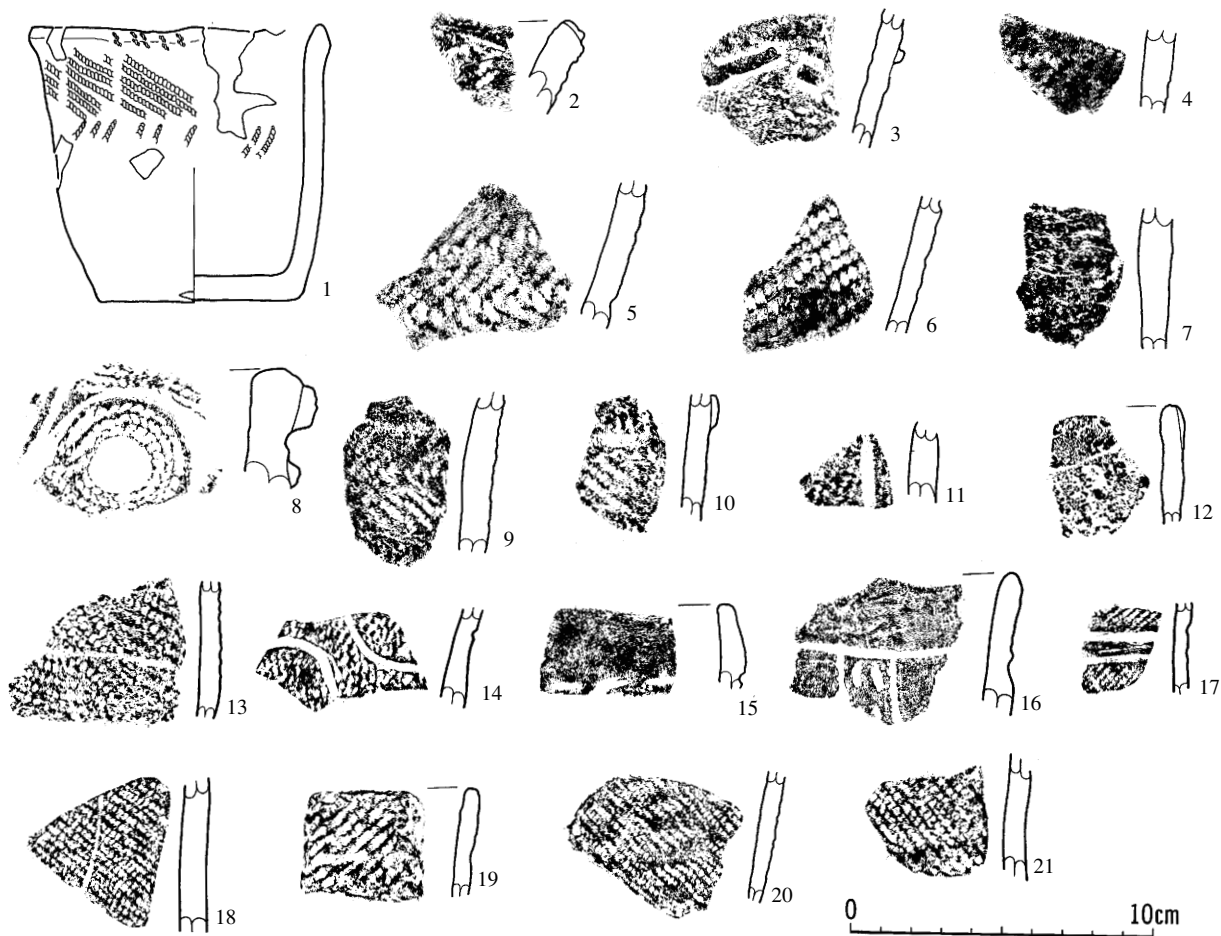
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	467土	5	貼付(剥落)、刺突					Ⅲ-10	口唇に突起
2	〃	〃	沈線					〃	
3	〃	〃		沈線、貼付、縄文				〃	
4	〃	〃		沈線				〃	
5	〃	〃						Ⅲ-11	6、7と同一個体
6	〃	〃						〃	5、7と同一個体
7	〃	〃						〃	5、6と同一個体
8	〃	堆積土		沈線、RL				Ⅲ-10	
9	〃	〃		貼付				〃	
10	〃	〃	貼付					〃	内面にヒレ状貼付
11	〃	〃						〃	内面に隆帯
12	〃	〃						Ⅲ-11	
13	〃	〃	RL					〃	

54図 第467号土坑出土土器



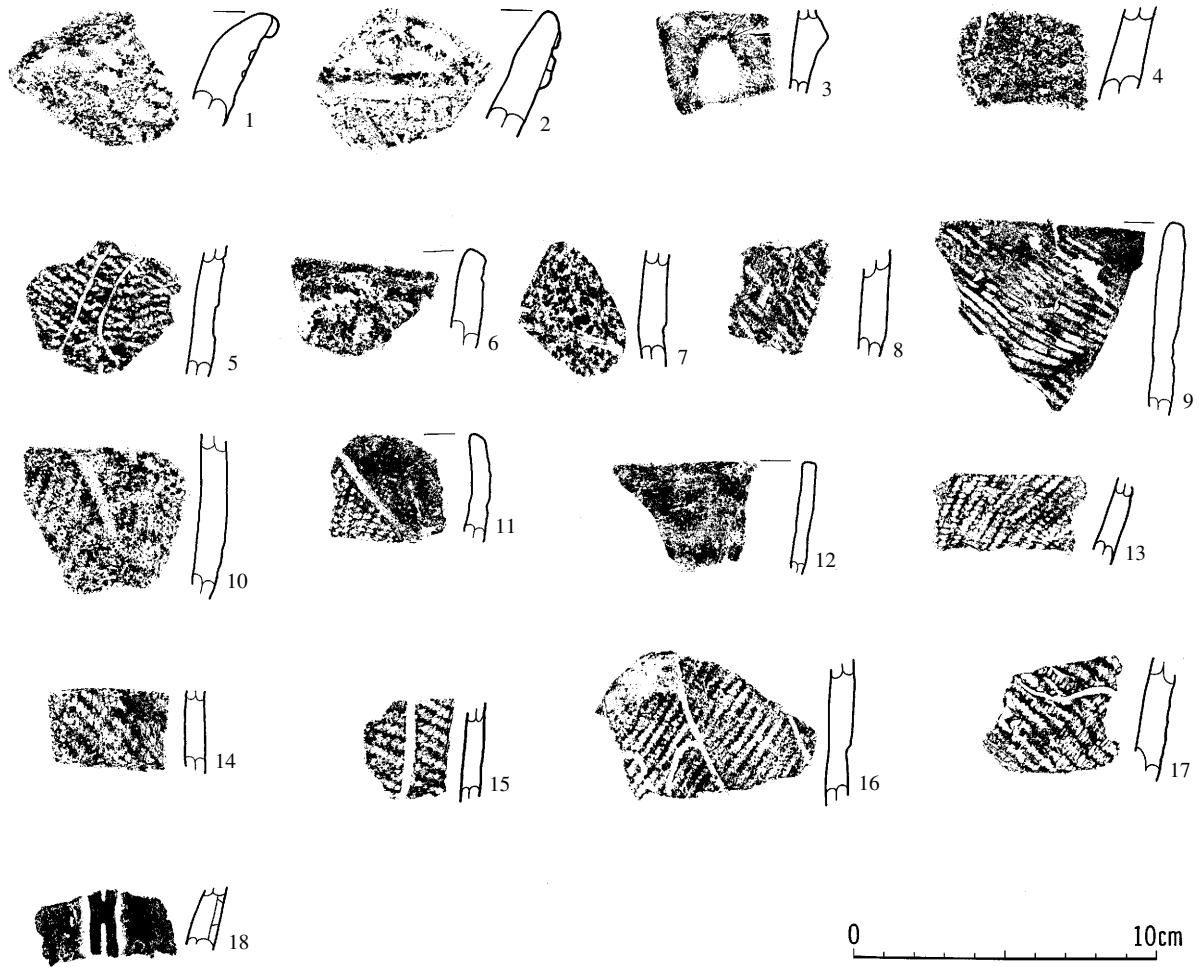
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	467土	5					Ⅲ-11		
2	〃	〃		RL			〃		
3	〃	〃					〃		
4	〃	堆積土		LLR			〃		
5	〃	〃		隆帯			〃		
6	〃	〃		RL			〃		
7	468土	〃					〃	補修孔あり	
8	〃	〃				ミガキ	〃		
9	〃	〃					〃		
10	470土	〃	貼付				Ⅲ-4	口縁突起部分	
11	〃	〃	貼付、沈線、縄文				Ⅲ-8		
12	〃	〃					Ⅲ-10	波状口縁	
13	〃	〃		RL		ミガキ	〃		
14	〃	〃		沈線、RL			〃		
15	〃	〃			縄文		Ⅲ-11		

55図 第467・468・470号土坑出土土器



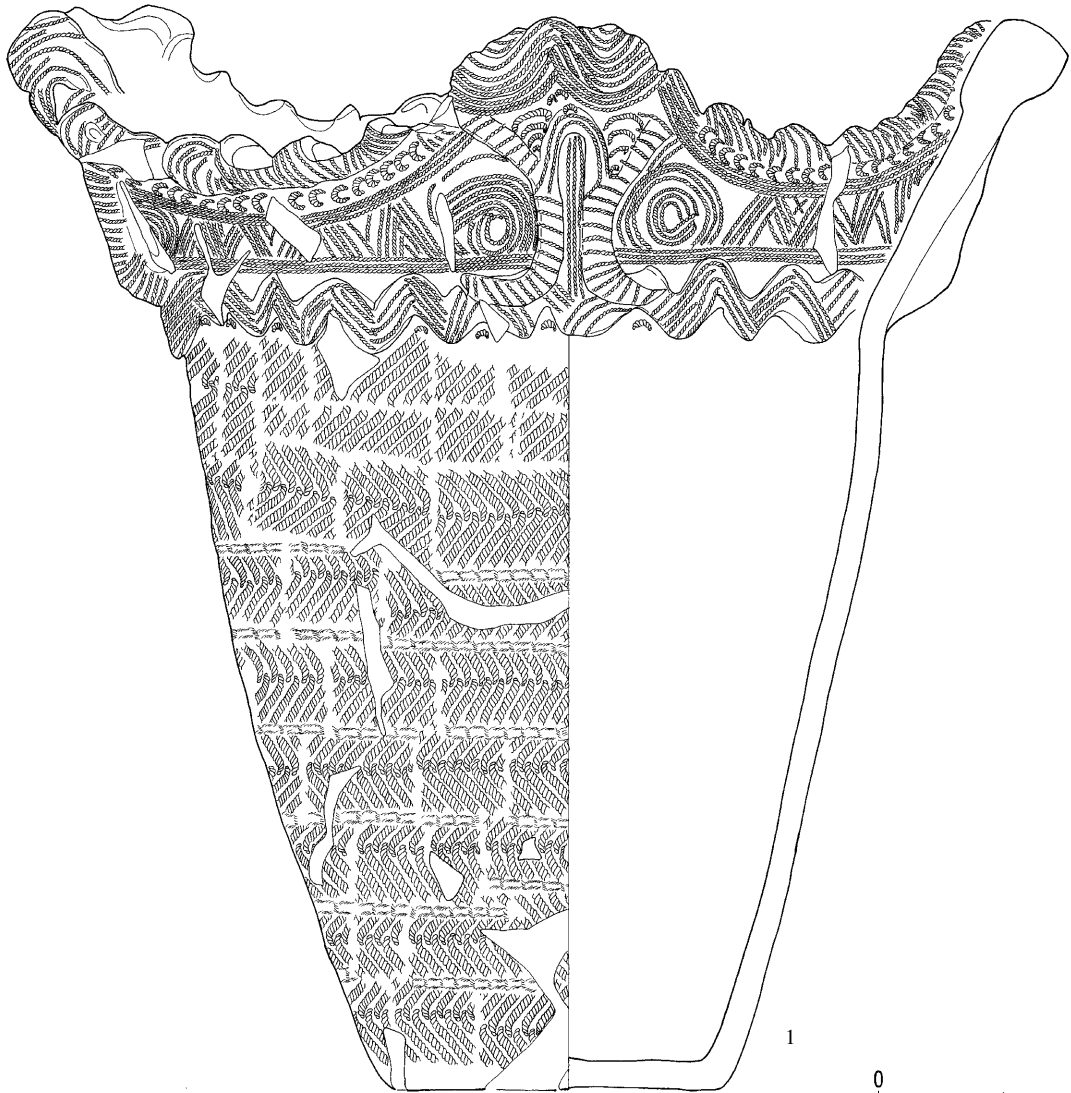
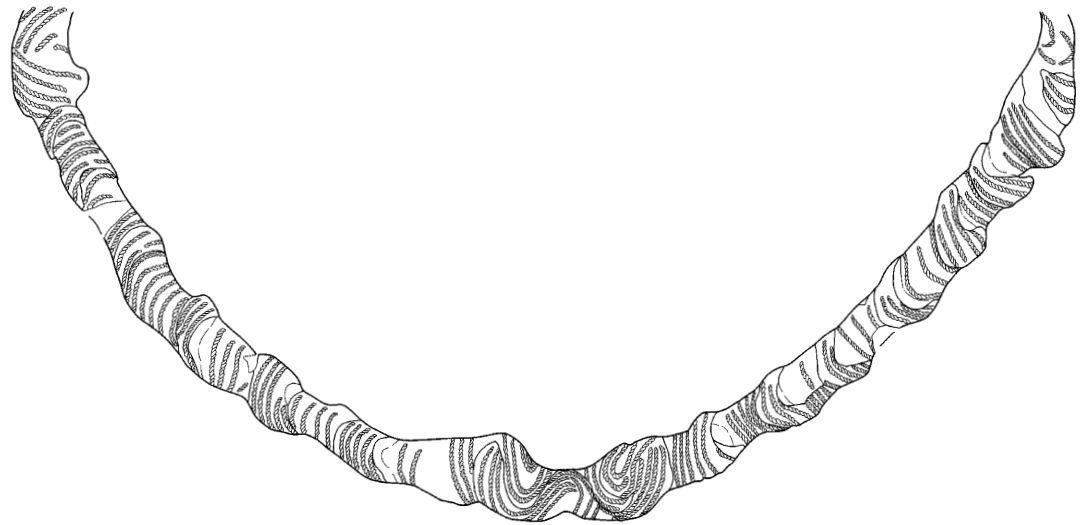
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	498土	堆積土	RL押			ミガキ	ミガキ	Ⅲ-6	P-1、土器番号900
2	〃	〃	LR、貼付			〃		Ⅲ-3・4	
3	〃	〃		LR、貼付		〃		Ⅲ-4	
4	〃	〃		結束第1種 (LR)		〃		Ⅲ-6	
5	〃	〃			結束第1種 (LR・RL)	〃		〃	
6	〃	〃			LR			Ⅲ-11	
7	499土	〃				ミガキ		Ⅱ-6	繊維混入
8	〃	〃	貼付 (L・R押)			〃		Ⅲ-1・2	波状口縁
9	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)		〃		Ⅲ-6	
10	〃	〃		貼付 (RL押)、RL				〃	
11	500土	〃		RL、沈線		ミガキ		Ⅲ-8	
12	〃	〃	貼付 (折り返し状)			〃		Ⅲ-9・10	波状口縁
13	〃	〃		RL				Ⅲ-11	
14	506土	〃		LR単絡1、沈線		ミガキ		Ⅲ-8	
15	〃	〃	刺突			〃		Ⅲ-9	
16	〃	〃	沈線、刺突			〃		Ⅲ-10	波状口縁
17	〃	〃		沈線、LR		〃		〃	
18	〃	〃		LR、沈線		〃		〃	
19	〃	〃	LR			〃		Ⅲ-11	
20	〃	〃			LR	〃		〃	
21	〃	〃			〃	〃		〃	

56図 第498・499・500・506号土坑出土土器



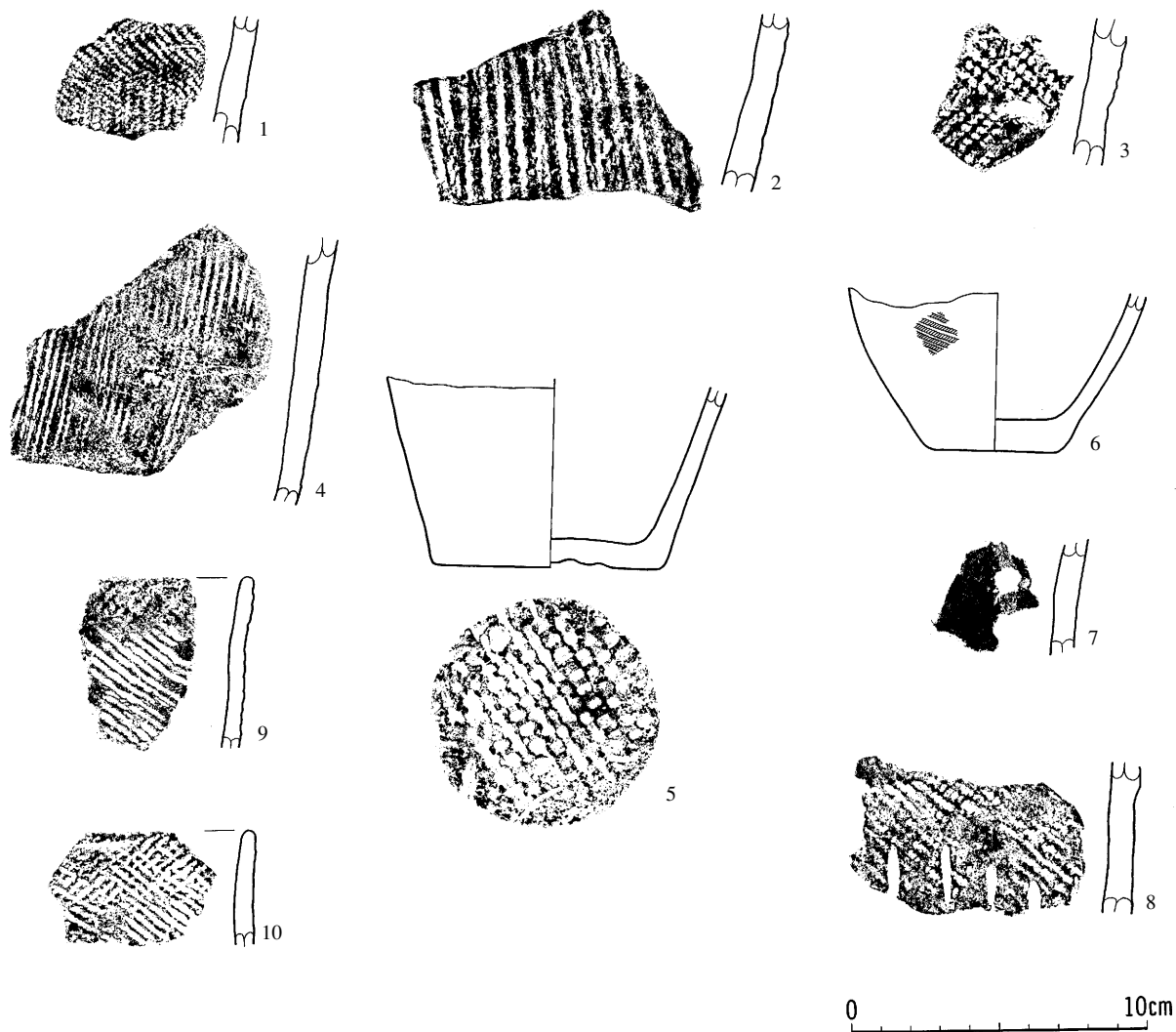
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	507土	4	貼付、刺突					Ⅲ-3	
2	〃	〃	貼付	RL、沈線		ミガキ		Ⅲ-5	波状口縁
3	〃	〃		貼付（ヒレ状）				Ⅲ-10	
4	〃	11			沈線			Ⅲ-8・9	
5	520土	堆積土		LR、沈線		ミガキ		Ⅲ-10	
6	〃	〃	RL押?					Ⅲ-11	
7	521土	〃		RRL?、沈線				〃	
8	〃	〃		RR			ミガキ	〃	
9	522土	1、2、3、6、7、8	R			ミガキ		〃	
10	〃	4、9、10		LR、沈線				Ⅲ-10	
11	〃	堆積土		〃		ミガキ		〃	
12	〃	〃	無文			〃		Ⅲ-11	波状口縁
13	〃	〃			RL	〃		〃	
14	〃	〃	RL					〃	
15	〃	〃		LR、沈線		ミガキ		〃	
16	523土	〃		RL、沈線		〃		Ⅲ-10	
17	〃	〃			LR、沈線	〃		〃	
18	〃	〃	貼付（刺突・ヘラ状）			〃		Ⅲ-10・Ⅳ-1	

57図 第507・520～523号土坑出土土器



番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	541土	堆積土	貼 (LR押、LR禰、LR馬蹄形禰)	結束第1種 (LR・RL結縛)	結束第1種 (LR・RL結縛)	ミガキ	ミガキ	Ⅲ-2	4波状口縁、土器番号1015

58図 第541号土坑出土土器



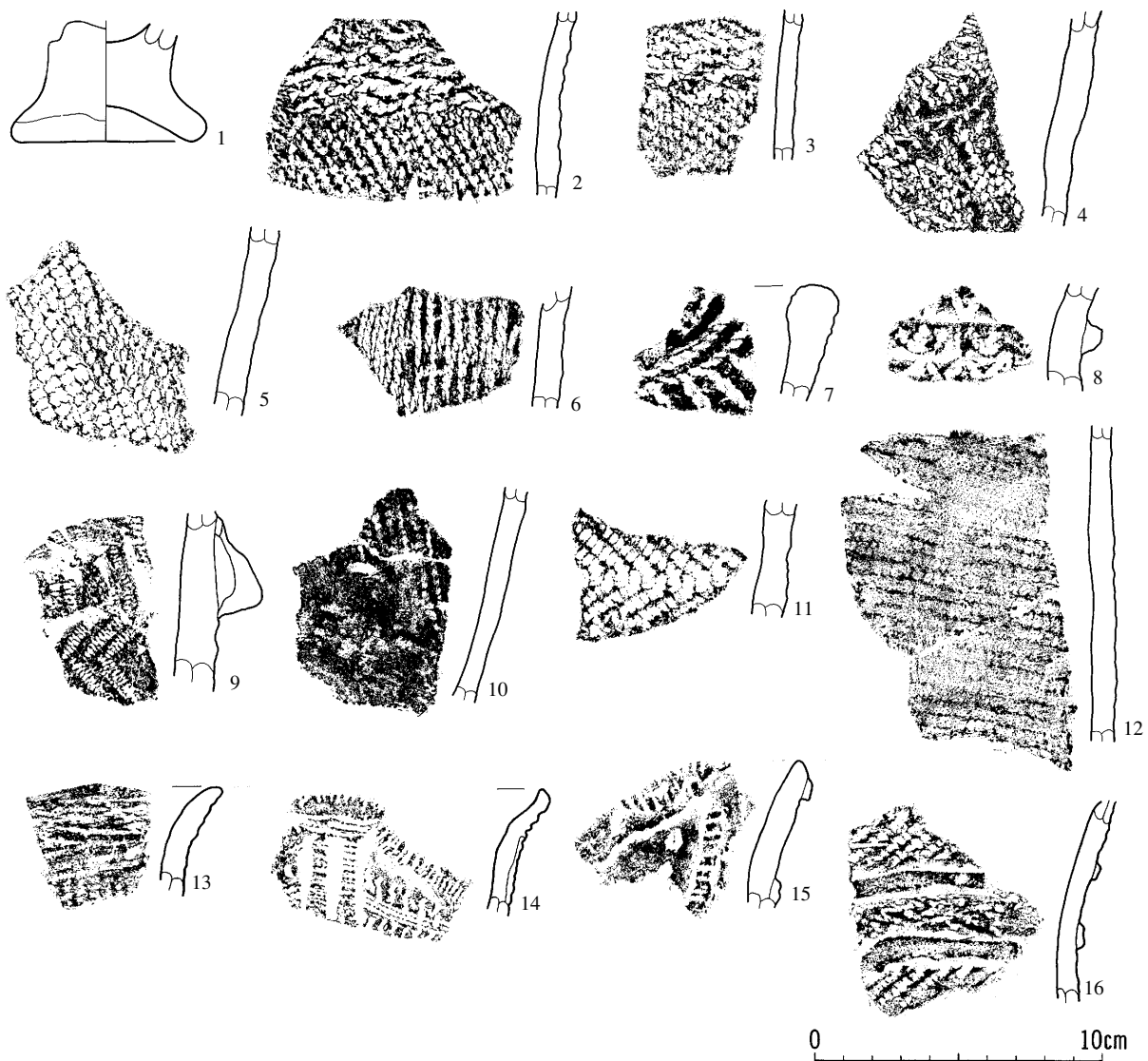
番号	出土地点	出土層位	外面文様		内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半 胴部下半				
1	541土	堆積土		結束第1種 (LR・RL)、L単絡1	ミガキ		Ⅱ-4、Ⅱ-5-1	繊維混入
2	〃	〃		LR単絡1	〃		Ⅱ-6	〃
3	〃	〃		RLR	〃		〃	〃
4	〃	〃		L単絡1	〃		〃	〃
5	547土	〃			ミガキ	網代痕	Ⅲ-11	
6	〃	〃		LR		ミガキ	〃	
7	〃	〃		沈線、刺突(棒状)	ミガキ		Ⅲ-10	
8	〃	〃		LR、短沈線	〃		〃	
9	〃	〃	L		〃		Ⅲ-11	
10	〃	〃	〃		〃		〃	

59図 第541・547号土坑出土土器



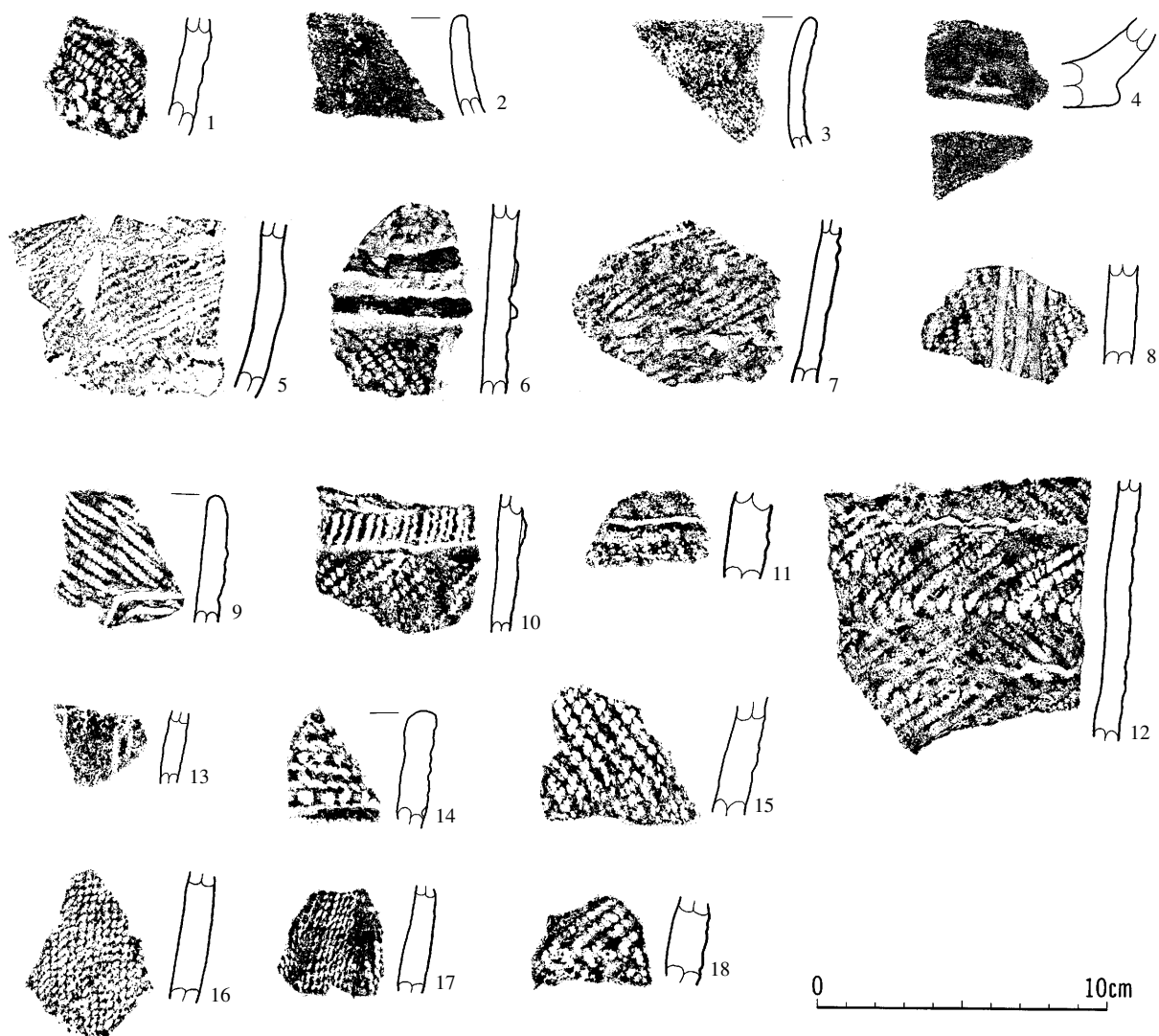
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	555土	1層上面		RLR、沈線		ミガキ	Ⅲ-9・10	P-1、1~4・5は同一個体	
2	〃	〃		磨消 (RLR、沈線)		〃	〃	〃	
3	〃	〃		〃		〃	〃	〃	
4	〃	〃		〃		〃	〃	〃	
5	〃	〃		隆帯、橋状把手		〃	Ⅲ-11	〃	
6	〃	〃			RLR	〃	〃	P-1	
7	557土	堆積土	R結回	RLR		〃	Ⅱ-2	繊維混入	
8	〃	〃	貼付 (L押)、L・R押、刺突			〃	Ⅲ-3	波状口縁	
9	〃	〃		結束第2種 (RL)、貼付		〃	Ⅲ-4		
10	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)、貼付		〃	〃		
11	〃	〃	無文	沈線、LR		〃	Ⅲ-10	波状口縁	
12	〃	〃		沈線、RL		〃	〃		
13	〃	〃	貼付 (RL)	RL		ミガキ	Ⅲ-11		
14	〃	〃		LR		〃	〃		

60図 第555・557号土坑出土土器



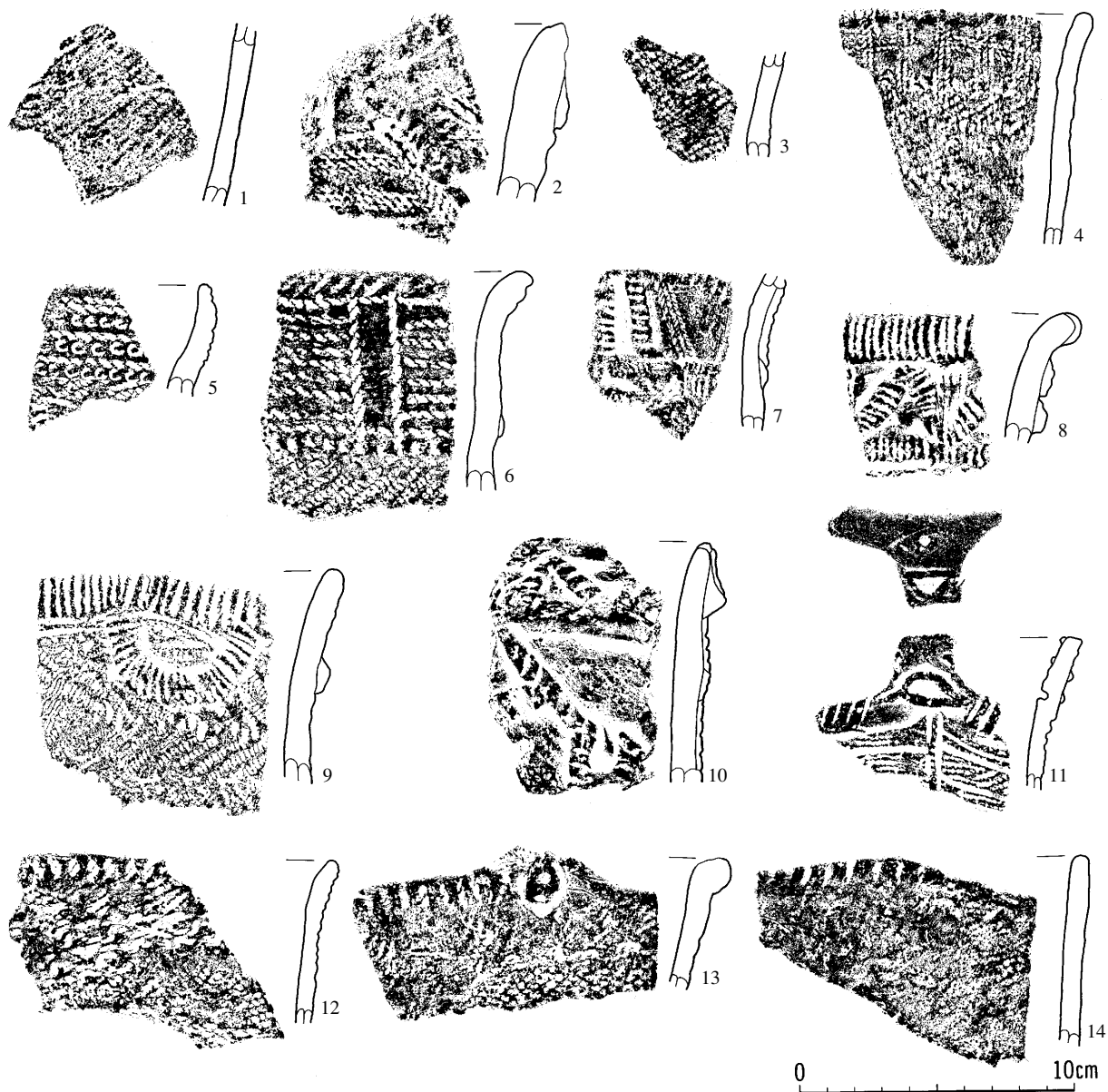
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	564土	堆積土				ミガキ	ミガキ	Ⅲ-6	台付 台部
2	〃	〃	RLR、R結回	RLR				Ⅱ-2	繊維混入
3	〃	〃	RRL、LR結回	〃				〃	〃
4	〃	〃			RLR			Ⅱ-6	〃
5	〃	〃				ミガキ		〃	〃
6	〃	〃		R単絡1				〃	〃
7	〃	〃	突起 (LR押)、LR押			ミガキ		Ⅱ-5.2・Ⅲ-1	波状口縁
8	〃	〃	貼付 (L押)、L押			〃		〃	繊維混入
9	〃	〃	貼付 (R単絡1押)、R単絡1押			〃		〃	〃
10	〃	〃			RL、ミガキ	〃		〃	〃
11	〃	〃		結束第1種 (RL・LR)				Ⅲ-6	〃
12	〃	〃		LR		ミガキ		Ⅲ-11	〃
13	596土	〃	単絡1押	RL		〃		Ⅱ-5-1	繊維混入
14	〃	〃	貼付 (L押)、L押			〃		Ⅲ-1	波状口縁
15	〃	〃	貼付 (L押)、刺突 (棒状)			〃		Ⅲ-3	〃
16	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)、貼付		〃		Ⅲ-4	〃

61図 第564・596号土坑出土土器



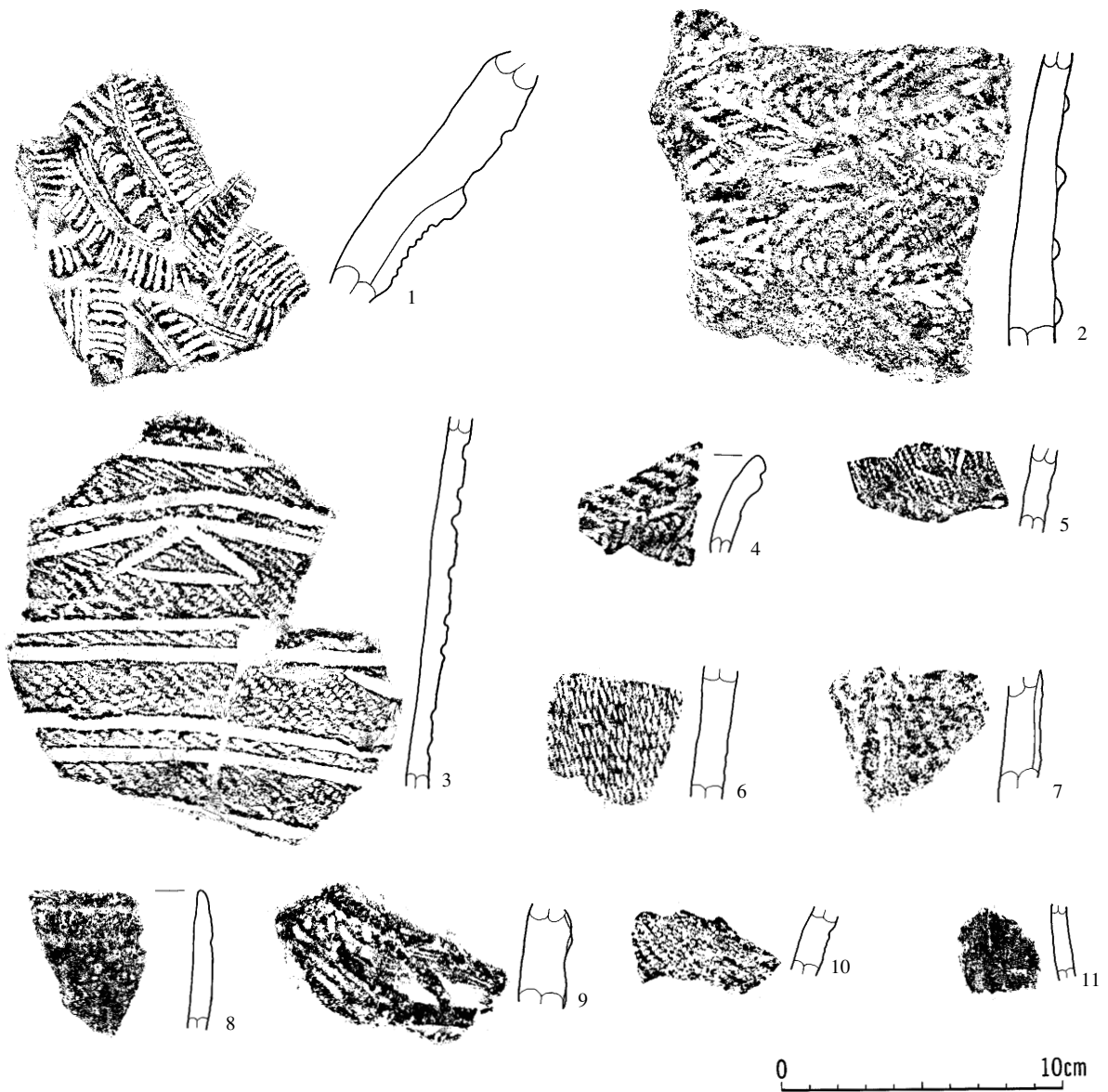
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	647土	堆積土		結束第1種 (LR・RL)		ミガキ		Ⅲ-6	
2	〃	〃	無文			〃		Ⅲ-9	
3	〃	〃	〃					Ⅲ-9・10	
4	〃	〃			無文		無文	Ⅲ-11	
5	672土	底面		LR (結縛)		ミガキ		Ⅲ-5・11	
6	〃	堆積土		結束第1種 (LR・RL)、貼付		〃		Ⅲ-4	
7	〃	〃		LR		〃		Ⅲ-6	
8	〃	〃		RL、沈線		〃		Ⅲ-8・9	
9	〃	〃	折り返し状口縁 (RL)	RL、沈線		〃		Ⅲ-9	
10	673土	〃	LR押	RL (結束第1種?)、貼付 (LR押)				Ⅲ-6	
11	〃	〃		貼付 (剥落)、沈線		ミガキ		〃	
12	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)		〃		〃	
13	〃	〃			沈線			Ⅲ-9	
14	674土	〃	貼付、LR押、刺突			ミガキ		Ⅱ-5-1・2	繊維混入
15	〃	〃			RLR	〃		Ⅱ-6	〃
16	〃	〃		L単絡1		〃		〃	〃
17	〃	〃			L単絡1a	〃		〃	〃
18	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)				〃	繊維混入

62図 第647・672~674号土坑出土土器



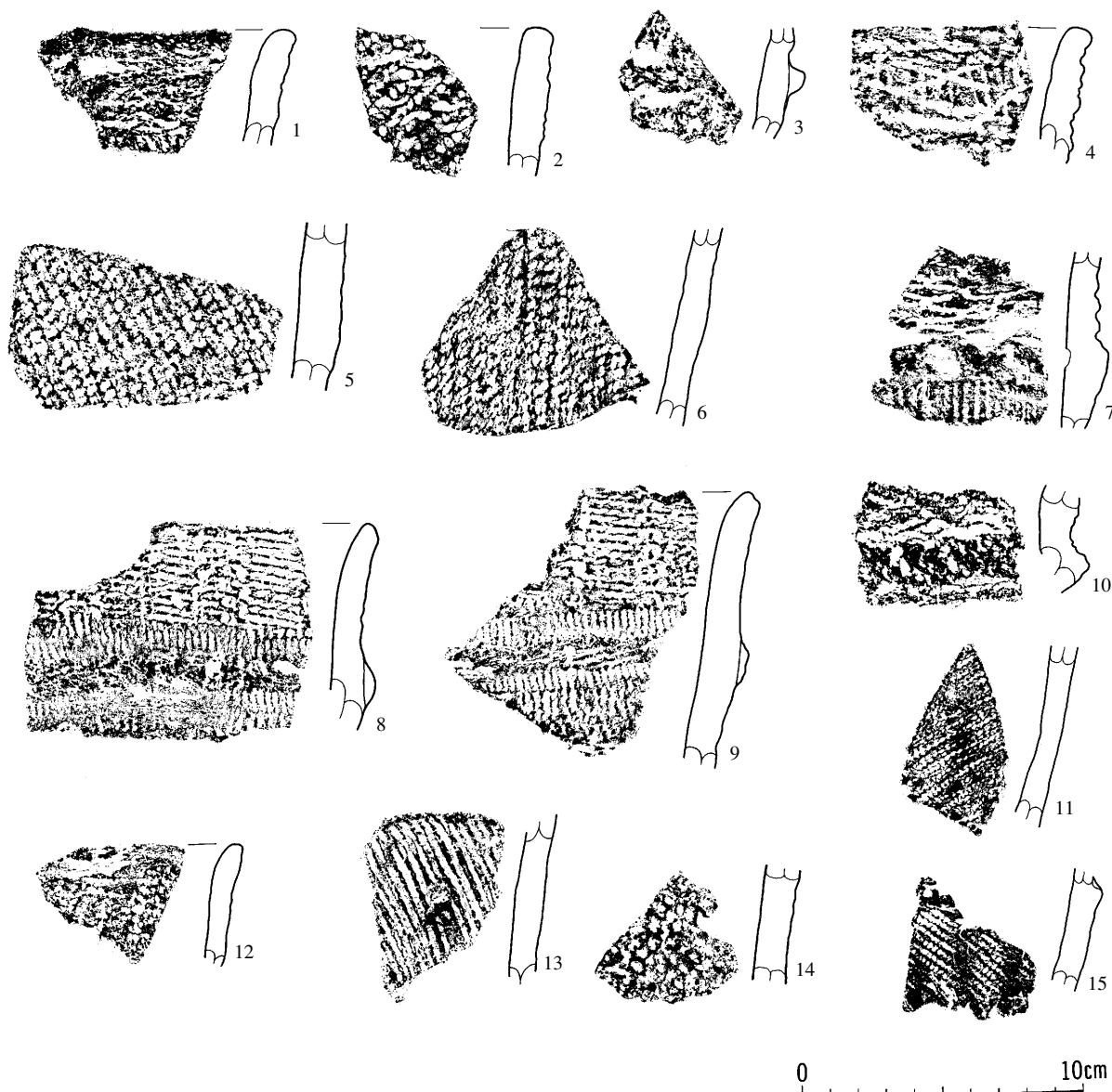
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	675土	堆積土			LR、R結回	ミガキ	Ⅱ-5-2・Ⅲ-1	炭化物付着(内面)	
2	〃	〃	貼付(LR押)、LR押			〃	Ⅲ-1	波状口縁	
3	〃	〃		LR		〃	Ⅲ-5	炭化物付着(外面)	
4	677土	〃	L押	結束第1種(LR・RL)		〃	Ⅲ-5-2・Ⅲ-1		
5	〃	〃	LR押、刺突(半截竹管状)	LR、L結回		〃	Ⅱ-5-1・2	繊維混入	
6	〃	〃	貼付(刺突)、LR押	LR		〃	Ⅲ-1		
7	〃	〃	貼付(R押)、L・R押			〃	〃		
8	〃	〃	貼付(L押)、L押			〃	〃		
9	〃	〃	〃	結束第1種(LR・RL)		〃	Ⅲ-1・2		
10	〃	〃	貼付(刻み)	RL、貼付(刻み)		〃	Ⅲ-4		
11	〃	〃	突起(貼付)、刻み	LR、沈線		〃	Ⅲ-5	波状口縁、人面様裝飾(貼付・刺突)	
12	〃	〃	LR押	LR・R結回		〃	〃		
13	〃	〃	貼付、L押	LR		〃	〃	波状口縁	
14	〃	〃	L押	〃		〃	〃	〃	

63図 第675・677号土坑出土土器



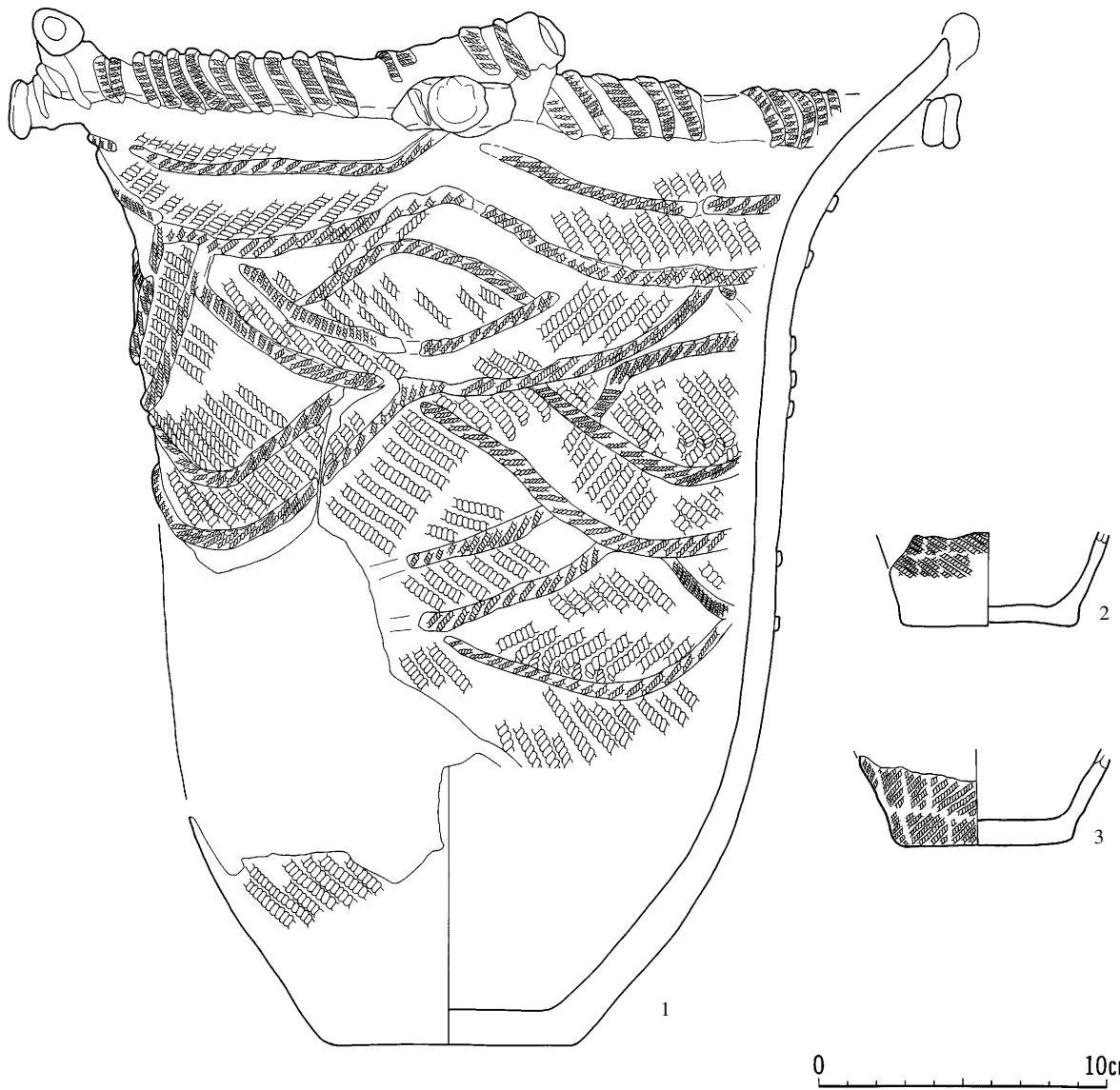
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	677土	堆積土	貼付 (L押)、L・R押			ミガキ	Ⅲ-2	波状口縁	
2	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)、貼付 (L押)		〃	Ⅲ-4		
3	〃	〃		RL、沈線		〃	Ⅲ-5		
4	678土	〃	貼付 (R押)	LR		〃	〃	波状口縁、炭化物付着 (外面)	
5	〃	〃			RL、沈線	〃	Ⅲ-11		
6	685土	〃			RL単絡1	〃	Ⅱ-6	繊維混入	
7	〃	〃		貼付			Ⅲ-6		
8	〃	〃	R?押				〃		
9	686土	〃	結束第1種 (LR・RL)、貼付			ミガキ	Ⅲ-4		
10	〃	〃			RL	〃	Ⅲ-6		
11	〃	〃	無文			〃	Ⅲ-11		

64図 第677・678・685・686号土坑出土土器



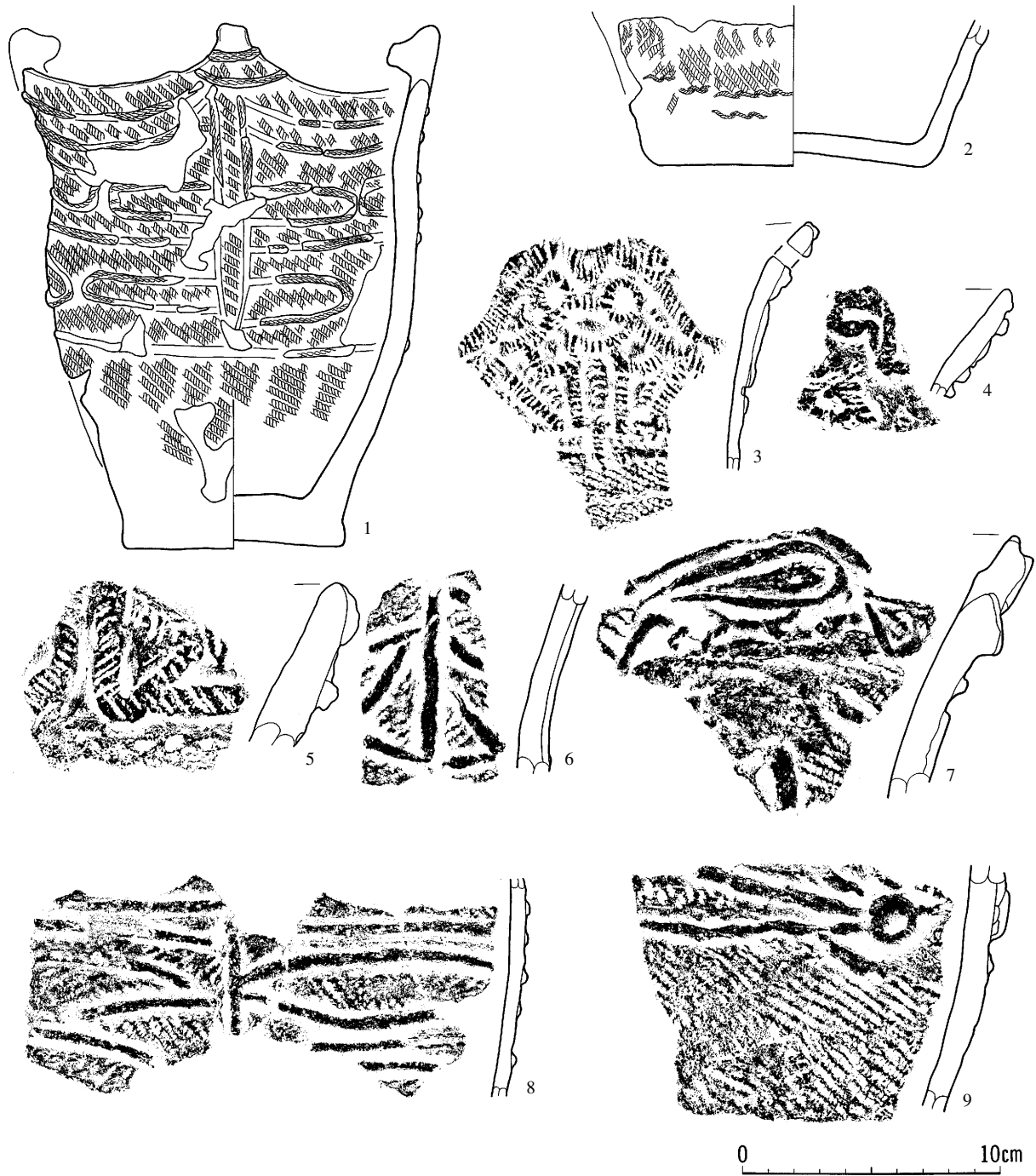
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	687土	堆積土	突起、R結回			ミガキ		II-2	繊維混入
2	〃	〃	LR、R結回			〃		〃	〃
3	〃	〃	貼付			〃		II-2・3	〃
4	〃	〃	R単絡5、LR押					II-3	〃
5	〃	〃		RLR		ミガキ		II-6	〃
6	〃	〃		〃		〃		〃	〃
7	688土	〃	貼付 (LR押)、L結回					II-2・3	〃
8	〃	〃	貼付 (RLR押)、R単絡6	R単絡1		ミガキ	繊維混入	II-2	〃、9と同一個体
9	〃	〃	貼付 (L単絡1)、R単絡6a	〃		〃	〃	〃	〃、8と同一個体
10	〃	〃	〃	〃		〃	〃	〃	〃
11	〃	〃			LR	〃		II-5-2	
12	〃	〃	LRL			〃		II-6	繊維混入
13	〃	〃		R単絡1		〃		〃	〃
14	689土	底面		RLR		〃		II-5-2	〃
15	〃	〃	貼付 (刺突)	RL	RLR	〃		II-6	〃

65図 第687～689号土坑出土土器



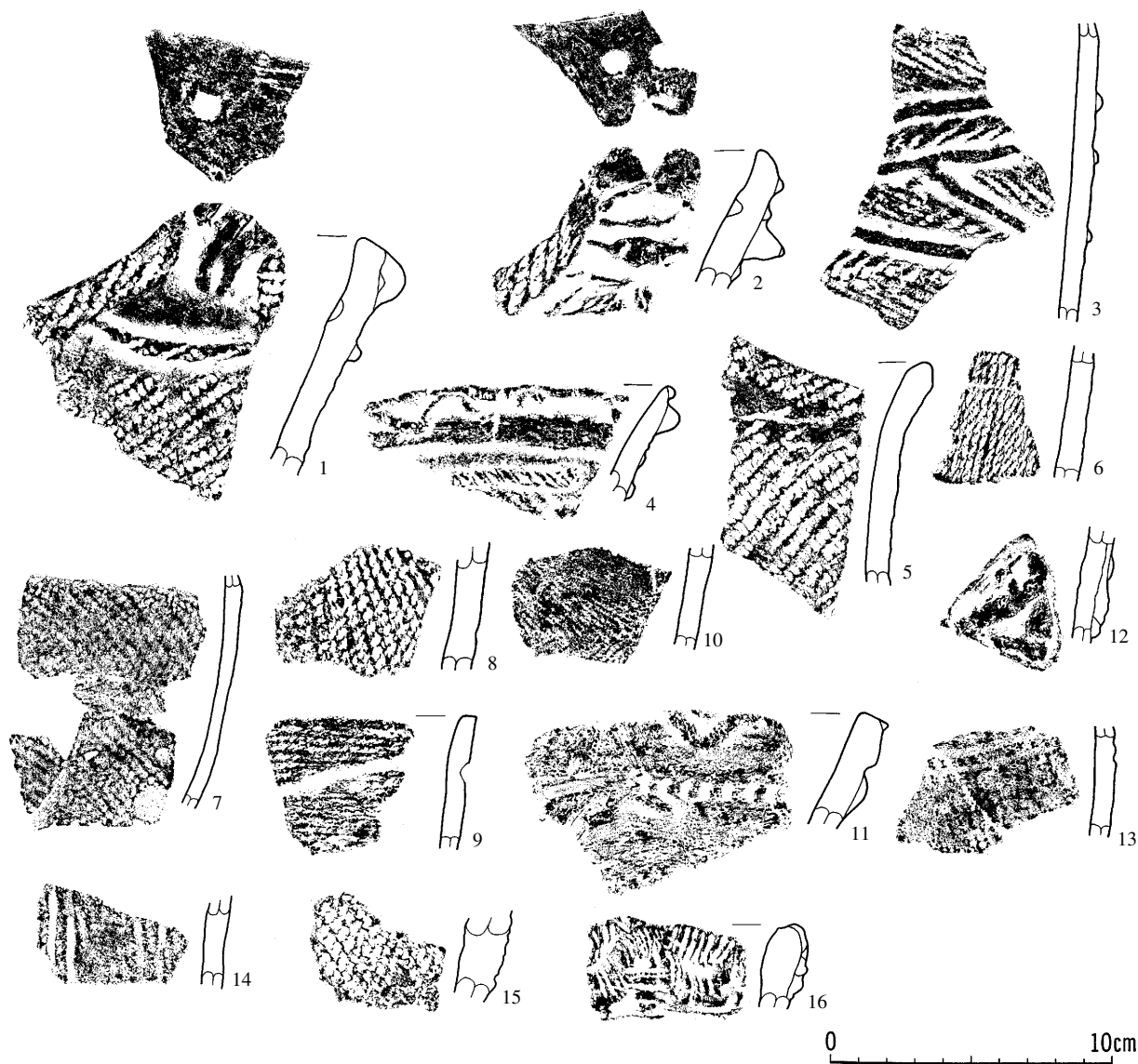
番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	690土	底面	突起、貼 (LR)	結束第1種 (LR・RL)、貼 (LR)	結束第1種 (LR・RL)	ミガキ	ミガキ	Ⅲ-4	P-1、土器番号4893
2	〃	堆積土			LR	〃	〃	Ⅲ-11	
3	〃	〃			〃	〃	〃	〃	

66図 第690号土坑出土土器



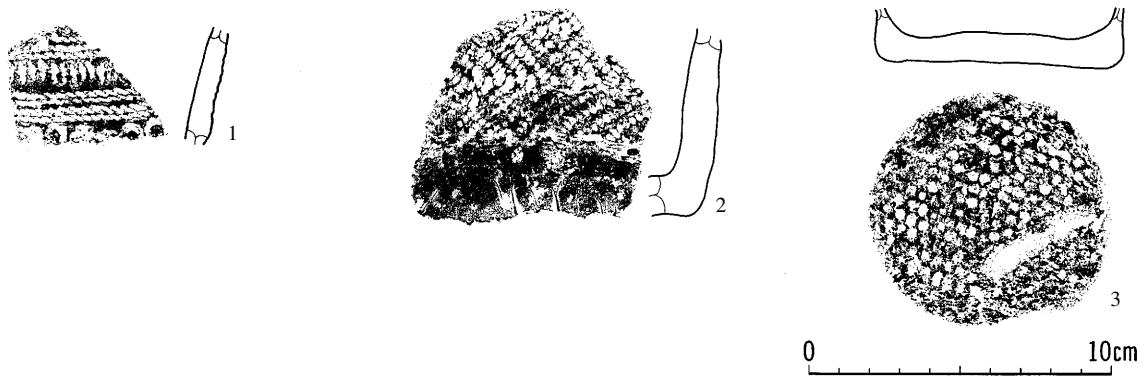
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	690土	堆積土	RL、貼 (L押)	RL、押 (L押)	RL	ミガキ	ミガキ	Ⅲ-4	千波頂 (内面突起)、土器番号4684
2	〃	〃			結束第1種 (LR・RL)	〃	〃	Ⅲ-6	
3	〃	〃	貫通孔、貼付 (L押)、刺突 (半截竹管状)	結束第1種 (LR・RL)		〃		Ⅲ-3	波状口縁
4	〃	〃	貼付 (R押)、刺突 (半截竹管状)			〃		〃	〃
5	〃	〃	貼付 (L押)、L押、刺突			〃		〃	〃
6	〃	〃		LR、貼付		〃		Ⅲ-4	
7	〃	〃	突起 (貼付)、RL、貼付	RL、貼付		〃		〃	突起内面に貼付
8	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)、貼付		〃		〃	
9	〃	〃		〃		〃		〃	

67図 第690号土坑出土土器



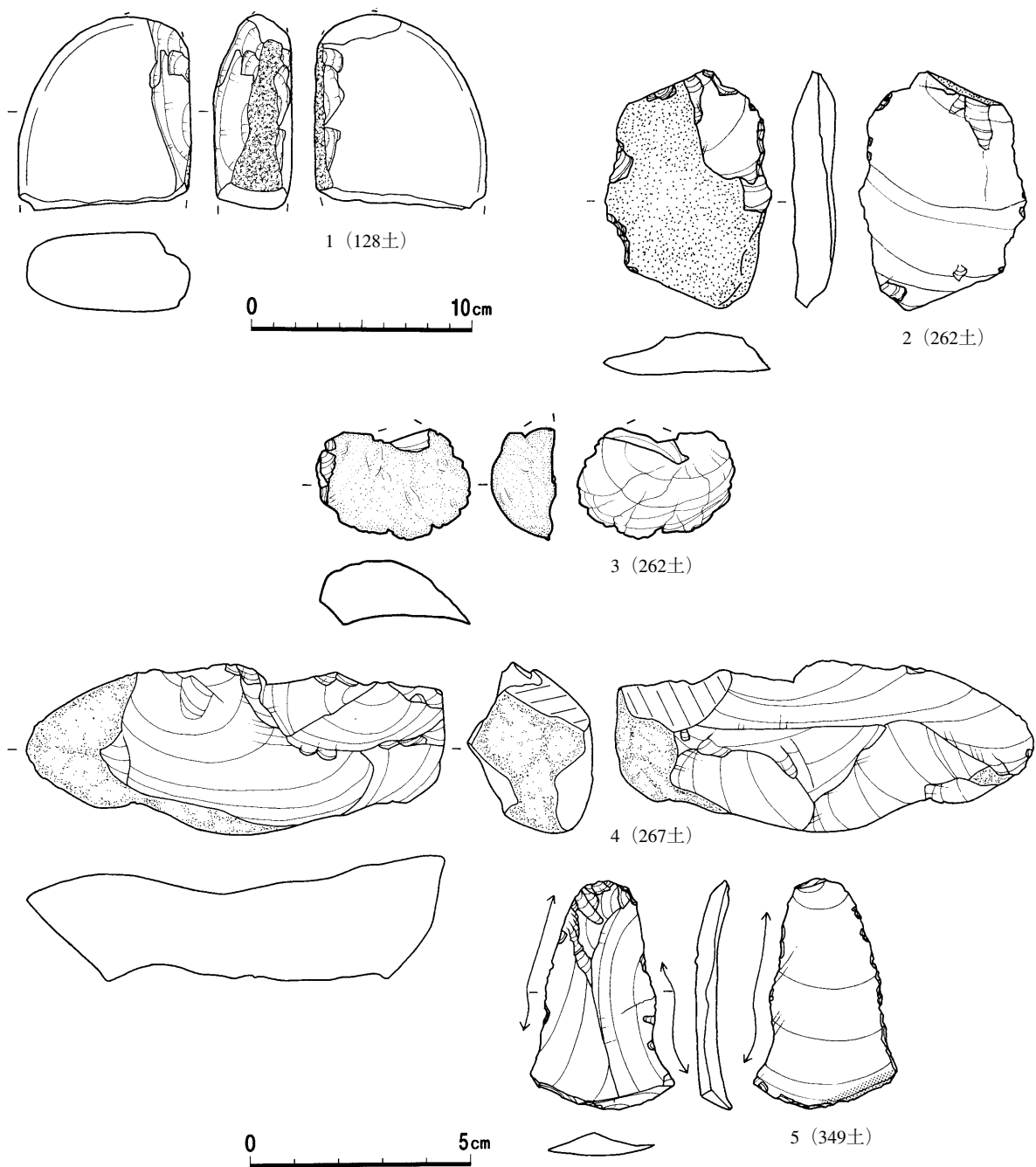
番号	出土地点	出土層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	690土	堆積土	貼付 (LR)	LR		ミガキ		Ⅲ-4	波状口縁、突起内面に育孔
2	〃	〃	L押 (口唇)、貼付			〃		〃	〃
3	〃	〃		結束第1種 (LR・RL)、貼付		〃		〃	
4	〃	〃	貼付 (L押)、貼付	RL、貼付 (L押)		〃		〃	
5	〃	〃	LR			〃		〃	波状口縁
6	691土	〃		LR単絡1		〃		Ⅱ-6	繊維混入
7	〃	〃		RL		〃		Ⅲ-9	炭化物付着 (外面)
8	703土	〃			RLR	〃		Ⅱ-6	繊維混入
9	714土	〃	R単絡1			〃		Ⅱ-3	〃
10	〃	〃			結束第1種 (LR・RL)	ミガキ		Ⅱ-6	〃
11	〃	〃	貼付、突起 (半截竹管状)			〃		Ⅲ-3	
12	〃	〃			結束第1種?、貼付	〃		Ⅲ-4	
13	〃	〃		RL、沈線				Ⅲ-8	2と同一個体
14	〃	〃		〃				〃	8と同一個体
15	716土	〃			RLR	ミガキ		Ⅱ-6	繊維混入
16	〃	〃	貼付 (L押)			〃		Ⅲ-2・3	

68図 第690・691・703・714・716号土坑出土土器



番号	出土地点	出土層位	外 面 文 様			内面調整	底面	分類	備 考
			口縁部	胴部上半	胴部下半				
1	745土	堆積土	LR押			ミガキ		Ⅲ-2	
2	〃	〃			結束第1種 (LR・RL)	〃		Ⅲ-6	
3	〃	〃				〃	網代痕	Ⅲ-11	

69図 第745号土坑出土土器



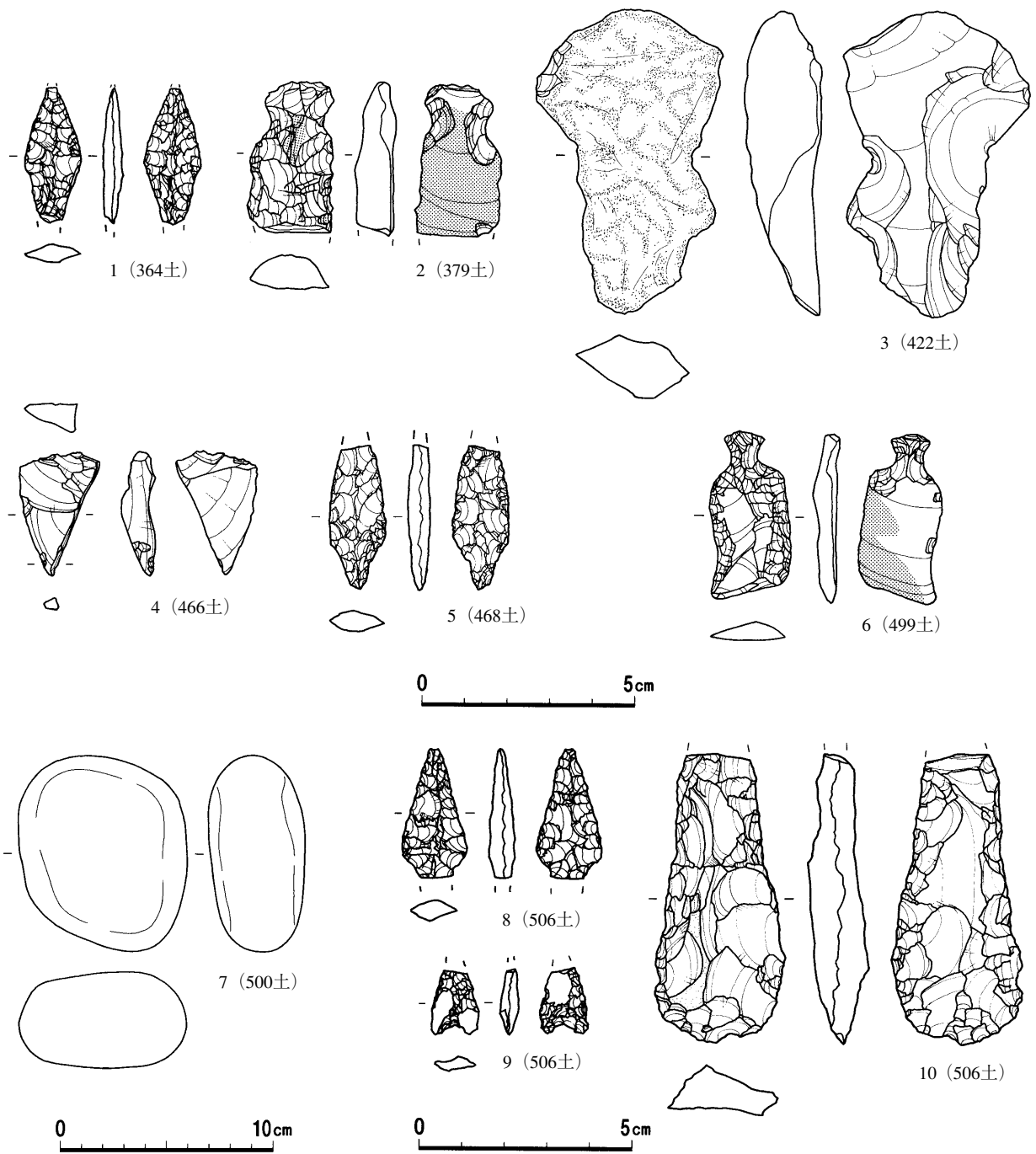
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	128土	2	(88)	78	36	(410.2)	安	Ic	S-2	49609
2	262土	堆積土	54	38	10	18.6	珪頁	Gb		342
3	〃	〃	(26)	35	15	(11.7)	黒	Pc	出来島・鶴ヶ坂産	40509
4	267土	〃	39	96	28	91.7	珪頁	Pa		49278
5	349土	〃	52	33	8	8.5	〃	Ga		40412

70図 第128・262・269・349号土坑出土遺物



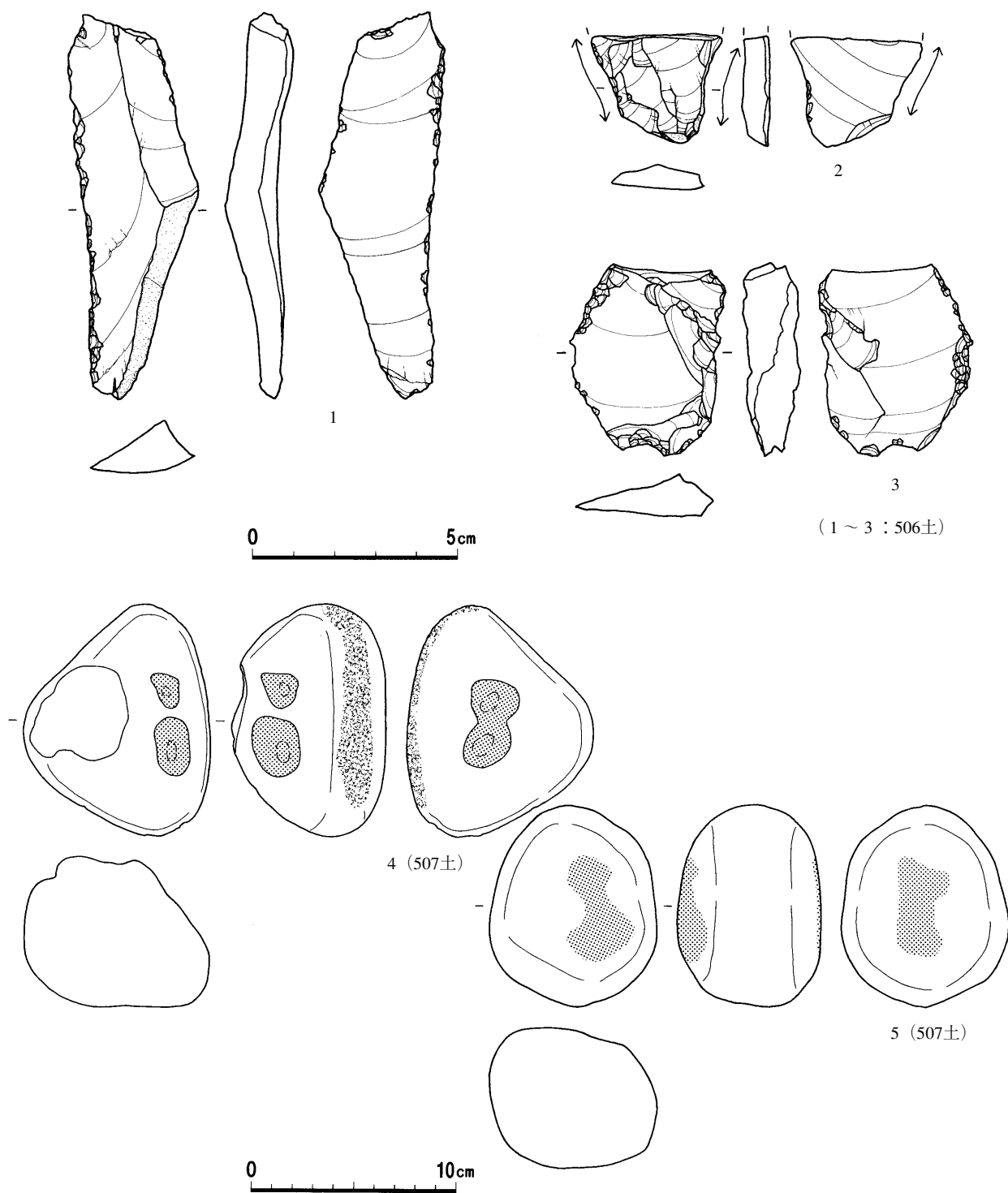
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	361土	底面	276	235	101	5220.0	流珪質	L	S-1	49633
2	〃	堆積土	33	45	9	7.3	珪質	Gb		48669
3	〃	〃	37	33	22	31.8	玉珪	Pa	S-1	48671

71図 第361号土坑出土遺物



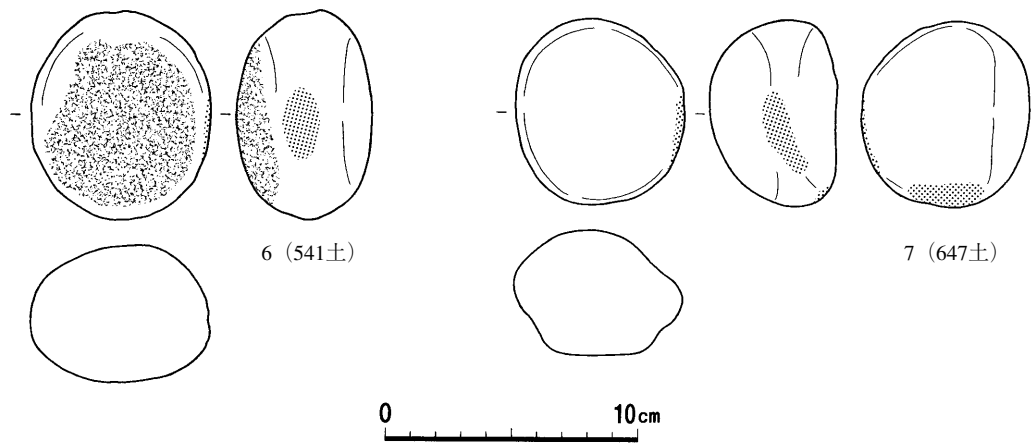
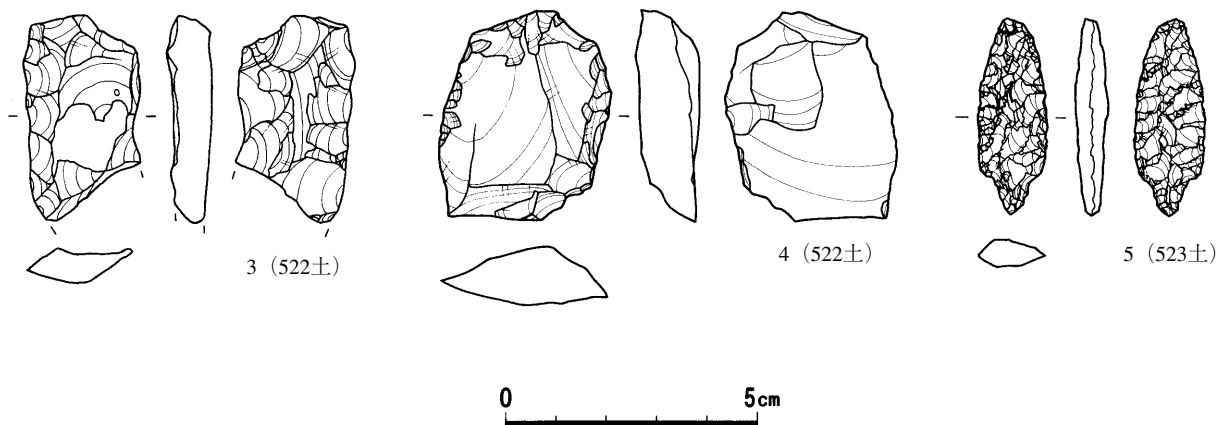
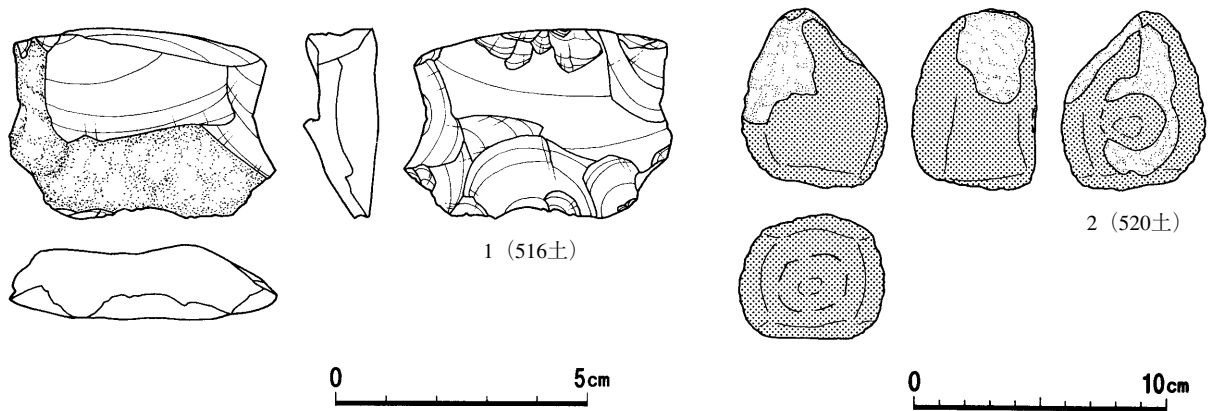
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	364土	堆積土	(32)	13	5	(1.6)	珪頁	Ab		10729
2	379土	〃	(36)	20	9	(8.2)	〃	Ca		40364
3	422土	1	72	44	18	44.1	〃	Gb		48756
4	466土	堆積土	29	19	8	2.1	〃	Dc		48809
5	468土	〃	(34)	13	5	(1.5)	〃	Ab		10721
6	499土	〃	40	19	6	4.0	〃	Ca		48817
7	500土	〃	92	79	45	485.7	頁	W		49703
8	506土	〃	(31)	15	6	(2.4)	珪頁	Ab		10734
9	〃	〃	(16)	11	4	(0.5)	〃	Af	焼け	10735
10	〃	〃	(68)	31	15	(26.4)	〃	Ea		10848

72図 第364・379・422・466・468・499・500・506号土坑出土遺物



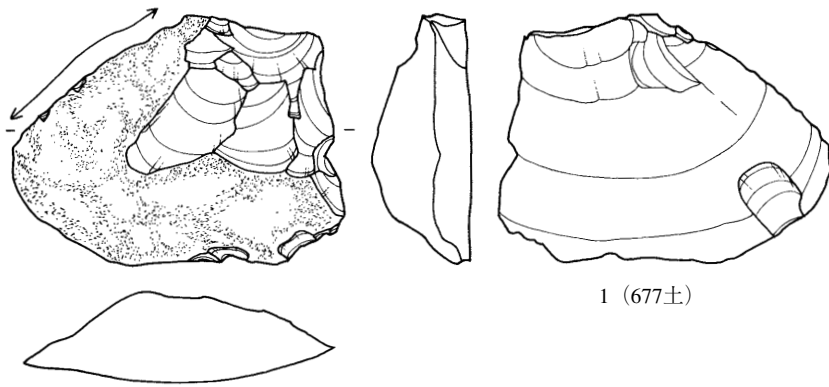
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	506土	堆積土	95	32	17	21.9	珪頁	Gb		10836
2	〃	〃	(27)	(32)	6	(5.7)	〃	〃		48827
3	506土内ビット	〃	47	38	14	18.7	〃	〃		51639
4	507土	17	114	91	75	801.9	安	1a	器表面剥落	49593
5	〃	4	99	81	69	727.1	〃	1b		49594

73図 第506・507号土坑出土遺物

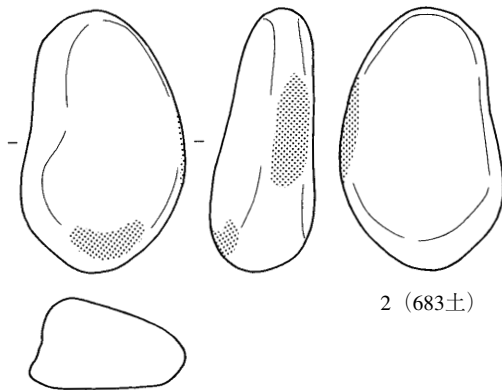
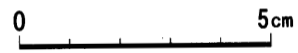


番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	516土	堆積土	38	53	15	31.0	珪頁	Pc	両極打法で加工	48849
2	520土	〃	71	57	49	217.2	凝	Ia		49596
3	522土	〃	(41)	(23)	9	(6.7)	珪頁	Ga	焼け	52231
4	〃	〃	42	34	13	16.2	〃	Gb		49390
5	523土	〃	39	14	7	3.5	〃	Ab		10725
6	541土	〃	82	71	54	434.3	安	Ic		49602
7	647土	〃	73	66	50	325.7	〃	Ib		49613

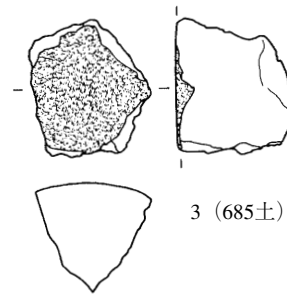
74図 第516・520・522・523・541・647号土坑出土遺物



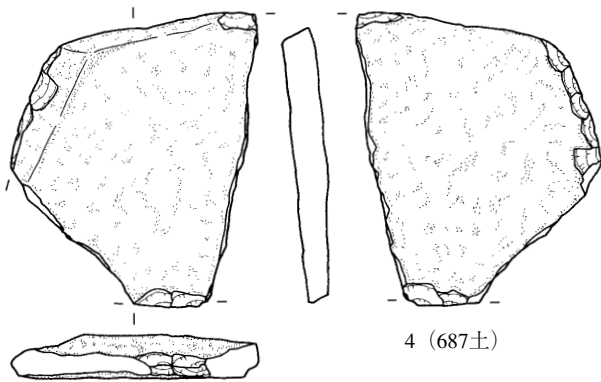
1 (677土)



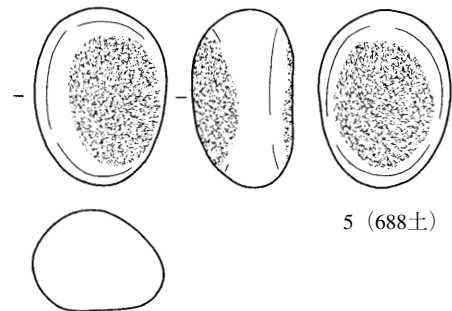
2 (683土)



3 (685土)



4 (687土)

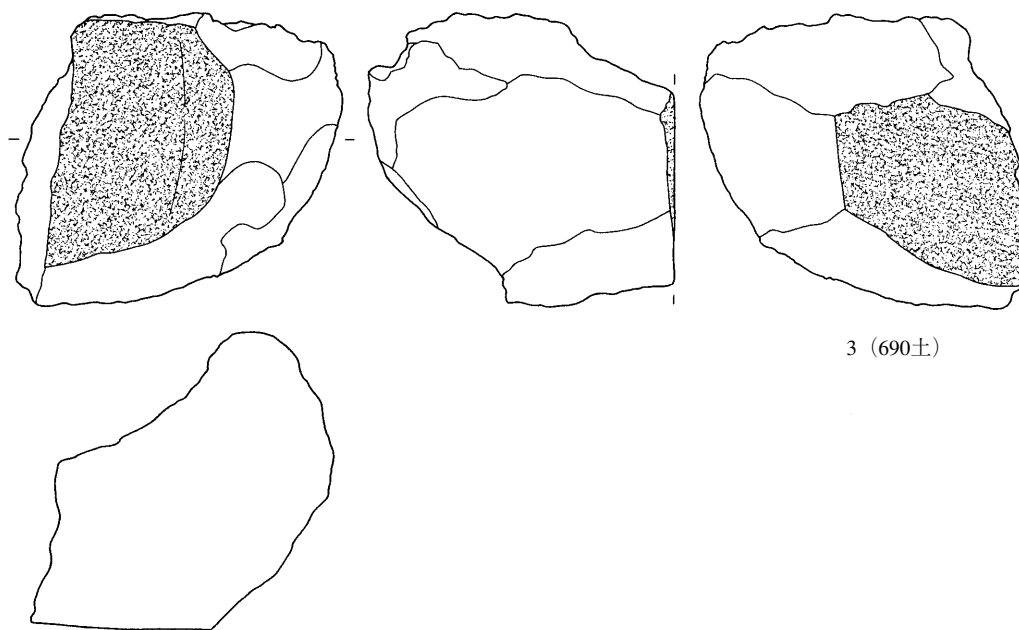
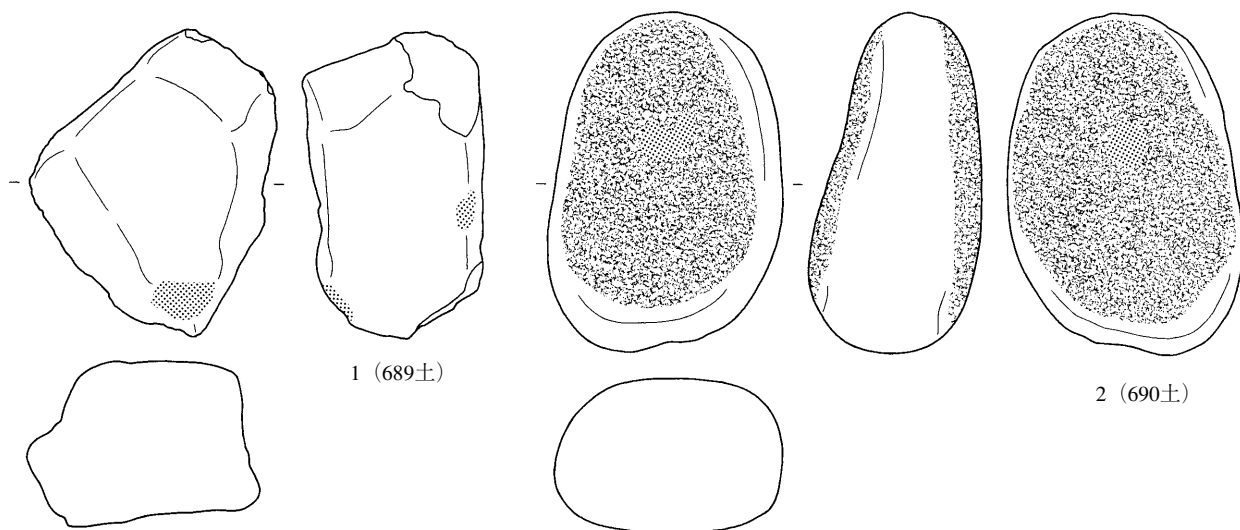


5 (688土)



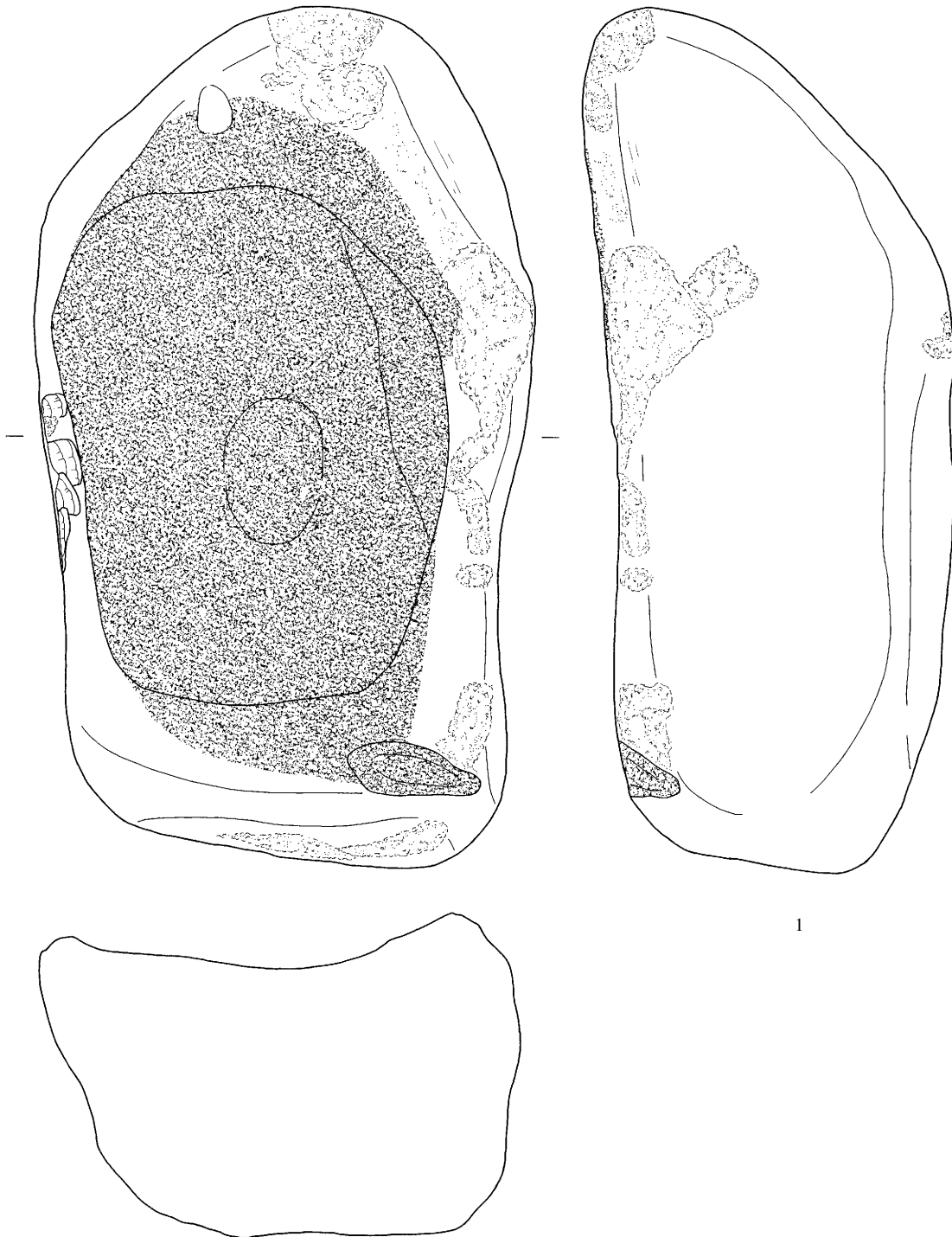
番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	677土	堆積土	50	66	20	60.0	珪頁	Gb		40503
2	683土	土器内	103	64	41	357.8	安	Ib		49615
3	685土	堆積土	(54)	(48)	(45)	(114.3)	流	Ic		49954
4	687土	〃	116	(97)	18	(213.3)	〃	J		49616
5	688土	底面	70	52	40	168.0	安	Ic		49617

75図 第677・683・685・687・688号土坑出土遺物



番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	689土	底面	122	98	72	928.8	安	Ib	S-1	49618
2	690土	堆積土	135	92	68	1190.8	〃	Ic		49619
3	〃	〃	(117)	(129)	(121)	(1500.0)	〃	L		49620

76図 第689・690号土坑出土遺物

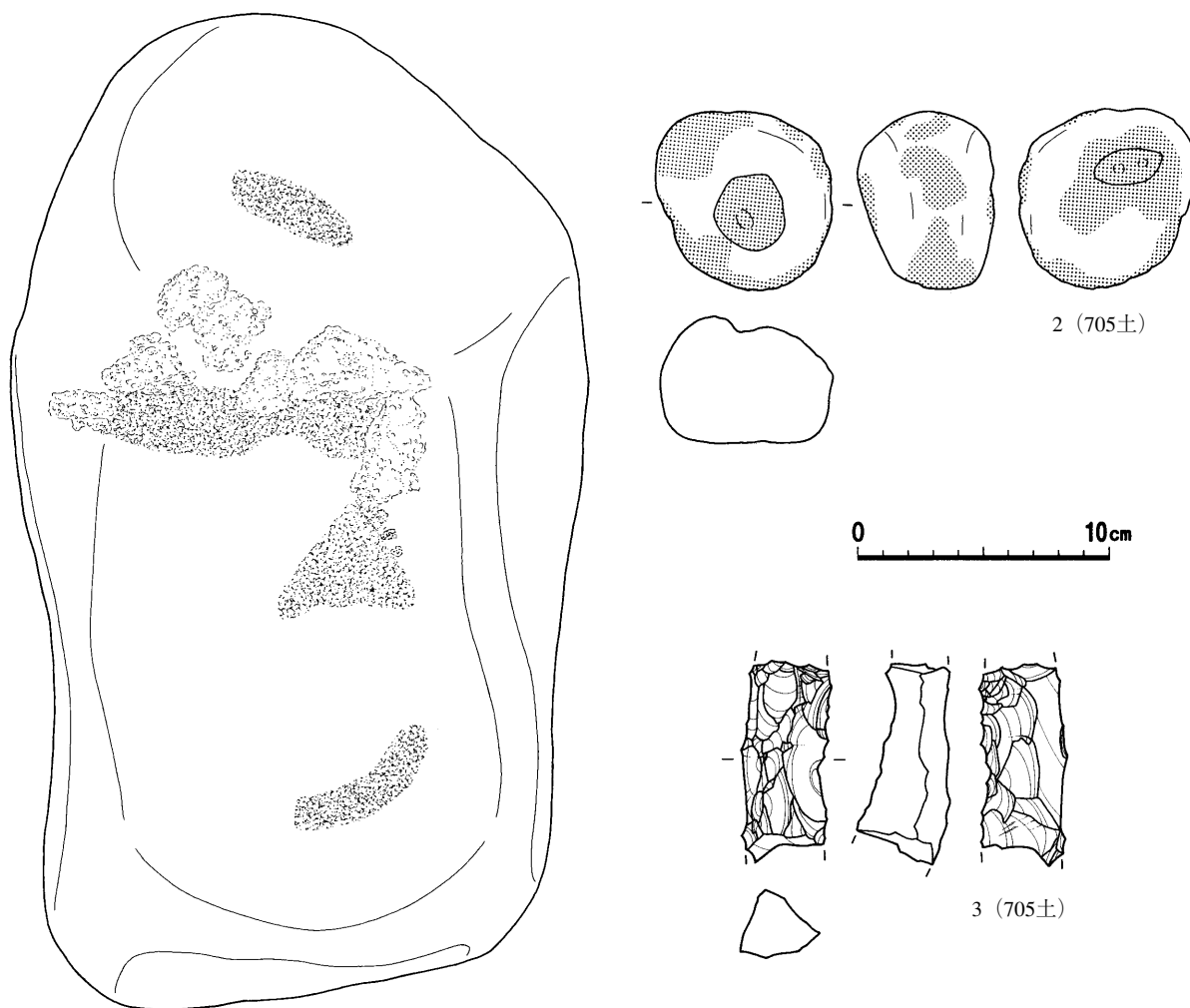


1

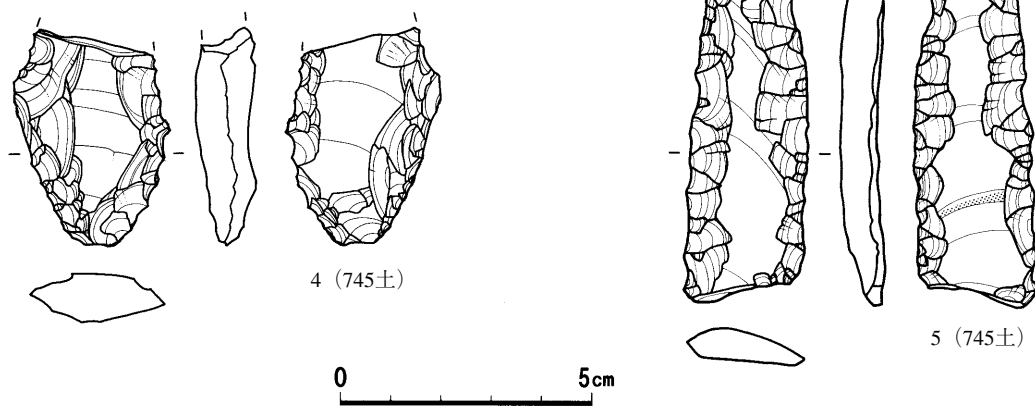
0 10cm

番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
1	705土	堆積土	395	228	170	22364.0	安	L	S-1	52650

77図 第705号土坑出土遺物

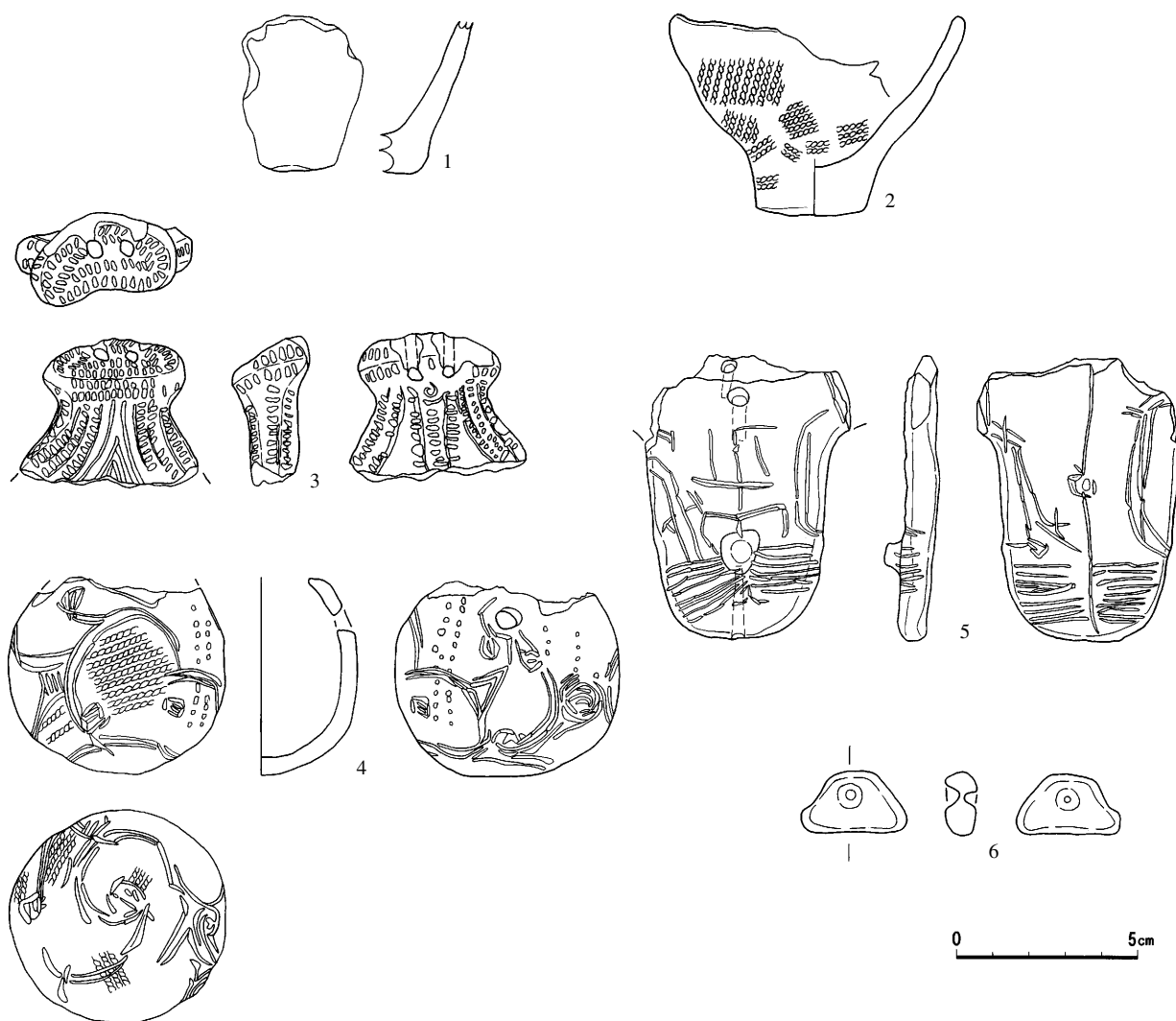


77図1 (裏面)



番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	分類	備考	整理番号
2	705土	堆積土	71	70	55	452.0	安	Ia		49623
3	〃	〃	(40)	19	19	(11.8)	珉頁	Ga		52246
4	745土	〃	(44)	31	12	(14.3)	〃	〃		52248
5	〃	〃	79	25	8	15.0	〃	〃	石匙?	52249

78図 第705・745号土坑出土遺物

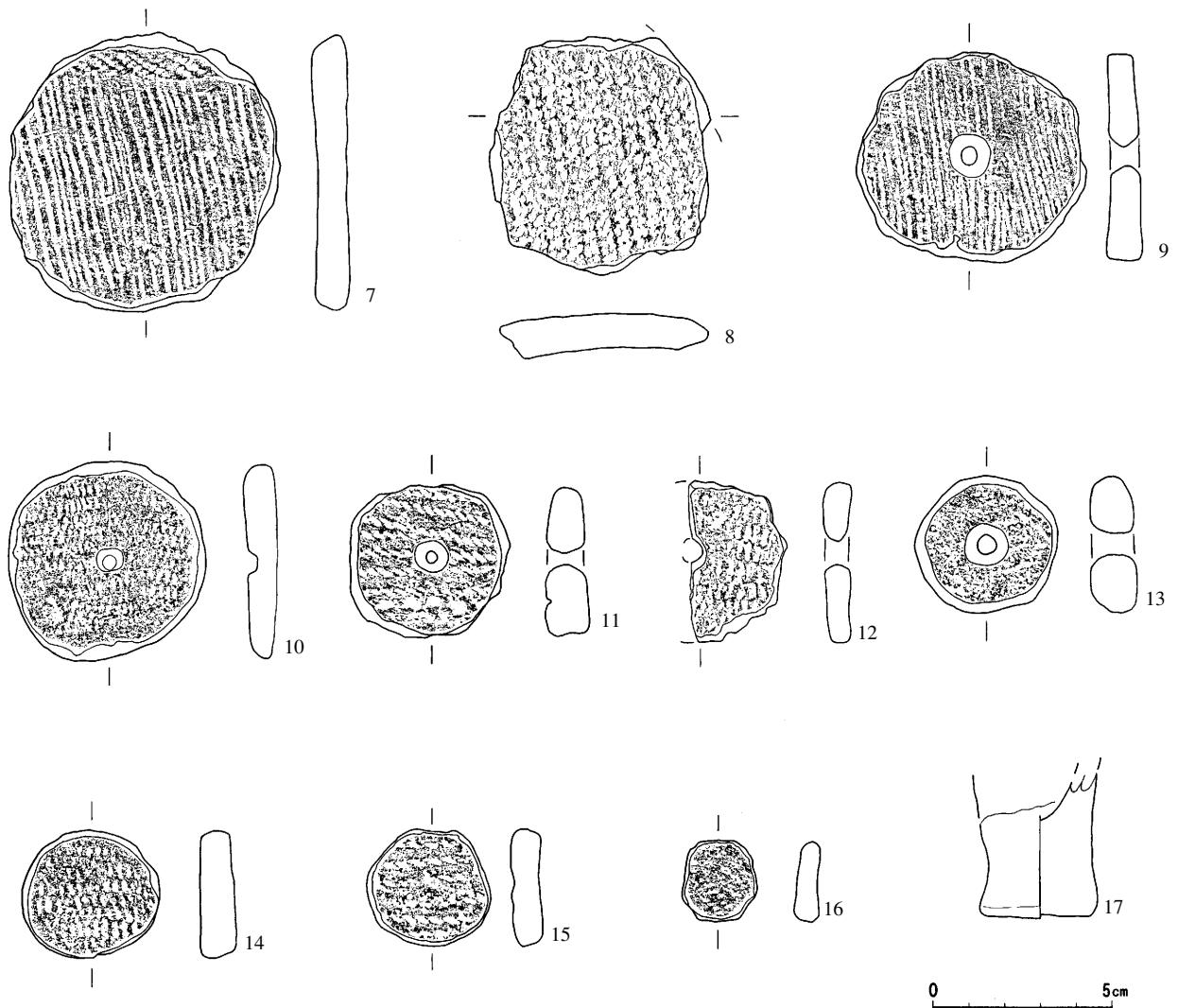


番号	出土地点	層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考	整理番号
			口縁部	胴部上半	胴部下半					
1	361土	堆積土		無文	無文			ミニチュア土器	胎土に繊維混入	5132
2	379土	〃	LR	LR	LR	ナデ	ナデ	〃		1755
4	547土	〃	LR、刺突、沈線					〃	口縁に1対の貫通孔	3446

番号	出土地点	層位	計測値 (mm)			文様		種類	備考	整理番号
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面			
3	499土	堆積土	(41)	(49)	(22)	細沈線、短刻線	細沈線、短刻線	土偶	頭部、頭頂部に貫通孔	10449
5	690土	〃	(78)	(56)	15	沈線	沈線	〃	胴部、口・胸・脚部に未貫通孔	899

番号	出土地点	層位	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	石質	種類	備考	整理番号
6	364土	堆積土	18	30	9	6		石製垂飾未製品		2464

79図 土坑出土土製品・石製品 (1)

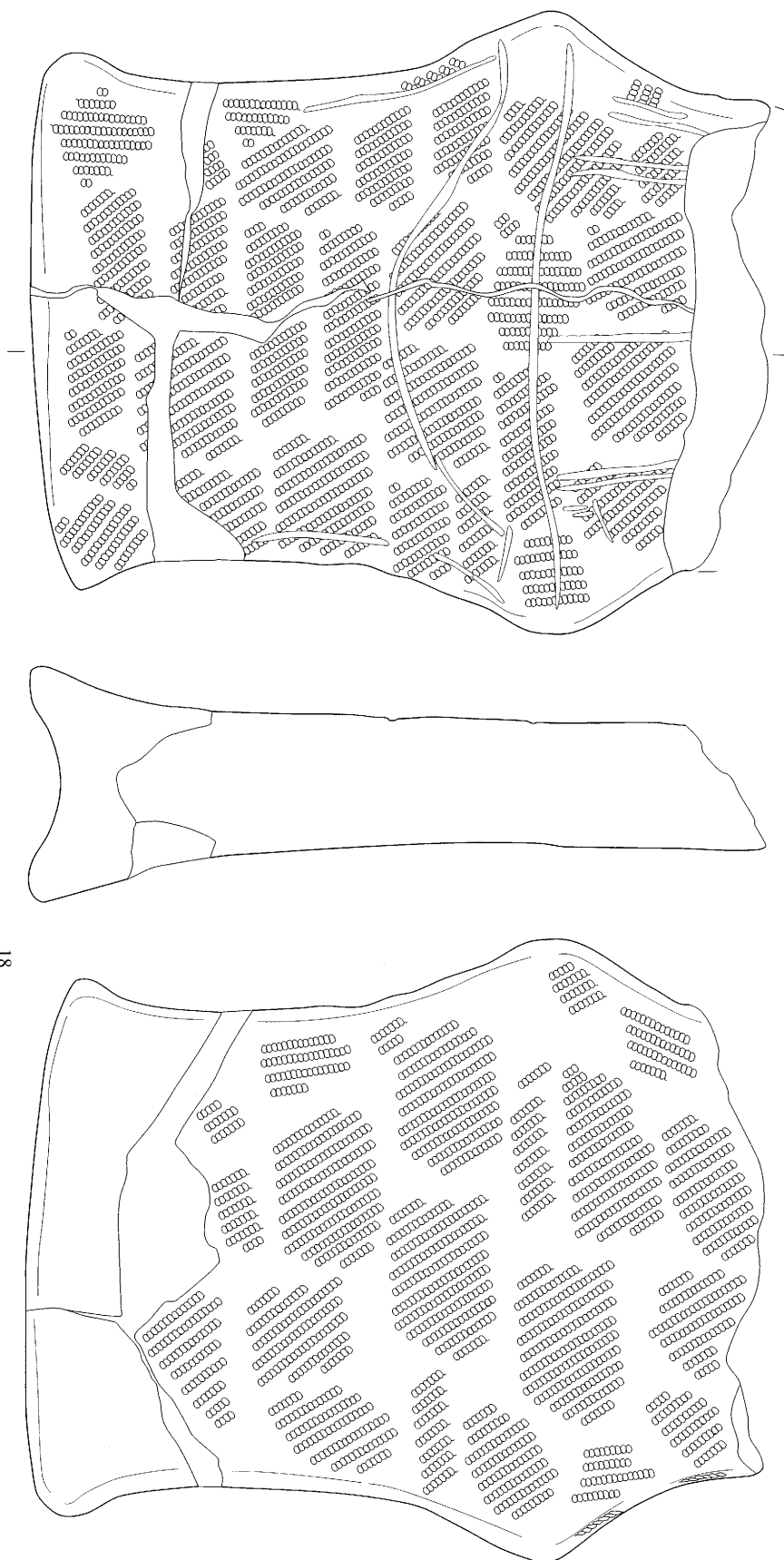


番号	出土地点	層位	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	表面	裏面	種類	備考	整理番号
7	422土	堆積土	69	77	11	74.7	RL、R単絡1	ミガキ	円盤状土製品	土器片利用、繊維混入、炭化物付着(表面)	1216
8	〃	〃	(67)	(62)	(13)	(52.6)	LR単絡1	〃	〃	土器片利用、繊維混入	1208
9	〃	3層	60	65	11	35.5	R単軸絡	〃	〃	土器片利用、貫通孔、炭化物付着(表面)	1286
10	〃	堆積土	56	55	10	28.3	L単絡1	〃	〃	土器片利用、未貫通孔、繊維混入	1229
11	〃	〃	43	45	13	22.0	LR押、刺突	〃	〃	土器片利用、繊維混入	1202
12	〃	1層	45	(27)	8	(9.3)	L多軸絡	〃	〃	土器片利用、繊維・砂粒混入	1289
13	〃	堆積土	39	40	13	17.3	不明	不明	〃	土器片利用、貫通孔、摩滅	1225
14	〃	1層	35	40	11	16.6	L多軸絡	ミガキ	〃	土器片利用、繊維混入、炭化物付着(表面)	1201
15	〃	堆積土	33	35	9	10.5	LR押	〃	〃	土器片利用	1214
16	〃	〃	23	26	7	3.5	LR	〃	〃	土器片利用、繊維混入	1217

番号	出土地点	層位	外面文様			内面調整	底面	分類	備考	整理番号
			口縁部	胴部上半	胴部下半					
17	422土	1層					無文	ミニチュア土器	台部	5131

80図 土坑出土土製品・石製品(2)

番号	出土地点	層位	計測値 (mm)			文		縁		分類	備考	整理番号
			長さ	幅	厚さ	表面	裏面	分	類			
18	507土	4層	(215)	180	(69)	RL、沈線	RL	土偶	胴部			174



81図 土坑出土土製品・石製品 (3)

特別史跡三内丸山遺跡発掘調査報告書一覧

(平成15年度まで；県教委発行分：旧野球場地区は網掛け)

年度	書名	県埋蔵文化財報告書	内容
昭和 51	近野遺跡発掘調査報告書(Ⅲ) 三内丸山(Ⅱ) 遺跡発掘調査報告書 —青森県総合運動公園建設関係発掘調査—	第 33 集	昭和 51 年度に調査した県総合運動公園西駐車場地区の調査報告
昭和 53	近野遺跡発掘調査報告書(Ⅳ) —青森県総合運動公園建設関係発掘調査—	第 47 集	昭和 52 年度に調査した近野地区の調査報告
平成 5	三内丸山(2) 遺跡Ⅱ —県営運動公園拡張事業に係る埋蔵文化財 発掘調査報告書Ⅰ—	第 157 集	平成 4 年度に調査した旧野球場建設予定地 3 塁側スタンド地区検出遺構
平成 5	三内丸山(2) 遺跡Ⅲ —県営運動公園拡張事業に係る埋蔵文化財 発掘調査概報Ⅰ—	第 166 集	平成 4 ～ 5 年度の調査概要報告
平成 6	三内丸山(2) 遺跡Ⅳ	第 185 集	平成 6 年度に調査した旧サッカー場建設予定地の試掘調査報告
平成 7	三内丸山遺跡Ⅴ —第 1 次～ 4 次調査報告書—	第 204 集	平成 7 年度に実施した第 1 次～ 4 次調査の報告
平成 7	三内丸山遺跡Ⅵ	第 205 集	平成 4 ～ 7 年度の調査概要報告
平成 8	近野遺跡Ⅴ —県営運動公園拡張整備事業に伴う遺跡試 掘調査報告Ⅰ—	第 216 集	平成 6 ～ 7 年度に調査した近野地区の試掘調査報告
平成 8	三内丸山遺跡Ⅶ —第 5 次～ 7 次調査概要報告書 —	第 229 集	平成 8 年度に実施した第 5 次～ 7 次調査の概要報告
平成 8	三内丸山遺跡Ⅷ —第 6 鉄塔地区調査報告書 1—	第 230 集	平成 4 ～ 5 年度に調査した第 6 鉄塔地区の検出遺構及び第Ⅲ～Ⅴc 層の調査報告
平成 9	三内丸山遺跡Ⅸ —第 6 鉄塔地区調査報告書 2—	第 249 集	平成 4 ～ 5 年度に調査した第 6 鉄塔地区の第Ⅵ a・Ⅵ b 層及び自然科学分野の調査報告
平成 9	三内丸山遺跡Ⅹ —旧野球場建設予定地発掘調査報告書 2—	第 250 集	平成 4 ～ 6 年度に調査した旧野球場建設予定地の検出遺構のうち縄文時代の堅穴住居跡に関する調査報告
平成 9	三内丸山遺跡ⅩⅠ —第 5 次～ 7 次調査報告書—	第 251 集	平成 8 年度に実施した第 5 次～ 7 次調査の報告
平成 9	三内丸山遺跡ⅩⅡ —第 8 次～ 10 次調査概要報告書—	第 252 集	平成 9 年度に実施した第 8 次～ 10 次調査の概要報告
平成 10	三内丸山遺跡ⅩⅢ —第 11 次～ 13 次調査概要報告書—	第 265 集	平成 10 年度に実施した第 11 次～ 13 次調査の概要報告
平成 11	三内丸山遺跡ⅩⅣ —第 14 次～ 16 次調査概要報告書—	第 282 集	平成 11 年度に実施した第 14 次～ 16 次調査の概要報告
平成 11	三内丸山遺跡ⅩⅤ —旧野球場建設予定地発掘調査報告書 3—	第 283 集	平成 4 ～ 6 年度に調査した旧野球場建設予定地の検出遺構のうち縄文時代の堅穴住居跡に関する調査報告
平成 12	三内丸山遺跡ⅩⅥ —旧野球場建設予定地発掘調査報告書 4—	第 288 集	平成 4 ～ 6 年度に調査した旧野球場建設予定地の検出遺構のうち縄文時代の堅穴住居跡に関する調査報告

平成 12	三内丸山遺跡 X VII —第 6 鉄塔地区調査報告書 3—	第 289 集	平成 4～5 年度に調査した第 6 鉄塔地区の遺構外遺物に関する調査報告
平成 12	三内丸山遺跡 X VIII —第 17 次～ 19 次調査概要報告書—	第 309 集	平成 12 年度に実施した第 17 次～ 19 次調査の概要報告
平成 13	三内丸山遺跡 X IX —第 20 次～ 22 次調査概要報告書—	第 337 集	平成 13 年度に実施した第 20 次～ 22 次調査の概要報告
平成 13	三内丸山遺跡 X X —第 8 次・9 次調査報告書—	第 338 集	平成 9 年度に実施した第 8 次・9 次調査の報告
平成 14	三内丸山遺跡 21 —第 23 次～ 25 次調査概要報告書—	第 361 集	平成 14 年度に実施した第 23 次～ 25 次調査の概要報告
平成 14	三内丸山遺跡 22 —第 13・14・17・20 次発掘調査報告書—	第 362 集	平成 11～13 年度に実施した第 13・14・17・20 次調査の遺構に関する報告
平成 15	三内丸山遺跡 23 —第 23・26 次発掘調査報告書—	第 381 集	平成 15 年度に実施した第 26 次調査及び関連する平成 14 年度の 23 次調査の報告
平成 15	三内丸山遺跡 24 —第 13・14・17・20 次発掘調査報告書—	第 382 集	平成 11～13 年度に実施した第 13・14・17・20 次調査の遺構外遺物に関する報告
平成 15	三内丸山遺跡 25 —旧野球場建設予定地発掘調査報告書 5 埋設土器編—	第 383 集	平成 4～6 年度に調査した旧野球場建設予定地の検出遺構のうち縄文時代の埋設土器に関する調査報告

報 告 書 抄 録

ふりがな	さんないまるやまいせき にじゅうなな
書名	三内丸山遺跡27
副書名	旧野球場建設予定地発掘調査報告書6 埋設土器遺構・土坑編
巻字	
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第405集
編著者名	岡田康博・成田 悟・木村真明・長瀬 昇・中村美杉・斎藤 岳・工藤直樹 小笠原雅行・中村哲也・秦光次郎・田中珠美
編集機関	青森県教育庁文化財保護課
所在地	青森市新町二丁目3番1号 TEL 017-734-9924
発行年月日	西暦2005年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		旧日本測地系 (Tokyo Datum)		調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因	
		市町村	遺跡番号	北緯	東経				
さんないまるやまいせき 三内丸山遺跡	あおりけんあおりし おおざさんないあざまるやま 青森県青森市大字三内字丸山	02201	01021	40°	140°	・1992.4.20 ～11.30 ・1993.4.12 ～12.17 ・1994.4.4 ～11.18	38,000	県営運動公園 拡張事業に係る事前 調査	
				48′	42′				
				40″	20″				
				40°	140°				
				日本測地系 (JGD2000)					
				北緯	東経				
				40°	140°				
				48′	42′				
				50″	07″				

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺跡	主な遺物	特記事項
三内丸山遺跡	集落跡	縄文時代	埋設土器 31 基 土坑 175 基 (今回報告分)	縄文土器 (前・中期) 石器 (前・中期) 土・石製品 (中 期)	縄文時代前期中葉から中期 末葉にわたる大規模拠点集 落跡

青森県埋蔵文化財調査報告書 第405集

三内丸山遺跡27

— 旧野球場建設予定地発掘調査報告書 6 —
埋設土器遺構・土坑編

発行日 平成17年 3 月31日
発 行 青森県教育委員会
編 集 青森県教育庁文化財保護課
〒030-0801 青森市新町 2 丁目 3 - 1
電話 017-734-9924
印刷所 ワタナベサービス株式会社
〒030-0802 青森市本町 1 丁目 2 - 5
